



はじめに、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスに対し、医療現場において全力で診療にあたっている医師をはじめとする医療従事者に深く感謝申し上げますとともに、一日も早い収束と感染された方々の一刻も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

さて、2019年度を振り返るにあたり、原稿作成の依頼を受けた5月は、当院にとって、まさに新型コロナウイルス第一波の渦中の状況下にありました。2020年1月中国武漢で端を発した新型コロナ

ウイルスは瞬く間に全世界に感染拡大し、日本においても大都市を中心に感染が拡大し、多くの命が失われ、2020年4月に橋本市においても初となる感染者の報告が私の耳に飛び込んできました。当院は、橋本医療圏において中核病院として地域の医療を支えていく使命があり、総合内科を中心としたCOVID対策チームを立ち上げ対応を行ってきました。この間のCOVID対策チームのベストに近い対応に感謝しております。新型コロナウイルス感染症の流行下において、医療において不要はありませんが不急は一定の日数ならばあてはまる事例もあり、健診やスクリーニング内視鏡をすべて延期としたことも影響しましたが、入院稼働数は最低時期には180人を下回り、病床稼働率は59%台にまで落ち込みました。この数字は平成16年11月に旧病院から現在の場所に移転した翌年の平均入院患者数の189名をも下回り、経験したことのないような数字となりました。一連の患者数減少で当院としては深刻な経営的打撃を受け、危機的状況となりました。しかも、コロナ感染の影響がすぐに払拭されるとは考えにくく、病院は窮地に立たされている状況が持続することとなり、現状の経営危機をどうやって立て直していくのかを迫られています。少子高齢化による人口減少から来る医療需要が少なくなり、現状の医療資源が必要なくなることから、予てより進められていた地域医療構想により、ベッド数削減が叫ばれていた中、今回のコロナウイルスは病院に患者さんがいない、外来にも病棟にも患者さんはまばらという将来の人口減少時代の状況を作り出しました。このコロナ禍からいつ抜けだせるのかわかりませんが、今こそ職員が一丸となって病院再建に取り組まないといけない時期にある事は間違いないと考えています。そうした中で、このコロナ禍はもしかすると今までの医療の常識を根本的に変えてしまう恐れもあるのではないかと感じており、橋本市民病院がどのような方向を向いていくのかの判断を迫られています。職員一人一人が病院の在り方に対して強い意識を持ち、同じベクトルで行動しないと、このコロナ禍や今後の少子高齢化の時代には生き残れないのではないかと思います。

退職のごあいさつ 市民病院の思い出

橋本市病院事業管理者 山本 勝廣



2007年（平成19年）4月よりお世話になりました。私にとり9回目の転勤で、新築移転後3年目でした。赴任当時、病院周辺の建物は門前薬局、初芝橋本中・高等学校と道路を挟んでマンションがあるだけでした。南海電鉄が大阪のベッドタウンとして、城山台から小峰台、紀の光台、あやの台一帯を住宅開発目的で造成し、林間田園都市駅から支線を引く計画を建てていました。バブルが弾け、支線の鉄道部分は4車線道路に変わり短大誘致は消滅し、市民病院や工場誘致に計画が変更されたと聞きました。当時、ブルドーザーで山を削り、トラックが行き交う工事現場の風景でした。しかし、住んでみると、見渡せば草花や木々の緑が一杯で、朝は小鳥のさえずりで目が覚め、昼間はセミの声、夜は真っ暗で星空や蛍、冬には辺り真っ白な別世界を眺めることができ、のどかな自然の美しさに感動しておりました。

紹介率&逆紹介率

市民病院が不便な所へ移転し、また、電子カルテを始めるにあたり患者さんを減らしたほうが良いとの考えで、地域の先生方に紹介して外来患者を減らしたと聞いています。ところが、紹介される新規患者さんは少なく、救急車の搬送件数も伸びなかったため、市民病院へ紹介された患者さんを地域の先生方へ逆紹介することを徹底せず、また、市民病院へ通院を希望される患者さんが増えたため、逆紹介が減ったと思われます。患者さんに病診連携の大切さを説明しても、なかなかご理解頂くことの難しさも感じました。医師会の先生方から患者が返ってこないという声も聞きました。当時の連携室部長が、診療所の先生方と会合を持ち、問題点を話し合い改善に取り組んでおられましたが、紹介率は20%程度、逆紹介も30%程度でした。病院と診療所の役割分担、病診連携は非常に大切です。徐々に、常勤医師と地域医療連携室のスタッフの充実で、地域の先生方のお声を拾いやすくなり、また、地域の先生方からの信頼を得ることができるようになり、紹介率が30%程度、逆紹介率が40%程度と少し増えてきました。

勤務医不足と救急体制

根底には2004年から、国が「新医師臨床研修制度」を開始し、都会へ行く研修医が増えたことで地方の大学に残らず、その結果、地方の病院の勤務医が少なくなり、全国的に病院崩壊が問題になったと考えられております。当直の翌日が休みとなる勤務体制を敷くことはできず、連続36時間以上働き続けることは普通で、当直医の負担は重く、燃え尽きて退職する医師や過労死する医師も出て社会問題となっていました。いつ頃からか、コンビニ受診と言われる救急医療にそぐわない患者さんが増加していました。また、医療訴訟問題が年々増え、産婦人科、小児科、外科、内科などが敬遠されるようになりました。より負担の少ない診療科を選んだ

り、都会の病院へ移ったり、開業医になる医師も出て「立ち去り型サボタージュ」という「医療崩壊」（著者：小松秀樹）が話題になりました。

市民病院は、2004年11月に新築移転して300床となりましたが常勤医は33名で、赴任時の医師数は39名でした。通常、300床の病院では約60名の医師が必要と言われています。特に、当直できる内科医は8名しかおらず、月3回の当直に加え、待機もしなければならない状況で大変な負担でした。当直の内科医が不在の時は、通院中の患者さんの救急来院時、病院から30分以内に待機の内科医が対応していましたが、新規の患者さんをお断りするという救急体制でした。

赴任3年目（2009年）には大学から呼吸器内科医を2名引き上げられ、頭の中が真っ白になりましたが、窮状を訴え県が和歌山医大に協力を求め、3ヶ月毎交代で1名ずつ医師（循環器内科、腎臓内科、リハビリ科）を派遣頂く措置を取って頂きました。また県から補助金を頂き、伊都医師会の先生方に日祭日の日勤帯の当直医としてご協力を仰ぎ、さらに県のドクターバンクから定年退職した医師の派遣も頂きました。まだまだ足りない常勤医師派遣の依頼のため、大学の医局周りをしても教授から医局員が増えれば考えます、とのお言葉を頂くだけで先が見えない状況でした。

そこで、当院独自に、職場として魅力あるプログラムが必要と考え、日米医学医療交流財団のご協力を得て、2015年「大リーガー医育成プロジェクト」や「臨床研究支援プログラム」制度を作り、内科系医師を増やすことができました。同時に、無医地区の富貴診療所や高野山総合診療所を応援診療することで、県から「へき地医療拠点病院」の指定を受け、自治医科大学や地域卒の卒業医師の派遣を頂けるようになりました。そしてようやく、内科系の当直が2016年4月より毎日可能となりました。

救急車の受け入れ件数は、2007年の1,467件から、2018年は2,479件と増えました。現在、医師が約50名となり、救急体制も少し充実してきました。

東日本大震災

2011年3月11日深夜、和歌山県から出動要請の電話連絡が入りました。当院のDMAT（災害派遣医療チーム）は翌日、結成以来初めての出動で岩手花巻空港のSCU（Staging Care Unit：広域搬送拠点臨時医療施設）に派遣されました。そこで患者さんの治療や急変した患者さんを輸送機で羽田空港まで搬送する任務を行いました。さらに、多くの病院や診療所が壊滅状態となり、生き残った住民も避難所生活を余儀なくされており、岩手県から県に医療チームの派遣要請がありました。原発放射能の危険性がある中、DMATとは別に、自ら応募頂いた職員で結成された医療救護班（医師1名、看護師2名、薬剤師1名、連絡係1名）が、出動してくれました。

敷地内全面禁煙

2004年新築移転した際は敷地内全面禁煙でしたが、ボヤ騒ぎ等でやむなく分煙となった経緯があると聞きました。しかし、病院という公共施設では、タバコを吸わない人の健康被害を守

ることを目的に議論を進めました。2011年1月から準備を始め、院外に対してはホームページや市民病院だより、入院案内などで敷地内禁煙の広報を行いました。院内に対しては、禁煙啓発研修会や禁煙外来開催の準備を行いました。職員から、車の中は許可してほしいとの意見もありましたが、敷地外（門前薬局横の喫煙所）と官舎の階段踊り場でお願ひすることになりました。

2011年7月1日より、駐車場を含め病院敷地内禁煙を実施することができ、同時に健診センターで「禁煙外来」を設置しサポートしていくことになりました。

市民病院健康セミナー

2006年から毎月1回（土曜日）、当院の講堂で市民の皆様方が普段関心があると思われるような症状、病気など「専門家に聞きたいちょっとした話」として当院の医師あるいは看護師など多職種の職員が講師となり、分かりやすくお話をするセミナーが開催されていきました。アンケートから御要望の多いテーマを取り上げ、出席回数の多い方には記念品が贈呈され、皆勤された方には「健康セミナーの終了証書」にて表彰させていただいておりました。しかし、年々参加される市民が固定して来たこともあり、2010年から年6回の隔月開催、2012年から自治会、婦人会、老人会、区長会、ふれあいサロンなど各種団体からの依頼で、不定期に公民館や集会所へ出向きました。テーマ一覧表は、市民病院のホームページに記載されております。さらに、市民からのご要望があれば「市民病院健康セミナー」とは別に、「出前講座」として職員が出向いて講演会を開いております。

基幹型臨床研修病院

移転翌年の2005年より研修医は1名いましたが、その後3年間応募者がなく、国から研修指定病院を外されました。教育面の充実を図るため在籍していた内科系医師で専門医を取得し、病理医の採用が可能となる幸運にも恵まれ、日本内科学会の教育関連病院の認定を受け、2011年に再度、基幹型臨床研修病院の資格を得ることができました。この時、研修プログラム作成にあたり事務方に大変なご苦勞をお掛けしました。幸い2012年より1名応募があり、2013年より2名の応募がありました。2015年より「臨床研究支援プログラム」に応募頂いた総合内科医師3名が指導医となり、教育面でさらに充実し、定員が4名に増え、研修医は8名になっております。

ICU&リハビリ棟の建築

2009年に国が地域の医師確保、救急医療の確保など医療課題の解決を図るため、都道府県が策定する地域医療再生計画に基づく対象地域全体への支援として、都道府県に基金が設置されました。当院は新築移転しましたが、重症患者や術後の患者をケアするICUがなく、ICU建設のため県から地域医療再生基金2億円を頂きました。2014年よりICUの具体的な計画（6床、このうち個室が2床で1床は陰圧室）を建て、リハビリ室であった部屋をICUに改装し、リハビ

り室を含めて新たに2階建ての別棟を建設し2016年に完成しました。医師不足は続いており、ICUの設置基準である当直医を置くことができず、HCUとして運用を開始致しました。

病床の機能分化と病院経営

2016年の診療報酬改定は、効率的な医療を提供するため、病床の機能分化がテーマとなりました。当初、当院は患者さんの病状により、超急性期はHCUで、急性期は一般病棟で、回復期は回復リハビリ病棟で診るよう考えておりました。しかし、回復期リハビリ病棟の開設は、周辺の病院から反対され止む無く「地域包括ケア病棟」を設置（当院の亜急性期病床からの転換）することにしました。

2015年末からワーキングチームを立ち上げ、2年計画で経営改善と医療の質の向上を目指す病院改革に取り組みました。300床の病室をHCU（6床）、一般急性期病床（244床）、地域包括ケア病床（50床）に分化し、救急科を新設したことで、入院患者や手術患者が増え、入院収益、外来収益ともに増加しました。並行して、薬剤の後発医薬品使用率の向上や材料購入費の削減などを行うことで、以前より経営が安定してきました。

橋本市民病院地域医療ネットワーク会議

この会議は2013年、住民に円滑により良い医療を受けて頂くため、地域の医療機関が医療情報を共有し、役割分担を行い、連携体制の強化を図ることを目的に開催されました。その後、国は2025年問題（団塊の世代が後期高齢者となり、人口減少、老々介護や独居が増える）を提起、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう「地域包括ケアシステム」の構築と充実を目指す政策を推し進めたため、当院と伊都医師会の先生方や地域の医療・介護施設の方々と壁を無くし、連携を密にするための会議として、継続的に開催されております。

医療安全対策&感染対策

1999年、国内で患者の取り違えで入院目的と異なる手術が施行される事故や血管内への誤注入事故などの医療事故が起きました。「人は誰でも間違える」ことを前提に、間違っても障害に至らないようにするにはどうすればよいか、安全を確保できるシステムを設計し、将来のエラーを減らすように、2003年から臨床研修病院には医療安全管理者の配置が義務付けられました。

当院も2007年度より医療安全管理者を置き、2011年4月より医療安全管理室が設置されました。十分な説明を受け十分理解し、納得頂いて医療を受けて頂くインフォームドコンセント（説明と同意）を徹底するよう努力しています。組織横断的に安全な医療提供のための業務改善や安全文化の醸成に努めています。さらに、2016年「医療安全管理室」を「感染管理室」と分離し、医療の質の向上を図りました。

感染対策に対しては、早くから（2007年）感染認定看護師を配置して、感染対策に取り組んでおります。2018年、当院は保健所からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）が、他院より多く検出されていると指摘を受け、原因解明を行うため入院患者さんの同意を得て糞便検査

を行いました。その結果、当院で検出されたCREの保菌率は、従来日本で報告されている値と比較して変わりなく、入院時の検査でCRE陽性患者が存在し、地域住民が一定の割合で保菌されていることがわかり、2020年1月31日で収束宣言を行いました。昨今、薬剤耐性菌が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬の開発が減少傾向にあり、国際社会でも大きな問題となってきました。このような状況の中、標準予防策の徹底と「適切な薬剤を必要な場合に限り適切な量と期間」を使用することにより、耐性菌を増やさないような抗菌薬の使用が望まれます。

10周年記念式典

2014年（平成26年）11月22日（土）、橋本市民病院講堂にて新築移転10周年記念式典を開催しました。経営再建の途上であったため催しは質素な式典とし、記念誌の作成は行わず病院年報を少し充実させ、シンボルマークの病院旗の作成を行いました。このシンボルマークは新築移転した際、市民からご応募頂いたシンボルマークです。橋本市の頭文字「H」をモチーフし、Hの2本の縦線には人を表わす丸い頭が付いており、Hの横線は、人と人が手をつないでいる様子をイメージしたデザインです。患者さんと市民病院の職員、あるいは市民病院の職員同士が手をつないでいるようなイメージです。4月1日（新年度開始）、11月25日（開院記念日）に、国旗、市旗と共に病院旗の掲揚を行うようになりました。記念品（体温計）は、来賓者（市長、市議員など）にお配りしただけで病院職員へは還元しませんでした。記念講演として、東京大学・形成外科の光嶋勲教授をお招きして「失われた身体の復元 ブラックジャックの世界 日本から世界へ」と題してご講演頂きました。身体の変形や欠損などの先天的・後天的な形態異常に対して、手術により機能や形態を改善する素晴らしい技術に感銘を受け、元気を頂きました。

脳死下での臓器移植の経験

2018年7月、30歳台の女性がくも膜下出血で救急入院されました。昏睡状態で、ご家族より「臓器提供意思登録カード」を持っているとのご連絡を頂き、脳死であれば本人の意思を尊重し臓器を提供したいとの申し入れがありました。偶々、当院は前年に臓器移植を希望された事例がありましたが実現せず、心停止下での臓器提供マニュアルを改定いたしておりました。当院は今まで臓器提供の経験はありませんでしたが、ご本人やご家族のご意思を尊重するため、普段の業務で多忙な中、主治医の総合内科医や脳外科医、院内臓器移植コーディネーターを始め多職種による職員が頑張ってくれました。脳死判定できる脳波計や医師の問題などいくつかの課題はありましたが、県コーディネーターの仲井氏や日本臓器移植ネットワークのコーディネーターの方々のアドバイスを頂きながら、ご家族のご意思の確認、倫理委員会の開催などを行い、脳死判定においては当院脳外科医に加え、和医大・救急部の加藤教授に大変お世話になりました。手術場での臓器の取り出し作業においては各医療機関の関係者に、また、その後搬送するための防災ヘリ、救急車や先導するパトカーの手配と多方面からご援助を頂きました。そして、提供意思を表示されていた臓器（心臓、肺、肝臓、腎臓、膵臓、小腸、眼球）が小腸

を除いて、日本各地で移植されました。病院内外の多くの方々のご協力を頂き、和歌山県内で4番目の「脳死下での臓器提供」病院となりました。

今後の課題

大学医局の医師不足は今も続いており、当院も常勤医が居なくなった診療科があり、市民の皆様方に大変ご迷惑をお掛けし、申し訳なく思っております。

和歌山県は人口当たりの医師数は多い県とされていますが、和歌山市周辺に集中し、橋本医療圏の勤務医は全国平均より少ない状況です。国は「医師の働き方改革」を2024年までに達成するよう迫っていますが、医師の長時間労働に支えられてきた我が国の医療、特に地域医療には大きな影響が及ぶと予想されます。

国や県には、「地域医療構想」の検討を進める過程で、その地域に不可欠な医療機関や診療科を考慮し、医師を集中的に配置すると同時に、医師の勤務が働き方改革に沿ったものになるかについて議論して頂きたいと思えます。

在籍した13年間は綱渡りの連続でしたが、困ったことがあると誰かに助けられ、皆様方に支えられました。行政、大学、医師会を始め医療・介護の皆様、市民、職員の皆様方に大変お世話になりました。

感謝申し上げます。

今後の市民病院のご発展をお祈り申し上げます。

目次

巻頭言

ごあいさつ

目次

I 病院の概況	
病院の理念 基本方針	1
患者の権利と義務	1
病院の沿革	2
病院の概要	4
病院組織図	8
職員数推移	9
施設基準一覧	10
経営状況	12
II 医事統計	13
1日平均患者数（入院・外来）	14
新入院患者数・退院患者数	15
平均在院日数・病棟別稼働率	16
紹介率・逆紹介率	17
救急搬送患者数	18
橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況	19
医業収益（入院外来合計）	20
科別収益（入院）	21
科別収益（外来）	22
診療科別単価	23
行為別収益	24
III 診療情報（年次報告）	25
月別退院患者数	26
診療科別退院患者数	30
診療科別上位5疾患	34
IV 診療科紹介	39
総合内科	40
消化器内科	42
代謝内科	44
呼吸器内科	45
小児科	47
産婦人科	48
外科	50
整形外科	54
脳神経外科	56

眼科	59
泌尿器科	61
麻酔科	63
放射線科	64
歯科口腔外科	65
皮膚科	67
病理診断科	68
循環器内科	69
救急科	71
健診センター	72
V 看護部紹介	73
看護部	74
外来	84
3階西病棟	85
3階東病棟	86
4階西病棟	87
4階東病棟	88
5階西病棟	89
5階東病棟	90
HCU病棟	91
中央手術室 / 中央材料室	92
VI 診療技術部紹介	93
薬剤部	94
臨床検査科	97
放射線科	100
臨床工学科	104
リハビリテーション科	106
栄養管理科	110
歯科技工室	113
地域医療部	114
医療安全管理部	124
VII 事務局紹介	127
総務課	128
医事課	129
診療情報課	130
VIII 委員会紹介	131
委員会組織図	132
薬事委員会	133
診療材料検討委員会	134
診療材料システム委員会	134
救急医療対策委員会	135

クリニカル・パス推進委員会	136
診療管理（QC）委員会	137
健診センター運営委員会	138
中央手術室運営委員会	139
内視鏡センター運営委員会	140
病床運営管理委員会	141
放射線運営委員会	141
臨床検査運営委員会	142
輸血管理委員会	143
栄養管理委員会	144
NST ワーキング	145
嚙下ワーキング	147
糖尿病ワーキング	148
がん診療対策委員会	150
緩和ケアワーキング	151
化学療法ワーキング	152
がんセンターボードワーキング	153
医療機器選定・購入委員会	153
診療情報管理委員会	154
電子カルテ運営委員会	155
院内感染対策委員会	156
AST	157
ICT	158
ICT ワーキング	160
褥瘡対策委員会	161
下肢病変ワーキング	162
医療安全管理対策委員会	163
医療ガス安全管理委員会	163
災害医療対策委員会	164
DMAT 部会	164
防火委員会	165
教育・研修・年報作成委員会	166
まごころ委員会	169
病院広報委員会	170
図書運営委員会	171
職員安全衛生管理委員会	172
福利厚生委員会	173
医療連携運営委員会	174
倫理・治験審査委員会	175
臓器提供ワーキング	176
臨床研修管理委員会	177
専門研修管理委員会	179

IX 連携登録医名簿	181
-------------------	------------

I 病院の概況

理 念

1. 医療を介して地域の発展に尽くす
2. こころの通う医療で地域住民の健康の保持・増進に尽くす
3. 中核病院としての機能の向上に尽くす

基本方針

1. 患者の権利を尊重し、理解と納得に基づいた信頼される医療を目指します
2. 急性期医療を中心に、安全・良質で適切な医療を提供します
3. 病病連携、病診連携に努め、地域完結型医療を推進します
4. 医学の研鑽に励み、地域での医療の進歩と後進の育成に寄与します
5. 行政の医療、保健、福祉施策に積極的に参画します
6. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます

患者の権利

1. 人格を尊重される権利
2. 質の良い医療を平等に受ける権利
3. 病気について納得できるまで説明を受ける権利
4. 自分の病気に対する治療・検査等を自分で選択し、自分で決定する権利
5. 自分の受けている医療に対する情報を知る権利
6. 医療上生じたプライバシーを保護される権利

患者の義務

1. 診療にあたって正しい情報を提供する義務
2. 医療へ積極的に参加する義務
3. 規則を遵守して他の患者に対して迷惑をかけない義務

病院の沿革

1947年	伊都郡橋本町大字妻に1町6ヶ村組合立「国保橋本病院」開設
1952年	全館焼失
1953年	橋本市東家に移転
1954年9月	橋本町外七ヶ町村組合立国保病院 (内科、産婦人科、小児科、放射線科)
1957年	結核診療所(50床)開設、病床数163床 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科)
1963年11月	新築第一期工事完成 「国保橋本市民病院」(総合病院)として事業開始 (内科、外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、歯科、 整形外科、眼科、神経精神科)
1964年11月	新築第二期工事完成 病床数323床(一般130、結核70、精神100、伝染23) 付設看護婦養成所開校(1991年3月閉所) 救急告示病院の指定
1965年	地方公営企業法適用(一部適用)
1970年5月	有志で託児を開始(市役所別館)
1991年	医療事務業務の委託開始
1992年	伝染病床、精神病床を閉鎖し、一般病床255床となる
1993年	脳神経外科、循環器科開設
1993年10月	病院託児所「ひまわり園」を開設
1994年	訪問看護ステーション併設、橋本市介護支援センター併設、 健診センター(人間ドック)開設
1995年	看護基準2.5対1(13対1)の届出
1996年	泌尿器科開設、眼科の常勤化
1997年	麻酔科開設 地域災害拠点病院に指定
1999年	物品管理システムの導入(3月)、給食業務の全面委託(4月)
2000年	(橋本市) 歯科保健センター開設
2001年	院外処方完全実施(11月)、ナースキャップの廃止(11月)
2003年4月	地域医療連携室開設 院内託児所で給食を開始(病院給食委託業者に依頼)
2003年11月	臨床研修病院(管理型)に指定
2004年4月	地方公営企業法全部適用(市長が管理者を兼務)
2004年10月	放射線科の常勤医化
2004年11月	橋本市小峰台に許可病床数300床(稼働250床)で新築移転(11月) 病院名を「橋本市民病院」に改名 訪問看護ステーション・健診センター・歯科保健センターは併設継続、橋本市介護支 援センターは併設せず、東家地区で継続 院内託児所「ひまわり園」リニューアル
2005年1月	院内託児所において24時間保育を開始
2005年10月	病院事業管理者を設置
2006年3月	DPC(診断群分類包括評価)対象病院の許可(厚生労働省)
2006年4月	心臓血管外科、呼吸器科(4月)、循環器センターの開設(4月) 看護基準10対1看護の届出 女性専門外来、女性泌尿器外来、男性更年期外来開設

2006年6月	乳腺・呼吸器外科開設
2006年7月	DPCによる包括診療開始 和歌山県立医科大学第二病理教室より病理医派遣 (毎週水曜日：病理診断開始)
2006年9月	皮膚科外来診療科開始
2006年11月	日本医療機能評価機構の認定病院となる
2007年1月	がん診療連携拠点病院に指定
2007年3月	地域包括医療・ケア認定施設に認定
2007年7月	5階東病棟30床稼働（うち亜急性期病床20床）
2008年4月	5階東病棟20床稼働（300床フルオープン）
2008年5月	急性期病床288床、亜急性期病床12床に変更
2008年8月	病理診断科開設（常勤病理医着任）
2009年4月	皮膚科常勤化、耳鼻咽喉科の非常勤体制に変更
2009年6月	臨床研修病院（基幹型）の返上 和歌山県立医科大学の協力型として継続
2009年8月	呼吸器内科常勤医2名退職し、非常勤体制に変更
2009年9月	和歌山県立医科大学より内科地域枠常勤医師の派遣（2010.3月まで）
2009年10月	眼科常勤医師2名体制
2010年1月	5階東病棟閉鎖（稼働病床数250床）、亜急性期病床の廃止 呼吸器内科常勤化（近畿大学医学部より常勤医赴任）
2010年2月	和歌山DMAT指定病院に指定
2011年4月	腎臓内科の開設 5階東病棟の再開、3階東病棟を産婦人科病棟に変更し46床から20床に減床 (稼働病床数274床：うち亜急性期病床8床) (医療安全管理部、医療安全管理室の開設)
2011年7月	病院敷地内禁煙の実施 禁煙外来の実施
2011年9月	基幹型臨床研修病院の指定
2012年1月	日本医療機能評価機構認定更新 Ver. 6 (認定期間2011.11.20～2016.11.19)
2013年2月	医療情報システムの更新
2013年7月	医療安全管理部、医療安全管理室と独立して医療安全管理部、感染管理室を開設
2013年10月	診療技術部 超音波検査室を開設 HCU6床開設、地域包括ケア病棟開設 (稼働病床数280床：うちHCU6床、地域包括ケア病棟50床) 救急科の開設、診療情報部を開設
2014年9月	リハビリテーション科を東館に新設・移転
2015年4月	へき地医療拠点病院に指定 (稼働病床数300床：うちHCU6床、地域包括ケア病棟50床)
2016年4月	卒後臨床研修センター開設、総合内科の開設
2016年12月	内視鏡センター開設
2017年4月	腫瘍内科の開設
2017年8月	血液内科の開設
2018年4月	血管内治療センター開設、地域医療部に入退院支援室を開設
2019年3月	乳腺・呼吸器外科常勤医2名退職し、非常勤体制に変更
2020年1月	病院マイクロバスの運行停止
2020年4月	リウマチ・膠原病科の開設

病院の概要

施設名	橋本市民病院
開設者	橋本市長
管理者	橋本市病院事業管理者
所在地	和歌山県橋本市小峰台二丁目8番地の1
開設年月日	1963年11月18日
診療科	総合内科、消化器内科、代謝内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、乳腺・呼吸器外科、心臓血管外科、病理診断科、救急科、心療内科（休診中）
橋本市人口	62,206人（2020年3月31日現在）
地方公営企業法適用	1965年4月1日
指定及び指定医療機関	保険医療機関、救急告示病院、労災保険指定病院、生活保護法指定医療機関 母体保護法医療機関、未熟児養育指定医療機関、原爆被害者一般疾病指定医療機関 妊婦一般健康診査取扱機関、国民健康保険療養取扱機関、結核予防指定医療機関 地域災害拠点病院、小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院 特定疾患治療研究事業指定病院、指定自立支援医療機関、日本医療機能評価機構認定病院 地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院、助産施設、公害医療機関 産科医療補償制度加入機関、地域包括医療・ケア認定施設、日本がん治療認定研修施設 和歌山 DMAT 指定病院、基幹型臨床研修病院、へき地医療拠点病院
学会認定施設	日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本内科学会認定教育関連施設 日本高血圧学会専門医認定施設、日本消化器病学会専門医認定施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本整形外科学会専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設 日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本口腔外科学会専門医研修機関 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設 日本脳神経外科学会専門医プログラム研修施設、日本呼吸器学会認定施設 日本呼吸器外科学会認定修練施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医研修施設 日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌学会認定医・専門医認定関連施設 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設、日本病理学会研修登録施設 日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設、日本手外科学会基幹研修施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院、マンモグラフィ検診施設、呼吸器外科学会関連施設 日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本麻酔科学会認定専門医研修施設 日本脈管学会認定研修関連施設

許可病床数

病棟	病床数
3階西病棟	54床
3階東病棟	40床
4階西病棟	50床
4階東病棟	50床
5階西病棟	50床
5階東病棟（地域包括ケア病棟）	50床
HCU病棟	6床
合計	300床

施設の概況

地域・地区	第一種中高層住居専用地区
防火地域	指定なし
法 22 条地域	指定あり
日影規制	4 時間 / 2.5 時間 測定面積 4 m
敷地面積	43,904.08m ²

本館

建築面積		6,894.80m ²
延床面積	6 階	378.18m ²
	5 階	2,894.00m ²
	4 階	2,894.00m ²
	3 階	3,051.61m ²
	2 階	2,931.13m ²
	1 階	5,882.99m ²
	地 階	3,975.95m ²
	計	22,007.86m ²
階数		地下 1 階 地上 6 階
構造		鉄筋コンクリート造 (免震構造)
高さ		最高高さ 22.98m 軒の高さ 29.50m
駐車台数	総数	674 台
	① 一般用(うち身体障害者用)	344 台 (15 台)
	② 職員用	330 台
部門別面積	(1) 病棟部門	8,659.59m ²
	H C U	352.35m ²
	(2) 外来部門	2,114.70m ²
	一般外来部	1,923.75m ²
	救急部	190.95m ²
	(3) 診療部門	3,389.10m ²
	検査部	789.96m ²
	放射線部	1,224.18m ²
	手術部	813.57m ²
	分娩部	180.02m ²
	特殊診療部	29.02m ²
	(4) 供給部門	2,702.24m ²
	薬剤部	206.40m ²
	材料滅菌室	211.89m ²
	給食室	389.78m ²
	洗濯室	25.04m ²
保管搬送室	313.95m ²	

部門別面積	機械室	1,555.18㎡
	(5) 管理部門	3,061.91㎡
	運営関係	1,929.21㎡
	講堂	318.81㎡
	厚生関係	813.89㎡
	(6) その他	2,080.32㎡
	健診センター	87.66㎡
	総合待合	495.37㎡
	地域医療・健康情報プラザ	43.60㎡
	地域医療部	192.69㎡
	その他	1,261.00㎡
合計	22,007.86㎡	

東館

建築面積		754.74㎡
延床面積	2 階	676.62㎡
	1 階	725.31㎡
	計	1,401.93㎡
階数		地上 2 階
構造		鉄筋造（耐震構造）
高さ		最高高さ 9.93m 軒の高さ 9.28m
部門別面積	(3) 診療部門	520.01㎡
	リハビリテーション部	520.01㎡
	(5) 管理部門	705.80㎡
	運営関係	705.80㎡
	(6) その他	176.12㎡
	その他	176.12㎡
合計		1,401.93㎡

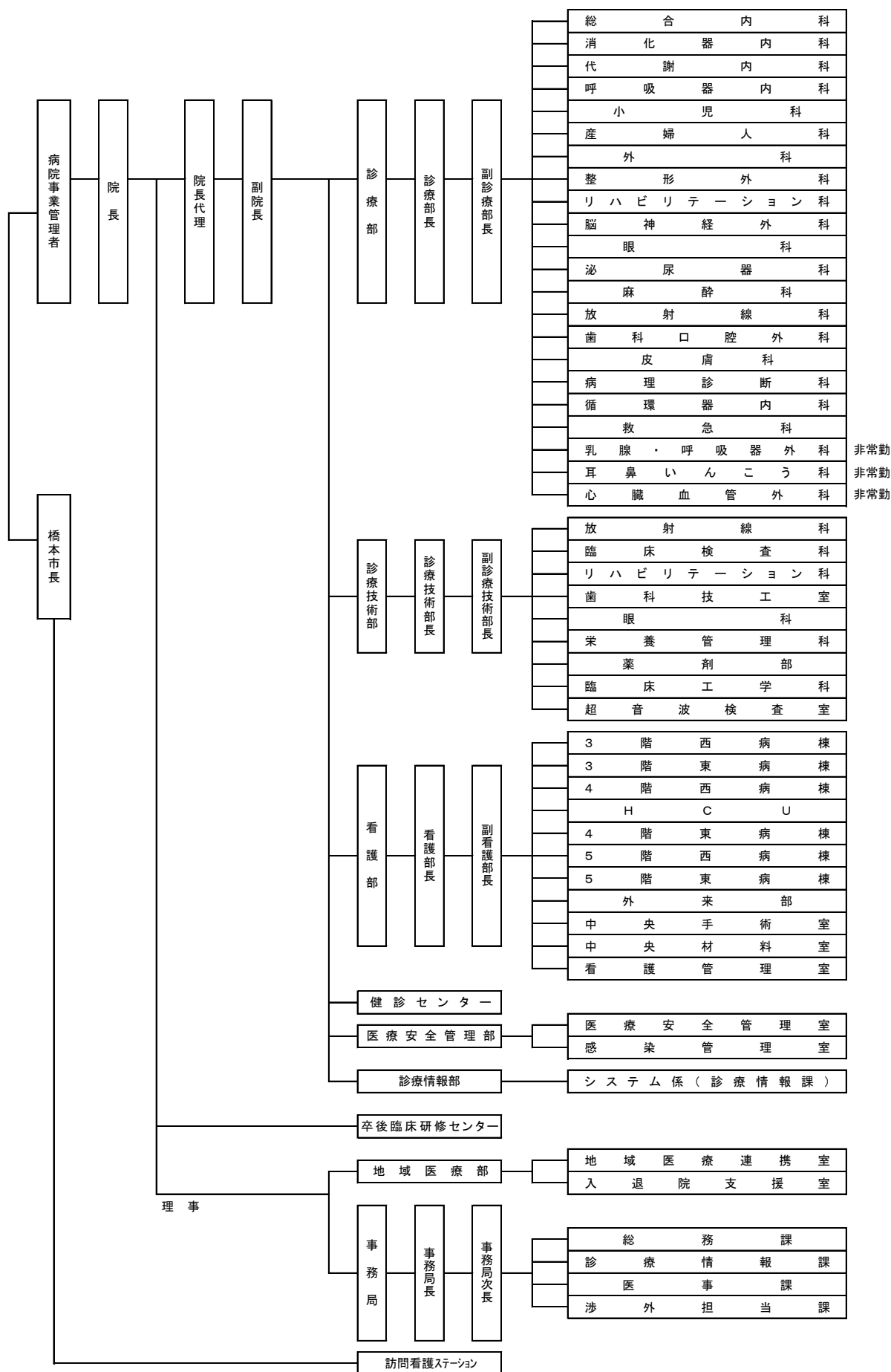
付帯設備概要 本館

(1) 電気設備	受電方式／常用・予備2回線受電方式 変圧器容量／4.825 K V A 予備電源／ガスタービン発電機、無停電電源装置 電池式 (M S E 型)
(2) 空調設備	空調方式／単一ダクト、V A V、外気処理空調機＋ ファンコイルユニット 空冷ヒートポンプ パッケージエアコン 熱 源／排熱投入型冷温水発生器×2台 ブラインチラー コージェネレーション発電機 185 K W × 2
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備 連結送水管設備 固定式泡消火設備 ハロン消火設備
(5) 昇降機	一般乗車4基、寝台用2基 (自家発管制運転) 人荷用4基 (内1基自家発管制運転) 小荷物用1基

東館

(1) 電気設備	予備電源／エンジン発電機、無停電電源装置
(2) 空調設備	空調方式／空冷ヒートポンプ パッケージエアコン
(3) 衛生設備	給水／加圧給水ポンプ方式 給湯／中央方式 排水／汚水、雑排水分流方式
(4) 防災設備	消火／スプリンクラー設備
(5) 昇降機	寝台用1基

病院組織図



職員数推移

(単位：人)

		2017年度		2018年度		2019年度	
		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
診療部	医師	47	41	49	44	48	46
	歯科医師	1	1	2	1	2	1
小計		48	42	51	45	50	47
看護部	看護師	170	30	169	33	167	31
	助産師	10	2	12	2	11	3
	准看護師	2	8	2	6	1	5
	看護助手等	0	40	0	39	0	40
小計		182	80	183	80	179	79
診療技術部	薬剤師	12	0	10	2	10	1
	放射線技師	10	1	10	1	10	1
	臨床検査技師	12	3	11	4	10	3
	超音波検査士	1	0	1	0	1	0
	理学療法士	23	0	23	0	23	0
	作業療法士	4	0	4	0	4	0
	言語聴覚士	3	0	3	0	4	0
	臨床工学技士	6	0	6	0	7	0
	管理栄養士	3	1	3	0	3	0
	歯科技工士	1	0	1	0	1	0
	歯科衛生士	0	3	0	2	0	4
	その他技師	0	3	0	3	0	3
小計		75	11	72	12	73	12
事務局	事務職員	19	27	21	31	21	31
	社会福祉士	5	0	5	0	4	0
	その他職員	0	11	0	10	0	12
小計		24	38	26	41	25	43
合計		329	171	332	178	327	181

毎年度3月31日現在(実人員数)

届出施設基準等一覧

2020年3月31日現在

基本診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
地域歯科支援病院歯科初診料		2018年4月1日	(病初診)第14号	
歯科外来診療環境体制加算2		2018年4月1日	(外来環2)第21号	
歯科診療特別対応連携加算		2018年4月1日	(歯特連)第7号	
オンライン診療料		2018年4月1日	(オン診)第3号	
急性期一般入院料4		2018年5月1日	(一般入院)第948号	
超急性期脳卒中加算		2008年4月1日	(超急性期)第5号	
診療録管理体制加算1		2014年5月1日	(診療録1)第9号	
医師事務作業補助体制加算1	50対1	2014年4月1日	(事補1)第4号	
急性期看護補助体制加算	50対1	2014年7月1日	(急性看護)第76号	
療養環境加算		2014年7月1日	(療)第457号	
栄養サポートチーム加算		2017年11月1日	(栄養チ)第25号	
医療安全対策加算1		2018年4月1日	(医療安全1)第67号	
医療安全対策地域連携加算1				
感染防止対策加算1		2018年4月1日	(感染防止1)第37号	
感染防止対策地域連携加算				
抗菌薬適正使用支援加算				
患者サポート体制充実加算		2013年3月1日	(患サポ)第38号	
ハイリスク妊娠管理加算		2009年4月1日	(ハイ妊婦)第35号	
ハイリスク分娩管理加算		2010年5月1日	(ハイ分娩)第19号	
総合評価加算		2018年4月1日	(総合評価)第31号	
呼吸ケアチーム加算		2017年6月1日	(呼吸チ)第6号	
後発医薬品使用体制加算1		2018年4月1日	(後発使1)第8号	
データ提出加算	2イ(200床以上の病院)	2014年10月1日	(データ提)第10号	
退院支援加算	1	2016年4月1日	(退支)第58号	
入退院支援加算1		2018年4月1日	(入退支)第113号	
入院時支援加算				
地域連携診療計画加算				
ハイケアユニット入院医療管理料		2014年5月1日	(ハイケア1)第1号	
小児入院医療管理料4		2015年8月1日	(小入4)第411号	
地域包括ケア病棟入院料2		2014年7月1日	(地包ケア1)第6号	
補助者配置加算		2014年11月1日	(地包ケア1)第18号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
糖尿病合併症管理料		2008年4月1日	(糖管)第4号	
がん性疼痛緩和指導管理料		2010年4月1日	(がん疼)第21号	
がん患者指導管理料イ		2011年5月1日	(がん力)第10号	
がん患者指導管理料ロ		2014年4月1日	(がん指2)第2号	
がん患者指導管理料ハ		2014年4月1日	(がん指3)第2号	
糖尿病透析予防指導管理料		2013年7月1日	(糖防管)第17号	
乳腺炎重症化予防ケア・指導料		2018年4月1日	(乳腺ケア)第3号	
地域連携夜間・休日診療料		2010年4月1日	(夜)第2号	
院内トリアージ実施料		2018年4月1日	(トリ)第16号	
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算		2018年4月1日	(救搬看護)第10号	
ニコチン依存症管理料		2011年7月1日	(ニコ)第153号	
療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算		2018年4月1日	(両立支援)第7号	
がん治療連携計画策定料		2010年7月1日	(がん計)第6号	
がん治療連携管理料1		2012年4月1日	(がん管)第2号	
肝炎インターフェロン治療計画料		2010年4月1日	(肝炎)第1号	
薬剤管理指導料		2006年3月1日	(薬)第435号	
地域連携診療計画管理加算		2016年4月1日	(地連計)第1号	
医療機器安全管理料1		2008年4月1日	(機安1)第19号	
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算	I	2016年4月1日	(医管)第55号	
在宅療養後方支援病院		2014年4月1日	(在宅病)第1号	
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		2018年4月1日	(遠隔酸素)第1号	
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算		2018年4月1日	(遠隔持続)第11号	
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)		2014年4月1日	(HPV)第8号	

特掲診療料の施設基準(届出)				
項目		受理日付	受理番号	備考
検体検査管理加算(Ⅰ)		2008年4月1日	(検Ⅰ)第468号	
検体検査管理加算(Ⅱ)		2008年4月1日	(検Ⅱ)第15号	
ヘッドアップディスプレイ試験		2016年1月1日	(ヘッド)第10号	
コンタクトレンズ検査料1		2009年4月1日	(コン1)第279号	
小児食物アレルギー負荷検査		2006年4月1日	(小検)第3号	
センチネルリンパ節生検1	併用法	2010年4月1日	(セ)第1号	
CT撮影及びMRI撮影	16列以上のマルチスライスCT	2012年4月1日	(C・M)第274号	
	MRI(1.5テスラ以上)	2012年4月1日	(C・M)第275号	
抗悪性腫瘍剤処方管理加算		2010年4月1日	(抗悪処方)第11号	
外来化学療法加算1		2017年1月1日	(外化1)第450号	
無菌製剤処理料		2008年4月1日	(菌)第420号	
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)		2016年4月1日	(心Ⅰ)第13号	
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)		2017年1月1日	(脳Ⅰ)第108号	
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)		2010年4月1日	(運Ⅰ)第114号	
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)		2006年4月1日	(呼Ⅰ)第88号	
がん患者リハビリテーション料		2011年5月1日	(がんリハ)第18号	
集団コミュニケーション療法料		2008年4月1日	(集コ)第17号	
歯科口腔リハビリテーション料2		2014年4月1日	(歯リハ2)第3号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1		2015年2月1日	(医処休)第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1		2015年2月1日	(医処休)第2号	
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1		2015年2月1日	(医処休)第2号	
口腔粘膜処置		2018年4月1日	(口腔粘膜)第69号	
レーザー機器加算		2018年4月1日	(手光機)第65号	
歯科技工加算		2010年4月1日	(歯技工)第85号	
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術	過活動膀胱に係るもの	2017年12月1日	(仙骨植交)第2号	
乳がんセンチネルリンパ節加算1	併用法	2019年9月1日	(乳セ1)第12号	
乳癌悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))		2016年8月1日	(乳腫)第4号	
食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔乳癌閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)		2018年4月1日	(穿瘻閉)第5号	
経皮的中隔心筋焼灼術		2020年2月1日	(経中)第9号	
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		2006年3月1日	(ペ)第412号	
大動脈バルーンパンピング法(ⅠABP法)		2006年3月1日	(大)第407号	
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術		2013年4月1日	(早大腸)第7号	
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍摘出術		2017年1月1日	(腹前)第6号	
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術		2006年3月1日	(腎)第406号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1		2015年2月1日	(医手休)第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1		2015年2月1日	(医手休)第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1		2015年2月1日	(医手休)第3号	
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術		2014年4月1日	(胃瘻造)第14号	※胃瘻造設術
輸血管理料Ⅱ		2012年9月1日	(輸血Ⅱ)第25号	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算		2012年10月1日	(造設前)第9号	
胃瘻造設時嚥下機能評価加算		2014年4月1日	(胃瘻造嚥)第6号	
麻酔管理料(Ⅰ)		2006年3月1日	(麻管1)第412号	
放射線治療専任加算		2014年3月1日	(放専)第414号	
外来放射線治療加算		2014年3月1日	(外放)第8号	
高エネルギー放射線治療		2010年4月1日	(高放)第434号	
1回線量増加加算		2014年4月1日	(増線)第3号	
病理診断管理加算1		2012年4月1日	(病理診1)第3号	
悪性腫瘍病理組織標本加算		2018年4月1日	(悪病組)第4号	
口腔病理診断管理加算1		2014年4月1日	(口病診1)第1号	
クラウン・ブリッジ維持管理料		2006年3月1日	(補管)第727号	

経営状況

(単位：千円)

科目	年度	2004年度 (平成16年度) (移転開設年度)	2009年度 (平成21年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度) 予算額
病院事業収益①		3,429,768	6,227,460	7,006,482	7,409,804	7,367,059	7,612,252	7,780,613	7,394,520	7,633,747
医業収益		3,128,080	5,478,757	6,227,436	6,623,296	6,590,838	6,805,643	7,000,592	6,601,594	6,793,445
入院収益		2,070,774	3,615,003	4,294,039	4,587,464	4,575,553	4,737,257	4,886,803	4,585,608	4,745,000
外来収益		840,087	1,392,571	1,563,996	1,671,288	1,676,299	1,737,326	1,782,960	1,694,017	1,705,374
その他医業収益		217,219	471,183	369,401	364,544	338,986	331,060	330,829	321,969	343,071
医業外収益		300,191	472,198	775,011	786,443	776,164	805,704	746,519	751,276	731,131
訪問看護収益		-	-	-	-	-	-	-	-	64,991
特別利益		1,497	276,505	4,035	65	57	905	33,502	41,650	44,180
病院事業費用②		4,972,217	6,533,493	6,888,215	7,312,963	7,506,585	7,600,554	7,764,277	7,662,237	7,696,921
医業費用		3,784,633	6,136,873	6,302,983	6,865,220	7,075,737	7,183,635	7,333,838	7,238,511	7,426,191
給与費		2,269,406	2,894,863	3,254,903	3,587,627	3,780,798	3,837,742	3,969,878	4,041,264	3,915,061
材料費		838,491	1,340,444	1,392,014	1,357,889	1,301,673	1,362,822	1,491,093	1,376,567	1,539,312
経費		619,620	909,645	1,036,176	1,297,699	1,357,291	1,316,145	1,269,849	1,238,850	1,402,028
減価償却費		50,127	983,281	607,284	605,920	618,468	649,261	588,208	564,904	549,867
その他医業費用		6,989	8,640	12,606	16,103	17,507	17,665	14,810	16,926	19,923
医業外費用		247,814	386,135	411,728	437,734	425,876	409,503	408,511	414,416	202,339
訪問看護費用		-	-	-	-	-	-	-	-	64,791
特別損失		939,770	10,485	173,504	10,009	4,972	7,416	21,928	9,310	3,600
差引①－②		△1,542,449	△306,033	118,267	96,841	△139,526	11,698	16,336	△267,717	△63,174
資本的収入③		6,989,142	570,255	68,900	276,243	259,900	116,827	409,495	396,757	471,761
資本的支出④		7,012,542	1,172,169	714,583	939,467	966,828	802,948	711,272	717,858	816,950
差引③－④		△23,400	△601,914	△645,683	△663,224	△706,928	△686,121	△301,777	△321,101	△345,189

備考：病院事業収益・費用は税抜き額、資本的収入・支出は税込み額

Ⅱ 医事統計

- ① 1日平均患者数（入院・外来）
- ② 新入院患者数 ・ 退院患者数
- ③ 平均在院日数 ・ 病棟別稼働率
- ④ 紹介率 ・ 逆紹介率
- ⑤ 救急搬送患者数
- ⑥ 橋本市消防本部・伊都消防搬送先状況
- ⑦ 医業収益（入院外来合計）
- ⑧ 科別収益（入院）
- ⑨ 科別収益（外来）
- ⑩ 診療科別単価
- ⑪ 行為別収益

① 1日平均患者数 (入院・外来)

● 1日平均患者数 (入院)

24時患者基準

(単位：人)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	33.7	34.8	43.5	42.9	32.3	25.9	31.3	29.4	20.4	30.0	28.8	30.0	26.3	28.0	32.8	35.1	34.7	29.4			
消内	10.9	13.8	9.9	12.7	18.2	14.7	11.3	16.4	13.8	12.5	13.0	15.2	13.7	14.5	10.7	13.9	9.7	13.3			
代内	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	2.1	5.4	9.0	4.7	4.7	4.5	7.4	3.7	4.2	8.1	4.0	2.4	5.0			
呼内	7.5	6.2	8.9	6.4	5.0	9.3	12.9	11.7	8.6	5.9	5.4	5.5	7.0	5.3	8.9	8.1	6.0	7.9			
循内	42.7	45.6	41.3	52.4	54.0	52.5	48.9	51.2	45.4	51.8	42.1	43.1	46.9	50.4	46.1	46.6	46.4	47.6			
外科	39.6	38.7	32.4	34.4	36.5	35.6	34.3	36.7	35.0	31.9	31.8	31.0	38.9	40.2	34.8	33.7	33.1	34.7			
整形	47.1	43.8	45.2	49.9	39.5	33.0	36.0	27.7	36.6	43.1	49.9	55.2	48.4	46.4	57.8	54.8	44.1	44.4			
脳外	26.7	25.7	29.0	26.1	27.3	27.0	24.5	20.1	22.9	26.0	23.6	20.8	23.2	23.3	27.3	21.4	20.3	23.4			
乳腺	9.3	9.7	13.9	16.6	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
心外	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
泌尿	5.8	9.1	11.4	10.0	10.2	7.5	9.5	8.0	11.1	11.3	9.7	9.5	11.2	9.2	7.5	9.8	7.6	9.3			
皮膚	0.9	0.2	0.0	0.0	0.8	0.6	0.2	0.9	1.5	1.2	0.3	0.0	0.6	0.8	0.1	0.7	0.0	0.6			
眼科	3.0	3.2	2.8	3.0	3.0	2.8	3.2	3.9	3.5	3.5	2.9	3.5	2.2	2.7	3.3	2.8	3.9	3.2			
放射	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.2	0.0	0.4	0.9	0.3	0.0	1.0	1.0	0.4			
耳鼻	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
小児	3.8	3.5	3.5	3.8	3.5	4.5	3.1	3.2	2.8	3.1	5.0	4.8	2.3	3.3	2.3	2.3	1.6	3.2			
産婦	19.9	22.4	20.4	20.9	20.0	22.7	21.1	19.9	17.7	21.1	21.7	17.0	19.0	20.3	23.9	23.8	19.8	20.7			
救急	1.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.5	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.2			
歯科	2.7	3.0	1.6	3.1	3.4	3.9	1.3	1.3	2.1	1.7	1.2	1.0	1.6	1.2	2.3	2.4	2.1	1.8			
リハ	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計	255.5	259.9	264.0	282.1	258.8	242.2	243.5	239.5	227.6	248.2	240.1	244.4	246.3	250.2	266.1	260.3	232.9	245.0			
退院含	272.6	276.9	279.4	300.4	275.9	259.2	259.1	256.3	244.4	264.5	256.5	260.1	262.4	266.9	281.5	276.6	247.8	261.2			

● 1日平均患者数 (外来)

(単位：人)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	40.4	35.9	51.6	43.2	36.8	29.2	31.5	32.8	30.5	33.8	33.4	31.0	31.1	34.2	38.8	31.6	26.2	31.9			
消内	19.5	23.1	25.3	26.4	23.2	25.6	25.1	24.8	26.5	24.1	26.5	25.8	23.9	28.1	24.3	24.4	21.5	25.0			
代内	23.5	23.2	24.5	23.4	22.9	27.0	28.1	25.8	27.5	28.4	28.7	29.8	28.2	29.3	32.8	30.7	26.7	28.5			
呼内	25.4	26.8	27.8	26.8	27.8	27.3	27.9	25.4	24.1	25.0	25.1	26.2	25.1	23.7	26.3	26.4	23.7	25.5			
循内	50.7	50.7	57.6	49.5	48.9	52.9	53.9	48.5	47.8	48.6	52.7	50.9	49.5	53.6	53.7	50.0	45.3	50.5			
外科	31.9	30.4	31.5	28.1	32.0	31.3	34.3	30.6	30.6	31.4	33.1	33.1	27.0	31.3	34.3	30.6	29.4	31.4			
整形	83.6	77.2	81.2	75.0	79.5	80.9	80.4	77.7	82.3	82.0	81.7	77.9	75.6	79.6	86.5	82.9	77.8	80.4			
脳外	38.4	39.3	41.1	38.9	38.1	43.6	39.2	38.4	38.6	33.4	39.0	39.6	36.3	37.3	39.6	37.3	36.2	38.2			
乳腺	12.7	11.6	11.9	8.3	10.9	6.9	6.4	5.9	4.7	6.2	6.2	6.5	5.7	5.6	4.3	4.8	4.8	5.7			
心外	4.0	3.0	3.0	2.8	2.8	2.7	2.0	3.4	2.6	2.0	3.6	3.2	2.5	2.5	3.1	2.7	3.0	2.8			
泌尿	58.5	61.3	69.2	59.6	64.8	65.4	68.8	60.9	61.3	56.7	64.2	60.0	59.6	62.4	68.8	55.2	60.5	61.9			
皮膚	24.3	24.8	23.1	24.2	26.7	24.2	26.3	23.8	25.0	26.1	26.4	25.1	22.9	23.8	24.1	21.4	19.4	24.0			
眼科	46.6	45.2	46.0	42.4	45.9	43.7	44.4	46.0	44.0	46.1	50.3	46.6	42.6	48.3	46.3	41.6	42.4	45.2			
放射	10.1	9.6	11.7	17.6	14.7	10.2	7.9	10.6	8.6	6.0	5.8	6.2	9.1	11.3	5.6	7.6	11.5	8.4			
耳鼻	20.0	21.5	21.9	21.9	22.4	22.2	21.3	22.0	20.8	19.9	20.1	20.2	18.4	18.6	19.3	18.4	17.9	19.9			
麻酔	0.0	0.4	1.3	1.3	2.0	1.9	1.4	2.0	1.5	2.3	1.4	0.9	2.0	1.0	1.4	1.4	1.3	1.5			
小児	42.6	37.5	47.1	35.1	40.7	42.7	39.6	34.0	36.5	29.7	35.7	32.4	31.8	35.0	37.3	29.7	20.0	33.6			
産婦	35.5	34.6	38.4	36.3	38.0	36.3	35.6	34.1	37.6	36.3	37.3	40.0	34.1	37.7	38.3	36.6	32.3	36.3			
救急	6.7	6.9	8.8	5.5	5.2	7.4	7.0	5.5	9.5	9.7	9.2	9.7	8.9	8.2	11.1	7.6	6.4	8.3			
歯科	23.1	22.3	22.6	24.1	25.9	23.6	26.9	28.4	22.6	26.8	24.8	22.1	23.4	24.2	22.7	21.2	21.4	24.0			
リハ	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.4	0.2	0.5	0.1			
合計	597.8	585.5	645.6	590.3	608.7	604.6	607.9	580.0	582.6	574.7	605.1	587.5	557.4	595.4	618.9	562.3	528.1	583.2			

● 全入院患者数

(単位：人)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	58.7	54.8	72	57	53	44	49	54	42	51	40	53	38	52	64	49	43	48.3			
消内	37.8	49.8	44	50	47	41	32	44	48	42	47	47	54	45	40	50	47	44.8			
代内	0.2	0.3	0	0	0	6	14	24	12	10	14	19	10	6	12	9	6	11.8			
呼内	15.3	11.2	10	11	14	19	19	9	12	7	7	16	9	17	16	6	12	12.4			
循内	66.4	66.6	75	63	69	75	65	70	61	75	44	59	52	74	67	52	76	64.2			
外科	70.1	64.9	48	57	73	56	63	66	69	54	68	68	71	75	49	49	68	63.0			
整形	62.9	58.8	57	51	49	46	55	42	78	70	55	51	46	72	72	45	52	57.0			
脳外	35.1	40.1	42	36	42	48	32	35	37	37	32	39	41	37	34	31	31	36.2			
乳腺	21.0	17.3	26	17	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
心外	0.8	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	33.3	42.2	49	45	44	36	45	42	44	38	39	43	36	42	33	37	39	39.5			
皮膚	1.0	0.4	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0.5			
眼科	35.1	31.9	25	27	28	29	36	36	36	38	43	31	26	32	35	27	39	34.0			
放射	0.1	0.2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0.3			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	23.7	25.7	33	30	22	39	26	23	23	20	34	35	19	27	16	11	12	23.8			
産婦	43.9	43.8	60	43	38	45	49	45	43	55	46	47	37	37	53	42	44	45.3			
救急	6.3	2.2	2	3	4	4	5	2	10	4	7	2	8	2	9	1	4	4.9			
歯科	8.1	8.1	5	11	12	8	6	6	8	10	5	6	6	5	9	10	6	7.1			
リハ	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	519.7	518.2	548	501	496	496	497	499	525	512	481	517	455	523	511	421	479	493.0			

● 全退院患者数

(単位：人)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	55.1	54.5	60	62	58	36	47	57	42	42	43	49	49	47	68	57	55	49.3			
消内	41.1	49.8	43	53	48	48	37	48	45	38	43	49	50	49	32	50	36	43.8			
代内	0.2	0.3	0	0	0	3	7	19	11	7	11	14	11	4	10	11	4	9.3			
呼内	17.5	13.3	10	16	16	13	22	9	20	9	14	14	14	14	13	16	12	14.2			
循内	70.8	73.3	69	64	79	86	68	74	78	81	47	69	53	82	67	66	71	70.2			
外科	78.0	72.5	58	58	77	68	67	66	80	67	79	64	86	76	60	62	68	70.3			
整形	40.6	35.5	26	35	39	19	37	33	54	47	36	29	42	41	40	28	37	36.9			
脳外	34.8	38.0	32	39	41	58	35	31	32	37	32	38	36	33	36	36	28	36.0			
乳腺	22.6	19.5	21	20	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.8	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	33.3	41.8	44	43	44	44	38	45	42	37	44	41	37	52	27	35	44	40.5			
皮膚	1.2	0.3	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	1	0	2	0	0.8			
眼科	35.1	31.9	17	27	36	29	36	36	28	46	37	28	35	32	35	27	38	33.9			
放射	0.0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0.3			
耳鼻	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	27.3	28.5	37	31	24	39	29	23	27	21	38	37	22	30	18	15	13	26.0			
産婦	48.5	51.0	55	53	46	49	55	53	47	58	60	50	37	51	57	54	50	51.8			
救急	5.2	0.8	2.0	2.0	1.0	2	1	3	4	2	3	2	5	1	4	1	0	2.3			
歯科	8.1	7.7	3	11	7	14	5	7	9	9	6	4	7	4	8	11	6	7.5			
リハ	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	520.0	518.7	477	514	529	509	485	504	520	504	494	488	485	518	475	471	462	492.9			

③ 平均在院日数・病棟別稼働率

● 実際の平均在院日数(単純計算)

(単位:日)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	18.0	19.4	20.4	20.2	18.0	19.4	20.2	15.9	15.0	20.0	20.8	18.2	18.2	17.5	15.4	19.2	21.9	18.4			
消内	8.4	8.5	7.1	6.9	11.9	9.9	10.1	10.7	9.2	9.7	8.6	9.8	7.9	9.6	9.3	8.0	7.3	9.1			
代内	32.0	6.6	-	-	-	14.0	16.0	12.5	12.8	17.1	10.8	13.9	10.6	26.0	22.7	11.5	15.0	14.5			
呼内	13.9	15.5	27.7	13.2	10.4	17.4	19.6	39.0	16.8	22.9	15.3	11.3	18.2	10.6	19.0	21.4	15.6	18.1			
循内	18.9	19.9	17.8	23.1	22.6	19.6	22.8	21.3	20.3	20.6	27.8	20.9	26.8	20.0	21.3	22.9	19.6	21.6			
外科	16.3	17.1	19.0	16.7	15.1	17.2	16.4	16.7	14.6	16.3	13.0	14.6	14.9	16.5	19.8	17.6	15.1	15.9			
整形	27.7	28.2	33.7	32.5	27.9	30.5	24.3	22.2	17.2	22.8	32.9	42.8	33.0	25.5	32.0	43.6	30.7	28.9			
脳外	23.3	20.0	24.3	19.5	20.4	15.3	22.7	18.2	20.6	21.8	22.1	16.8	18.1	20.6	24.2	18.6	21.4	19.8			
乳腺	12.9	16.0	18.4	25.1	23.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0			
泌尿	5.3	6.6	7.6	6.3	7.2	5.7	7.1	5.5	8.0	9.3	7.0	7.0	9.2	6.1	7.8	7.9	5.7	7.1			
皮膚	24.7	20.0	-	-	52.0	34.0	7.0	52.0	94.0	25.3	16.0	-	38.0	50.0	6.0	14.0	-	28.1			
眼科	2.6	3.1	4.1	3.1	2.9	2.9	2.8	3.2	3.4	2.6	2.2	3.6	2.1	2.6	2.9	3.0	3.2	2.9			
放射	2.0	20.0	-	-	-	-	-	-	54.0	14.0	-	22.0	28.0	16.0	2.0	-	-	40.6			
小児	4.5	3.9	3.1	3.4	4.8	3.4	3.5	4.2	3.5	4.6	4.1	4.1	3.4	3.5	4.2	5.1	4.1	3.9			
産婦	13.1	14.3	11.0	12.2	14.8	14.5	12.6	12.2	12.2	11.6	12.3	10.8	15.4	14.3	13.5	14.4	13.1	13.0			
救急	5.9	1.3	1.0	0.8	1.2	1.0	3.7	1.6	2.4	1.7	1.8	2.0	1.5	5.3	1.4	1.3	1.0	1.9			
歯科	10.1	11.6	12.3	7.9	10.9	10.7	7.1	6.2	7.8	5.7	6.4	6.4	7.4	8.4	8.2	6.7	10.8	7.7			
合計	15.0	15.2	16.0	15.6	15.7	14.5	15.4	14.3	13.5	15.1	14.8	15.1	15.7	14.9	16.7	16.9	15.3	15.2			

● 施設基準上の平均在院日数

(単位:日)

	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
単月	13.6	14.0	14.3	14.6	14.5	13.8	14.7	13.2	12.9	14.8	14.1	15.2	16.0	15.0	16.2	16.1	14.3	14.7			
直近3か月			13.8	14.0	14.5	14.1	14.3	13.9	13.6	13.6	13.9	14.7	15.1	15.4	15.7	15.8	15.5				

※ 健康保険適用のみ 通知別表2に該当する患者を除く

● 稼働率

(単位:%)

診療科	病棟数	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
3階西	54	87.4	84.4	85.1	93.9	81.8	78.0	78.7	84.8	67.9	73.7	64.3	73.1	80.0	76.2	82.3	80.8	70.7	75.8			
3階東	40	69.1	74.9	74.3	87.5	76.7	70.8	67.7	67.1	60.9	68.5	67.0	72.8	62.5	67.7	72.2	77.8	63.1	68.1			
4階西	50	89.1	87.4	86.0	95.1	85.3	82.7	84.3	83.6	70.1	86.8	81.6	79.0	78.7	83.9	90.0	85.2	80.8	82.2			
4階東	50	84.2	86.5	90.2	93.2	85.7	72.5	72.2	62.1	72.0	79.5	88.1	82.6	81.5	86.6	95.2	91.2	75.7	79.9			
5階西	50	79.6	85.8	91.6	93.4	89.0	79.3	81.7	79.9	82.2	85.5	77.5	80.1	86.2	83.5	90.5	86.0	73.9	82.2			
5階東	50	98.8	99.6	99.7	99.9	99.7	99.5	99.9	99.7	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0	99.8	99.9	99.9	99.9	99.9			
HCU	6	80.6	78.2	76.3	92.3	69.4	80.0	80.1	69.4	74.7	86.0	82.8	82.3	81.1	84.4	83.3	73.6	70.4	79.1			
全体	300	85.2	86.6	88.0	94.0	86.3	80.7	81.2	79.8	75.9	82.7	80.0	81.5	82.1	83.4	88.7	86.8	77.6	81.7			

● 紹介率

(単位：%)

項目	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,477	1,394	1,437	1,286	1,456	1,323	1,348	1,396	1,512	1,477	1,335	1,362	1,282	1,335	1,117	1,016	1,045	1,295.7			
紹介	334	353	320	339	365	367	384	403	449	348	393	418	335	399	346	320	345	375.6			
紹介率	22.6	25.3	22.3	26.4	25.1	27.7	28.5	28.9	29.7	23.6	29.4	30.7	26.1	29.9	31.0	31.5	33.0	29.0			

● 逆紹介率

(単位：%)

項目	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	1,477	1,394	1,437	1,286	1,456	1,323	1,348	1,396	1,512	1,477	1,335	1,362	1,282	1,335	1,117	1,016	1,045	1,295.7			
提供書	644	641	618	586	716	641	570	595	698	633	628	614	614	611	579	551	587	610.1			
逆紹介率	43.6	46.0	43.0	45.6	49.2	48.5	42.3	42.6	46.2	42.9	47.0	45.1	47.9	45.8	51.8	54.2	56.2	47.1			

● 初診算定患者数（救急、時間外を除く）

(単位：人)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	154	152	237	155	136	135	130	152	140	161	147	136	150	163	127	116	121	139.8			
消内	22	27	23	31	25	18	22	23	26	33	32	33	33	31	22	21	17	25.9			
代内	3	3	2	3	3	6	12	11	10	9	10	13	7	6	5	3	9	8.4			
呼内	10	12	17	10	11	13	9	12	10	21	6	17	9	3	7	13	5	10.4			
循内	60	58	56	48	50	41	49	64	62	60	42	61	57	55	54	48	55	54.0			
外科	37	33	32	30	45	31	47	43	30	31	39	37	33	24	32	19	38	33.7			
整形	151	147	122	122	138	122	155	143	182	158	149	134	125	131	106	80	83	130.7			
脳外	64	62	55	72	54	58	48	67	56	47	44	50	49	44	53	52	57	52.1			
乳腺	24	21	19	12	15	7	4	10	9	17	14	12	10	7	6	2	7	8.8			
心外	7	5	3	2	5	3	2	10	9	3	6	6	1	4	6	2	2	4.5			
泌尿	56	54	48	59	63	59	56	47	55	50	52	49	53	53	58	51	55	53.2			
皮膚	65	66	46	49	71	61	85	81	89	121	70	46	63	67	50	49	56	69.8			
眼科	71	74	72	68	73	70	69	88	87	68	82	82	57	61	75	58	48	70.4			
放射	44	47	40	37	54	56	53	52	60	38	64	64	52	60	41	35	50	52.1			
耳鼻	40	43	33	46	56	36	46	43	44	49	31	55	39	37	27	30	30	38.9			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	454	376	406	313	411	345	302	302	363	313	321	339	323	348	255	246	219	306.3			
産婦	79	74	82	69	83	78	71	74	107	87	81	78	68	85	62	69	49	75.8			
救急	41	45	50	38	25	48	33	41	69	73	45	53	54	51	36	39	33	47.9			
歯科	95	97	94	122	138	136	155	133	104	138	100	97	99	105	94	83	111	112.9			
リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1			
合計	1,477	1,394	1,437	1,286	1,456	1,323	1,348	1,396	1,512	1,477	1,335	1,362	1,282	1,335	1,117	1,016	1,045	1,295.7			

● 紹介患者

(単位：人)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	21	23	19	26	28	20	14	22	13	18	17	21	16	28	11	22	16	18.2			
消内	20	22	17	31	16	13	18	18	21	21	20	23	19	20	16	15	12	18.0			
代内	3	2	2	2	2	5	7	11	9	7	7	12	5	4	4	2	5	6.5			
呼内	6	8	13	4	8	8	6	9	6	8	6	12	5	2	4	10	4	6.7			
循内	39	39	38	33	34	23	27	32	32	25	22	35	28	38	37	32	32	30.3			
外科	27	27	22	20	32	25	34	28	21	23	27	25	26	17	24	15	29	24.5			
整形	48	44	33	46	45	32	46	39	62	37	43	49	24	37	38	24	20	37.6			
脳外	21	24	23	23	29	14	15	22	15	13	9	20	20	11	24	18	17	16.5			
乳腺	8	6	5	4	1	3	0	1	3	2	1	1	2	0	0	1	2	1.3			
心外	6	4	2	1	4	3	2	7	7	3	4	4	0	4	5	2	1	3.5			
泌尿	22	25	24	26	23	28	28	26	29	15	28	23	19	28	31	27	29	25.9			
皮膚	6	6	7	4	8	1	4	11	9	15	5	10	6	11	6	6	6	7.5			
眼科	22	27	26	19	23	25	22	25	29	21	38	32	18	30	28	20	23	25.9			
放射	38	42	38	37	50	52	52	45	55	33	59	55	47	57	34	31	48	47.3			
耳鼻	7	8	6	11	7	6	14	7	13	12	10	8	12	12	5	9	8	9.7			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	14	14	9	18	13	11	8	14	19	4	19	14	9	18	5	8	13	11.8			
産婦	20	22	27	22	22	20	12	21	32	28	22	21	20	20	17	19	19	20.9			
救急	5	6	4	3	4	13	3	3	9	11	8	9	7	10	7	9	6	7.9			
歯科	36	39	38	42	56	65	72	62	65	52	48	44	52	52	49	50	55	55.5			
リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1			
合計	367	388	353	372	405	367	384	403	449	348	393	418	335	399	346	320	345	375.6			

⑤ 救急搬送患者数

● 救急車受入件数

(単位：件)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	39.3	38.9	54	59	34	18	30	37	32	37	26	26	20	29	49	20	28	29.3			
消内	6.2	13.0	10	11	15	9	11	22	8	18	9	13	19	15	14	14	16	14.0			
代内	0.0	0.0	0	0	0	5	3	9	10	5	5	7	8	3	11	7	3	6.3			
呼内	1.3	1.0	1	1	1	3	2	1	1	0	1	1	1	4	2	0	2	1.5			
循内	31.3	31.1	29	27	33	39	28	32	22	40	25	26	29	49	27	18	35	30.8			
外科	13.1	15.2	10	7	24	12	8	6	4	7	13	15	15	8	12	9	15	10.3			
整形	29.3	28.3	33	21	19	26	25	16	29	30	26	23	22	36	35	25	31	27.0			
脳外	23.8	26.3	23	22	29	26	23	24	16	21	17	25	24	28	22	21	22	22.4			
乳腺	4.2	3.3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
心外	0.3	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
泌尿	2.8	5.9	8	6	3	7	9	6	9	3	4	2	12	6	3	4	5	5.8			
皮膚	0.0	0.2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
眼科	0.0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
放射	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
耳鼻	0.1	0.1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
麻酔	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
小児	7.1	8.1	14	7	7	5	8	10	5	6	8	5	7	10	8	4	4	6.7			
産婦	1.3	1.7	4	1	0	1	0	2	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0.8			
救急	33.2	33.3	41	28	26	44	31	19	36	29	37	38	41	41	44	29	33	35.2			
歯科	0.0	0.2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
リハ	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
合計	193.1	206.6	230	194	193	195	178	184	173	196	173	182	198	230	228	152	195	190.3			

● 救急別受入件数

(単位：件)

搬送元	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
橋本	112.0	120.4	124	115	112	112	102	102	104	120	109	113	119	153	127	91	115	113.9			
伊都	47.7	51.0	58	48	52	54	42	55	32	33	38	42	48	48	59	42	49	45.2			
高野	8.0	9.9	12	3	4	10	8	6	3	10	6	7	5	6	6	2	6	6.3			
那賀	2.6	1.5	4	1	4	2	3	2	0	0	1	1	1	0	1	2	3	1.3			
医大	0.3	0.1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1			
近大	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
長野	0.5	0.2	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0.4			
堺	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
五条	17.6	16.8	27	21	15	11	15	13	25	27	16	17	20	21	31	6	14	18.0			
野迫川	0.3	0.8	3	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	0	1	2	1	0.8			
その他	3.3	4.8	0	5	6	1	4	2	6	1	1	0	3	0	3	5	4	2.5			
Dへリ	0.9	1.2	2	0	0	3	3	4	3	1	1	1	1	1	0	2	3	1.9			
合計	193.1	206.6	230	194	193	195	178	184	173	196	173	182	198	230	228	152	195	190.3			

● 橋本市消防収容率

(単位：%)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	181.9	189.5	209	185	185	181	165	162	170	187	166	171	202	256	196	143	177	181.3			
収容件数	112.0	120.4	124	115	112	112	102	102	104	120	109	113	119	153	127	91	115	113.9			
収容率	61.6	63.5	59.3	62.2	60.5	61.9	61.8	63.0	61.2	64.2	65.7	66.1	58.9	59.8	64.8	63.6	65.0	62.8			

● 伊都消防収容率

(単位：%)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
発生件数	146.3	152.9	170	133	153	150	138	152	135	147	156	145	164	166	166	117	115	145.9			
収容件数	47.7	51.0	58	48	52	54	42	55	32	33	38	42	48	48	59	42	49	45.2			
収容率	32.6	33.4	34.1	36.1	34.0	36.0	30.4	36.2	23.7	22.4	24.4	29.0	29.3	28.9	35.5	35.9	42.6	31.0			

● 橋本市消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	2018年度 平均	2019年			2019年									2020年			2019年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
橋本市民病院	120.4	124	115	112	112	102	102	104	120	109	113	119	153	127	91	115	113.9
紀和病院	25.3	32	26	29	26	19	22	22	20	25	16	25	39	29	21	27	24.3
山本病院	14.7	23	13	12	12	9	6	13	17	13	11	12	16	9	4	9	10.9
紀北分院	4.8	3	4	1	3	7	5	3	5	3	4	9	20	6	11	5	6.8
和歌山医大	4.4	4	2	5	3	4	6	4	0	0	8	6	5	6	4	7	4.4
日赤和歌山	1.1	5	0	0	1	2	2	2	3	3	2	4	1	1	4	1	2.2
和歌山県他	7.1	6	14	10	7	12	10	7	6	2	7	8	6	7	2	6	6.7
近大病院	6.8	5	6	9	12	7	6	10	9	4	6	11	9	5	3	5	7.3
大阪府他	3.3	3	3	4	5	2	2	5	6	7	3	7	3	4	0	2	3.8
奈良県	1.7	4	2	3	0	1	1	0	1	0	1	1	4	2	3	0	1.2
合計	189.5	209	185	185	181	165	162	170	187	166	171	202	256	196	143	177	181.3

● 橋本消防本部搬送先状況

(単位: 件)

診療科・区分	2018年度 平均	2019年			2019年									2020年			2019年度 平均	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	発生	66.0	80	78	68	48	54	61	72	66	58	64	62	90	78	56	50	63.3
	収容	29.8	26	39	29	21	23	35	33	30	26	30	23	30	35	22	26	27.8
外科	発生	13.2	14	14	10	10	12	8	5	11	11	16	12	7	8	6	9	9.6
	収容	8.8	12	4	7	4	3	2	0	4	7	5	8	3	5	2	6	4.1
小児	発生	7.3	10	9	5	8	7	10	2	8	9	5	7	14	7	3	4	7.0
	収容	4.6	5	5	3	5	6	8	1	5	7	4	6	10	3	3	3	5.1
産婦	発生	2.8	4	3	1	3	3	1	1	4	2	4	3	2	1	1	0	2.1
	収容	1.0	3	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0.3
眼科	発生	0.3	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0.4
	収容	0.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
整形	発生	19.7	12	16	22	22	19	14	22	12	21	17	22	23	21	9	18	18.3
	収容	9.5	4	8	9	9	12	8	13	7	9	6	5	9	11	3	8	8.3
耳鼻	発生	0.5	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0.7
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
脳外	発生	10.6	4	11	14	12	12	11	6	10	6	5	8	9	8	6	12	8.8
	収容	6.8	1	8	10	6	8	8	4	5	2	2	4	5	5	4	5	4.8
泌尿	発生	5.2	7	3	5	3	3	5	4	4	2	1	9	7	4	3	4	4.1
	収容	4.3	7	3	3	2	3	4	4	4	1	1	8	6	4	3	4	3.7
循内	発生	16.6	16	14	23	21	14	17	6	24	12	12	18	37	9	11	23	17.0
	収容	13.4	14	9	17	16	14	12	5	19	12	11	14	30	7	10	19	14.1
心外	発生	1.4	3	1	0	1	2	2	0	0	0	0	4	3	0	0	3	1.3
	収容	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
救急	発生	45.0	57	40	34	53	36	31	48	47	44	49	56	62	57	47	48	48.2
	収容	42.1	51	38	34	48	33	25	44	46	44	48	51	60	56	44	44	45.3
他	発生	1.6	2	2	2	0	2	0	2	1	1	0	1	0	0	1	4	1.0
	収容	0.1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	発生	190.0	209	191	185	181	165	162	170	187	167	173	202	256	196	143	177	181.6
	収容	120.4	124	115	112	112	102	102	104	120	109	108	119	153	127	91	115	113.5

● 伊都消防本部搬送先状況

(単位: 件)

搬送先	2018年度 平均	2019年			2019年									2020年			2019年度 平均
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
橋本市民病院	51.0	58	48	52	54	42	55	32	33	38	42	48	48	59	42	49	45.2
紀和病院	29.9	42	20	26	28	35	24	38	39	38	37	39	38	33	21	18	32.3
山本病院	9.6	10	7	14	10	8	6	7	7	9	13	11	12	10	5	6	8.7
紀北分院	37.7	43	36	33	32	30	36	41	35	46	35	46	42	39	27	26	36.3
和歌山医大	2.6	1	2	4	3	2	1	1	2	7	1	4	1	4	4	4	2.8
日赤和歌山	0.8	2	2	1	3	2	2	1	1	1	0	3	1	3	0	0	1.4
和歌山県他	20.0	14	16	20	19	17	23	15	30	16	16	11	22	16	16	11	17.7
近大病院	1.3	0	2	3	0	1	4	0	0	1	1	0	2	1	1	1	1.0
大阪府他	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0.3
奈良県	0.0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
合計	152.9	170	133	153	150	138	152	135	147	156	145	164	166	166	117	115	145.9

⑦ 医業収益（入院外来合計）

● 科別収益（入院＋外来）

※室料・文書等自費を含む

（単位：千円）

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	49,477	49,872	62,672	55,763	47,485	39,186	45,973	43,060	33,590	45,036	40,979	42,417	37,837	42,436	50,365	45,797	47,531	42,850			
消内	23,970	32,044	24,559	28,076	41,242	40,185	27,054	31,335	31,013	27,837	29,933	33,686	30,808	29,817	24,394	26,776	22,163	29,583			
代内	6,830	6,770	6,859	6,333	6,457	9,816	13,106	16,950	14,010	13,412	13,103	16,886	12,202	12,556	17,332	12,811	10,721	13,575			
呼内	18,498	21,105	21,369	18,023	17,404	22,465	25,522	25,151	21,771	19,955	17,705	19,791	17,651	15,177	20,702	20,324	17,192	20,284			
循内	85,965	92,679	92,369	102,530	113,095	106,714	95,021	108,046	101,134	111,494	76,676	95,215	90,922	97,487	87,076	89,090	101,967	96,737			
外科	88,046	84,946	75,385	71,135	82,177	80,035	77,746	79,469	79,067	75,800	68,336	78,781	81,857	90,104	74,960	64,030	72,302	76,874			
整形	81,022	76,211	79,156	74,220	69,394	64,655	70,322	48,356	72,439	66,352	89,675	84,314	82,113	90,471	96,713	80,411	79,545	77,114			
脳外	49,335	53,444	47,726	44,169	59,801	63,679	53,160	41,337	46,802	54,224	43,154	47,831	50,190	49,587	57,749	48,884	50,064	50,555			
乳腺	25,930	24,949	32,186	28,827	15,109	3,864	5,575	4,479	4,792	5,054	3,929	5,980	4,242	5,084	4,167	3,236	2,996	4,450			
心外	1,899	553	516	674	674	661	544	462	475	639	765	908	698	662	480	589	814	641			
泌尿	32,568	38,334	43,685	40,160	39,140	39,230	39,327	38,054	46,360	41,912	42,575	42,686	40,956	41,314	39,654	35,030	37,986	40,424			
皮膚	2,952	2,161	1,169	1,262	2,818	1,947	1,736	2,533	3,445	3,040	2,146	1,679	2,510	2,265	1,858	2,018	1,160	2,195			
眼科	15,963	15,446	13,710	13,341	15,307	14,011	15,399	17,402	17,490	16,855	15,794	16,052	12,791	14,935	15,762	12,721	18,231	15,620			
放射	4,274	4,578	5,557	7,033	6,161	3,672	2,824	3,609	4,254	2,449	2,968	3,828	6,083	5,663	3,721	5,055	6,079	4,184			
耳鼻	2,014	2,114	1,867	2,132	1,922	1,960	1,871	2,098	2,206	2,020	1,684	2,007	1,726	1,791	1,722	1,508	1,731	1,860			
麻酔	0	5	11	15	23	22	12	21	19	17	12	10	28	8	15	11	11	16			
小児	16,675	17,001	15,178	15,872	20,982	18,738	21,301	10,299	14,359	10,030	26,392	13,935	12,439	11,973	13,304	8,050	9,744	14,214			
産婦	37,396	39,191	39,610	36,823	36,453	41,840	40,627	37,207	40,928	42,555	41,457	38,900	33,511	39,208	44,018	41,192	38,756	40,017			
救急	3,195	1,822	1,884	1,309	1,434	2,536	2,206	1,378	3,682	3,616	3,185	2,802	3,437	3,068	3,606	2,176	2,013	2,809			
歯科	7,627	8,163	7,214	8,017	8,778	12,302	6,024	6,753	6,726	7,230	5,304	5,235	5,871	4,947	7,096	6,486	6,399	6,698			
U/A	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	7	5	13	31	31	21	36	12			
合計	553,636	571,390	572,682	555,713	585,854	567,517	545,351	517,998	519,134	549,528	525,777	552,946	527,884	558,584	564,726	506,216	527,441	540,699			

● 科別収益 (入院)

※室料・文書等自費を含む

(単位:千円)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	40,264	41,261	51,494	45,718	39,054	32,751	39,222	36,187	26,046	36,663	33,943	35,319	30,959	35,387	42,049	39,746	41,133	35,784			
消内	17,707	22,607	17,252	20,618	28,525	21,390	17,785	22,316	20,826	18,677	19,496	23,985	22,861	21,427	15,785	19,685	14,866	19,925			
代内	183	74	0	0	0	2,107	5,554	9,694	5,496	5,320	5,565	8,428	4,278	4,355	8,495	4,965	2,764	5,585			
呼内	8,788	7,342	9,365	6,761	6,372	10,538	15,533	12,949	11,385	6,724	6,076	6,735	7,266	7,300	11,444	9,808	7,480	9,436			
循内	72,607	79,610	78,495	89,507	100,146	94,126	81,623	95,840	87,709	97,745	64,254	82,331	78,519	83,921	74,082	77,715	89,528	83,949			
外科	69,629	68,017	57,121	54,185	62,770	62,057	57,591	63,571	62,818	59,378	53,474	58,918	66,798	71,458	55,045	47,870	55,018	59,500			
整形	69,729	66,125	68,892	64,992	58,920	54,489	60,174	38,430	60,946	55,878	79,383	74,721	72,220	79,771	86,520	71,794	69,524	66,988			
脳外	42,806	46,823	41,911	38,044	53,174	56,173	46,965	34,621	39,812	48,133	36,838	42,029	43,990	43,415	51,618	42,401	43,221	44,101			
乳腺	16,329	15,935	22,945	20,301	5,947	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
心外	856	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
泌尿	13,238	17,938	22,382	20,568	18,275	16,463	19,484	16,934	23,717	21,523	18,990	18,863	18,466	19,647	15,454	17,317	15,415	18,523			
皮膚	796	264	0	0	1,201	568	283	839	1,429	1,198	322	0	594	868	114	881	0	591			
眼科	10,603	10,368	8,775	8,996	9,970	9,246	10,727	12,227	12,271	11,621	10,619	10,515	7,587	9,434	10,944	8,426	13,313	10,577			
放射	3	147	0	0	0	0	0	0	986	87	0	416	1,234	355	83	1,024	893	423			
耳鼻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
麻酔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
小児	6,486	6,257	7,004	6,222	6,259	7,866	5,663	5,520	6,006	5,494	8,862	9,126	4,020	6,315	3,951	3,655	3,034	5,793			
産婦	31,102	32,968	32,701	30,411	29,301	35,059	34,165	30,742	32,647	35,309	34,348	30,445	26,430	30,847	36,413	33,583	32,141	32,677			
救急	1,499	129	141	138	134	229	521	234	1,044	620	537	219	817	451	660	132	75	462			
歯科	4,472	4,560	2,889	4,261	4,888	8,651	2,116	2,622	3,094	3,189	1,662	2,056	2,353	1,775	3,271	3,638	3,045	3,123			
リハ	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	407,094	420,425	421,368	410,724	424,933	411,712	397,408	382,724	370,802	407,560	374,371	404,106	388,393	416,726	415,930	382,639	391,452	397,438			

⑨ 科別収益 (外来)

● 科別収益 (外来)

※室料・文書等自費を含む

(単位：千円)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	9,213	8,611	11,178	10,045	8,432	6,435	6,751	6,872	7,545	8,373	7,035	7,097	6,877	7,049	8,316	6,051	6,397	7,067			
消内	6,263	9,437	7,307	7,458	12,717	18,795	9,269	9,019	10,187	9,160	10,436	9,701	7,947	8,390	8,609	7,091	7,297	9,658			
代内	6,647	6,696	6,859	6,333	6,457	7,709	7,552	7,256	8,513	8,091	7,538	8,459	7,925	8,201	8,836	7,846	7,957	7,990			
呼内	9,710	13,763	12,004	11,261	11,032	11,927	9,988	12,202	10,386	13,232	11,629	13,055	10,385	7,878	9,259	10,516	9,712	10,847			
循内	13,358	13,069	13,874	13,022	12,949	12,588	13,399	12,206	13,425	13,749	12,422	12,885	12,403	13,566	12,993	11,375	12,439	12,787			
外科	18,418	16,929	18,264	16,950	19,407	17,978	20,155	15,899	16,249	16,422	14,862	19,863	15,058	18,645	19,915	16,160	17,284	17,374			
整形	11,293	10,085	10,264	9,228	10,475	10,165	10,148	9,925	11,493	10,474	10,292	9,593	9,892	10,700	10,194	8,617	10,021	10,126			
脳外	6,529	6,621	5,814	6,125	6,628	7,506	6,195	6,716	6,990	6,091	6,316	5,802	6,200	6,172	6,131	6,484	6,843	6,454			
乳腺	9,602	9,014	9,241	8,525	9,162	3,864	5,575	4,479	4,792	5,054	3,929	5,980	4,242	5,084	4,167	3,236	2,996	4,450			
心外	1,042	553	516	674	674	661	544	462	475	639	765	908	698	662	480	589	814	641			
泌尿	19,330	20,396	21,303	19,592	20,865	22,767	19,843	21,120	22,643	20,389	23,585	23,823	22,490	21,668	24,200	17,714	22,570	21,901			
皮膚	2,156	1,897	1,169	1,262	1,617	1,379	1,452	1,694	2,016	1,842	1,824	1,679	1,915	1,397	1,744	1,137	1,160	1,603			
眼科	5,359	5,078	4,934	4,344	5,336	4,765	4,672	5,176	5,220	5,234	5,175	5,537	5,204	5,501	4,818	4,295	4,917	5,043			
放射	4,271	4,431	5,557	7,033	6,161	3,672	2,824	3,609	3,268	2,363	2,968	3,412	4,848	5,308	3,638	4,031	5,186	3,761			
耳鼻	2,014	2,114	1,867	2,132	1,922	1,960	1,871	2,098	2,206	2,020	1,684	2,007	1,726	1,791	1,722	1,508	1,731	1,860			
麻酔	0	5	11	15	23	22	12	21	19	17	12	10	28	8	15	11	11	16			
小児	10,189	10,745	8,174	9,650	14,723	10,872	15,639	4,780	8,353	4,536	17,530	4,809	8,419	5,658	9,352	4,395	6,710	8,421			
産婦	6,295	6,223	6,909	6,412	7,152	6,781	6,463	6,465	8,281	7,245	7,108	8,455	7,080	8,361	7,605	7,609	6,616	7,339			
救急	1,696	1,693	1,743	1,171	1,299	2,307	1,684	1,144	2,638	2,996	2,648	2,583	2,620	2,617	2,946	2,045	1,938	2,347			
歯科	3,155	3,604	4,325	3,756	3,890	3,651	3,908	4,131	3,632	4,041	3,642	3,179	3,518	3,172	3,825	2,848	3,354	3,575			
リハ	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	7	5	13	31	31	21	36	12			
合計	146,541	150,964	151,314	144,989	160,920	155,805	147,943	135,274	148,332	141,968	151,406	148,840	139,490	141,858	148,796	123,577	135,989	143,261			
診療日数	20.3	20.3	19	19	20	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	20.0			

● 診療単価 (入院)

24 時患者基準

(単位: 円)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	38,433	37,957	37,725	37,496	37,952	41,494	39,891	40,131	40,300	38,761	38,346	37,154	38,094	39,725	40,480	38,417	37,557	39,129			
消内	51,808	52,182	54,844	56,105	49,624	47,739	49,219	44,231	47,469	46,305	48,402	49,600	54,728	46,538	45,978	47,173	47,635	47,893			
代内	34,230	38,827	-	-	-	33,451	32,879	34,961	36,741	35,568	39,743	35,208	37,842	33,473	33,957	41,161	36,852	35,689			
呼内	37,227	37,606	33,381	36,872	39,046	36,533	36,939	35,171	40,914	35,422	35,807	39,037	33,894	43,200	40,509	40,184	38,735	37,875			
循内	54,713	56,240	60,231	60,388	59,020	58,947	52,870	61,314	61,177	59,745	49,499	60,396	54,552	52,284	50,605	56,677	61,262	56,687			
外科	55,906	56,251	54,887	55,115	54,410	56,442	52,593	55,908	56,633	58,519	54,007	59,535	55,949	55,870	49,516	47,613	52,318	54,603			
整形	47,547	48,420	47,815	45,400	46,836	53,133	52,460	45,352	52,474	40,263	51,742	42,888	48,690	54,473	47,175	44,170	50,424	48,339			
脳外	51,627	59,015	45,794	51,243	61,557	67,571	60,436	56,093	55,014	58,165	51,249	63,914	62,151	59,084	59,426	66,813	67,299	60,541			
乳腺	55,834	52,119	51,928	41,890	37,615	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
心外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
泌尿	72,696	62,743	61,180	70,697	56,068	71,594	63,974	68,039	66,340	60,048	63,584	61,506	51,703	66,776	64,442	59,112	61,929	62,861			
皮膚	29,631	35,494	-	-	38,618	25,402	40,461	32,260	30,396	31,220	40,293	-	31,278	34,703	37,873	41,712	-	32,903			
眼科	114,122	105,004	100,282	106,265	106,566	107,817	105,802	102,654	109,999	105,345	119,484	97,280	114,646	112,612	106,918	104,409	106,422	107,282			
放射	40,490	43,263	-	-	-	-	-	-	36,534	12,404	-	37,845	44,082	44,325	83,090	35,299	28,812	35,763			
耳鼻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
麻酔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
小児	55,127	57,811	63,008	58,433	55,546	57,298	57,095	54,536	66,420	56,908	57,428	58,944	56,752	60,733	55,504	53,484	57,980	57,905			
産婦	45,892	43,900	46,589	46,680	42,692	46,672	46,334	47,062	53,815	48,127	48,501	52,210	42,794	44,925	44,173	44,000	48,525	47,085			
救急	42,720	63,382	68,395	66,785	44,750	70,540	47,389	54,095	57,651	122,277	58,431	54,830	79,475	56,398	70,952	65,855	37,255	64,008			
歯科	52,415	48,412	57,899	47,530	46,063	71,679	52,881	64,168	45,407	55,705	47,032	63,290	46,299	43,654	44,244	48,138	44,412	53,331			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合計	50,736	51,606	50,034	50,625	51,574	55,032	51,006	51,685	50,922	51,253	50,332	51,809	51,142	52,244	48,869	49,201	52,912	51,621			
退院含	47,555	48,428	47,278	47,532	48,384	51,429	47,927	48,297	47,426	48,102	47,101	48,673	47,991	48,973	46,208	46,311	49,729	48,428			

● 診療単価 (外来)

(単位: 円)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
内科	10,901	11,370	11,097	11,967	10,949	10,741	10,897	10,271	10,951	11,536	10,751	10,676	10,138	9,797	11,066	10,318	11,244	10,703			
消内	15,592	19,877	15,041	14,738	27,199	36,650	19,310	18,115	17,337	17,909	20,587	17,818	16,369	14,823	18,484	16,023	15,993	19,144			
代内	13,864	14,157	14,717	14,213	14,124	14,271	14,148	14,016	14,060	13,539	13,766	13,498	13,979	13,926	14,163	14,175	14,197	13,972			
呼内	18,753	25,186	22,723	22,079	19,817	21,861	18,777	24,041	19,474	25,109	24,337	23,670	20,561	16,599	18,487	22,097	19,473	21,237			
循内	12,730	12,460	12,501	13,644	13,043	11,705	12,828	12,364	12,475	13,285	12,192	11,988	12,352	12,450	12,555	12,470	12,892	12,457			
外科	28,107	27,164	30,157	31,462	30,149	28,568	30,791	25,812	23,845	24,784	23,339	28,437	27,604	29,617	30,389	29,198	27,818	27,494			
整形	6,130	5,939	6,047	5,878	6,069	5,814	6,139	5,775	5,899	5,710	5,759	5,612	5,947	6,075	5,745	5,305	5,708	5,791			
脳外	7,989	7,944	7,141	7,986	8,364	8,286	8,015	8,486	7,879	8,359	8,189	6,889	8,258	7,916	7,893	9,275	8,680	8,155			
乳腺	36,855	37,878	40,685	53,920	41,965	27,792	45,616	38,221	46,440	38,374	33,432	43,835	37,209	45,278	50,699	36,905	29,569	39,136			
心外	12,536	9,123	9,049	12,701	12,015	12,151	14,082	6,880	8,141	14,566	11,232	13,540	13,741	13,323	7,994	12,015	12,901	11,479			
泌尿	16,184	16,269	16,114	17,209	16,012	17,354	15,118	17,270	16,710	17,035	19,216	18,815	18,754	17,294	18,441	17,759	17,677	17,601			
皮膚	4,285	3,691	2,612	2,702	2,959	2,792	2,829	3,478	3,584	3,261	3,551	3,151	4,123	2,865	3,740	2,894	2,764	3,262			
眼科	5,557	5,426	5,556	5,291	5,714	5,334	5,423	5,550	5,303	5,296	5,327	5,601	6,036	5,643	5,390	5,618	5,443	5,492			
放射	20,634	22,704	24,950	20,943	21,011	17,800	18,596	16,866	17,124	18,637	26,735	25,945	26,538	23,592	34,074	29,238	21,483	22,280			
耳鼻	4,880	4,752	4,417	5,008	4,225	4,353	4,529	4,706	4,742	4,720	4,366	4,615	4,656	4,753	4,586	4,434	4,534	4,586			
麻酔	1,430	550	430	628	598	599	452	542	546	350	456	530	667	407	539	441	391	497			
小児	11,277	13,660	8,871	14,169	17,796	12,527	20,497	6,650	10,053	6,843	25,519	6,495	11,961	7,197	12,853	7,832	15,392	12,031			
産婦	6,856	7,158	7,474	7,714	7,874	7,546	7,607	7,897	8,339	7,811	8,549	8,611	8,705	9,739	8,653	9,922	8,099	8,456			
救急	11,857	11,675	10,011	10,803	11,690	15,149	12,488	9,732	12,391	14,299	14,806	12,474	14,375	15,495	13,690	14,743	14,281	13,723			
歯科	6,632	7,851	10,001	8,107	7,418	7,620	7,513	7,191	7,219	7,100	7,590	6,733	7,400	6,446	8,823	7,319	7,335	7,340			
リハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,775	1,713	4,965	7,648	3,434	5,148	2,490	3,740			
全体	11,712	12,362	12,006	12,619	12,906	12,594	12,493	11,363	11,257	11,472	12,813	11,835	12,090	11,566	12,360	11,902	11,968	11,971			

⑪ 行為別収益

● 行為別収益（入院）

(単位：千円)

項目	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	564	564	515	566	538	595	518	510	478	549	536	625	444	565	588	433	451	530			
指導	2,034	2,210	1,988	1,852	1,747	1,481	1,436	1,420	1,484	1,712	1,600	1,667	1,530	1,728	1,836	1,707	1,905	1,633			
在宅	624	701	973	649	869	666	710	1,186	568	949	422	862	589	813	854	524	329	706			
投薬	2,232	2,215	2,299	2,553	2,439	2,196	2,112	2,508	2,752	2,133	1,825	2,043	1,721	2,322	1,865	1,567	1,623	2,064			
注射	1,458	1,177	1,010	895	2,090	2,799	1,632	787	833	725	2,309	1,496	1,255	1,337	799	322	966	1,272			
処置	906	1,210	1,378	1,681	1,739	1,102	1,267	1,004	971	712	538	992	830	833	1,400	575	701	911			
手術	93,946	111,574	100,637	105,137	115,365	115,113	102,572	100,188	113,130	106,687	92,607	103,282	97,440	107,212	96,698	92,848	108,190	103,073			
検査	4,070	4,276	4,219	4,008	4,399	4,177	3,603	3,173	3,524	3,623	3,965	4,541	3,622	4,649	4,069	3,280	3,334	3,805			
画像	779	998	1,191	880	1,281	1,277	945	664	800	1,079	877	927	984	1,337	841	746	445	910			
他	17,522	18,205	19,821	18,730	17,842	17,722	16,817	17,007	15,420	18,091	17,148	17,723	17,721	18,296	18,843	16,989	18,129	17,633			
入院	94,214	75,054	77,205	70,775	77,284	74,326	73,357	70,721	66,155	74,651	74,857	79,153	74,991	77,674	77,944	70,343	70,144	74,214			
DPC	162,048	175,515	183,525	177,972	173,865	165,551	166,565	159,439	141,702	169,696	153,264	165,671	163,544	174,792	182,851	168,082	162,404	165,721			
食事	13,937	14,198	14,668	14,141	14,372	12,854	13,462	12,696	11,436	13,782	12,540	13,473	13,165	13,597	14,579	14,000	13,350	13,337			
計	394,336	407,896	409,429	399,839	413,829	399,860	384,997	371,304	359,254	394,389	362,489	392,454	377,837	405,154	403,166	371,415	381,970	385,810			
室料	10,043	10,071	9,555	8,560	8,835	8,883	9,459	9,291	8,845	9,982	9,750	9,013	8,584	9,124	9,516	8,798	7,796	9,087			
文書	157	150	130	132	171	165	133	128	162	146	91	141	135	103	172	119	120	135			
産科	2,128	1,824	1,616	1,780	1,706	2,174	2,177	1,383	1,943	2,487	1,507	1,962	1,230	1,771	2,283	1,752	1,038	1,809			
他	431	485	638	413	393	630	643	618	598	555	534	536	608	573	793	556	527	598			
計	12,759	12,530	11,939	10,885	11,104	11,852	12,411	11,420	11,548	13,171	11,882	11,652	10,557	11,572	12,764	11,224	9,481	11,628			
入院計	407,094	420,425	421,368	410,724	424,933	411,712	397,408	382,724	370,802	407,560	374,371	404,106	388,393	416,726	415,930	382,639	391,452	397,438			

● 行為別収益（外来）

(単位：千円)

診療科	2017年度 平均	2018年度 平均	2019年			2019年												2020年			2019年度 平均
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
初診	4,881	4,881	6,169	4,720	4,928	4,888	5,021	4,654	4,895	5,066	4,711	4,579	4,438	4,942	5,101	3,676	3,369	4,611			
再診	6,974	6,974	7,195	6,587	7,167	7,167	6,790	6,786	7,429	7,062	6,723	7,372	6,600	7,060	7,016	6,129	6,825	6,912			
指導	5,320	5,320	6,360	5,183	5,421	6,436	5,984	5,342	6,111	5,554	5,239	5,530	5,267	5,979	5,984	4,303	4,304	5,503			
在宅	12,299	12,299	8,020	11,247	15,264	11,294	18,848	7,692	12,007	8,636	20,421	9,092	11,368	8,217	11,736	8,335	11,417	11,588			
投薬	959	959	1,118	473	6,550	12,546	2,088	2,064	1,949	2,327	3,459	1,927	488	676	782	583	480	2,448			
注射	30,667	30,667	35,824	33,905	34,542	31,616	30,248	30,294	29,345	31,587	31,573	37,329	31,957	32,683	35,252	29,143	31,259	31,856			
処置	1,563	1,563	1,394	1,274	1,447	1,228	1,453	1,407	1,643	1,468	1,682	1,471	1,271	1,329	1,304	1,128	1,546	1,411			
手術	3,447	3,447	2,412	2,541	3,366	2,696	3,008	1,992	2,780	4,570	3,343	3,345	3,414	3,640	3,483	2,696	3,816	3,232			
検査	40,983	40,983	42,163	39,623	40,454	39,766	38,374	38,476	42,337	39,885	39,116	42,297	36,921	38,991	40,207	34,647	35,567	38,882			
画像	25,555	25,555	25,644	24,386	26,705	25,867	24,900	24,685	26,689	24,000	23,136	24,321	23,412	24,185	25,228	20,966	23,920	24,272			
他	9,725	9,725	10,963	11,584	11,259	8,785	7,598	8,419	9,097	8,288	7,908	8,757	9,644	10,025	9,244	8,867	10,234	8,902			
計	142,374	142,374	147,260	141,523	157,103	152,288	144,312	131,810	144,282	138,444	147,311	146,022	134,781	137,727	145,338	120,473	132,738	139,617			
文書	2,001	2,001	1,933	1,814	1,823	1,736	1,750	1,783	2,003	1,515	2,467	904	1,582	1,790	1,511	1,601	1,616	1,686			
他	2,167	2,167	2,122	1,652	1,994	1,781	1,881	1,681	2,046	2,009	1,628	1,914	3,127	2,341	1,947	1,502	1,636	1,958			
計	4,168	4,168	4,055	3,466	3,817	3,516	3,632	3,464	4,049	3,524	4,095	2,818	4,709	4,130	3,458	3,104	3,252	3,644			
外来計	146,541	146,541	151,314	144,989	160,920	155,805	147,943	135,274	148,332	141,968	151,406	148,840	139,490	141,858	148,796	123,577	135,989	143,261			

Ⅲ 診療情報

Ⅲ 診療情報（年次報告）

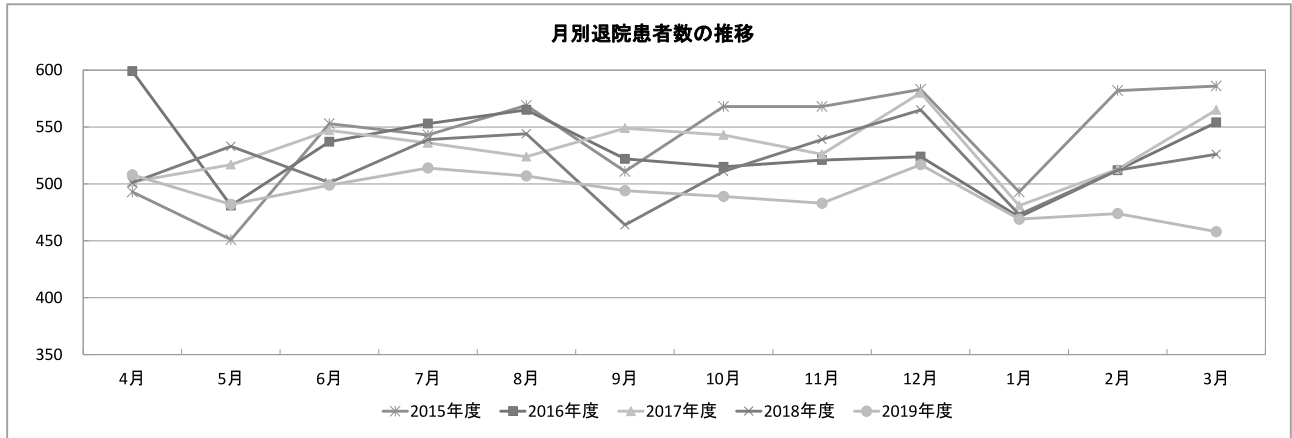
【分類及び集計方法】

- ① この病歴年報は 2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日までの間に退院した患者 5,894 名を対象として作成した。
- ② 疾病分類は世界保健機関（WHO）により定められた「疾病および関連保健問題の国際統計分類第 10 回改正」に基づいて作成された厚生労働省大臣官房統計調査部編第 10 回改正「疾病・傷病および死因統計分類提要」ICD-10（2013 年版）準拠を使用した。
- ③ 退院患者情報はすべて、橋本市民病院 退院サマリシステム「Medi-Bank」より抽出した。
- ④ 同一患者がこの期間に数回退院した場合、各退院時の退院サマリからそれぞれ情報を抽出した。
- ⑤ 地域包括ケア病棟の患者については、主治医の診療科を主科として抽出した。

①月別退院患者数 (2019年度)

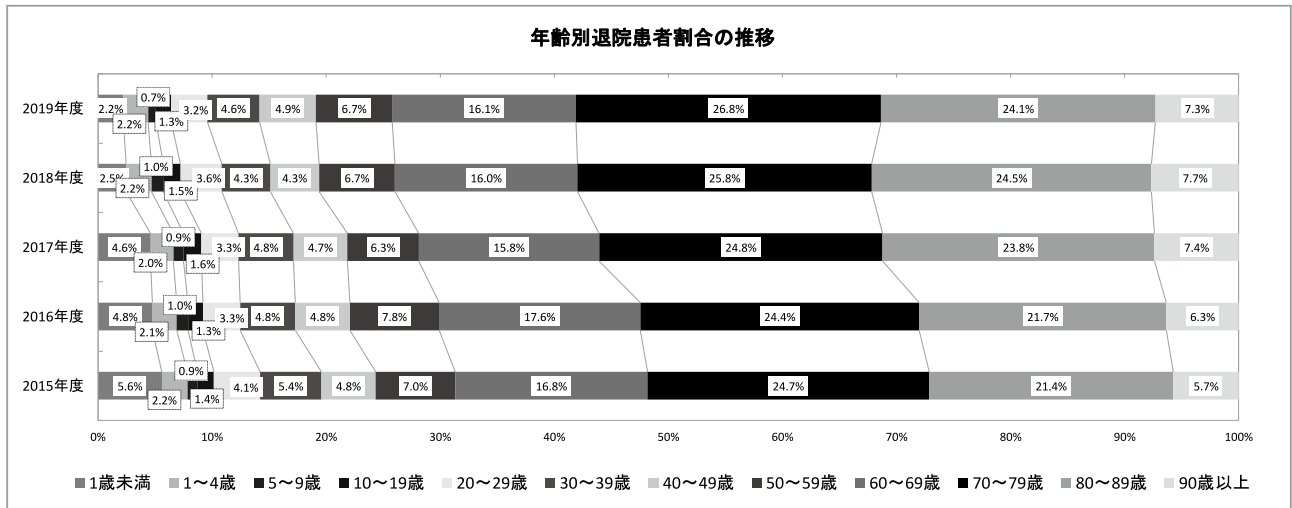
①- I : 性別 (月別)

性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
男	247	258	274	276	258	253	271	247	267	223	230	225	3,029	-220	3,249	3,304	3,375	3,282
女	261	224	225	238	249	241	218	236	250	246	244	233	2,865	-94	2,959	3,079	2,979	3,218
合計	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894	-314	6,208	6,383	6,354	6,500
前年度差異	7	-51	-2	-25	-37	30	-22	-56	-48	-4	-38	-68	-314					
2018年度	501	533	501	539	544	464	511	539	565	473	512	526	6,208					
2017年度	502	517	547	536	524	549	543	526	580	481	513	565	6,383					
2016年度	599	481	537	553	565	522	515	521	524	471	512	554	6,354					
2015年度	493	451	553	543	569	511	568	568	583	493	582	586	6,500					



①- II : 年齢別

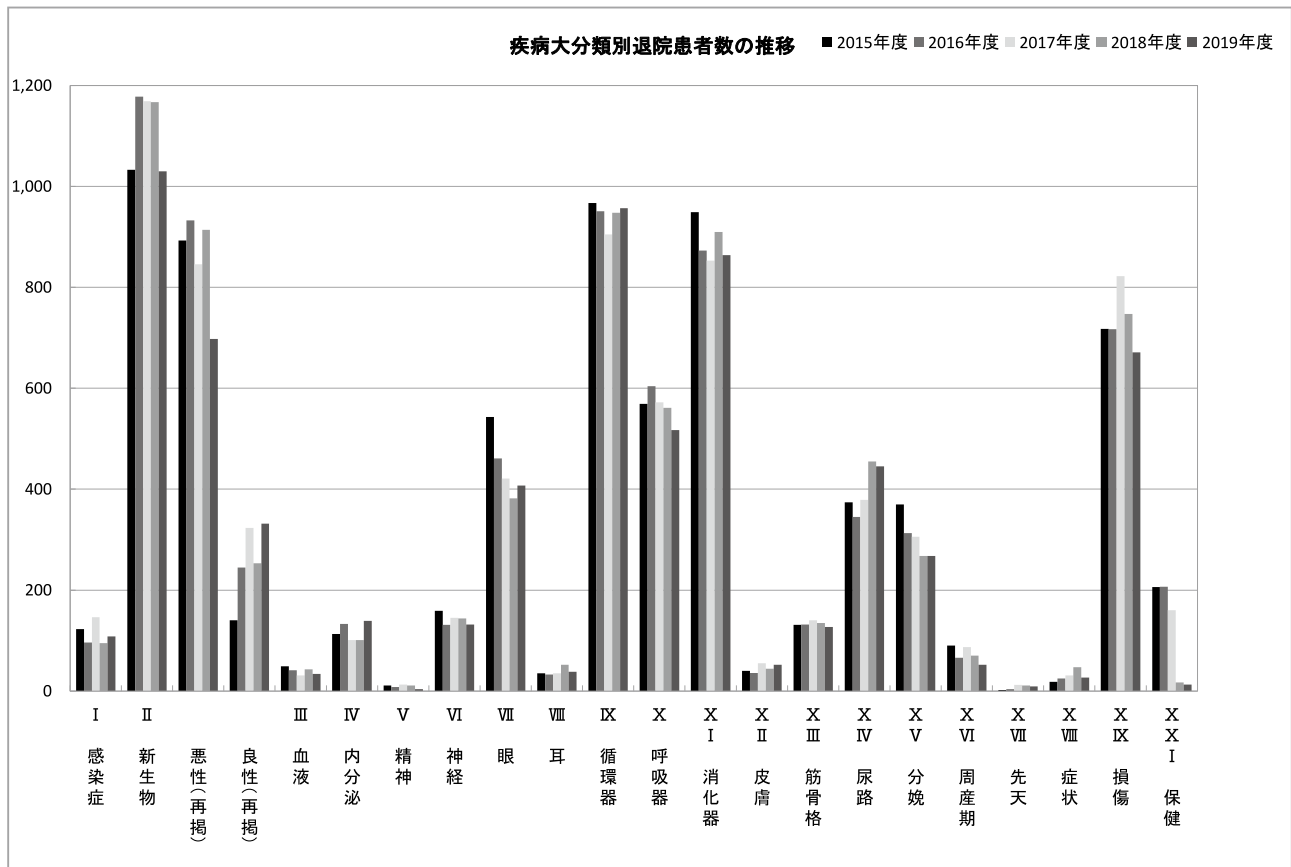
性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
1歳未満	16	6	6	9	12	19	15	14	14	6	9	5	131	-22	153	294	303	364
1～4歳	18	15	13	16	5	14	15	6	12	6	4	4	128	-10	138	128	135	146
5～9歳	5	7	2	2	2	4	5	2	3	2	2	4	40	-24	64	56	64	56
10～19歳	5	7	8	5	6	7	7	5	6	11	6	6	79	-15	94	100	83	94
20～29歳	19	13	17	13	18	15	14	13	19	19	16	11	187	-37	224	208	207	264
30～39歳	22	23	29	20	27	20	18	19	14	33	23	22	270	5	265	308	306	349
40～49歳	23	21	24	29	36	33	26	22	23	19	15	20	291	26	265	301	305	309
50～59歳	30	39	26	24	36	31	42	42	43	29	31	21	394	-19	413	400	497	454
60～69歳	69	71	74	94	93	88	75	81	77	67	83	77	949	-44	993	1,010	1,121	1,095
70～79歳	132	134	140	138	127	135	122	133	146	128	123	119	1,577	-25	1,602	1,585	1,553	1,605
80～89歳	133	108	124	125	115	100	119	110	125	114	124	121	1,418	-104	1,522	1,521	1,377	1,391
90歳以上	36	38	36	39	30	28	31	36	35	35	38	48	430	-45	475	472	403	373
合計	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894	-314	6,208	6,383	6,354	6,500



①月別退院患者数 (2019年度)

①-Ⅲ：疾病大分類

疾病大分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
感染症および寄生虫症	13	7	11	11	9	11	10	8	6	8	7	7	108	13	95	146	96	123
新生物	75	76	88	98	86	95	91	90	85	69	83	94	1,030	-137	1,167	1,169	1,178	1,033
悪性(再掲)	55	63	70	71	53	66	57	53	57	48	45	60	698	-216	914	846	933	893
良性(再掲)	20	13	18	27	33	29	34	37	28	21	38	34	332	79	253	323	245	140
血液・造血器疾患、免疫機構の障害	6	3	5	2	2	5	0	4	0	2	2	3	34	-9	43	31	41	49
内分泌、栄養および代謝疾患	4	10	18	14	13	11	15	10	9	12	13	10	139	38	101	101	133	113
精神および行動の障害	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	4	-7	11	13	8	11
神経系の疾患	12	8	8	13	8	16	15	13	7	19	7	6	132	-12	144	145	131	159
眼および付属器の疾患	29	36	36	28	46	37	28	35	32	35	27	38	407	25	382	421	461	543
耳および乳様突起の疾患	2	3	4	2	6	5	6	1	3	2	2	2	38	-14	52	35	33	35
循環器系の疾患	105	85	75	82	89	51	78	67	91	82	81	71	957	9	948	905	951	967
呼吸器系の疾患	48	52	40	54	33	43	46	37	45	33	42	44	517	-44	561	572	604	569
消化器系の疾患	79	72	73	68	60	69	69	96	77	77	73	51	864	-46	910	853	873	949
皮膚および皮下組織の疾患	4	5	5	6	6	7	4	1	7	5	1	1	52	8	44	55	36	40
筋骨格系および結合組織の疾患	7	14	9	15	15	11	10	7	10	15	6	8	127	-8	135	140	132	131
泌尿器系の疾患	34	28	43	35	51	44	37	30	44	29	35	35	445	-10	455	379	345	374
妊娠・分娩・産じょく	28	25	20	23	23	21	20	14	22	28	27	17	268	0	268	306	313	370
周産期に発生した病態	7	2	2	4	5	5	7	6	6	2	5	1	52	-18	70	87	66	90
先天奇形・変形・染色体異常	2	0	0	2	0	2	2	0	0	0	1	0	9	-2	11	12	4	2
症状・徴候、他に分類されないもの	1	0	3	4	1	3	2	2	3	2	4	2	27	-20	47	31	25	18
損傷・中毒・外因の影響	49	55	57	52	54	58	47	61	67	47	57	67	671	-76	747	822	717	718
保健サービスの利用	2	1	2	1	0	0	2	0	2	2	0	1	13	-4	17	160	207	206
合計	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894	-314	6,208	6,383	6,354	6,500

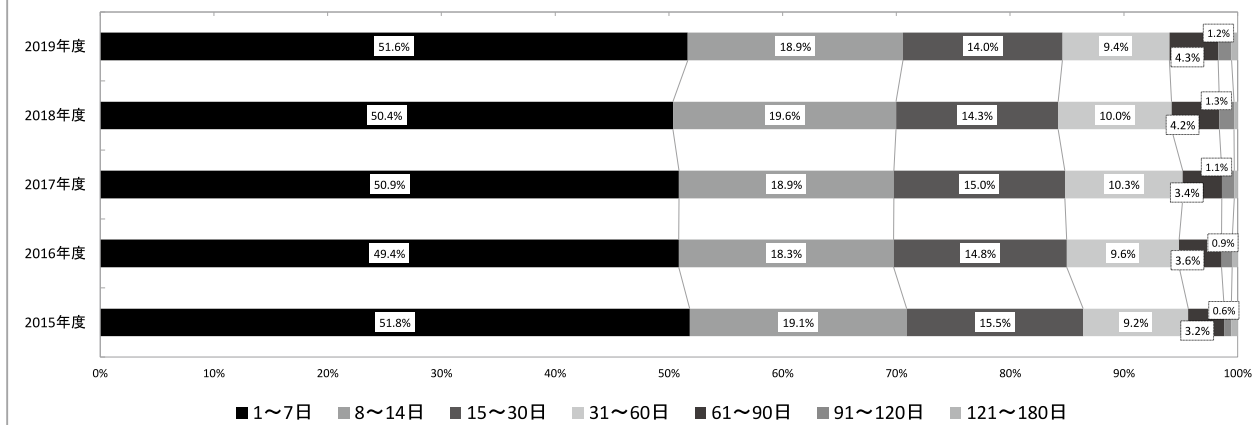


①月別退院患者数 (2019年度)

①-Ⅳ：在院期間別

在院期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
1～7日	264	236	247	272	277	255	257	268	272	238	215	242	3,043	-83	3,126	3,246	3,290	3,368
8～14日	101	100	105	95	96	97	99	78	86	75	103	79	1,114	-103	1,217	1,205	1,193	1,240
15～30日	59	70	72	82	62	63	60	63	75	76	78	66	826	-59	885	960	939	1,008
31～60日	57	56	44	37	45	54	46	40	51	42	47	35	554	-65	619	660	609	600
61～90日	20	13	22	18	18	18	17	29	25	19	25	29	253	-7	260	220	230	205
91～120日	4	5	8	4	7	4	7	4	4	13	4	4	68	-13	81	69	57	41
121～180日	3	2	1	5	1	2	3	1	4	5	2	3	32	13	19	19	30	36
181日以上	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	4	3	1	4	6	2
合計	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894	-314	6,208	6,383	6,354	6,500

在院期間別退院患者割合の推移

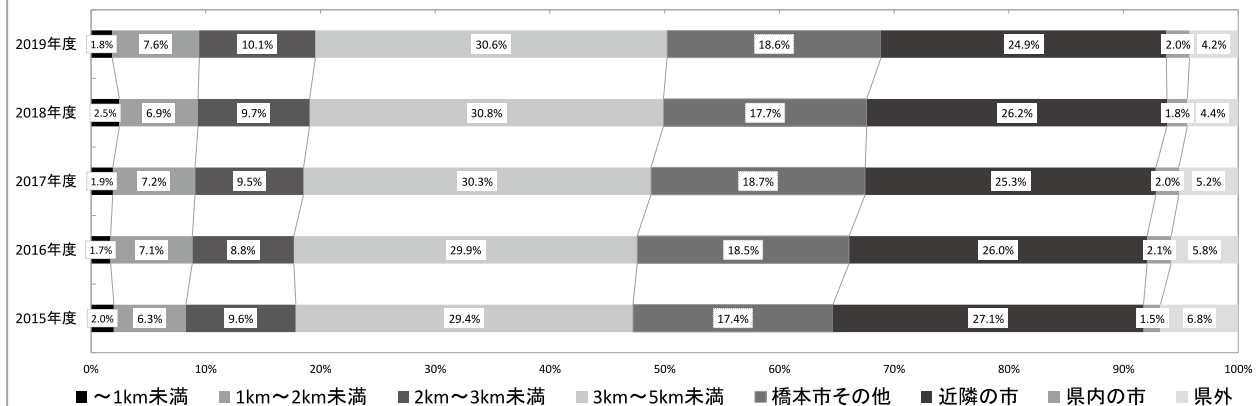


①-Ⅴ：地区別

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度
～1km未満	16	6	10	10	10	12	5	9	11	7	8	5	109	-44	153	121	108	129
1km～2km未満	36	36	30	44	40	40	37	31	46	34	41	32	447	21	426	458	453	408
2km～3km未満	55	53	40	47	50	43	60	44	64	48	49	44	597	-7	604	604	562	623
3km～5km未満	151	150	159	147	155	154	147	160	146	151	140	146	1,806	-108	1,914	1,932	1,903	1,909
橋本市その他	92	78	99	99	90	94	97	89	96	84	94	86	1,098	-3	1,101	1,193	1,173	1,132
近隣の市※	126	120	131	131	133	122	111	115	128	112	117	120	1,466	-158	1,624	1,617	1,650	1,759
県内の市	12	12	7	14	10	8	11	13	5	9	12	6	119	9	110	128	134	96
県外	19	27	23	22	19	21	20	22	21	24	13	19	250	-25	275	330	371	440
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	4
合計	508	482	499	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894	-314	6,208	6,383	6,354	6,500

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

地区別退院患者割合の推移

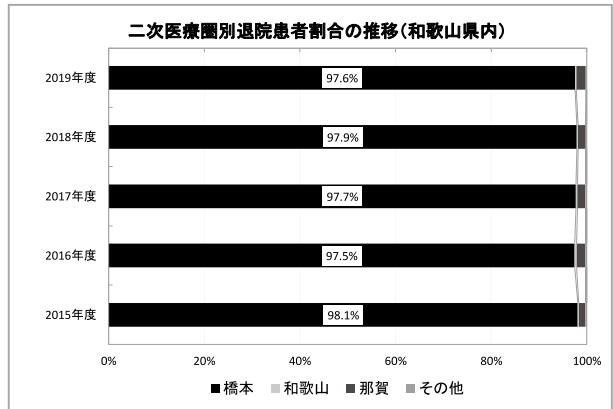
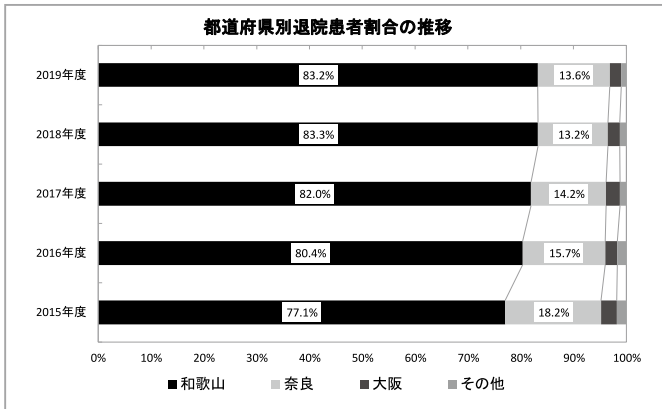


①月別退院患者数 (2019年度)

① - VI : 二次医療圏別

都道府県	二次医療圏	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	前年度差異	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	
福島	いわき			1										1						
茨城	水戸												1	1						
	土浦									1				1						
栃木	県西		2											2						
	県東・央								1					1						
埼玉	中央	1												1	0	1				
千葉	東葛南部										1			1	-2	3	1	1	2	
東京	区南部		2											2						
	区西北部										1			1	-1	2				
	区東部											2		2						
	北多摩西部						2							2						
神奈川	横浜西部							1						1						
	川崎北部							1			1	1		3	0	3	2	1	2	
岐阜	中濃								1					1						
静岡	駿東田方					1								1						
愛知	名古屋										1		1	2	1	1	2	10	3	
	海部津島									1				1						
	尾張東部	1							1					2						
	尾張北部										1			1	0	1				
三重	東三河南部	1												1						
	北勢									1			1	2	1	1				
京都	中勢伊賀											1		1	0	1	8	4	3	
	京都・乙訓	1	1	1				2						5	-1	6	1	2	7	
大阪	南山城									2				2	1	1	4	1	0	
	豊能	1	1					1	1					4	-1	5	4	5	11	
	三島			1	1	1								3	-4	7	2	4	6	
	北河内		2	1						1	1	1		6	1	5	6	3	7	
	中河内										2	1	1	4	1	3	7	18	7	
	南河内	5	5	5	6	4	4	4	1	3	2	1	1	3	40	-8	48	53	53	77
	堺市		1	4	2	3	1	4	2	2	4			23	1	22	41	18	26	
	泉州	3	6	2	2	3	3	2	1	5	2	1	3	33	9	24	26	10	31	
兵庫	大阪市	1	2		1	1	3	1	1			2	2	14	-12	26	30	33	28	
	神戸	1								1				2	-2	4	1	3	6	
	阪神北										1		1	2	0	2	3	3	0	
奈良	東播磨						1	1						2	1	1	2	5	0	
	北和	1			1						1		2	5	3	2	11	4	3	
	中和	3	2	2	2	2	2	2	4	4	1	1	2	27	-2	29	55	63	73	
和歌山	南和	63	68	51	68	64	75	66	75	51	63	61	67	772	-19	791	841	929	1,105	
	和歌山	2	1		2	3		2	1			1		12	-2	14	16	21	11	
	那賀	8	9	6	11	6	7	6	12	5	9	11	6	96	15	81	88	94	70	
	橋本	413	377	423	417	413	390	397	377	442	378	391	368	4,786	-275	5,061	5,111	4,976	4,913	
	有田		1			2			1					4	0	4	4	7	9	
	御坊	1	1					2	1					5	-1	6	2	3	2	
	田辺		1			1								2						
岡山	新宮	1												1	-3	4	7	3	2	
	県南東部										1			1						
広島	県南西部			1									1	2						
	広島				1									1	-1	2				
徳島	広島中央								1					1						
香川	東部 I			1										1						
長崎	小豆					1								1						
熊本	長崎										1			1						
大分	菊池									1				1						
鹿児島	白津									1				1						
鹿児島	指宿							1						1						
外国・その他		1							1					2	-45	47	55	80	96	
合計		508	482	498	514	507	494	489	483	517	469	474	458	5,894	-314	6,208	6,383	6,354	6,500	

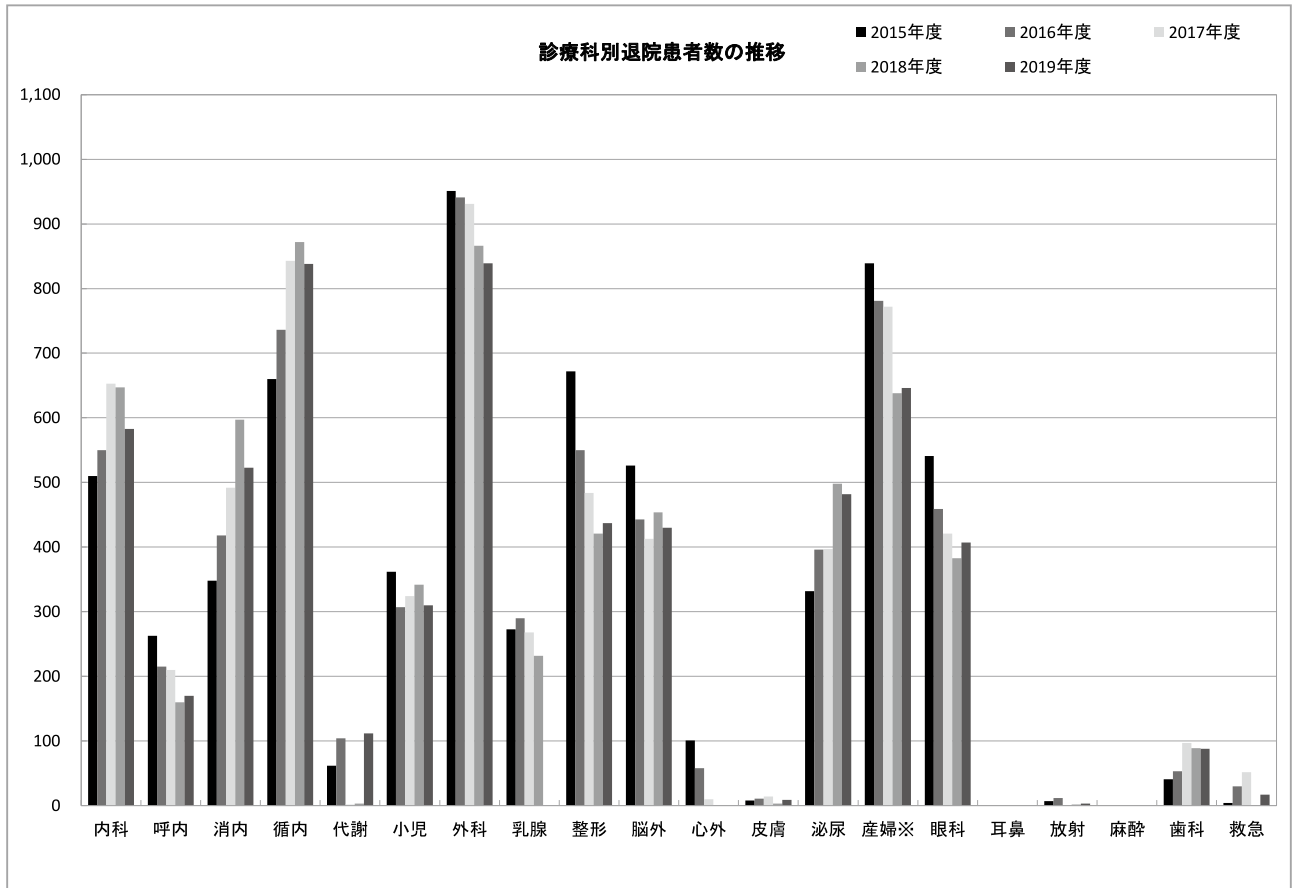
※外国 / その他は前年度以前に退院した二次医療圏で 2019 年度退院のないもの



②診療科別退院患者数（2019年度）

②- I：性別（診療科別）

性別	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
男	304	108	311	464	55	174	497		209	257		5	399	23	172		1		42		3,029
女	279	62	212	374	57	136	342		228	173		4	83	623	235		2		46	9	2,865
合計	583	170	523	838	112	310	839	0	437	430	0	9	482	646	407		3		88	17	5,894
前年度差異	-64	10	-74	-34	109	-32	-27	-232	16	-24	0	6	-16	8	24		1		-1	16	-314
2018年度	647	160	597	872	3	342	866	232	421	454	0	3	498	638	383		2		89	1	6,208
2017年度	653	210	492	843	2	324	931	268	484	413	10	14	397	772	421		0		97	52	6,383
2016年度	550	215	418	736	104	307	941	290	550	443	58	11	396	781	459		12		53	30	6,354
2015年度	510	263	348	660	62	362	951	273	672	526	101	8	332	839	541		7		41	4	6,500



②- II：年齢別

年齢	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計	
1歳未満						131															131	
1～4歳						123	1		3											1	128	
5～9歳						32			4											4	40	
10～19歳	6		2	1		24	11		16	8			2	2						5	2	79
20～29歳	6	1	7	7			11		17	3			2	127						6	187	
30～39歳	5	1	17	6	3		19		21	4			2	185						7	270	
40～49歳	15	6	30	12	9		37		40	17			20	93	2		1			6	3	291
50～59歳	34	10	54	44	13		49		55	32			39	52	8					2	2	394
60～69歳	62	28	121	145	26		181		97	74		4	86	48	61					15	1	949
70～79歳	146	50	139	226	32		276		75	126		3	216	77	182		1			22	6	1,577
80～89歳	201	60	118	287	23		219		79	139		2	98	41	134					15	2	1,418
90歳以上	108	14	35	110	6		35		30	27			17	21	20		1			5	1	430
合計	583	170	523	838	112	310	839	0	437	430	0	9	482	646	407	-	3	-	88	17	5,894	

②診療科別退院患者数 (2019年度)

②-Ⅲ：疾病大分類

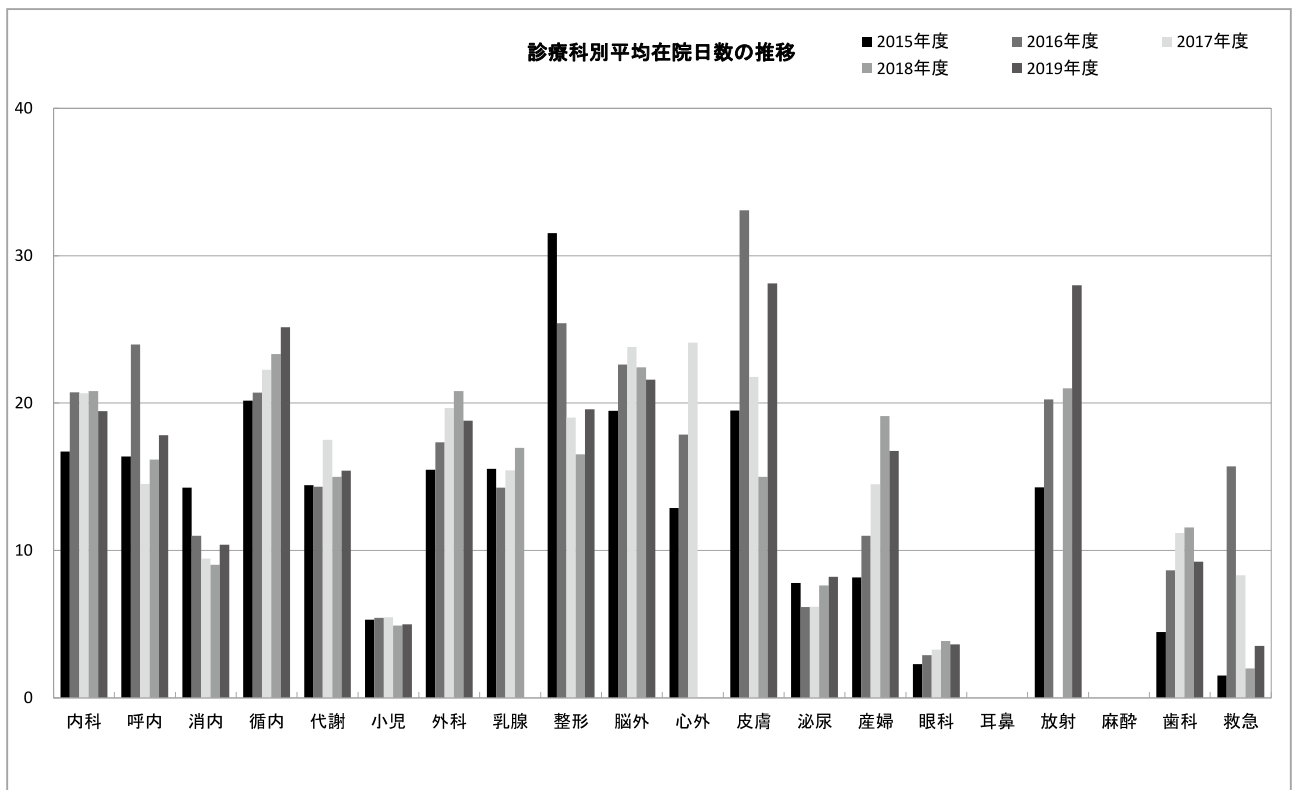
疾病大分類	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
感染症および寄生虫症	25	22	12	6	1	33	4					1	1	2					1		108
新生物	31	19	238	3	1		270		19	13		1	262	137			3		33		1,030
悪性 (再掲)	30	19	59	3	1		250		5	8		1	254	58			3		7		698
良性 (再掲)	1		179				20		14	5			8	79					26		332
血液・造血管疾患、 免疫機構の障害	12		2	5		1	9						2	3							34
内分泌、栄養および 代謝疾患	40	1	2	14	79	1	1							1							139
精神および行動の障害	1		1	1						1											4
神経系の疾患	11	30	2	8	2	2			30	45				1					1		132
眼および付属器の疾患															407						407
耳および 乳様突起の疾患	4			27	4		1			2											38
循環器系の疾患	25	1	12	598	2		11		5	298				4					1		957
呼吸器系の疾患	166	93	15	48	3	177	6		3				1	1					3	1	517
消化器系の疾患	145		221	2	3	13	439						1	2					38		864
皮膚および 皮下組織の疾患	18			2	1	3	4		14	2		5	1						2		52
筋骨格系および 結合組織の疾患	19	1		11	2	8	13		58					15							127
尿路性器系の疾患	58		9	15	6	10	3						209	135							445
妊娠・分娩・産じょく					2									266							268
周産期に発生した病態						52															52
先天奇形・変形・ 染色体異常				1		2	1			2			1						2		9
症状・徴候、 他に分類されないもの	12	2			4	5	2			1			1								27
損傷・中毒・外因の影響	11	1	9	97	2	3	69		308	66		2	3	77					7	16	671
保健サービスの利用	5						6							2							13
合計	583	170	523	838	112	310	839	-	437	430	-	9	482	646	407	-	3	-	88	17	5,894

②診療科別退院患者数 (2019年度)

②-Ⅳ：在院期間別

在院期間	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
1～7日	203	81	306	335	23	268	375		211	140			326	320	407				33	15	3,043
8～14日	124	25	125	102	40	39	170		65	90		4	100	186					42	2	1,114
15～30日	144	32	52	163	40	3	138		78	87		2	36	39			1		11		826
31～60日	78	22	32	121	6		89		44	99		2	15	42			2		2		554
61～90日	25	8	4	82	3		51		26	7		1	4	42							253
91～120日	6	1	3	26			12		5	3				12							68
121～180日	3		1	8			3		8	3			1	5							32
181日以上		1		1			1			1											4
合計	583	170	523	838	112	310	839		437	430		9	482	646	407		3		88	17	5,894
平均在院日数※	19.5	17.8	10.4	25.2	15.4	5.0	18.8		19.6	21.6		28.1	8.2	16.7	3.6		28.0		9.2	3.5	16.2
前年度差異	-1.4	1.6	1.3	1.8	0.4	0.1	-2.0		3.1	-0.8		13.1	0.6	-2.4	-0.2				-2.3		-0.1
2018年度	20.8	16.2	9.0	23.3	15.0	4.9	20.8	17.0	16.5	22.4		15.0	7.6	19.1	3.9		21.0		11.6	2.0	16.3
2017年度	20.7	14.5	9.5	22.3	17.5	5.5	19.7	15.4	19.0	23.8	24.1	21.8	6.2	14.5	3.3				11.2	8.3	15.7
2016年度	20.7	24.0	11.0	20.7	14.3	5.4	17.3	14.3	25.4	22.6	17.9	33.1	6.2	11.0	2.9		20.3		8.6	15.7	15.6
2015年度	16.7	16.4	14.3	20.2	14.4	5.3	15.5	15.5	31.5	19.5	12.9	19.5	7.8	8.2	2.3		14.3		4.5	1.5	14.9

※小数点第2位を四捨五入



②-Ⅴ：地区別

地区	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計
～1km未満	23		15	17	1	8	9		11	10			5	2	7				1		109
1km～2km未満	61	16	49	58	10	10	61		33	37		1	34	22	45				7	3	447
2km～3km未満	92	18	59	77	9	52	73		47	26		2	41	61	35				4	1	597
3km～5km未満	158	63	171	262	40	97	267		126	122		1	135	196	140		1		19	8	1,806
橋本市その他	106	30	110	159	30	41	186		83	94		1	84	108	46				18	2	1,098
近隣の市※	117	41	101	239	16	69	198		105	117		4	146	158	124		2		28	1	1,466
県内の市	5	2	4	7	3	9	18		17	8			20	16	2				8		119
県外	20		14	18	3	24	27		15	16			17	83	8				3	2	250
住所不明等	1			1																	2
合計	583	170	523	838	112	310	839		437	430		9	482	646	407		3		88	17	5,894

※近隣の市・・・九度山町、かつらぎ町、高野町、五條市、河内長野市

②診療科別退院患者数 (2019年度)

② - VI : 二次医療圏別																							
都道府県	二次医療圏	内科	呼内	消内	循内	代謝	小児	外科	乳腺	整形	脳外	心外	皮膚	泌尿	産婦	眼科	耳鼻	放射	麻酔	歯科	救急	総計	
福島	いわき									1												1	
茨城	水戸														1							1	
	土浦										1											1	
栃木	県西														2							2	
	県東・中央			1																		1	
埼玉	中央										1											1	
千葉	東葛南部														1							1	
東京	区南部						1								1							2	
	区西北部						1															1	
	区東部						1								1							2	
	北多摩西部						1								1							2	
神奈川	横浜西部																				1	1	
	川崎北部										2				1							3	
岐阜	中濃										1											1	
静岡	駿東田方			1																		1	
愛知	名古屋														2							2	
	海部津島														1							1	
	尾張東部														1					1		2	
	尾張北部			1																		1	
	東三河南部														1							1	
三重	北勢														2							2	
	中勢伊賀										1											1	
京都	京都・乙訓						1	1							3							5	
	南山城						1								1							2	
大阪	豊能							1			1				2							4	
	三島														2	1						3	
	北河内									2				4								6	
	中河内				1	1									2							4	
	南河内			1	4		8	4	2					10	10	1						40	
	堺市				6		2	2	2					2	8						1	23	
	泉州	3					3	15			1			4	7							33	
	大阪市			1	1					1	3					8						14	
兵庫	神戸							1		1												2	
	阪神北	1									1											2	
	東播磨						1								1							2	
奈良	北和	2													3							5	
	中和	4		5	3		3			1				1	9	1						27	
	南和	79	20	58	103	9	38	84		41	44			36	123	126		1		9	1	772	
和歌山	和歌山		1				3	3		1	1				3							12	
	那賀	5	1	4	4	3	6	14		15	5			18	11	2				8		96	
	橋本	487	148	451	713	98	241	710		368	365		9	404	430	276		2		70	14	4,786	
	有田								3					1								4	
	御坊									1	1				3							5	
	田辺														2								2
	新宮				1																		1
岡山	県南東部														1							1	
	県南西部				1										1							2	
広島	広島														1							1	
	広島中央										1											1	
徳島	東部 I	1																				1	
香川	小豆										1											1	
長崎	長崎														1							1	
熊本	菊池									1												1	
大分	臼津							1														1	
鹿児島	指宿														1							1	
外国・その他		1			1																	2	
合計		583	170	523	838	112	310	839	-	437	430	-	9	482	646	407	-	3	-	88	17	5,894	

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2019年度			2018年度			2017年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
内科	1位	腸のその他の疾患	69	2.0	固形物および液状物による肺臓炎	64	29.9	固形物および液状物による肺臓炎	92	27.8
	2位	固形物および液状物による肺臓炎	67	27.5	肺炎, 病原体不詳	58	16.3	肺炎, 病原体不詳	50	14.5
	3位	肺炎, 病原体不詳	44	17.3	尿路系のその他の障害	38	26.7	腸のその他の疾患	40	2.1
	4位	尿路系のその他の障害	37	29.6	腸のその他の疾患	33	2.3	尿路系のその他の障害	26	29.5
	5位	胆石症	14	9.2	前庭機能障害	17	15.8	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	24	23.5
呼吸器内科	1位	肺炎, 病原体不詳	32	23.0	睡眠障害	40	2.0	肺炎, 病原体不詳	40	25.8
	2位	睡眠障害	30	2.0	肺炎, 病原体不詳	30	25.9	睡眠障害	34	2.1
	3位	気管支および肺の悪性新生物	18	3.5	その他の間質性肺疾患	18	27.2	その他の非結核性抗酸菌による感染症	25	3.4
	4位	その他の非結核性抗酸菌による感染症	17	7.5	その他の非結核性抗酸菌による感染症	15	3.7	気管支および肺の悪性新生物	20	2.4
	5位	固形物および液状物による肺臓炎	15	41.5	気管支および肺の悪性新生物	13	14.8	その他の間質性肺疾患	16	23.0
循環器内科	1位	狭心症	236	5.7	狭心症	249	6.8	狭心症	239	5.4
	2位	心不全	139	37.0	心不全	140	35.8	心不全	150	32.6
	3位	急性心筋梗塞	63	22.3	急性心筋梗塞	55	19.5	急性心筋梗塞	46	17.1
	4位	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	36	14.9	大腿骨骨折	45	59.8	大腿骨骨折	46	62.2
	5位	大腿骨骨折	30	71.5	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	35	9.8	慢性虚血性心疾患	34	5.5
代謝内科	1位	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	56	15.6	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	3	15.0	インスリン非依存性糖尿病<NIIDDM>	2	17.5
	2位	インスリン依存性糖尿病<IDDM>	6	22.2						
	3位	前庭機能障害	4	2.0						
	4位	その他の内分泌障害	3	9.0						
	5位	その他の体液, 電解質および酸塩基平衡障害	3	11.7						

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2019年度			2018年度			2017年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
小児科	1位	肺炎, 病原体不詳	85	4.4	肺炎, 病原体不詳	83	4.2	肺炎, 病原体不詳	73	4.4
	2位	急性気管支炎	34	3.9	急性気管支炎	38	4.1	急性気管支炎	38	4.5
	3位	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	26	4.3	ウイルス肺炎, 他に分類されないもの	28	4.1	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	32	5.6
	4位	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	15	9.8	妊娠期間短縮および低出生体重に関連する障害, 他に分類されないもの	20	8.6	新生児の呼吸窮<促>迫	20	7.0
	5位	感染症と推定される下痢および胃腸炎	14	3.6	その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	17	6.9	結節性多発(性)動脈炎および関連病態	14	7.8
外科	1位	そけい<崟径>ヘルニア	85	5.6	胆石症	73	14.1	胆石症	101	12.3
	2位	胃の悪性新生物	77	26.8	腸のその他の疾患	71	6.5	そけい<崟径>ヘルニア	86	5.1
	3位	胆石症	72	10.7	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	68	13.3	結腸の悪性新生物	70	18.6
	4位	結腸の悪性新生物	65	21.6	そけい<崟径>ヘルニア	59	5.8	麻痺性イレウスおよび腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	67	13.0
	5位	腸のその他の疾患	62	4.2	結腸の悪性新生物	59	22.9	直腸の悪性新生物	61	20.8
乳腺呼吸器外科	1位				気管支および肺の悪性新生物	121	14.9	気管支および肺の悪性新生物	104	20.2
	2位				乳房の悪性新生物	23	12.9	中耳, 呼吸器および胸腔内臓器の性状不詳または不明の新生物	33	7.3
	3位				気胸	20	21.3	乳房の悪性新生物	28	14.4
	4位				呼吸器および消化器の続発性悪性新生物	19	21.7	気胸	20	15.5
	5位				その他の部位の続発性悪性新生物	8	18.1	中皮腫	9	10.7
整形外科	1位	前腕の骨折	58	8.6	前腕の骨折	69	9.1	前腕の骨折	76	7.2
	2位	大腿骨骨折	46	42.0	大腿骨骨折	42	43.8	大腿骨骨折	62	36.5
	3位	下腿の骨折, 足首を含む	44	30.4	肩および上腕の骨折	37	8.7	下腿の骨折, 足首を含む	60	21.4
	4位	手首および手の骨折	31	11.5	下腿の骨折, 足首を含む	36	9.6	肩および上腕の骨折	34	11.0
	5位	上肢の単ニューロパチ<シ>-	28	3.0	手首および手の骨折	28	6.5	上肢の単ニューロパチ<シ>-	31	2.8

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2019年度			2018年度			2017年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
脳神経外科	1位	脳梗塞	162	24.2	脳梗塞	154	23.7	脳梗塞	149	23.7
	2位	頭蓋内損傷	60	25.2	頭蓋内損傷	66	36.6	頭蓋内損傷	70	17.3
	3位	脳内出血	58	29.9	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	44	4.2	脳内出血	55	32.0
	4位	脳実質外動脈の閉塞および狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	33	7.8	脳内出血	41	37.2	てんかん	22	12.8
	5位	てんかん	27	16.8	その他の脳血管疾患	36	4.4	その他の脳血管疾患	18	10.6
心臓血管外科	1位							大動脈瘤および解離	4	52.5
	2位							下肢の静脈瘤	2	2.0
	3位							頭部の表在損傷	2	4.5
	4位									
	5位									
泌尿器科	1位	前立腺の悪性新生物	142	4.1	前立腺の悪性新生物	139	3.1	前立腺の悪性新生物	136	3.6
	2位	膀胱の悪性新生物	77	12.0	前立腺肥大（症）	84	7.4	腎結石および尿管結石	68	4.2
	3位	腎結石および尿管結石	73	6.2	腎結石および尿管結石	75	5.8	膀胱の悪性新生物	57	9.4
	4位	前立腺肥大（症）	63	6.7	膀胱の悪性新生物	68	10.2	前立腺肥大（症）	52	6.3
	5位	急性尿細管間質性腎炎	15	11.4	急性尿細管間質性腎炎	18	13.3	急性尿細管間質性腎炎	10	10.0
皮膚科	1位	蜂巣炎<蜂窩織炎>	2	9.0	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	1	8.0	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	4	10.8
	2位				多形紅斑	1	12.0	類天疱瘡	2	29.5
	3位				熱傷および腐食, 部位不明	1	25.0	熱傷および腐食, 部位不明	2	50.5
	4位									
	5位									

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2019年度			2018年度			2017年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
産婦人科	1位	単胎自然分娩	140	7.5	単胎自然分娩	135	6.9	単胎自然分娩	163	6.6
	2位	子宮平滑筋腫	39	9.1	大腿骨骨折	47	65.1	出生児, 出生の場所による	148	6.6
	3位	女性性器脱	38	11.8	子宮平滑筋腫	40	8.5	子宮平滑筋腫	42	9.2
	4位	女性性器のポリープ	36	1.3	偽陣痛	26	21.2	大腿骨骨折	34	62.5
	5位	大腿骨骨折	31	64.8	女性性器のポリープ	22	1.2	偽陣痛	32	14.7
眼科	1位	老人性白内障	406	3.6	老人性白内障	377	3.9	老人性白内障	417	3.3
	2位				その他の白内障	2	1.0	その他の白内障	3	2.3
	3位				水晶体のその他の障害	2	3.5			
	4位									
	5位									
耳鼻咽喉科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
放射線科	1位	乳房の悪性新生物	2	34.5						
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									

③診療科上位5疾患

診療科	順位	2019年度			2018年度			2017年度		
		疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数	疾病中分類	件数	平均日数
麻酔科	1位									
	2位									
	3位									
	4位									
	5位									
歯科・口腔外科	1位	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	18	8.2	歯髄および根尖歯周組織の疾患	15	7.9	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	19	7.9
	2位	歯髄および根尖歯周組織の疾患	12	6.2	顎骨のその他の疾患	15	14.4	頭蓋骨および顔面骨の骨折	18	13.2
	3位	顎骨のその他の疾患	8	9.1	その他および部位不明の性状不詳または不明の新生物	10	9.9	歯肉炎および歯周疾患	14	7.1
	4位	頭蓋骨および顔面骨の骨折	7	10.3	頭蓋骨および顔面骨の骨折	9	12.6	歯髄および根尖歯周組織の疾患	6	7.2
	5位	歯肉炎および歯周疾患	6	6.2	歯の発育および萌出の障害	7	3.3	口腔および消化器の性状不詳または不明の新生物	5	10.6
消化器内科	1位	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	169	3.4	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	105	2.9	結腸、直腸、肛門および肛門管の良性新生物	116	3.5
	2位	腸の憩室性疾患	35	9.3	腸のその他の疾患	99	3.0	腸のその他の疾患	63	3.4
	3位	腸のその他の疾患	27	3.1	胃の悪性新生物	58	9.6	胃の悪性新生物	31	11.8
	4位	胆石症	27	14.6	胆石症	21	12.6	胆石症	26	16.2
	5位	胃の悪性新生物	20	19.9	腸の憩室性疾患	20	7.7	消化器系のその他の疾患	19	8.4
救急科	1位	その他および詳細不明の胸腔内臓器の損傷	4	5.8	気道からの出血	1	2.0	熱および光線の作用	7	4.6
	2位	利尿薬、その他および詳細不明の薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	3	1.3				頭部の開放創	6	2.3
	3位	有毒動物との接触による毒作用	2	5.5				頭蓋内損傷	5	2.2
	4位							頭部の表在損傷	5	2.4
	5位							脳のその他の障害	4	7.5

IV 診療科紹介

IV 診療科紹介

総合内科

消化器内科

代謝内科

呼吸器内科

小児科

産婦人科

外科

整形外科

脳神経外科

眼科

泌尿器科

麻酔科

放射線科

歯科口腔外科

皮膚科

病理診断科

循環器内科

救急科

健診センター

総合内科

【概要】

私達、内科は2016年4月をもって、総合内科と名称を変更いたしました。総合内科といっても聞き馴染みのない方も多いかと思います。簡単に申し上げますと、広く内科疾患をみるところになります。その地域や病院にあわせて、役割が変わることも特徴です。当院の総合内科では、主にふたつの大きな役割があります。

ひとつにはどこを受診すればいいか分からない患者さんの対応をいたします。胸が痛いから心臓の専門の先生を受診すれば良いかというも必ずしもそうではありません。胸が痛くなる原因としては確かに、心臓に問題があることもありますが、他にも肺や胃、皮膚や筋肉に問題があることも少なくありません。また、熱が続く、なんとなくだるいといった、どこが悪いか分からない時もあると思います。そういった際に、総合内科を受診して頂ければ、どこに行ったら良いか分からない患者さんの窓口として対応致します。

また、もうひとつの役割としてそれ以外にも色々悪いところがある方の入院の対応も役割のひとつです。色々な病気があり、様々な科にまたがって治療されている場合、どこの科に入院するかが問題となることがあります。その際も各科と連携して、当科で対応を致します。

外来に関しては、初診患者さんを中心に対応し、状態が安定したら地域の開業医の先生と連携し、開業医の先生へご紹介するようにしております。どこにいけば良いか分からない患者さんを中心に対応いたします。どうしたらよいか分からない際にはなんでもご相談ください。

【実績】

1日平均患者数
外来 31.9名
入院 29.4名

【取り組みと今後の展望、その他】

現在当科では通常診療に加えて以下の3点に取り組んでおります。

① Polypharmacy (多剤内服)

高齢化や医師の専門化に伴い、薬剤の処方数が増えていることが世界中で問題となっております。特に日本は医療機関へのアクセスが良いため、複数医療機関に受診することも多く、また高齢化も相まって Polypharmacy という問題が近年取り上げられています。当科と薬剤部と地域包括ケア病棟が連携して、地域包括ケア病棟へ入院した患者さんを対象に対策を始めました。

② 高齢者食思不振

認知症を罹患されている患者や高齢者では原因がよくわからない食思不振が多く受診・入院されてきます。原因として臓器の疾患だけでなく、食事の内容の問題や口腔ケアの問題など病気以外にも問題があることがあるため、言語聴覚士や管理栄養士と連携しながら対応にあたっています。より良く対応出来るため、対策を立てる予定です。

③ 多職種連携チーム

当科では ICT、NST、RST といった多職種と連携したチームへ参加しております。今後よりよく連携出来るために定期的な勉強会や意見交換会を更に深めていきたいと考えております。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：寒川 浩道 補職名：医長 専門領域：総合診療 心血管カテーテル治療 構造的心疾患治療 消化器内視鏡治療 内科感染症	日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本内科学会 / 認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医、近畿支部運営委員 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本循環器学会 / 循環器専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 BLS、ACLS 修了 IN.PACT DCB (薬剤溶出性バルーン) 実施研修修了 日本脳卒中学会 / 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会修了

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：堀谷 亮介 補職名：医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 ICLS ディレクター JMECC インストラクター 臨床研修指導医 熱帯医学衛生学位 (DTMH) 熱帯医学専攻修士課程修了 (MTM)
氏名：橋本 忠幸 補職名：副医長 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医 日本救急医学会 / 救急専門医 臨床研修指導医 Master of Public Health (公衆衛生修士) AHA ACLS Experienced プロバイザー
氏名：青木 達也 専門領域：総合内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名：平山 陽士 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 ICLS、JMECC インストラクター
氏名：広川 恵寿輝 専門領域：腫瘍内科	
氏名：長谷 美菜子 専門領域：内科 消化器内科	

業績

発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
2	2019年4月	第116回日本内科学会講演会	高齢者におけるPTGBD/Aの検討	小川 太郎	平山 陽士	名古屋市
3	2019年4月	第116回日本内科学会講演会	免疫チェックポイント阻害薬投与による下垂体機能低下症を来した5例	広川恵寿輝		名古屋市
4	2019年5月	第10回プライマリ・ケア連合学会総会	総合内科設立と各専門科における血液培養採取数増加の関連: Interrupted Time Series Analysisによる検討	青木 達也	川畑 仁貴、橋本 忠幸、山本 勝廣	京都市
7	2019年6月	アメリカ内科学会日本支部総会	RaTs Communication	橋本 忠幸	金澤 剛	京都市
1	2019年7月	プライマリ・ケアレクチャー	便潜血について	平山 陽士		web
5	2019年7月	第17回日本臨床腫瘍学会学術集会	Retrospective analysis of efficacy in breast cancer patients requiring dose reduction in palbociclib due to neutropenia	広川恵寿輝		京都市
8	2019年7月	日本医学教育学会総会プレワークショップ	若手指導医に必要な指導能力とは？	橋本 忠幸	菊川 誠	京都市
9	2019年7月	医学教育フェス	アークス！で参加者を引き込もう	橋本 忠幸		浦安市
6	2019年8月	AMEE 2019	Longitudinal workshops of residents-as-teachers based on teaching EPAs had a high satisfaction for residents	Tadayuki Hashimoto	Junji Otaki, Junichi Taniguchi, Syunnsuke Kosugi, Takashi Kanazawa, Makoto Kikukawa	Vienna
10	2020年2月	広島 RaTs	RaTs Lecture	橋本 忠幸	小杉 俊介	広島市
11	2020年2月	大阪市西区医療・介護連携研修会	地域で取り組むポリファーマシー	橋本 忠幸	北島 正大	大阪市

論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2019年7月	Clinical Practice and Cases in Emergency Medicine No4 (2019) 432-433	An Elderly Women With Giggus Deformity and Physiologic Shock	Shuntaro Sakai	Yoji Hirayama
2	2019年9月	Gノート増刊風邪診療 Vol.6 No.6	頭痛型の風邪とその類似疾患	藤田 浩二	橋本 忠幸

消化器内科

【概要】

消化器内科で診療する疾患は幅広く、腹痛、嘔吐、下痢、血便などを主訴とした消化管（食道、胃、小腸、大腸）疾患、肝炎などの肝疾患、胆石、胆管炎、胆嚢炎、膵炎などの肝胆膵の疾患、そして各消化器臓器の悪性腫瘍などがあります。これらの消化器疾患に対して内視鏡やエコー、CT、MRIを中心とした検査を行い、薬剤や内視鏡による内科的治療を積極的に行っています。

日々の診療においては「患者さんの話をよく聞くこと」、「時間と経費を無駄にしない診療」、「患者さん一人一人の病状に合わせた治療」を心掛け、また、開業医の先生方・近隣の病院との連携を取り、情報提供や紹介入院治療などを行っています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 25.0名

入院 13.3名

令和元年度の内視鏡治療症例数

食堂ESD	1例
食道EIS	5例
胃ESD	31例
上部内視鏡的止血術	61例
小腸カプセル内視鏡	8例
大腸ポリペクトミー	383例
大腸ESD	15例
下部内視鏡的止血術	29例

【取り組みや今後の展望、その他一言】

内視鏡治療の需要は今後も高いと思われます。今後も当院で完結できるように、低い合併症率・高いクオリティを維持できるようにしたいと考えております。ただ、幅広い臓器・疾患を扱う診療科ではありますが、安定したマンパワーが不足が続いており、現在の課題となっています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：荒井 俊夫 補職名：医長 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医 (同上) / 総合内科専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本消化管学会 / 胃腸科認定医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医 日本医師会認定産業医
氏名：吉田 悟 補職名：医長 専門領域：消化器内科	医学博士 (和歌山県立医科大学)
氏名：枝川 剛也 専門領域：消化器内科	日本内科学会 / 認定内科医

業績

発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年7月	橋本市民病院地域医療ネットワーク会議	大腸腫瘍の内視鏡診断	吉田 悟		橋本市

論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2019年7月	Case Rep Gastroenterol 2019;13:305-309	Easy Detection and Fast Removal of Gastric Anisakis during Narrow-Band Imaging Endoscopy with L-Menthol Administration	Toshio Arai	Hiroki Yamada,Takeya Edagawa, Hiromu Sugiyama, Kenichirou Nakachi
2	2020年1月	Case Rep Gastroenterol 2020;14:34-38	Endoscopic Treatment of Solitary Colonic Ganglioneuroma	Toshio Arai	Hiroki Yamada,Takeya Edagawa, Hiromu Sugiyama,Satoshi Yoshida, Shunji Maekura,Kenichirou Nakachi
3	2020年2月	PLoS ONE15(2):e0228117	Association of decreased variation of coefficient R-R interval with ischemic colitis and small bowel obstruction	Toshio Arai	Hiroki Yamada,Takeya Edagawa, Hiromu Sugiyama,Satoshi Yoshida, Shigetoshi Hikimoto, Hiromichi Sougawa, Kenichirou Nakachi

代謝内科

【概要】

内科（代謝・内分泌）は主として糖尿病・脂質異常症・肥満症・高血圧・メタボリックシンドローム等のいわゆる「生活習慣病」の診断・治療・管理をおこなっています。生活習慣病は動脈硬化の危険因子として、特に高齢者のQOLに大きな影響を及ぼすと考えられ、2007年以降、超高齢化社会に突入したわが国では生活習慣に早期から積極的に介入して個々の患者さんに良質な日常生活を送っていただくことが社会的にも最重要課題となつてきています。これらの疾患を有する患者さんに対して長期間にわたる日常生活への介入、病態・病期に即した薬物治療の選択を行っていくためには、地域全体で医療連携を推進していく必要があります。当地域の基幹医療施設である当院においては総合病院の利点を生かして各専門科や各専門職（看護師・栄養士・薬剤師・検査技師・理学療法士等）との連携を図って、重症度や合併症の評価を行い、それに基づいた生活指導や治療介入を行います。

内分泌疾患領域では甲状腺疾患をはじめ、副腎疾患、下垂体疾患も当科で担っています。比較的特殊な検査を要するこれらの内分泌疾患の診断及び治療方針の決定を行います。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 28.5名

入院 5名

2019年度における当科診療体制は常勤医が2名、近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科から週3回、外来診療を応援していただいています。2019年4月～2020年3月の当科受診患者は延べ6,845名、そのうち初診患者数は220名でした。2019年4月～2020年3月に当科で担当した入院患者は142名でした。院内で「糖尿病教室」を医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士が2週で1サイクルの内容でそれぞれ開催しており、教育入院患者だけでなく、入院中の糖尿病患者はだれでも参加できます。糖尿病についての大まかな知識が得られるように構成されています。また、糖尿病療養指導士の育成にも積極的にすすめており、現在7名のCDEJと14名のWLCDEが現場で活躍しています。糖尿病療養支援外来（療養相談・フットケア・糖尿病腎症透析予防）を実施しています。「糖尿病ワーキングチーム」は、毎月第3火曜日に集まって、糖尿病医療チーム内での意見交換や「世界糖尿病デー」を記念して毎年11月に開催している「糖尿病とその予備軍を対象とした行事」の企画等をおこなっています。2019年度は、11月24日（日）に和歌山県立橋本体育館で開催された「すこやか橋本まなびの日」に「糖尿病ワーキングチーム」で出展し、血糖・血圧測定と糖尿病クイズをおこないました。今後も、行政などとも連携して、地域での健康教室などの催しにワーキングチームで参加していこうと考えています。

【取り組みや今後の展望、その他一言】

2016年度以降長らく糖代謝内科では常勤医不在でしたが、2019年度は和歌山県立医大から常勤医2名による診療体制となりました。2年間常勤医師が不在ではありましたが、糖尿病ワーキングチームは継続して活動しており、多職種での活動は実践するチーム医療の重要性を改めて実感するところとなりました。今後も診療および活動を通じて近隣地域の医療を提供できるよう努めて参ります。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>やまおか ひろゆき</small> 山岡 博之 補職名：医長 専門領域：糖尿病 甲状腺	日本内科学会 / 認定内科医 日本甲状腺学会 / 認定専門医 医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名： <small>みやた かおり</small> 宮田 佳穂里 補職名：医長 専門領域：糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医、研修指導医

呼吸器内科

【概要】

診療スタッフは、常勤医（日本呼吸器学会専門医、指導医）1人で、外来は、近畿大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科、近畿大学医学部奈良病院 呼吸器・アレルギー内科より、応援していただいています。日々の診療は、和歌山県立医大附属病院から前期研修医の先生がこられ、病棟診療を共に、実践しています。

施設は、日本アレルギー学会、日本呼吸器学会、日本内科学会の認定または関連認定施設で、主として、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、慢性呼吸不全、胸部異常陰影（肺腫瘍等）、呼吸器感染症、急性呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群等、一般呼吸器疾患の診断、治療を行います。

【診療実績】

1日平均患者数
 外来 25.5名
 入院 7.9名

検査については、肺機能検査、気管支鏡検査（年間 約100例）、睡眠時無呼吸検査等（年間 約70例）施行しています。呼吸不全での在宅酸素療法の導入、非侵襲的人工呼吸管理（NIPPV）も症例により導入しています。

【取り組みや今後の展望、その他一言】

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の診断、加療を中心に、一般呼吸器疾患全般で、患者様のQOL（quality of life）の向上を目指したいと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：藤田 悦生 補職名：副院長 部長 専門領域：呼吸器内科 アレルギー疾患	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本呼吸器学会 / 呼吸器専門医 （同上） / 呼吸器指導医 日本アレルギー学会 / アレルギー専門医 （同上） / アレルギー学会指導医 日本気管食道科学会 / 気管食道科専門医（内科気道系） 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 日本呼吸器内視鏡学会 / 気管支鏡専門医 （同上） / 気管支鏡指導医 日本心療内科学会 / 登録医 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター（ICD 制度協議会）

業績

発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年4月	The 59th Annual Meeting of The Japanese Respiratory Society (第59回日本呼吸器学会学術講演会)	Exhaled gasses analyses by treadmill exercise tests in the respiratory diseases	Etsuo Fujita	Hideki Nishiue, Tatsuya Aoki, Takayuki Kawabata, Issei Hirai, Koma Naito, Kousuke Shimada, Kyuya Gose, Yuji Tohda, Katsuhiko Yamamoto	Tokyo
2	2019年7月	第93回日本呼吸器学会近畿地方会	呼吸器関連疾患での Arm ergometry での exhaled gas analysis 例	藤田 悦生	林 未統、木岡 雅彦、峰 巨、神藤 一紀、山川 量平、西上 英樹、渡邊 航大、濱 裕也、吉田 菊晃、田中理夏子、大野 大地、青木 達也、川畑 仁貴、西願 誠、小林 克暢、星屋 博信、河原 正明、嶋田 浩介、山本 勝廣	京都市
3	2019年7月	第87回和歌山医学会総会	BAL 診断で EGFR 変異を診断しえた1例	藤田 悦生	林 未統、前倉 俊治、星屋 博信、古川 健一、嶋田 浩介、高濱 隆幸、御勢 久也、東田 有智、山本 勝廣	和歌山市
4	2019年7月	第50回日本職業・環境アレルギー学会	Bronchial asthma を含む呼吸器疾患での喫煙歴と肺機能検査等の評価	西上 英樹	藤田 悦生、西岡 照平、渡邊 航大、千田 修平、西村 日出子、星屋 博信、青木 達也、嶋田 浩介、山本 勝廣	名古屋市
5	2019年9月	第225回日本内科学会近畿地方会	Cavitary lesion を呈し Bronchoscopy での BAL 診断で加療を導入した Klebsiella, Pseudomonas pneumonia の1例	藤田 悦生	青木 達也、根本 樹希、山岡 博之、宮田佳穂里、星屋 博信、河原 正明、坂田 好史、嶋田 浩介、山本 勝廣	大阪市

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
6	2019年10月	第56回日本臨床生理学会総会	呼吸器関連疾患での Arm ergometry での exhaled gas analysis	藤田 悦生	林 未統、神藤 一紀、山川 量平、峰 巨、木岡 雅彦、青木 達也、長谷美菜子、広川恵寿輝、星屋 博信、嶋田 浩介、御所 久也、東田 有智、山本 勝廣	大宮市
7	2019年10月	第56回日本臨床生理学会総会	呼吸器疾患で Treadmill を用いて決定した O ₂ 投与量の評価 (PF ratio と A-aDO ₂ を含め)	藤田 悦生	東田 有智、西上 英樹、高尾 美徳、山本 勝廣	大宮市
8	2019年11月	第94回日本呼吸器学会近畿地方会	当科における Bacteria 検査での BAL の実施状況	藤田 悦生	廣實 太郎、西上 英樹、千田 修平、高尾 美徳、上野 健、岡部 友香、青木 達也、平山 陽士、橋本 忠幸、小林 克暢、寒川 浩道、榊野 富蔵、匹本 樹寿、星屋 博信、河原 正明、國立 晃成、坂田 好史、嶋田 浩介、山本 勝廣	大阪市
9	2019年12月	第226回日本内科学会近畿地方会	Subcutaneous emphysema と Mediastinal emphysema の2例	藤田 悦生	青木 達也、峰 巨、林 未統、山下 実輝、星屋 博信、平井 一成、河原 正明、嶋田 浩介、山本 勝廣	大阪市

論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2019年5月	J. Wakayama Medical Society 2019 Vol170 (2) (72-75)	A case of bullous lung complicated with respiratory failure and pulmonary hypertension	Hideki NISHIUE	Etsuo FUJITA, Koudai WATANABE, Yoshiro FUKUCHI, Kana ISHIKAWA, Kaoru YASUMURA, Tatsuya AOKI, Masanori TANAKA, Tomizo MASUNO, Katsunobu KOBAYASHI, Hironobu HOSHIYA, Toshiharu MAEKURA, Yoshifumi SAKATA, Hiroo TAKIDANI, Yozo AOKI, Masaaki KAWAHARA, Takayuki TAKAHAMA, Kyuya GOSE, Yuji TOHDA, Kousuke SHIMADA, Katsuhiko YAMAMOTO

小児科

【概要】

小児科は、常勤医師が3名で月曜から金曜の午前診、午後診と月、木、土曜の時間外診療をしています。一般的な小児急性疾患から2次救急まで担当するとともに、小児心身症、アレルギー疾患などに漢方薬、小児鍼等も活用し、専門的かつ総合的な治療に力を入れています。小児循環器疾患には和歌山県立医科大学附属病院から派遣の非常勤医師が担当しています（週1回水曜午前診）。

年間入院数は約300人で、その多くは肺炎、気管支炎、胃腸炎などの急性疾患及び気管支喘息、けいれんなどですが、川崎病、ネフローゼ症候群、化膿性髄膜炎も少数みられます。新生児（年間出生200～250人）の対応、処置も行っています。

1日外来患者数は約34人で急性疾患のほか、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、てんかんなどの痙攣性疾患にも対応しています。院内出生児の1ヶ月健診、各種予防接種（アレルギーやけいれんのあるこどもにも対応）も行っています。

小児救急医療は近隣の南奈良総合医療センター、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院、公立那賀病院と広域連携し、また地域の開業医院と平日ミニ輪番制で漏れのない対応を目指しています。

橋本市の4ヶ月健診（月1回）、1歳8ヵ月健診（年6回）や、あやの台チルドレンセンターとつくしんぼ園の内科健診（年2回）に出務しています。

【診療実績】

1日平均患者数
外来 33.6名
入院 3.2名

【取り組みや今後の展望、その他一言】

小児救急医療、小児心身症、アレルギー疾患などに対し、総合的かつ専門的な治療の充実を目指したいと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>おおいし こう</small> 大石 興 補職名：副診療部長 部長 専門領域：感染症 免疫アレルギー疾患 心身症 漢方治療 小児鍼	日本小児科学会 / 小児科専門医
氏名： <small>むかいやま ひろのぶ</small> 向山 弘展 補職名：医長 専門領域：小児科 腎臓病	日本小児科学会 / 小児科専門医 臨床研修指導医 小児慢性特定疾病指定医 難病指定医
氏名： <small>たちばな しんや</small> 立花 伸也 専門領域：小児科 小児循環器 川崎病	

産婦人科

【概要】

(1) 婦人科の特徴

子宮体がん、子宮頸がん、卵巣がんなどの悪性腫瘍は、手術、放射線療法、化学療法を組み合わせた集学的な治療を行っています。子宮体がん、卵巣がんでは傍大動脈リンパ節郭清術を積極的に行い完全な腫瘍の摘出を目指しています。子宮頸がんは、子宮頸部円錐切除から広汎性子宮全摘術までガイドラインに従って手術を行っています。Ⅲb期以上の子宮頸がんは、化学療法同時併用放射線療法を行っています。子宮筋腫は、薬物療法にて月経困難症や月経過多症などの症状の軽減を図りますが、このような保存的な治療に効果がないときは手術を行います。手術には従来から行われてきた腔式手術や腹式手術だけでなく、内視鏡手術（腹腔鏡、子宮鏡）も行っています。特に子宮鏡下手術は、1～2日間の入院で済み、退院翌日より職場復帰が可能であるため適応のある子宮筋腫には積極的に行っています。良性卵巣腫瘍は、原則的に腹腔鏡下手術を行います。

子宮脱や膀胱瘤は、骨盤支持装置が障害され発生する疾患で排尿障害や排便障害、外陰部不快感などQOLが大きく損なわれる疾患です。当科では膀胱瘤、子宮下垂に対しては経膈メッシュ手術、子宮脱に対しては腔式子宮全摘術+膈断端仙骨子宮靱帯固定術、膈閉鎖術と病状に合わせて術式を選択しています。

(2) 産科の特徴

当院では安全で快適な分娩を目指しています。妊娠、分娩、育児に対する不安をできるだけ小さくして安心して出産を迎えられるように助産師が指導させていただきます。どのようなお産をしたいか希望を伺い、妊婦自身が積極的に出産に臨めるようにしています。最近では従来の分娩台で仰向けになり分娩することは少なくなり、側臥位や四つん這いなど産婦が楽な姿勢での分娩（フリースタイル）を行い、満足度の高い分娩を目指しています。分娩後は、母児の早期接触を行い、その後の母児同室により自宅での哺育が順調に行えるように指導しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 36.3名

入院 20.7名

分娩数	192件
主要手術件数	272件
婦人科悪性腫瘍手術	30例
子宮悪性腫瘍手術	8例
卵巣悪性腫瘍手術	7例
子宮頸部円錐切除	15例
婦人科良性腫瘍手術	42例
子宮全摘術	27例
腹式	25例
腔式	2例
子宮筋腫核出術	4例
付属器切除術	11例
鏡視下手術	87例
腹腔鏡下手術	41例
LM	3例
LAVH	1例
子宮鏡下手術	57例
子宮鏡下子宮筋腫摘出術	5例
性器脱手術	32例
TVM	20例
帝王切開	34例
帝王切開率	16.9%

【今後の展望】

和歌山県、特に伊都橋本地区の子宮がん検診の低い受診率が問題になっています。子宮頸がんワクチン普及が思うように進まない中、新規子宮がん検診受診者の増加がより一層望まれます。子宮がん検診の啓蒙活動を行い、新規がん検診受診者、特に若い世代の増加に努めていきたいと思っております。早期の病変で発見し小さな手術で治療できる症例を増やしていきたいと思っております。

当院は和歌山県で最初にメッシュを使用した性器脱手術を導入し良好な成績を取っています。和歌山県でこの手術を行っている産婦人科施設はまだありません。メッシュ手術の有用性と問題点を機会ある毎に説明し、和歌山県下にメッシュ手術を広めていきたいと考えています。

産科は、助産師の専門性を活用して和歌山県下では数少ない助産外来を開設し、医師と助産師が協力して妊娠、分娩、産褥管理を行うとともに育児相談にも重点を置いて対応しています。行政、保健所などと協力して妊娠から育児まで切れ目のない支援を目指しています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>ふるかわ けんいち</small> 古川 健一 補職名：院長代理 診療技術部長 部長 専門領域：生殖内分泌 不妊症 婦人科腫瘍学 周産期医学	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医、指導医 和歌山県立医科大学医学部 臨床教授 母体保護法指定医師 医学博士（和歌山県立医科大学）
氏名： <small>いけじま みわ</small> 池島 美和 補職名：医長 専門領域：産婦人科全般	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医 母体保護法指定医師
氏名： <small>ほりうち ゆうこ</small> 堀内 優子 補職名：医長 専門領域：産婦人科全般	日本産婦人科学会 / 産婦人科専門医 医学博士（和歌山県立医科大学） 母体保護法指定医師
氏名： <small>しばた</small> 芝田 あゆみ 専門領域：産婦人科全般	

業績

発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年4月	和歌山県医師会母体保護法指定医師研修会	2019年度産産婦医療安全部会報告	古川 健一		和歌山市
2	2019年5月	第65回和歌山県産婦人科医会学術集会	メッシュによる膣式性器脱手術 (tension-free vaginal mesh) の有用性と合併症の中長期的評価	古川 健一	池島 美和、堀内 優子、芝田あゆみ	和歌山市

【概要】

(1) はじめに

外科スタッフは5名（名誉院長は非常勤）、日本外科学会、日本消化器外科学会の指導医、専門医が中心となって手術にあたっています。胸腔鏡下食道がん手術や腹腔鏡下手術、肝胆膵悪性腫瘍手術にも一層力を入れています。主に消化器外科領域の診療を行っており、特に消化器がんの治療が中心になっています。2019年度は454件の手術を行いました（内訳は後述）。

手術内容は食道がん、胃がん、大腸がんでは、がん治療ガイドラインに沿った治療を行っており、先に述べたように胸腔鏡、腹腔鏡下手術を積極的に取り入れています。胸腔鏡、腹腔鏡下手術は単に整容性に優れているだけでなく、胸壁、腹壁破壊が少ないことから早期離床、早期社会復帰が可能となります。また、手術操作自体も鏡視による拡大視効果を利用することでより精密で繊細な手術が可能となっています。手術は、術前カンファレンスで手術適応や術式などを十分検討したうえで実施しています。術後にも病理カンファレンスを行うことで、術式をはじめ治療法を検証しています。

手術以外の治療では、放射線科の協力の下で経動脈の血管塞栓術（TACE）を行っています。さらに内視鏡下治療としては、胃がんや大腸がんでは超音波内視鏡（EUS）で粘膜がんを診断できれば内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を行っています。また総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開（EST）による碎石術、食道静脈瘤に対する内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）、痔核に対する内視鏡的痔核結紮術（EHL）、大腸ポリープに対する内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的胃瘻造設術（PEG）などを多数行っています。

ここ数年で消化器がんに対する化学療法が大きく変化し、当科でも抗がん剤に分子標的薬を追加した外来化学療法や免疫チェックポイント阻害剤による治療を積極的に導入しています。非常に効果的な症例には切除不能であった症例でも conversion surgery で切除できるようになった症例も多く認めます。

また、地域のがん拠点病院であるために、和歌山県のがんの地域連携パス（胃がん、大腸がん、肝臓がん）に沿って、地域の開業医へのフィードバック及び連携を行っています。

さらに、院内の化学療法ワーキング、緩和ケアワーキング、栄養運営委員会（NST活動）などの中心的役割を担っています。すなわち、消化器がんに対して、早期がんには内視鏡的治療、これより少し進んだがんには根治的手術、また再発、進行がんにおける化学療法、終末期などにおける緩和的治療、およびこれら全ての時期における栄養サポートといった、消化器癌に対するあらゆる治療を当科中心に実施しています。

また、当院は災害拠点病院で当科に地域災害医療コーディネーターも在籍しており、救急、災害医療部門の充実と院内外の啓蒙活動にも力を入れています。

(2) 診察内容

一般外科、消化器外科の疾患に対応しています。

対象疾患：消化器疾患（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肛門）、肝・胆・膵疾患、各種ヘルニア（臍、鼠径、大腿、腹壁）が主な疾患です。

(3) 検査、処置、手術

検査：消化管透視、内視鏡、超音波検査（腹部）、CT、MRI、穿刺細胞診

処置：内視鏡的処置（ポリープ切除、粘膜切除、粘膜下層剥離術、マイクロ波凝固術、アルゴンレーザー凝固術、食道静脈瘤硬化療法、食道静脈瘤結紮術、乳頭切開術、乳頭バルーン拡張による碎石術etc.）

肝腫瘍に対するラジオ波凝固術

黄疸に対する減黄術（経皮的胆道ドレナージ術、内視鏡的胆道ドレナージ術）

腸閉塞に対するイレウス管挿入術

経皮的（内視鏡的）胃瘻造設術

メタリックステントを用いた胆管・消化管狭窄の治療

ALTAによる痔核の硬化療法

手術：月、水、金に施行

(4) 主な医療機器

胸腔鏡・腹腔鏡下手術セット、超音波画像診断装置、電子内視鏡セット、ラジオ波凝固装置など

【診療実績】

1日平均患者数

外来 31.4名

入院 34.7名

手術件数

全身麻酔 383件

脊椎硬膜外麻酔 23件

局所麻酔 48件

合計 454件

疾患別

疾患、術式別	件数(うち胸腔鏡、腹腔鏡下手術)
食道がん	3 (3)
胃がん	22 (4)
結腸がん	35 (20)
直腸がん	11 (10)
肝切除術	1
膵頭十二指腸切除術	5
イレウス	29
胆石症	79 (74)
ヘルニア	93 (40)
痔核、痔瘻	14
その他	162 (1)
総計	454 (152)

【取り組みや今後の展望、その他一言】

- ① 患者本位の医療を心がける
- ② 医療過誤、医療事故がないように努め、安全な医療を提供する
- ③ 主要学会の指導医、専門医の取得、施設認定の維持
- ④ 救急医療のさらなる充実と院内外の啓蒙活動、DMAT活動、災害拠点病院としての訓練
- ⑤ NSTのさらなる充実と地域連携NST活動、連携パス
- ⑥ 学会活動、論文作成の増量
- ⑦ がん診療拠点病院としてのがん治療のさらなる充実、啓蒙活動など

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：嶋田 浩介 補職名：院長 地域医療連携部長 専門領域：消化器外科 栄養 災害医療 排便機能	日本外科学会 / 外科専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / TNT 修了 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 緩和ケア指導医 BLS、ACLS 修了 JPTEC 修了 JATEC 修了 DMAT
氏名：坂田 好史 補職名：筆頭部長 専門領域：消化器外科 化学療法 災害医療	日本外科学会 / 外科専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医、指導医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医、指導医 臨床研修指導医 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) DMAT、災害医療コーディネーター
氏名：前田 恒宏 補職名：部長 専門領域：消化器外科 栄養療法	日本外科学会 / 外科専門医 日本消化器外科学会 / 消化器外科認定医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本臨床栄養代謝学会 / 認定医 PEG・在宅医療学会 / 専門胃瘻造設者 (同上) / 専門胃瘻管理者 (同上) / 認定胃瘻教育者 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名：小澤 悟 補職名：部長 専門領域：消化器外科 緩和治療	日本外科学会 / 外科専門医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) 臨床研修指導医 DMAT
氏名：佐藤 公俊 専門領域：消化器外科	
氏名：青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：消化器外科 外科栄養学 胆膵生理機能 健康管理学	日本外科学会 / 専門医、指導医、評議員 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、特別会員 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医、評議員 (同上) / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 和歌山医学会 / 功労会員 日本人間ドック学会 / 人間ドック認定医 (同上) / 人間ドック健診専門医・指導医 (同上) / 人間ドック健診情報管理指導士 検診マンモグラフィ読影認定医 (日本乳がん検診精度管理中央機構) 日本医師会認定産業医 地域包括医療・ケア認定医 (全国国民健康保険診療施設協議会) 日本臨床外科学会 / 特別会員 日本外科代謝栄養学会 / 評議員 日本肝胆膵外科学会 / 評議員

業績
発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年4月	第 67 回和歌山消化器外科談話会	直腸癌術後の直腸膿瘍に対し、薄筋筋弁充填法で治療した1例	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、佐藤 公俊、嶋田 浩介、青木 洋三	和歌山市
5	2019年6月	第 25 回関西 PEG・在宅医療とリハビリ研究会	Upside down stomach のため PEG が不可能であった顔面多発骨折に対して腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア手術と PEG を同時に実施した1例	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、阪中 俊博、高橋 佐智、前垣内真由美、川北 ひさ、坂井 俊文、木村ナオ子、田中 章夫、青木 達也、嶋田 浩介	大阪市
2	2019年7月	第 87 回和歌山医学会総会	嵌頓閉鎖孔ヘルニア手術における鼠径アプローチの優位性	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、佐藤 公俊、嶋田 浩介、青木 洋三	和歌山市
6	2019年9月	第 24 回 PEG・在宅医療学会学術集会	Upside down stomach への PEG には食道裂孔ヘルニア手術を要する	前田 恒宏	前田 恒宏、高橋 佐智、前垣内真由美、川北 ひさ、坂井 俊文、田中 章夫、青木 達也、嶋田 浩介	大阪市
7	2019年10月	第 68 回和歌山消化器外科談話会	大腸イレウスを初発症状とした降尾部粘液囊胞腺癌の1切除例	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、阪中 俊博、佐藤 公俊、嶋田 浩介	和歌山市
3	2019年10月	第 78 回日本癌治療学会総会	超高齢者直腸 GIST 術後肝転移の1切除例	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、佐藤 公俊、嶋田 浩介、青木 洋三	福岡市
8	2019年11月	和歌山県病院薬剤師会 学術講演会	経腸栄養の基礎から臨床へ ～当院 NST で推奨している経腸栄養法の実際～	前田 恒宏		和歌山市
9	2019年11月	第 81 回日本臨床外科学会学術集会	メトトレキサート治療中のリンパ増殖性疾患による空腸穿孔の1例	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、阪中 俊博、佐藤 公俊、嶋田 浩介	高知市
10	2019年11月	第 14 回関西ヘルニア研究会	再発鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TAPP)	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、佐藤 公俊、嶋田 浩介	大阪市
4	2019年11月	第 81 回日本臨床外科学会総会	後区域肝管合流破格例に対する 安全な腹腔鏡下胆嚢摘出術	坂田 好史	前田 恒宏、小澤 悟、佐藤 公俊、嶋田 浩介、青木 洋三	高知市
11	2019年12月	第 32 回日本内視鏡外科学会総会	巨大食道裂孔ヘルニアに対してメッシュを用いた腹腔鏡下手術 3 例の経験	前田 恒宏	坂田 好史、小澤 悟、佐藤 公俊、嶋田 浩介	横浜市
12	2020年2月	第 35 回日本臨床栄養学会学術集会	高齢患者の食欲不振に対する個包装チョコレートの効果	前田 恒宏	高橋 佐智、下垣内愛奈、河崎 尚史、木村ナオ子、前垣内真由美、川北 ひさ、田中 章夫、平山 陽士、青木 達也、嶋田 浩介	京都市 (Web)

整形外科

【概要】

2019年6月末に神藤一紀医師が転勤異動となり、2019年7月より山下実輝医師が着任致しました。整形外科診療体制は常勤医師5名で診療にあたります。施設として、当院は日本整形外科学会認定研修施設および日本手外科学会認定基幹研修施設に指定されております。

高齢化社会の本格的な到来に伴い、整形外科疾患の治療に対する需要は年々増加傾向にあります。

入院症例の多くは大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折に代表される高齢者の四肢骨折に対し、早期のADL回復を目指し手術治療を行っています。

また特に緊急性の高い外傷（切断肢指、開放性骨折、広範皮膚欠損創など）に対しては、休日時間外も整形外科医師がオンコールで待機し診療にあたります。

多岐にわたる整形外科疾患に対して、良質な治療を提供できるように日々研鑽努力していきたいと思っております。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 80.4名

入院 44.4名

2019年度全手術件数（2019年4月1日～2020年3月31日） 総症例 706

骨折	345件
大腿骨近位部	122件
人工骨頭	42件
観血的整復固定術	82件
大腿骨骨幹部～顆部	13件
膝蓋骨	4件
下腿	19件
骨盤	1件
鎖骨	13件
上腕	25件
人工骨頭	3件
観血的整復固定術	22件
前腕	52件
手部～手指	38件
関節外科	30件
人工関節置換術	28件
股関節	3件
膝関節	24件
肩関節	1件
膝靭帯再建	2件
手外科・足外科	168件
手根管症候群	43件
肘部管症候群	5件
腱鞘切開	53件
ばね指	51件
ドケルバン	1件
ECU	1件
皮弁	2件
再接着、腱損傷、神経損傷、血管損傷、靭帯断裂など	29件
手関節形成術、骨切り術	9件
関節固定術	7件
顕微鏡下リンパ管細静脈吻合	2件
アキレス腱断裂	1件
足根管症候群	1件
四肢切断	12件
脊椎	2件
胸椎	2件
骨軟部腫瘍	30件

軟部腫瘍	28 件
骨腫瘍	2 件
その他	131 件
骨内異物除去術	92 件
創傷処理	34 件
脱臼整復（観血もしくは徒手）	2 件
異物摘出	3 件

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：林 未統 補職名：部長 専門領域：手外科 四肢外傷 マイクロサージャリー	日本整形外科学会 / 整形外科専門医 日本手外科学会 / 手外科専門医 中部日本整形外科災害外科学会 / 評議員 身体障害者福祉法第 15 条指定医師（肢体） 医学博士
氏名：木岡 雅彦 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 脊椎外科	日本整形外科学会 / 整形外科専門医 （同上） / 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 （同上） / 日本整形外科学会認定スポーツ医 身体障害者福祉法第 15 条指定医師（肢体）
氏名：峰 巨 補職名：医長 専門領域：整形外科一般 関節外科	日本整形外科学会 / 日本整形外科学会認定リウマチ医 （同上） / 日本整形外科学会認定リハビリテーション医 日本専門医機構認定整形外科専門医 AOTrauma Member, AOTrauma Japan 上級会員
氏名：神藤 一紀 補職名：副医長 専門領域：整形外科一般	日本整形外科学会 / 整形外科専門医
氏名：山川 量平 専門領域：整形外科一般	
氏名：山下 実輝 専門領域：整形外科一般	

脳神経外科、脳血管内治療センター

【概要】

当科は一般外来および入院患者さんの診療に加え、伊都、橋本地域の頭部外傷、脳卒中に対して24時間体制で救急に対応しております。2019年度においては入院患者内脳卒中患者は半数近くに及び、年々増加しています。2018年4月より脳血管内治療専門医である、吉村 良先生を迎え、脳血管内治療センターをオープンし、tPA、急性期血行再開術の恩恵をより多くの患者様にうけていただくよう、Code Stroke systemを整備し、救急隊からの連絡を直接聞き、早期に対応準備し、治療までのtimeを短縮し、超急性脳梗塞には経静脈的血栓溶解療法(tPA 13例)に加え、急性期血栓機械的血栓捕捉術18例と着実に症例数が伸びてきています。

またLEICA社の顕微鏡システムを導入し、術中蛍光色素による脳血管撮影が可能となり、脳腫瘍手術では、腫瘍と正常脳との境界を明らかにする、蛍光色素をもちいた、臨床研究も行っています。

当科では県下で3施設でしか行えない「画像支援ナビゲーション手術」を行っています。この手術で使用されるMedtronic社製のニューロナビゲーターStealth Stationは、自動車の道案内に用いられる「カーナビ」のようなものです。病変部と周辺組織の立体的位置を正確に表示してくれるため、手術の際にどこを切開しどのように進めば安全に病変部まで到達できるのか、といったことが一目瞭然です。その結果、神経や血管を傷つけることなく安全に病変部を取り除くことができるようになり脳腫瘍の治療で成果をあげています。さらに、重要脳神経や重要機能を司る脳(手足の動き、言語)近傍脳腫瘍摘出時には神経モニタリングを併用し画像支援ナビゲーションと共に病変部を切除する精度を高めるだけでなく安全性の向上に努めています

また2013年9月からは、和歌山県下では数少ない専門外来「物忘れ外来」(担当:大饗医師)を開設しております。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 38.2名

入院 23.4名

手術実績 119例

脳血管障害	
開頭ネッククリッピング術	2例
開頭血腫除去術	5例
定位的血腫吸引除去術	0例
脳動静脈奇形摘出術	0例
バイパス術	0例
脳室ドレナージ術	7例
外減圧術	3例
脳腫瘍	
開頭脳腫瘍摘出術	7例
経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術	1例
生検術	0例
外傷	
開頭血腫除去術	2例
頭蓋形成術	5例
慢性硬膜下血腫穿頭洗浄術	25例
水頭症	
脳室腹腔シャント術	3例
腰椎くも膜下腔腹腔シャント術	1例
その他	5例
血管内手術	
脳動脈瘤コイル塞栓術	7例
頸動脈ステント留置術	15例
鎖骨下動脈ステント留置術	1例
頭蓋内血管拡張術	3例
急性期血栓捕捉術	18例
AVM塞栓術	2例

AVF 塞栓術	1 例
脳腫瘍栄養血管塞栓術	3 例
鼻出血（動脈塞栓術）	1 例
慢性硬膜下血腫（動脈塞栓術）	2 例

【今後の課題】

新しい手術技術の導入を行い、新規患者の獲得
地域社会への啓蒙活動の強化

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： ^{かきした こうじ} 垣下 浩二 補職名：筆頭部長 専門領域：脳腫瘍 脳卒中の外科治療 神経機能の外科治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳卒中学会 / 脳卒中専門医、指導医 日本定位・機能神経外科学会 / 機能的定位脳手術技術認定医 日本頭痛学会 / 認定頭痛専門医
氏名： ^{おおい よしひろ} 大饗 義仁 補職名：部長 専門領域：脳腫瘍の外科治療 認知症治療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
氏名： ^{よしむら りょう} 吉村 良 補職名：部長 専門領域：脳卒中 脳血管内治療 災害医療	日本脳神経外科学会 / 脳神経外科専門医、指導医 日本脳神経血管内治療学会 / 日本脳神経血管内治療学会認定専門医 日本脳卒中学会 / 日本脳卒中学会認定専門医、指導医 社会医学系指導医（社会医学系専門医協会） 日本 DMAT 隊員（総括 DMAT） ISLS（脳卒中初期診療コース）コーディネーター JATEC（外傷初期診療コース）インストラクター 日本 DMAT インストラクター MCLS（多数傷病者初期診療コース）世話人 ADLS/BDLS（アメリカ災害医学コース）インストラクター

業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年6月	The 3rd ARAB PEDIATRIC - 8th MAGHREBIAN NEUROSURGERY JOINT CONFERENCE	Basic strategy for Carotid Artery Stenting	Ryo Yoshimura		Tangier, Morocco
2	2019年9月	第3回日本脳神経外科認知症学会	「抗認知症薬の剤形の違いによる飲みやすさ、負担感の検討ー内服におけるドライシロップの有用性ー」	大饗 義仁	吉村 良、垣下 浩二	つくば市
3	2019年10月	第77回日本脳神経外科学会総会	不安定プラークを有する頸部内頸動脈狭窄に対する当院の CAS 治療	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	大阪市
4	2019年10月	第20回和歌山救急災害医療研究会	JOIN は血管内治療医を幸せにしたか	吉村 良	大饗 義仁、垣下 浩二、山本奈保美、嶋田美由紀、池田 景子、西井 千裕、宮田 政明、森本 勝士、小坂 将弘、三木田 正夫	田辺市
5	2019年10月	日本脳神経外科学会 第78回学術総会	「症候性脳底動脈狭窄症に対する血管形成術」	大饗 義仁	吉村 良、垣下 浩二	大阪市
6	2019年11月	第47回日本頭痛学会総会	脳静脈洞血栓症の頭痛と側副血行について	垣下 浩二	吉村 良、大饗 義仁	さいたま市
8	2019年11月	第36回日本脳神経血管内治療学会学術総会	初発 / 再発を問わない慢性硬膜下血腫の血管内治療	吉村 良	大饗 義仁、垣下 浩二	福岡市
9	2020年2月	CVD Winter Seminar	Basic strategy for Carotid Artery Stenting	Ryo Yoshimura		Nagoya, Japan

講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2019年4月	EISAI 社内研修会	身近に潜む高齢者てんかん	垣下 浩二	和歌山市
2	2019年4月	南大阪認知症懇話会	「認知症診療における必要な検査と薬物療法 + a」	大饗 義仁	堺市
3	2019年4月	伊都医師会第409回診療懇話会	「認知症診療における医療機関の役割 ～診断治療から地域連携～」	大饗 義仁	橋本市
4	2019年5月	てんかん web セミナー	脳血管障害とてんかん	吉村 良	和歌山市
5	2019年6月	特別養護老人ホーム友愛苑研修会	地域医療連携 てんかんセミナー 身近に潜む高齢者てんかん	垣下 浩二	九度山町
6	2019年6月	ISLS ランチョンセミナー	急性期脳梗塞の治療と当院の取り組み	吉村 良	和歌山市
7	2019年6月	市民公開講座	あなたの脳を守るために	吉村 良	橋本市
8	2019年7月	大塚社内講演会	脳血管障害とてんかん	吉村 良	和歌山市

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
9	2019年7月	脳卒中フォーラム	急性期脳梗塞治療と多職種連携	吉村 良	和歌山市
10	2019年7月	ATIS web セミナー	脳卒中2次予防における脂質管理の重要性	吉村 良	東京
11	2019年7月	エーザイ株式会社 MR 研修会	「認知症とまぎらわしい高齢者てんかん」	大饗 義仁	橋本市
12	2019年9月	特別養護老人ホーム南山苑研修会	地域医療連携 てんかんセミナー 身近に潜む高齢者てんかん	垣下 浩二	高野町
13	2019年9月	橋本市消防講演	急性期脳梗塞治療と血栓回収術	吉村 良	橋本市
14	2019年9月	ほしゼミ	災害医療	吉村 良	大阪市
15	2019年9月	リバスタッチ @WEB セミナー	「脳神経外科による認知症診療～診療から介護との連携まで～」	大饗 義仁	橋本市
16	2019年9月	橋本市民病院健康セミナー（たすけ愛城山台）	「認知症の予防と対処策について」	大饗 義仁	橋本市
17	2019年9月	第4回 みんなの健康フェア	「みんなで笑って認知症を予防」	大饗 義仁	和歌山市
18	2019年10月	Bayer 薬品社内勉強会	脳梗塞の超急性期治療のトピックスと慢性期治療	垣下 浩二	和歌山市
19	2019年11月	第8回和歌山県病院薬剤師会紀中支部研修会	もっと知ってほしい高齢者てんかん	垣下 浩二	御坊市
20	2019年12月	医療と介護の連携セミナー	高齢者てんかん 認知症と間違われやすい高齢者てんかんでどう見極める？	垣下 浩二	橋本市
21	2019年12月	災害フォーラム	和歌山県 DMAT の活動	吉村 良	橋本市
22	2020年2月	伊都薬剤師会研修会	パーキンソン病の病態と治療	垣下 浩二	橋本市
23	2020年2月	脳卒中 web セミナー	脳卒中治療と total management	吉村 良	和歌山市

眼科

【概要】

1996年度の眼科常勤化以降、2003年度・2004年度のみ常勤医2名体制であったほかは常勤医は1名体制でしたが、2009年10月以降、2名体制で診療にあたっております。(残念ながら、2020年7月以降、常勤医1名体制となります)

眼科手術は主に白内障手術を行っておりますが、近隣で手術を行っている施設が少ないため、年々手術件数が増加しています。近隣の診療所の先生方にご協力いただき、周術期は当院で、術後の経過観察については診療所という連携を推進しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 45.2名

入院 3.2名

手術件数(2019年度) 計 640件

(内訳)

白内障手術	629件
その他の手術	11件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

2020年7月以降、常勤医1名体制となりますが、手術件数は維持できるよう努力いたします。これまで以上に、地域の先生方との連携を深めてまいりたいと存じます。

診療内容

眼科診療全般を取り扱っておりますが、網膜剥離および硝子体手術を要する網膜症・硝子体出血等については当院での手術ができませんので、他施設への紹介とさせていただきます。また、硝子体内注射治療については現在のところ取り扱っていません。

常勤医師が増員となるまでの間は、予約のない方の受診については、紹介状をお持ちの方のみとさせていただきます。また、ご紹介の方についても、紹介元の先生方から地域連携室を通してのご予約を強くお願い申し上げます。

検査・処置・手術

特に白内障手術については症例数が多くなっております。

白内障手術では、片眼の手術では日帰り入院(月曜日または水曜日午後手術)または2泊3日入院(水曜日午前入院・同日午後手術)で行っております。両眼の手術を希望される方は、日帰り入院での手術の場合は1週間あけての手術、入院での手術を希望の方は4泊5日入院の間に両眼の手術を行います。ご紹介いただいた初回の診察時に手術日程についてご相談させていただき、日程を確定しています。

白内障手術の際に挿入する眼内レンズについては、現在のところ、乱視矯正眼内レンズ、多焦点眼内レンズのお取り扱いはありません。

主な医療機器

(主な検査機器)

細隙灯顕微鏡、無散瞳眼底カメラ、蛍光造影眼底カメラ、自発蛍光眼底カメラ、OCT、各種眼圧計、光干渉式眼軸長測定装置、Aモードエコー、Bモードエコー、スペキュラーマイクロスコープ、ゴールドマン視野計、ハンフリー自動視野計、中心フリッカー測定器、ERG、Hess スクリーン検査

(アノマロスコープ、角膜形状解析、ICG 眼底造影などは他施設紹介となります)

(主な手術装置)

超音波白内障手術装置、マルチカラーレーザー手術装置、YAG レーザー手術装置

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>きん けいしゅ</small> 金 桂洙 補職名：部長 診療情報部長 医療安全管理部長 感染管理室長 専門領域：眼科一般 白内障	医療安全管理者
氏名： <small>ひろせ じゅんいち</small> 廣瀬 順一 補職名：医長 専門領域：眼科一般 白内障	日本眼科学会 / 眼科専門医

業績

論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2019年12月	月刊新医療 2020年1月号 (46-49)	「レポート確認説明管理機能」の導入目的と運用効果の実際	金 桂洙	

泌尿器科

【概要】

これまで行ってきた上部尿路結石に対する細径尿管鏡を用いた経尿道的手術（TUL）、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺レーザー核出術（HoLEP）や膀胱がんに対する経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR - Bt）、女性泌尿器科疾患に対する手術も安定して行っています。加えて、上部尿路がん（腎盂がんや尿管がん）や腎がんなどの泌尿器科悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術も積極的に実施するようになり、別記の通り一定の症例数を重ね、安定した手術成績を示しております。2017年1月に腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を獲得し、限局性前立腺がんに対する腹腔鏡下手術も継続実施しております。2018年1月からは難治性の過活動膀胱に対する仙骨神経刺激療法（SNM）についても施設認定を受けました。2020年度からは、難治性過活動膀胱に対するボツリヌストキシン膀胱壁注入療法も取り入れ症例を重ねつつあります。

2020年4月より朴聖一先生が赴任されました。

これまでどおり、患者さんの生活の質（QOL）を重視しつつ診療に取り組むと考えております。

●診療内容

次のような泌尿器科疾患を対象としています。

- ① 泌尿器科悪性腫瘍（腎がん、腎盂がん、尿管がん、膀胱がん、前立腺がん、精巣腫瘍など）
- ② 排尿障害（前立腺肥大症、神経因性膀胱など）
- ③ 尿路結石（膀胱結石、腎結石、尿管結石など）
- ④ 尿路性器感染症（膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎、性感染症など）
- ⑤ 小児泌尿器科（停留精巣、包茎など）
- ⑥ 性機能障害（ED、男性更年期など）
- ⑦ 女性泌尿器科（尿失禁、性器脱など）

【診療実績】

1日平均患者数

外来 61.9名

入院 9.3名

手術日は火曜日、木曜日、金曜日の午後です。主に火曜日に全身麻酔手術を予定しております。手術実績に関しては1月から12月のものを掲載いたします。

手術名	2016年	2017年	2018年	2019年
副腎摘除術（鏡視下）	1 (1)	3 (3)	3 (3)	1 (1)
根治的腎摘除術（鏡視下）	2 (2)	2 (2)	1 (1)	9 (9)
単純腎摘除術	0	0	1	0
腎部分切除術	0	0	1 (1)	1 (1)
腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）	5 (5)	7 (7)	5 (5)	11 (11)
経尿道的尿管碎石術（TUL）	65	78	72	69
腹腔鏡下腎盂形成術	0	1 (1)	3 (2)	1 (1)
膀胱全摘除術（開腹）	1	2	2	1
回腸（結腸）導管造設術	1	2	1	0
経尿道的膀胱腫瘍切除術	43	50	49	59
尿失禁手術（TVT、TOT）	4	7	9	11
高位精巣摘出術	2	4	3	2
経尿道的前立腺レーザー核出術	45	41	83	73
前立腺全摘除術（鏡視下）	10	9 (7)	6 (6)	13 (12)
膀胱碎石術	11	7	12	3
陰嚢内小手術	7	9	7	10
その他手術	15	5	6	22
合計	212	227	264	286

() 内破腹腔鏡下手術件：全件数（腹腔鏡下手術件数）

【取り組みや今後の展望、その他一言】

常に患者さんに寄り添い、生活の質をできる限り損なわないできるだけ低侵襲な治療を考えながら診療を進めていきたいと考えております。地域医療に少しでも貢献できるよう努力いたします。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：稲垣 武 補職名：筆頭部長 専門領域：泌尿器科全般 悪性腫瘍 腹腔鏡手術	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本泌尿器科内視鏡学会 / 泌尿器腹腔鏡技術認定医 医学博士
氏名：平林 康男 補職名：部長 専門領域：泌尿器一般 尿路結石 尿失禁 前立腺肥大症 下部尿路機能	日本泌尿器科学会 / 泌尿器科専門医、指導医 日本性感感染病学会 / 日本性感感染病学会認定医 医学博士
氏名：上野 駿 専門領域：泌尿器一般	

業績

発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年10月	第242回日本泌尿器科学会関西地方会	局所尿路上皮癌に対して化学療法中、総腸骨動脈-結腸瘻をきたした1例	上野 駿	稲垣 武 平林 康男	大阪市
2	2019年10月	第57回日本癌治療学会学術集会	前立腺肥大症に対するホルミウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP) 後、前立腺癌と診断された患者の検討	稲垣 武	上野 駿、平林 康男	福岡市
3	2019年11月	第33回日本泌尿器内視鏡学会	前立腺肥大症に対するホルミウムレーザー前立腺核出術 (HoLEP) 後、前立腺癌と診断された患者の検討	上野 駿	稲垣 武 平林 康男	京都市

麻酔科

【概要】

スタッフは常勤1名と非常勤が週4日各1名です。

麻酔科が担当する麻酔症例は全身麻酔が中心で、硬膜外麻酔、脊椎麻酔も行っています。当院は外科系診療科が多く、症例も一般的な手術は殆ど行っているため、麻酔症例の偏りはありません。

全身麻酔は、レミフェンタニルを併用した吸入麻酔、静脈麻酔で行っており、症例によっては硬膜外麻酔を併用しています。

【診療実績】

2019年度の総手術件数は2430症例、そのうち麻酔科が管理した症例は854症例、全身麻酔症例は773症例です。

【取り組み・今後の展望・その他一言】

患者の高齢化、ハイリスク患者の増加、手術の複雑化に伴い、麻酔科の必要性はますます増加しています。また、日本医療機能評価認定や施設認定規準等にも麻酔科は必須項目になってきています。

今後とも、麻酔科の必要性が増し、その地位、待遇の改善が進むと見込まれます。

麻酔科関係の新しい薬剤や機器が日々開発され、麻酔の安全性は飛躍的に向上しています。麻酔の進歩に遅れることなく、それらの新しい薬剤、機器、知識を速やかに取り入れ麻酔の安全性の向上に努めていきます。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>にしうら のりひろ</small> 西浦 徳裕 補職名：部長 専門領域：麻酔科領域全般	日本麻酔科学会 / 麻酔科専門医

放射線科

【概要】

スタッフは、2004年10月に当院で放射線科開設以来、一人体制(放射線科専門医)で画像診断、アンギオ撮影、TAE、動注などのIVR、放射線治療などを行っています。

画像診断は、X線、CT、MRI、RI、血管造影検査などによって、得られた画像を読影して、病気の診断をします。血管造影では、診断だけでなく、肺、肝、膀胱、子宮などの臓器に対して、塞栓術(ジェルパート、コイルなど)、抗がん剤の動注、リザーバー留置、なども行っています。

放射線治療は、新病院移転に伴い、2005年1月より稼動し、2006年は70名、その後徐々に治療患者数が増加し、2009年に当院では初めて100件を超え、8年連続で100件を越えていましたが、今年は超えませんでした(放射線治療患者数の計算は1月～12月で計算)。

部位は、頭部、肺、肝、子宮、前立腺など多岐にわたっています。CTシミュレーターのため、照射部位がしぼられ、周囲の照射による副作用を軽減でき、しいては、照射線量を増加させることができます。例えば、前立腺は透視シミュレーターの場合は約60Gyであるが、当院では、72Gyまで照射しています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 9名

入院 1名

画像診断 (CT、MRI、RI等)	約 6,750 件
検診の画像診断 (胸部単純、胃透視)	約 2,600 件
アンギオ	10 件
放射線治療	82 件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

放射線治療、アンギオ治療はがん診療連携拠点病院には欠かせない治療です。末期治療、疼痛緩和治療としても放射線治療は必要です。3年前より前立腺がんの治療薬であるゾーフィゴが当院でも使用可能になりました。これは、核医学製剤としては2番目の治療薬であり、骨転移のある患者さんに対して効果が期待出来ます。一ヶ月に一回を6度、6ヶ月かかります。患者さんの疼痛緩和、QOLの意味からも有用な薬剤となることが期待されています。今年度は3名の方に使用しました。

また、2020年4月より放射線科は増員されます。このため、画像診断の件数を2倍以上に増加させることが可能になります。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名: <small>つのい かずゆき</small> 角井 一之 補職名: 部長 専門領域: 放射線科	日本医学放射線学会 / 放射線科専門医

歯科口腔外科

【概要】

(1) 科の紹介（特徴）・取り組み等

2019年4月から、常勤医2名（和歌山医科大学・口腔外科学教室）、歯科衛生士3名、歯科技工士1名、火曜日のみ非常勤医+1名（隔週）で診療を行っています。

地域の歯科医師会ならびに医師会と病診連携をとりながら、病院歯科口腔外科としての特徴を最大限に活かして外来診療・入院治療を行えるように取り組んでおります。

なお2013年10月より日本口腔外科学会准研修施設の認定を受けています。

(2) 診察内容

口腔外科として診療対象は一般の歯科医院では対応困難な埋伏歯や顎口腔領域の炎症、顎骨の骨折や歯の脱臼などの外傷、嚢胞、腫瘍、顎変形症、先天異常、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患と多岐にわたります。また、ウイルス感染症による口内炎や神経性疾患などの口腔内科的な診断・診療も範疇となります。多様な基礎疾患をもつ患者様に対しても、各科と協力しながら身体機能の早期回復を目指して治療に取り組んでおり、睡眠時無呼吸症候群の治療の一環として口腔内装具の作成なども行っています。

また病院歯科として口腔機能の維持・改善を行うことにより早期の経口摂取の開始、誤嚥性肺炎の防止などにつとめ、1日も早い回復を目指した口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。近年、オーラルマネージメントの重要性が取り上げられており、当院でも栄養サポートチーム（NST）、呼吸サポートチーム（RST）、摂食嚥下リハビリチーム、緩和ケアサポートチームに参加しております。また糖尿病の教育入院の一環として口腔衛生指導にも取り組んでいます。

なお、地域の歯科医師会との病診連携を明確にしているため、循環器疾患や脳血管障害、糖尿病などの有病者の方の抜歯などは当科で担当し、その後の一般歯科治療は紹介元の歯科医院に逆紹介させていただいています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 24.0名

入院 1.8名

外来初診件数 1,855件

外傷（骨折：27件、歯の外傷25件、軟組織創傷69件）

炎症（膿瘍29件、顎骨炎36件、上顎洞炎24件、インプラント周囲炎3件）

口腔粘膜疾患（口腔乾燥症108件、白板症14件、扁平苔癬13件、ウイルス性疾患5件、
その他の口腔粘膜疾患298件）

嚢胞（歯源性嚢胞37件、非歯源性嚢胞1件、軟組織嚢胞43件）

良性腫瘍および腫瘍類似疾患（歯源性腫瘍1件、非歯源性腫瘍17件、腫瘍類似疾患79件）

歯科心身症61件

顎関節疾患（顎関節症109件、顎関節脱臼7件）

神経性疾患（神経痛3件、神経麻7件、その他の神経疾患13件）

唾液腺疾患（唾液腺炎15件、唾石症7件、唾液腺腫瘍2件）

悪性腫瘍（癌腫7件、その他1件）

歯（P/Perなど313件、Perico/埋伏歯/位置異常471件）

先天異常・発育異常10件

入院手術件数80件

歯・歯槽外科手術（智歯抜歯術14件、智歯以外の抜歯術13件、その他の手術2件）

補綴前外科手術・顎堤形成手術（骨隆起形成術5件、その他の手術1件）

消炎手術（膿瘍切開術5件、顎骨骨髓炎消炎手術2件、腐骨除去術6件）

良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患等の手術（軟組織腫瘍切除術 1 件、顎骨腫瘍切除術 2 件、
顎骨嚢胞摘出・開窓術 9 件）
唾液腺関連手術（唾液腺良性腫瘍手術 2 件）
顎顔面外傷手術 / 異物除去手術（下顎骨骨折手術 2 件、関節突起骨折手術 1 件、頬骨・頬骨弓骨折手術 2 件、
顔面多発骨折手術 1 件）
癌 / 前癌病変関連手術（舌部分切除術 2 件、頬粘膜・口底切除術 2 件、上顎部分切除術 1 件、
下顎辺縁切除術 2 件、選択的頸部郭清術 1 件、その他の手術 1 件）
再建外科手術（局所皮弁再建術 1 件、その他の手術 1 件）

【今後の課題】

高齢化社会による疾病構造の変化とともに有病者率は年々増加傾向にあります。それにあわせ抗凝固・抗血小板療法や免疫抑制剤の使用、ビスフォスフォネート製剤による顎骨壊死のリスクなど、歯科治療に際して注意を要する対象も増加しています。今後は更に安心・安全な医療の提供が求められるようになり、悪性腫瘍の手術や放射線・化学療法における周術期の口腔ケアなど、病院歯科としての口腔外科のニーズはますます高まってきています。また、地域における中核病院の歯科口腔外科として、医科・歯科の病診連携がよりスムーズになるように頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：田中 章夫 <small>たなか あきお</small> 補職名：部長 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 口腔外科専門医、指導医 日本小児口腔外科学会 / 小児口腔外科認定医 日本口腔ケア学会 / 口腔ケア認定 4 級 AHA BLS インストラクター
氏名：森 恵一 <small>もり けいいち</small> 専門領域：口腔外科全般	日本口腔外科学会 / 口腔外科認定医

皮膚科

【概要】

皮膚科は2009年より常勤体制となり、現在も常勤医師1名、応援医師数名交代制で主に外来を中心に診療を行っています。周辺に皮膚科専門の開業医の数が少ないため、common skin diseases 中心ですが、原因究明のため血液検査やDLST検査、金属パッチテストなどの貼付試験、皮内反応などを可能な限り行っています。病理組織学的検査により診断精度の上がることが期待できる症例に関しては、積極的に皮膚生検検査や外来で行える範囲での小切除も行っています。

平成24年11月より紫外線治療機器が導入となり、尋常性乾癬や菌状息肉症などの皮膚疾患に対して光線療法を行えるようになりました。

また、他科と連携し褥瘡をはじめ入院中の皮膚疾患に対しても積極的にかかわり治療に携わっています。入院加療が必要な場合（熱傷、带状疱疹、薬疹など）は入院による加療も行っています。

【診療実績】

1日平均患者数

外来 24.0名

入院 0.6名

【取り組みや今後の展望、その他一言】

皮膚科は基本的に外来中心の科ですが、できれば入院患者数の増加も目指していく予定です。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：服部 舞子 はっとり まいこ 補職名：医長 専門領域：皮膚科一般	日本皮膚科学会 / 皮膚科専門医

病理診断科

【概要】

地域中規模病院の病理診断科です。担当職員は病理常勤医 1 名、非常勤医 1 名、技師 3 名（うち細胞検査士は 1 名）です。2019 年度、病理診断科をローテートした臨床研修医は 3 名です。若い先生方に研修に来て頂き、一般病院での病理医の役割を知って頂いたら幸いです。患者さんの病気を知って病理学を学ぶことは医学者として research mind を持ち続けるための土台になるものと考えています。気楽に病理のローテート研修を選択して頂き、病理診断学、病理学、博物学の世界に触れて頂いたらよいかと考えます。

【診療実績】

組織件数： 2,601 件、 ブロック数： 8,924 個、 プレパラート枚数： 8,908 枚
細胞診件数： 5,641 件、 プレパラート枚数： 8,896 枚
免染枚数： 2,216 枚 特染枚数： 298 枚
迅速件数： 44 件、 迅速細胞診： 9 件 剖検件数： 3 件

- ・ 臨床との症例検討：適時
- ・ 外科 - 病理症例検討会（毎週金曜日 8 時 30 分より） 41 回
- ・ CPC1 回 2020 年 3 月 6 日 多発性プラと肺線維症による呼吸不全で来院した 60 歳男性
臨床：研修医：千田医師、病理：研修医：渡邊医師
- ・ 研修医の受け入れ
2019 年 11 月 廣實医師、2019 年 12 月 西上医師、2020 年 3 月 渡邊医師

【今後の展望】

- ・ 積極的に臨床・病理カンファレンスを実施する
- ・ 医療安全の立場を踏まえて、病理解剖を積極的に取り組む意識を持つ
- ・ 専門性の高い病理技師、細胞検査士の育成
- ・ 病理検査室の独立と大学病院ならびに周囲関連病院との積極的な病理連携。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：前倉 俊治 補職名：副院長 部長 専門領域：病理診断	日本病理学会 / 病理専門医 (同上) / 評議員 日本臨床細胞学会 / 細胞診専門医 日本臨床検査医学会 / 臨床検査管理医

業績

論文・雑誌掲載

No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者
1	2020年1月	Case Rep Gastroenterol 2020;14:34-38	Endoscopic Treatment of Solitary Colonic Ganglioneuroma	Toshio Arai	Hiroki Yamada, Takeya Edagawa, Hiromu Sugiyama, Satoshi Yoshida, Shunji Maekura, Kenichirou Nakachi

循環器内科

【概要】

6月末で山本管理者が非常勤となり、常勤医師は、星屋副院長（1985年卒、循環器専門医）、小林医長（1999年卒）、寒川医長（2005年卒）、榊野副医長、匹本医師の5人となります。主要な検査及び治療方針は、カンファレンス等を通じて科院全員で検討し、共通の方針のもとに行っています。

循環器内科では、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、弁膜症、心筋症、心不全、不整脈、高血圧、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症等の循環器疾患全般の診断・治療を行っています。特に、5人体制となってから、365日24時間体制で、急性心筋梗塞、不安定狭心症、心不全等に対する救急治療を積極的に行っています。

【診療実績】

2019年度の新入院患者は770人で、そのうち循環器疾患は589人（虚血性心疾患60%、不整脈11%、弁膜症2%、心筋症1%）でした。そのうち急性心筋梗塞は63例で、発症24時間以内の34例に対して緊急冠動脈インターベンション治療（PCI）を行いました。再灌流療法以外に401件の冠動脈造影を行い、223例にPCIを施行しました。その他、末梢動脈に対する血管形成術（PTA）49件、永久ペースメーカー植え込み術49件でした。

1日平均患者数
外来 50.5名
入院 47.6名

非観血的検査

トレッドミル運動負荷試験	102件
心エコー	2,830件
ホルター心電図	214件
心臓核医学（RI）検査	105件

観血的検査・治療

総心臓カテーテル検査	445件
冠動脈造影検査	435件
冠動脈インターベンション（PCI）	257件
経皮的血管形成術 PTA	49件
永久ペースメーカー植え込み術 新規	25件
交換	9件

【取り組みや今後の展望、その他一言】

当院周辺には循環器専門施設がなく、急性心筋梗塞等の循環器救急疾患の搬送先はほぼ当院に限られます。当科では、24時間体制で循環器救急疾患に対応する方針としていますが、医師5名で24時間体制を持続可能なものとするには地域の医療機関の協力が不可欠であり、そのため連携パスや開業医の先生方との勉強会等を通じ、地域連携の強化に今後一層取り組んでいきたいと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：山本 勝廣 <small>やまもと かつひろ</small> 補職名：病院管理者 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医、近畿支部評議員 日本循環器学会 / 循環器専門医、近畿支部評議員 日本高血圧学会 / 高血圧指導医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療指導医 (同上) / 心血管インターベンション治療認定医 地域包括医療・ケア認定医 (全国国民健康保険診療施設協議会)
氏名：星屋 博信 <small>ほしや ひろのぶ</small> 補職名：副院長 診療部長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医 日本循環器学会 / 循環器専門医
氏名：小林 克暢 <small>こばやし かつのぶ</small> 補職名：医長 専門領域：循環器内科	
氏名：寒川 浩道 <small>そうがわ ひろみち</small> 補職名：医長 専門領域：総合診療 心血管カテーテル治療 構造的心疾患治療 消化器内視鏡治療 内科感染症	日本プライマリ・ケア連合学会 / プライマリ・ケア認定医、指導医 日本内科学会 / 認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会 / 心血管インターベンション治療認定医、近畿支部運営委員 日本感染症学会 / インфекションコントロールドクター (ICD 制度協議会) 日本循環器学会 / 循環器専門医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医 日本化学療法学会 / 抗菌化学療法認定医 臨床研修指導医 浅大腿動脈ステントグラフト実施医 BLS、ACLS 修了 IN.PACT DCB (薬剤溶性バルーン) 実施研修修了 日本脳卒中学会 / 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会修了
氏名：榊野 富造 <small>ますの とみぞう</small> 補職名：医長 専門領域：循環器内科	日本内科学会 / 認定内科医
氏名：匹本 樹寿 <small>ひきもと しげとし</small> 専門領域：循環器内科	

業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年1月	第33回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会	心不全にて入院加療中、右下肢急性動脈閉塞症を発症し、血栓吸引にて救済した1例	匹本 樹寿	榊野 富造、寒川 浩道、小林 克暢、星屋 博信、山本 勝廣	豊中市

講演

No	発表月	会名	演題名	発表者	開催都市
1	2019年11月	第39回 那賀・伊都医師会合同学術講演会	PCI 後消化管出血の検討 ～今後の下部消化管出血の重要性～	寒川 浩道	橋本市

救急科

【概要】

2014年4月より専従常勤医が配置され、救急科の運営がスタートしました。従来は各科が持ち回りで担当していた時間内の救急患者を救急科で受け持ちしています。必要に応じて院内の各科専門医と連携し、引き継ぎや入院診療を円滑に行うようにしています。

当院の位置付けとしては2次救急となっておりますが、実態として当科では1次から3次まで様々な疾患に対応しており、初療の後に必要に応じて高次医療機関への搬送を行っています。また、地域のメディカルコントローラーとして、消防とのホットラインを救急科にて所持しております。2017年度より救急ワークステーションを設置し、週1回ではありますが、当市の救急隊が常駐しています。

【診療実績】(2019年4月～2020年3月)

救急車受入数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
救急者数	195	178	184	173	196	173	182	198	230	228	152	195	190.3

救急科受付患者数

(人)

	平・日	平・夜	休・日	休・夜	合計
患者数	2,480	2,529	2,911	1,956	9,876
うち入院	716	681	758	322	2,477

【取り組み・今後の展望・その他一言】

医療圏内救急搬送の応需率は約半数を占めており、地域貢献が行えていると考えます。救急ワークステーションとの連携も継続しており、救急隊との連携も行っております。また、令和元年度は災害医療への関わりが大きく、院内や院外の訓練において、中心的な役割を果たせました。今後とも、地域救急体制の中心となるよう、一同努めて参ります。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名： <small>さかた よしふみ</small> 坂田 好史 補職名：筆頭部長 専門領域：消化器外科 化学療法 災害医療	日本外科学会 / 外科専門医、指導医 日本消化器外科学会 / 消化器外科専門医、指導医 (同上) / 消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会 / 消化器病専門医、指導医 日本消化器内視鏡学会 / 消化器内視鏡専門医、指導医 臨床研修指導医 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) DMAT 隊員、災害医療コーディネーター
氏名： <small>おかもと じゅん</small> 岡本 潤 補職名：副医長 専門領域：救急医学	日本救急医学会 / 救急科専門医 日本整形外科学会 / 整形外科専門医 日本 DMAT 隊員 JATEC、JPTEC、MCLS インストラクター
氏名： <small>くにたつ こうせい</small> 国立 晃成 補職名：副医長 専門領域：救急一般	日本救急医学会 / 救急科専門医 日本外科学会 / 外科専門医

健診センター

【概要】

健診センターは2006年4月からは常勤医1人体制で、週に3日間運営していましたが、2008年4月からは名誉院長と2人体制となり毎日の健診が可能となり、現在は事務員6名とともに健診業務を行っています。

当健診センターでは、人間ドック（一日ドック、二日ドック等）、生活習慣病健診（協会けんぽ等）、がん検診（肺がん、胃がん、大腸がん等）、脳ドック、女性検診（乳がん検診、子宮がん検診等）、その他の健診（各企業の定期健診、雇用時や入学時の健診等）、さらには職員健診も含め、様々な健診業務を、診療各科や診療技術部の協力も得ながら実施しています。

また、2008年度から特定健康診査、特定保健指導が義務付けられ、当健診センターでも当面は特定健康診査のみではありますが実施しています。

なお、2011年7月からは禁煙治療のための禁煙外来が、2週間に1回ではありますが健診センター内に開設されています。

【診療実績】

2019年度健診センター実績（2019年4月～2020年3月）

健診受診者総数	4,053名
（内訳）	
人間ドック（一日、二日、生活習慣病健診）	1,112件
特定健康診査（国保、社保）	590件
がん検診（肺、胃、大腸）	1,995件
脳ドック	186件
女性検診（子宮がん、乳がん）	1,615件
その他の健診	1,154件

2019年度禁煙外来実績（2019年4月～2020年3月）

禁煙外来受診者数	9名
12週間計5回の禁煙治療を終了した者	6名
禁煙に成功した者	5名
途中で治療を中止したが中止時に禁煙していた者	2名
喫煙を止めた者の割合	78%

【取り組みや今後の展望、その他一言】

2008年度から特定健康診査が開始されましたが、今後は特定保健指導も行うことで、特に生活習慣病の早期発見、予防に取り組んでいきたいと思っています。

健診センターでは、二次予防である一般的な健康診断のほか、生活習慣の指導、啓蒙等の一次予防も行い、これら予防医学全般を通じて地域住民の健康の保持、増進に貢献出来ればと考えています。

医師紹介

氏名・補職名・専門領域	専門医・認定医等
氏名：瀧谷 裕緒 補職名：部長 専門領域：内科 糖尿病	日本内科学会 / 認定内科医 （同上） / 総合内科専門医 日本糖尿病学会 / 糖尿病専門医 （同上） / 糖尿病研修指導医 日本内分泌学会 臨床研修指導医 日本医師会認定産業医
氏名：青木 洋三 補職名：名誉院長 専門領域：※省略 外科参照	※省略 外科参照

V 看護部紹介

V 看護部紹介

看護部

外来

3階西病棟

3階東病棟

4階西病棟

4階東病棟

5階西病棟

5階東病棟

HCU病棟

中央手術室 / 中央材料室

【概要】

●看護職

看護部長 西 未知子
副看護部長 井上 敏江

外来	看護師長	廣西 和代
3階西病棟	看護師長	狩谷 真紀
3階東病棟	看護師長	西林 和美
4階西病棟	看護師長	木村 久美子
4階東病棟	看護師長	船野 真樹
5階西病棟	看護師長	東本 桂
5階東病棟	看護師長	恋中 理恵 (2019年11月より)
中央手術室	看護師長	川北 ひさ
中央材料室	看護師長	川北 ひさ (兼務)
HCU	看護師長	神保 昌世

看護職スタッフ総数 (2020年3月31日現在)

助産師 : 13人
看護師 : 196人
准看護師 : 5人
看護補助者 : 19人

【理念・目標】

●理念・基本方針・目標

看護部の理念

私たちは、「患者の権利」を尊重し、安心、安全、安楽な看護を提供します。

看護部の基本方針

1. 患者の生命の尊厳と人権を尊重した看護をおこないます。
2. 急性期病院の看護専門職として、常に自己研鑽を重ね、後進の育成に努めます。
3. 病床機能に応じて、それぞれの職種が専門職性を活かした看護を提供します。
4. 多職種連携に努め、地域完結型看護をめざします。

看護部教育理念

患者満足と安心・安全を基本とし、急性期病院の医療に対応した専門的な看護を提供できる看護職を育成する。

看護部教育方針

- ✦ 病院の理念、看護部の理念に基づいて、質の高い看護を提供できる看護職を育成する。
- ✦ 現任教育・新人教育・看護補助者教育・後進育成・看護研究の5つの柱とし、それぞれの立場と段階に応じた教育と教育的な援助を行う。
- ✦ 看護の専門職人として看護実践能力を高め、看護の質的向上を図ることを支援する。
- ✦ 職位、役割に応じた研修、学会などに参加する機会を提供する。

看護部目標

魅力ある職場づくりと選ばれる病院づくりに参画

2019年度 スローガン 橋本トキオ

T K O

ともに 考え 思いを寄せる

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 報・連・相の徹底
 - 2) インシデント・アクシデント内容について速やかに報告・対応
 - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) 業務改善と時間管理
 - 2) お互い声を掛け合い、活気ある職場づくり
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
 - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援
 - 2) 専門職として誇りをもち、誠実な態度で患者サービス

【取り組み】

- ・看護部は「考えられる看護師を育てる」ということを念頭に教育プログラムを変更し実施
- ・OJTを活用し管理職の教育を実施

【今後の課題】

1. 教育を充実させる
2. 自己研鑽に努める
3. 職場環境改善に取り組む

【実績】

別紙参照

2019年度委員会・会議 参加者リスト

	部署	氏名	月日	時間	委員会名	場所
1	外来	前垣内 真由美	4月5日(金)	13:30～16:00	第8回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
2	HCU	田中 君枝	4月9日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
3	地域連携	金本 純子	4月12日(金)	15:00～17:00	第1回 糖尿病重症化予防(フットケア)研修 講師打ち合わせ会	和歌山県看護研修センター
4	看護管理	南 真理	4月17日(水)	12:30～14:30	橋本市診療所内カンファレンス	岡本クリニック
5	4西	木村 久美子	4月22日(月)	10:00～17:00	第1回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
6	4西	木村 久美子	4月23日(火)	9:00～17:00	第2回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
7	手術室	川北 ひさ	4月24日(水)	13:30～17:00	第1回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
8	外来	前垣内 真由美	5月10日(金)	13:30～16:00	第9回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
9	4西	木村 久美子	5月11日(土)	9:00～17:00	「人材育成 部下ができれば、身につけたい指導術」開催協力員	和歌山県看護研修センター
10	HCU	田中 君枝	5月14日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
11	外来	廣西 和代	5月18日(土)	8:30～12:00	看護週間行事「一日まちの保健室」開催協力員	やっちゃん広場
12	4西	木村 久美子	5月20日(月)	10:00～17:00	第3回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
13	手術室	川北 ひさ	5月23日(木)	8:50～17:00	第1回 「医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
14	外来	廣西 和代	5月28日(火)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会 (5月)	紀北分院
15	外来	前垣内 真由美	6月4日(火)	13:30～16:00	第10回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
16	HCU	田中 君枝	6月11日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
17	外来	廣西 和代	6月12日(水)	15:00～16:30	2019年度 和歌山県看護協会通常総会(事前打ち合わせ)協力員	和歌山県看護協会
18	4西	木村 久美子	6月17日(月)	10:00～17:00	第4回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
19	手術室	川北 ひさ	6月17日(月)	13:30～17:00	第2回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
20	看護管理	西 未知子	6月20日(木)	9:30～12:30	第1回支援 2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル	和歌山県看護研修センター
21				13:30～16:30	第2回支援 2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル	
22	外来	廣西 和代	6月22日(土)	11:30～16:30	2019年度 和歌山県看護協会通常総会 協力員	県民文化会館
23	3東	田中 早苗	6月25日(火)	10:00～16:00	第1回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
24	地域連携	金本 純子	6月26日(水)	14:00～15:30	2019年度 第2回合同運営会議	和歌山県看護研修センター
25	外来	廣西 和代	6月26日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会 (6月)	紀北分院
26	地域連携	金本 純子	6月28日(金)	13:30～17:00	第1回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
27	外来	前垣内 真由美	7月5日(金)	13:30～16:00	第1回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
28	看護管理	西 未知子	7月5日(金)	13:30～16:30	第3回支援 2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル	和歌山県看護研修センター
29	HCU	田中 君枝	7月9日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
30	手術室	川北 ひさ	7月10日(水)	8:50～17:00	第3回 「医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
31	3東	田中 早苗	7月17日(水)	10:00～16:00	第2回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
32	地域連携	金本 純子	7月20日(土)	10:00～15:00	まちの保健室 「健康チェック・保健指導」	スーパーセンターオークワ セントラルシティ和歌山店
33	4西	木村 久美子	7月22日(月)	10:00～17:00	第5回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
34	看護管理	南 真理	7月24日(水)	12:30～14:30	橋本市診療所内カンファレンス	岡本クリニック
35	看護管理	西 未知子	7月26日(金)	9:30～12:30	第4回支援 2019年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル	和歌山県看護研修センター
36	4東	船野 真樹	7月26日(金)	13:00～17:15	医療安全対策地域連携加算に伴う施設 相互ラウンド	公立那賀病院
37	HCU	神保 昌世	7月28日(日)	10:30～17:00	第1回 日本感染管理ベストプラクティス"Saizen"研究会 和歌山ワーキンググループ	南コミュニティセンター
38	手術室	川北 ひさ	7月31日(水)	13:30～17:00	第3回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
39	外来	前垣内 真由美	8月2日(金)	13:30～16:00	第2回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
40	3西	福島 治美	8月8日(木)	8:00～17:00	第50回 日本看護学会-看護教育-学術集会における協力員	和歌山県民文化会館
41			8月9日(金)	8:00～17:00		
42	4西	小西 千晶	8月8日(木)	8:00～17:00	第50回 日本看護学会-看護教育-学術集会における協力員	和歌山県民文化会館
43			8月9日(金)	8:00～17:00		
44	3東	田中 早苗	8月19日(月)	10:00～16:00	第3回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
45	HCU	田中 君枝	8月20日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
46	3西	西山 亜弓	8月23日(金)	13:30～16:00	看護学科一部 実習施設合同指導者会	和歌山県立高等看護学院
47	4西	嶋 律子	8月23日(金)	13:30～16:00	看護学科一部 実習施設合同指導者会	和歌山県立高等看護学院
48	手術室	川北 ひさ	8月27日(火)	8:50～17:00	第5回 「医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
49	3東	和所 直美	8月27日(火)	15:30～16:30	令和元年度 橋本保健所管内母子保健連絡会議	橋本市保健福祉センター
50	地域連携	金本 純子	8月30日(金)	13:30～17:00	第2回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
51	3東	田中 早苗	8月31日(土)	9:30～17:00	第1回 令和元年度助産師研修会 開催協力員	和歌山県看護研修センター
52	外来	廣西 和代	9月4日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会 (9月)	紀北分院
53	HCU	神保 昌世	9月5日(木)	14:00～17:00	感染防止対策加算地域連携加算にかかる公立那賀病院の相互ラウンド 評価実施	公立那賀病院
54	手術室	川北 ひさ	9月5日(木)	14:00～17:00	感染防止対策加算地域連携加算にかかる公立那賀病院の相互ラウンド 評価実施	公立那賀病院
55	外来	前垣内 真由美	9月6日(金)	13:30～16:00	第3回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
56	4西	木村 久美子	9月8日(日)	9:00～17:00	「多職種連携による入退院支援」開催協力員	和歌山県看護研修センター
57	4西	木村 久美子	9月9日(月)	10:00～17:00	第6回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
58	地域連携	金本 純子	9月9日(月)	11:00～14:00	和歌山県立向陽高等学校文化祭 「健康チェック・保健指導」	和歌山県立向陽高等学校
59	HCU	田中 君枝	9月10日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
60	手術室	川北 ひさ	9月13日(金)	13:30～17:00	第4回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
61	入退院	恋中 理恵	9月17日(火)	13:30～15:30	橋本市診療所内カンファレンス	梅本診療所
62	3東	田中 早苗	9月18日(水)	10:00～16:00	第4回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
63	地域連携	金本 純子	9月25日(水)	13:30～17:00	第3回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
64	3西	福島 治美	10月2日(水)	13:00～17:15	医療安全対策地域連携加算に伴う施設 相互ラウンド	医療法人南労会 紀和病院
65	4東	岡本 麻希子	10月2日(水)	13:00～17:15	医療安全対策地域連携加算に伴う施設 相互ラウンド	医療法人南労会 紀和病院
66	外来	前垣内 真由美	10月4日(金)	13:30～16:00	第4回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
67	4西	木村 久美子	10月5日(土)	8:30～18:30	「糖尿病重症化予防(フットケア)」開催協力員	和歌山県看護研修センター
68	地域連携	金本 純子	10月5日(土)	13:00～15:00	和歌山刑務所 矯正展 「健康チェック・保健指導」	和歌山刑務所 矯正展
69	HCU	田中 君枝	10月8日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
70	HCU	神保 昌世	10月12日(土)	13:00～16:30	第2回 日本感染管理ベストプラクティス"Saizen"研究会 和歌山ワーキンググループ	南コミュニティセンター

V 看護部紹介

	部署	氏名	月日	時間	委員会名	場所
71	5西	東本 桂	10月17日(木)	13:30～15:30	令和元年度 推薦委員会	和歌山県看護連盟事務所
72	3東	田中 早苗	10月19日(土)	9:00～11:00	第5回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
73				13:00～16:00	「令和元年度 助産師職能集会」開催協力員	
74	4西	木村 久美子	10月21日(月)	10:00～17:00	第7回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
75	看護管理	南 真理	10月23日(水)	12:30～14:30	橋本市診療所内カンファレンス	岡本クリニック
76	地域連携	金本 純子	10月26日(土)	11:00～14:00	信愛女子短期大学学園祭 「健康チェック・保健指導」	和歌山信愛女子短期大学
77	外来	廣西 和代	10月27日(日)	12:00～17:00	第4回 三師会合同市民公開講座・健康フェスタにおける看護師派遣	橋本市保健福祉センター
78	手術室	川北 ひさ	10月29日(火)	8:50～17:00	第7回 「医療安全管理者養成研修」開催協力員	和歌山県看護研修センター
79	外来	廣西 和代	10月31日(木)	15:00～17:00	「すこやか橋本 まなびの日」現場打ち合わせ	和歌山県立橋本体育館
80	外来	前垣内 真由美	11月1日(金)	13:30～16:00	第5回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
81	HCU	田中 君枝	11月5日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
82	手術室	川北 ひさ	11月8日(金)	13:30～17:00	第5回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
83	地域連携	金本 純子	11月16日(土)	10:00～15:00	まちの保健室 「健康チェック・保健指導」	スーパーセンターオークワ セントラルシティ和歌山店
84	4西	木村 久美子	11月18日(月)	10:00～17:00	第8回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
85	3東	田中 早苗	11月20日(水)	10:00～16:00	第6回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
86	外来	前垣内 真由美	11月22日(金)	10:00～12:00	令和元年度都道府県別会議	和歌山県看護連盟事務所
87	4西	木村 久美子	11月23日(土)	9:00～17:00	「身体抑制のない看護」開催協力員	和歌山県看護研修センター
88	HCU	田中 君枝	11月23日(土)	9:00～16:00	青年部活動「翔龍祭」参加	龍神市民センター
89	3東	田中 早苗	12月1日(日)	10:00～17:00	「令和元年度 近畿地区助産師職能合同研修会」開催協力員	大阪府看護協会 ナーシングアート大阪
90	5東	恋中 理恵	12月10日(火)	13:30～16:30	橋本保健医療圏における退院調整ルール評価会議	橋本市保健福祉センター
91	地域連携	金本 純子	12月13日(金)	13:30～17:00	第4回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
92	外来	前垣内 真由美	12月13日(金)	13:30～16:00	第6回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
93	4西	木村 久美子	12月16日(月)	10:00～17:00	第9回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
94	HCU	田中 君枝	12月17日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
95	3西	目賀多 悦子	12月18日(水)	9:00～16:00	OSCEにおける模擬患者	和歌山県立高等看護学院
96	4西	嶋 律子	12月18日(水)	9:00～16:00	OSCEにおける模擬患者	和歌山県立高等看護学院
97	3東	田中 早苗	12月18日(水)	10:00～16:00	第7回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
98	外来	廣西 和代	12月18日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部役員会(12月)	紀北分院
99	4西	木村 久美子	12月21日(土)	9:00～17:00	「高齢者に対する虐待の予防と対応医療現場での暴力対策」開催協力員	和歌山県看護研修センター
100	手術室	川北 ひさ	12月25日(水)	9:30～17:00	第6回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
101	外来	前垣内 真由美	令和2年 1月10日(金)	13:30～16:00	第7回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
102	3東	田中 早苗	1月15日(水)	10:00～16:00	第8回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
103	地域連携	金本 純子	1月18日(土)	10:00～15:00	まちの保健室 「健康チェック・保健指導」	スーパーセンターオークワ セントラルシティ和歌山店
104	4西	木村 久美子	1月20日(月)	10:00～17:00	第10回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
105	5西	東本 桂	1月21日(火)	14:00～16:30	第2回 推薦委員会	和歌山県看護連盟事務所
106	手術室	川北 ひさ	1月29日(水)	13:30～17:00	第7回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
107	5東	恋中 理恵	1月30日(木)	13:30～17:15	橋本保健医療圏難病対策地域協議会・在宅医療介護連携推進協議会	橋本市保健福祉センター
108	外来	前垣内 真由美	2月7日(金)	13:30～16:00	第8回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
109	地域連携	金本 純子	2月7日(金)	13:30～17:00	第5回「まちの保健室」運営委員会	和歌山県看護研修センター
110	4西	木村 久美子	2月17日(月)	10:00～17:00	第11回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
111	HCU	田中 君枝	2月18日(火)	14:00～16:00	青年部リーダー会議	和歌山県看護連盟事務所
112	3東	田中 早苗	2月22日(土)	10:00～11:30	第9回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
113	外来	廣西 和代	2月26日(水)	15:00～17:00	伊都地区支部(2月)	紀北分院
114	手術室	川北 ひさ	3月6日(金)	9:30～17:00	第8回 医療安全対策委員会	和歌山県看護研修センター
115	外来	前垣内 真由美	3月6日(金)	13:30～16:00	第9回 県役員・委員会委員合同会議	和歌山県看護連盟事務所
116	3東	宮本 靖代	3月10日(火)	15:30～16:30	令和元年度 第2回橋本保健所管内母子保健連絡会議	橋本市保健福祉センター
117	3東	田中 早苗	3月11日(水)	10:00～16:00	第10回 助産師職能委員会	和歌山県看護研修センター
118	4西	木村 久美子	3月16日(月)	10:00～17:00	第12回 教育委員会	和歌山県看護研修センター
119	5西	東本 桂	3月17日(火)	14:00～16:30	推薦委員会	和歌山県看護連盟事務所

2019 年度新人看護師研修（ラダーⅠ）

	月 日	時 間	研修内容	参加人数	担当講師
1	4月1日～4月5日	8:30～17:15	新規採用職員オリエンテーション	18名	15名
2	4月8日～4月11日	8:30～17:15	新人看護師看護技術研修 項目：バイタルサイン、排泄ケア、注射、与薬、 ポジショニング、喀痰吸引、導尿	18名	教育委員 8名
3	4月12・16・17・ 18・22・24・26日	8:30～17:15	看護部9部署へのローテーション研修	18名	各病棟1名
4	5月14日	14:00～15:00	輸液ポンプ・シリンジポンプ	18名	ME 2名 藤川・山口
5	6月19日	14:00～15:00	医療安全 KYT	18名	山口・狩谷
6	7月17日	14:00～16:00	フィジカルアセスメント①	17名	白石・奈良垣
7	8月21日	14:00～15:30	一次救命処置	17名	池田・戸川 福島・東本
8	9月18日	13:30～14:30	褥瘡管理	16名	市村・山本
9	10月2日	13:00～17:00	かむろ大師体験研修	16名	廣西・山本
10	10月16日	13:30～14:30	輸血療法 ・ 麻薬の管理	15名	藤川・奈良垣
11	11月19日	13:30～15:30	フィジカルアセスメント②	16名	白石・奈良垣
12	12月18日	13:30～14:30	緩和ケア研修	16名	南・奈良垣
13	2020年1月15日	13:30～15:00	ナラティブ研修	18名	山本・福島 小西・東本

2019 年度 ラダーⅡ研修

	月 日	研修名	対象者	参加人数	講 師
1	5月9日	ケーススタディ	ラダーⅡ	10名	仲谷
2	6月12日	メンバーシップ	ラダーⅡ	8名	伊藤
3	7月3日	KYT	ラダーⅡ	10名	仲谷
4	9月4日	看護倫理	ラダーⅡ	9名	仲谷
5	10月9日	フィジカルアセスメント	ラダーⅡ	4名	福島
6	10月～11月（3日間）	部署別ローテーション研修	ラダーⅡ	4名	伊藤
7	2020年1月21日	ケーススタディ発表会	ラダーⅡ	3名	仲谷

2019 年度 ラダーⅢ研修

	月 日	研修名	対象者	参加人数	講 師
1	7月9日	リーダーシップ研修（華道）	ラダーⅢ	8名	外部講師
2	8月7日	看護研究	ラダーⅢ	9名	2名
3	①6月26日 ②10月10日 ③12月12日	問題解決技法①②③	ラダーⅢ	9名	3名
4	10月30日	緩和研修	ラダーⅢ	10名	2名
5	9月～11月 各研修期間：3日間	施設外研修	ラダーⅢ	10名	病棟指導者2名

2019 年度看護補助者研修

	月 日	研修名	参加職種	参加人数	講 師	担 当
1	5月7日	感染標準予防	ケアワーカー	18名	栢田 感染管理認定看護師	森本
2	5月20日	感染標準予防	ケアワーカー	10名	栢田 感染管理認定看護師	森本
3	6月3日	医療安全	ケアワーカー	13名	近藤 医療安全管理者	仲谷
4	6月18日	医療安全	ケアワーカー	15名	近藤 医療安全管理者	仲谷
5	7月8日	ボディメカニクス	ケアワーカー	11名	山本 脳卒中認定看護師	仲谷
6	7月22日	ボディメカニクス	ケアワーカー	11名	山本 脳卒中認定看護師	仲谷
7	8月5日	食事介助	ケアワーカー	6名	山本 脳卒中認定看護師	森本
8	8月20日	食事介助	ケアワーカー	8名	山本 脳卒中認定看護師	森本
9	9月2日	排泄ケア	ケアワーカー	8名	市村 WOC 認定看護師	伊藤
10	9月17日	排泄ケア	ケアワーカー	11名	市村 WOC 認定看護師	伊藤
11	11月5日	医療機器の取り扱い	ケアワーカー	12名	前垣内	前垣内 伊藤
12	11月19日	医療機器の取り扱い	ケアワーカー	13名	伊藤	前垣内 伊藤
13	2020年3月2日	BLS	ケアワーカー	12名	池田 救急認定看護師	前垣内
14	2020年3月17日	BLS	ケアワーカー	12名	池田 救急認定看護師	前垣内

2019年度 院外研修参加リスト

月	研修名	主催	人数
4月	1 新人看護職員オリエンテーション 【SO】 4/15 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	18
	2 2019年度 和歌山県看護教育機関連絡協議会 第18回総会および研修会 4/20 (土)	和歌山県看護教育機関連絡協議会	2
	3 身につけよう! 正しい知識と使える看護技術 【1】 4/23 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	18
	4 平成31年度 新入職員研修会 4/25 (木)	公益社団法人和歌山県病院協会	21
5月	5 ステップ1 いまさら聞けない看護研究 【6】 5/14 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
	6 「まちの減災ナース指導者」養成研修コース 第1区分:2018.11/3 (土)・4 (日) 第2区分:2019.1/26 (土)・27 (日) 第3区分:2019.5/18 (土)	一般社団法人日本災害看護学会 / 災害看護教育活動委員会	1
	7 看護協会・看護連盟紀北那賀地区支部 合同研修会 5/19 (日)	那賀地区支部看護連盟事務局	13
	8 新人看護職員実地指導者研修 (全5回) 【42】 ①5/23 (木) ②6/10 (月) ③6/12 (水) ④9/2 (月) ⑤11/26 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
	9 医療安全管理者養成研修 (全8回) 【46】 ①5/23 (木) ②6/7 (金) ③7/10 (水) ④8/26 (月) ⑤8/27 (火) ⑥10/3 (木) ⑦10/29 (火) ⑧11/20 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	2
6月	10 第1回 和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修 「看護政策実現への道 - 国政の場に看護職代表議員を送り続ける意味 -」 5/25 (土)	和歌山県看護連盟事務局	8
	11 ステップ2 深める看護研究・クリティーク 【7】 5/28 (火)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
	12 2019年度 久留米大学認定看護師教育課程《緩和ケア》 6/3 (月) 入学式・6/4 (火) ~ 11/29 (金)	久留米大学認定看護師教育センター	1
	13 特定行為研修 区分別科目 【栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連】 6/10 (月) ~ 14 (金)・6/24 (月) ~ 28 (金)・7/1 (月) ~ 5 (金)	和歌山県立医科大学付属病院	1
	14 2019年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル 【44】 6/12 (水) 開講式~7/26 (金) 閉講式 全日程 (20日間)	公益社団法人和歌山県看護協会	3
	15 2019年 全国自治体病院協議会「看護部会研修会」 6/14 (金)	公益社団法人全国自治体病院協議会	1
	16 2019年度 和歌山県保健師助産師看護師実習指導者講習会 (和歌山県受託事業) 【41】 6/17 (月) ~ 8/23 (金) 41日間 *土・日・祝と8/7 (水) ~ 16 (金) を除く	公益社団法人和歌山県看護協会	3
	17 19'重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修 6/30 (日)	ヴェクソンインターナショナル株式会社	4
	18 2019年『遺体感染管理士認定資格養成講座』 7/5 (金)	有限会社エル・プランナー	2
	19 食支援の"変更または中断"を、どの時点ですか ★第3弾ショート"看取り期"の食事を支えるアプローチ"お食い締め" 7/6 (土)	全国高齢者施設看護師会	2
20 "最後まで口から食べる" ★第2弾ショート 食機能をダメにするケア、引き出すアプローチ"実技"セミナー 7/7 (日)	全国高齢者施設看護師会	2	
21 第15回 公開講座「看護ケアに活かすバイタルサイン」集中ケア認定看護師が伝えます 7/19 (金)	近畿大学病院 看護部 専門認定看護師会	2	
22 第21回 日本医療マネジメント学会学術総会 私たちの働き方改革 7/19 (金)・20 (土)	日本医療マネジメント学会	2	
23 看護師特定行為研修 区分別科目【中心静脈カテーテル抜去】 7/23 (火)	和歌山県立医科大学付属病院	1	
24 第41回 関西ストーマケア講習会【大阪・和歌山ブロック】 8/16 (金) ~ 18 (日) 3日間	関西ストーマケア講習会実行委員会 / 関西 STOMA 研究会	1	
8月	25 2019年度 医療機器安全基礎講習会 第41回 ME技術講習会 8/17 (土)	公益社団法人日本生体医工学会 / 公益財団法人医療機器センター / 厚生労働省	5
	26 ステップ4 看護研究に役立つ統計学 【11】 8/17 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
	27 看護課程実践セミナー 看護師がチーム医療のキーパーソンになるために 8/18 (日)	照林社看護セミナー	5
	28 令和第1回和歌山 感染管理ネットワーク研究会 8/24 (土)	丸石製薬株式会社 / ビー・ブラウンエースクラブ株式会社	1
	29 訪問看護入門研修「やってみよう訪問看護」【48】 ①8/29 (木) ②9/4 (水) 1日実習 ③9/19 (木)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
	30 もう悩まない! 深める倫理、使えるコミュニケーションスキル 【3】 8/31 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	17
	31 【助産師職能研修】「CTGによる胎児心拍モニタリング」【61】 8/31 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 助産師職能委員会	4
	32 【助産師職能研修】「新生児フィジカルアセスメント」【62】 8/31 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会 助産師職能委員会	4
	33 2019年度エイズブロック拠点病院 HIV/AIDS 看護師研修 *初心者コース 第1回目 9/2 (月) ~ 3 (火)	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	1
	34 和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修「日本看護協会の取組と看護連盟との連携」 9/7 (土)	和歌山県看護連盟事務局	11
9月	35 ナーシング・スキル日本版 活用セミナー 2019 - 働き方改革・業務効率化の成功事例 - 9/10 (火)	ELSEVIER Nursing Skills	2
	36 新人ナースのためのフィジカルアセスメント - 事例から学ぶフィジカルアセスメント - 【4】 9/22 (日)	公益社団法人和歌山県看護協会	14

	月	研修名	主催	人数
37		経肛門的洗腸療法講習会 10/5 (土)	日本大腸肛門学会 ストーマ・排泄リハビリテーション委員会	1
38		2019年度 糖尿病重症化予防(フットケア) 研修 【15】 10/5 (土)・6 (日)	公益社団法人和歌山県看護協会	3
39		新人のための医療安全 【5】 10/7 (月)	公益社団法人和歌山県看護協会	16
40	10月	第33回 日本手術室看護学会年次大会 10/11 (金)	日本手術看護学会	1
41		救急患者の基礎病態を理解するー 根拠を踏まえて看護実践に繋げるー 【17】 10/16 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
42		明るい看護の職場づくりのためにー 管理者のための職場のハラスメントの基礎知識ー 【37】 10/26 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
43		第1回 全国看護部長会研修 10/27 (日)	一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会	1
44		令和元年度 第1回施設会員代表者会 11/2 (土)	公益社団法人和歌山県看護協会	4
45		第24回 和歌山県病院協会学術大会 11/3 (日)	公益社団法人和歌山県病院協会	32
46		令和元年度 全国自治体病院協議会和歌山県支部 医療安全管理対策研修会 11/8 (金)	全国自治体病院協議会和歌山県支部 国保野上厚生総合病院	7
47		災害フォローアップ研修 【22】 11/14 (木)	公益社団法人和歌山県看護協会	3
48		令和元年度 和歌山県災害医療従事者研修 11/21 (木)	和歌山県・日本赤十字社和歌山医療センター	1
49	11月	病院勤務の看護職員認知症対応力向上研修 (県受託事業) 【52-1】 11/21 (木)・22 (金)・27 (水)	公益社団法人和歌山県看護協会	5
50		2019年度 リーダー研修 11/22 (金)	和歌山県看護連盟	2
51		2020年診療報酬改定&これからの地域連携強化対策ダブルセミナー 11/22 (金)	ボルティ株式会社	3
52		第14回 医療の質・安全学会学術集会 レジリエンスの探求〜つながり、共創、イノベーション〜 11/29 (金)・30 (土)	一般社団法人 医療の質・安全学会	2
53		FUJITSU Healthcare Field Innovation Summit "「働き方改革」推進のための業務改善" 11/30 (土)	フィールド・イノベーション	2
54		医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修 【47】 12/6 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
55		日本看護サミット 2019・訪問看護サミット 2019 【テーマ】看護が創造する(つくる)地域の未来〜つなげよう! 166万人の看護の力〜 12/6 (金)	公益社団法人日本看護協会 公益財団法人日本訪問看護財団	1
56	12月	患者・家族・職員からの暴力・ハラスメントへの対応の極意 12/8 (日)	株式会社学研メディカルサポート	1
57		2020年度 四天王寺大学大学院 看護学研究科 博士前期・後期課程開設特別講演会 「看護の現在と未来」 12/8 (日)	四天王寺大学・四天王寺大学大学院・四天王寺大学短期大学部	1
58		誤嚥性肺炎予防のための摂食嚥下のテクニク 【26】 12/8 (日)	公益社団法人和歌山県看護協会	1
59		「医療連携協定病院・医療連携病院の集い」 12/17 (火)	近畿大学病院	1
60		第18回 和歌山県看護教育機関連絡協議会研修会 臨床と看護教育の連携をめぐりて交流する 12/21 (土)	和歌山県看護教育機関連絡協議会 事務局 和歌山看護専門学校	5
61		令和元年度 病院協会新春研修会 R2.1/11 (土)	公益社団法人和歌山県病院協会	1
62		令和元年度 「WLB推進フォローアップ・ワークショップ」 1/17 (金)	公益社団法人和歌山県看護協会	3
63	R1年 1月	2019年度 第4期 和歌山県立医科大学 看護師特定行為研修 1/21 (火)〜24 (金) 4日間 1/29 (水)〜31 (金) 3日間 2/3 (月)〜6 (木) 4日間	和歌山県立医科大学付属病院	2
64		第17回 公開講座 病と共に生活する〜心不全患者の支援を通して〜 1/24 (金)	近畿大学病院 看護部 専門認定看護師会	3
65		がん診療連携拠点病院の緩和ケア提供体制に関するピアレビュー実施 1/28 (火)	和歌山県がん診療連携協議会	2
66	2月	第184回 医療情報システム研究会 看護業務を支援する情報システム(パート33) 「看護のホンネと医療 ICT」〜業務改革から記憶まで〜 2/8 (土)	医療情報システム研究会	2
67		和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修「看護政策の実現にむけ、信頼される看護職をめざして」 2/8 (土)	和歌山県看護連盟事務局	12
68		伊都・橋本医療安全ネットワーク研修会 2/15 (土)	伊都医師会	17
69		令和元年度 認定看護管理者会 近畿ブロック実践報告会・交流会 3/8 (日)	八尾市立病院	1
70	3月	【看護職員向け】 ★ インターネット配信に変更 オリジナル資料でわかりやすい解説! 令和2年度診療報酬改定説明と解説 3/21 (土)	ヴェクソンインターナショナル株式会社 一般社団法人 S-QUE 研究会	11
研修参加者合計				328

■ 新人看護師の研修

2019年度 イベント参加

	イベント名	主催	月日	参加者	人数
1	学校法人天満学園 太成学院大学 平成三十一年度 (第二十二回) 入学宣誓式	学校法人天満学園 太成学院大学	4月3日(水)	東本 桂	1
2	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校 平成三十一年度 入学式	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校	4月4日(木)	西 未知子	1
3	平成31年度 東京医療保健大学 和歌山看護学部 入学式	東京医療保健大学 和歌山看護学部	4月7日(日)	西 未知子	1
4	奈良文化高等学校 平成31年度 入学式	奈良文化高等学校	4月7日(日)	廣西 和代	1
5	和歌山看護専門学校 平成31年度 入学式	和歌山看護専門学校	4月9日(火)	川北 ひさ	1
6	和歌山県立高等看護学院 2019年度 入学式	和歌山県立高等看護学院	4月10日(水)	西 未知子	1
7	看護師特定行為研修 第4期生 開講式	公立大学法人 和歌山県立医科大学	4月15日(月)	岡本 麻里	1
8	東京保健医療大学和歌山校 奨学金説明会	東京医療保健大学 和歌山看護学部	4月20日(土)	阪口 智美 西谷 優姫	2
9	和歌山看護専門学校 看護学生病院説明会	医師会	4月25日(木)	米坂 公希 濱野 里香	2
10	和歌山県立高等看護学院 就職説明会	和歌山県	5月9日(木)	栗林 幸弘 西井 千裕	2
11	第51回伊都地方特別支援学級・支援学校合同運動 会救護	伊都地方特別支援学級設置校長会 伊都地方特別支援教育研究会	7月5日(金)	池田 景子	1
12	和歌山県立なぎ高等看護学院 就職説明会	和歌山県	7月22日(月)	徳竹 葵 井堰 奈々	2
13	令和元年度 子ども冒険村	橋本市教育委員会	8月5日(月) 9:00～ 8月6日(火) 9:00	池田 景子 玉置 京子	2
14	令和元年度 救急週間行事 ナースカー	橋本消防署	① 橋本消防本署(東家) 9月10日(火)・9月13日(金) ② 橋本北消防署(小峰台) 9月9日(月)・9月11日(水)	山本 奈保美 ② 9/9 (月) 東 季映 ① 9/10 (火) 河合 史恵 ② 9/11 (水) 黒田 愛 ① 9/13 (金)	4
15	奈良文化高等学校 第四十九回 戴帽式	奈良文化高等学校	9月13日(金)	廣西 和代	1
16	看護師特定行為研修 第Ⅲ期生 修了式	公立大学法人 和歌山県立医科大学	9月19日(木)	西 未知子 川北 ひさ	2
17	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校 令和元年度 「看護の心をはぐくむ日」	学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校	10月1日(火)	西 未知子 廣西 和代	2
18	和歌山県立高等看護学院 令和元年度 看護宣誓式	和歌山県立高等看護学院	10月4日(金)	西 未知子	1
19	和歌山看護専門学校 第29回(平成31年度)戴帽式	和歌山看護専門学校	10月29日(火)	西 未知子	1
20	「すこやか橋本 まなびの日」	公益社団法人和歌山県看護協会 伊都地区支部	11月24日(日)	廣西 和代 池田 景子 平家 智子 小脇 真魅 高水 佳代	5
21	令和2年 和歌山県看護連盟 「新年交流会」	和歌山県看護連盟	令和2年 1月26日(日)	木村 久美子 恋中 理恵 廣西 和代 西 未知子	4
22	令和元年度 橋本市地域防災訓練 *雨天中止	橋本市	2月9日(日)	横芝 真紀	1

2019年度 学会発表

	学会名	主催	月日	演題	発表者	共同演者
1	平成31年度 和歌山県国保医学会総会・第54 回学術集会 並びに国保直診在宅 医療研究会第22回研究集会	和歌山県国保医学会 / 和歌山県国民健康保険診療施設連 絡協議会 / 和歌山県国民健康保険団体連合会	令和元年 6月8日(土) 14:00～	患者の安全を守る環 境確保 ～多職種連携による 取り組み～ 循環器病棟における 看護を見つめ直し ～対話・可視化・業 務改善を行って～	平家 智子 小西 千晶	
2	第20回 和歌山救急・災害医療 研究会	新宮市立医療センター	10月19日(土) 9:30～16:30	経静脈的血栓溶解療 法術後の神経学的症 状変化の特徴	西井 千裕	山本 奈保美 吉村 良
3	第58回 全国自治体病院学会 in 徳島	公益社団法人 全国自治体病院協議 会 / 全国自治体病院開設者協議会	10月24日(木) 10月25日(金)	「ふれあい看護体験」 に中国人看護大学生 を受け入れて～日本 の高校生との交流の 場を提供して～	山本 陽子	山口 順平 廣西 和代 東本 桂 西 未知子

2019年度 講師派遣

	担当科目・単元	主催	月日	総時間数 (回数)	場所	講師名
1	成人看護活動論Ⅳ (脳・神経機能障害を持つ人の看護)	和歌山県立高等看護学院 看護学科 一部 2年生	2019年 6月～7月	10 (4)	和歌山県立高等看護学院	山本 奈保美
2	成人看護活動論Ⅱ (循環機能障害を持つ人の看護)		6月	10 (4)		下西 好美
3	母性看護活動論Ⅱ (妊娠・分娩・産褥・新生児の異常時の看護)		10月～11月	10 (4)		田中 早苗
4	臨床看護実務Ⅱ (災害看護)		9月	4 (4)		天野 健一
5	統合分野 看護の統合と実践Ⅱ (医療安全) 看護の統合と実践Ⅰ 看護管理	和歌山看護専門学校 担当学年:3年生	2019年 4月8・15・19日 5月15・22・ 24・27日 6月10日	15	和歌山看護専門学校	川北 ひさ

	項目	主催	月日	時間	場所	講師
1	2019年度 「第1回潜在看護職職支援研修(紀北)」	公益社団法人和歌山県看護協会	令和元年 6月13日(木)	10:30～12:00	公益社団法人和歌山県 看護協会 和歌山県看護研修セン ター	栢田 美加子
2	基礎から学ぶがん化学療法看護 ～看護実践に向けて～	医療法人南労会 紀和病院	7月11日(木)	15:30～17:30	医療法人南労会 紀和 病院	米本 加奈子
			7月25日(木)			
			8月29日(木)	14:30～17:30		
			10月3日(木)			
3	平成31年度 和歌山県 ELNEC-J コアカリキュ ラム 看護師教育プログラム	和歌山県がん診療連携協議会	7月13日(土)	8:45～17:10	和歌山県立医科大学 生 涯研修センター 研修 室	南 真理
			7月14日(日)	8:45～16:20		
4	「その人らしく生きるために、どう考えるか」	和歌山生協病院	8月21日(水)	15:30～17:00	和歌山生協病院 5階会 議室	南 真理
5	和歌山県訪問看護ステーション連絡協議会 令和元年度 第3回 「訪問看護の基礎」	一般社団法人 和歌山県訪問看護ステーシ ョン連絡協議会	第1回 8月24日(土)	13:00～受付	JAビル11-C	南 真理
			第2回 9月28日(土)	13:00～受付	ビッグ愛 801	
6	2019年度 和歌山県高齢者権利擁護等推進事業 (看護実務者研修)	公益社団法人和歌山県看護協会	9月6日(金)	14:30～16:30	公益社団法人和歌山県 看護協会 和歌山県看護 研修センター	南 真理
7	「糖尿病重症化予防(フットケア)」	公益社団法人和歌山県看護協会	10月5日(土)	9:00～18:10	公益社団法人和歌山県 看護協会 和歌山県看護 研修センター	金本 純子
			10月6日(日)	9:00～18:10		
8	令和元年度 健康セミナー	橋本市市民病院	10月24日(木)	13:30～15:30	橋本市保健福祉セン ター 3階 栄養指導室 (洋室)	南 真理
9	第14回 近畿糖尿病看護スキルアップセミナー	日本糖尿病教育・ 看護学会ネットワーク委員会 (近畿ブロック)	11月3日(日)	9:30～16:50	京都テルサ	金本 純子
10	第14回まっせ・はしもと	橋本市経済推進部農林振興課	11月4日(月)	9:00～16:00	県立橋本体育館	池田 景子
11	和歌山腎不全看護研究会	和歌山腎不全看護研究会 和 歌山県立医科大学附属病院	11月17日(日)	11:00～15:25	紀南病院	金本 純子
12	「認定看護管理者会」 実践報告会	認定看護管理者	11月23日(土)	13:00～17:00	あべのハルカス23階 会議室C	西 未知子
13	令和元年度和歌山認定看護管理者交流会	公益社団法人和歌山県看護協会	令和2年 1月25日(土)	10:00～12:00	和歌山県看護研修セン ター 1階研修室1	西 未知子
14	令和元年度 きのくにがん薬物療法チーム研修	和歌山県がん診療連携協議会	1月25日(土)	10:30～17:00	和歌山県立医科大学 高度医療人育成セン ター5階	米本 加奈子
15	海南市居宅介護支援専門員連絡協議会研修	海南市高齢介護課	1月27日(月)	14:00～15:00	海南市役所 3階A会 議室	金本 純子

2019年度 認定・その他学会資格取得者 / 研修修了一覧

	資格・研修修了	主催	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31-R1年度)
1	がん化学療法看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
2	感染管理認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	2名	2名	2名
3	皮膚・排泄ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
4	緩和ケア認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
5	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
6	救急看護認定看護師	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
7	認定看護管理者	公益社団法人 日本看護協会	1名	1名	1名	1名	1名
8	サードレベル教育課程修了	公益社団法人 大阪府看護協会	1名	2名	3名	2名	1名
9	セカンドレベル教育課程修了	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会	12名	15名	17名	15名	14名
10	ファーストレベル教育課程修了	公益社団法人 和歌山県看護協会・大阪府看護協会	25名	26名	30名	29名	29名
11	アドバンス助産師	一般社団法人 日本助産評価機構	4名	5名	5名	5名	5名
12	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 日本看護協会	2名	2名	2名	1名	1名
13	医療安全管理者養成研修	公益社団法人 和歌山県看護協会	11名	15名	18名	21名	24名
14	医療安全管理者養成研修	一般社団法人 医療の質・安全学会	2名	2名	2名	3名	3名
15	医療安全管理者養成研修	公益財団法人 全国自治体病院協議会	1名	1名	3名	3名	3名
16	医療安全対策に係る研修	公益社団法人 日本医療機能評価機構	2名	2名	2名	2名	2名
17	医療安全分科会研修	日本医療マネジメント学会			1名	1名	1名
18	看護管理者のための経営分析セミナー	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	3名	3名	3名
19	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	公益社団法人 和歌山県看護協会・奈良県看護協会		2名	8名	8名	8名
20	看護管理者研修「看護補助者の活用と成長支援」	有限会社ビジネスプレーン		6名	8名	8名	8名
21	看護管理研修「看護の評価マネジメント」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会	1名	1名	1名	1名	1名
22	看護管理研修「看護における機能連携」	公益社団法人 医療・病院管理研究協会			1名	1名	1名
23	退院支援看護師養成研修修了	公益社団法人 和歌山県看護協会	8名	8名	8名	8名	6名
24	退院支援看護師	都道府県知事			3名	3名	3名
25	認知症ケア専門士	一般社団法人 日本認知症ケア学会	4名	4名	4名	2名	2名
26	認知症対応力向上研修	厚生労働省・都道府県知事	4名	6名	11名	15名	20名
27	認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修	公益社団法人 日本看護協会		14名	14名	16名	15名
28	日本糖尿病療養指導士	一般社団法人 日本糖尿病療養指導士認定機構	4名	4名	4名	4名	6名
29	和歌山糖尿病指導士	和歌山 LCDE 認定委員会	15名	16名	14名	13名	12名
30	糖尿病重症化予防（フットケア）研修会	公益社団法人 和歌山県看護協会	4名	5名	5名	7名	9名
31	フットケア指導士認定セミナー修了	一般社団法人 日本フットケア学会	1名	1名	1名	1名	1名
32	教員養成課程	県医務課	2名	2名	1名	1名	1名
33	臨床指導者研修修了	都道府県知事	22名	22名	23名	21名	20名
34	新人看護職員研修責任者研修修了	和歌山県看護協会	9名	12名	13名	13名	12名
35	認定心理士	公益社団法人 日本心理学会		1名	1名	1名	1名
36	循環器専門ナース	公益社団法人 臨床心臓病学会教育研究会	1名	2名	2名	2名	1名
37	栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会		2名	2名	2名	2名
38	周術期管理チーム	公益社団法人 日本麻酔科学会		1名	1名	1名	2名
39	呼吸療法認定士	3学会合同（胸部外科・呼吸器麻酔科）	2名	2名	3名	3名	5名
40	消化器内視鏡技師	日本消化器内視鏡学会	5名	4名	4名	3名	4名
41	リンパ浮腫指導技師者	リンパ浮腫指導技能者養成協会	1名	2名	2名	1名	1名
42	関西ストーマケア講習会修了	関西ストーマケア攻守会実行委員会	1名	1名	1名	2名	3名
43	和歌山県院内臓器移植コーディネーター	都道府県知事	4名	4名	4名	5名	5名
44	弾性ストッキング・コンダクター	日本静脈学会	2名	2名	2名	2名	2名
45	オムツフィッター（3級）	はいせつ総合研究所	4名	4名	4名	4名	2名
46	シニア福祉アドバイザー	財団法人 職業技能振興会	1名	1名	1名	1名	1名
47	排尿機能検査士	日本排尿機能学会	1名	1名	1名	1名	2名
48	日本禁煙科学会認定禁煙支援士	日本禁煙科学会	6名	7名	9名	9名	6名
49	普通第1種圧力容器取扱い作業主任	一般社団法人 日本ボイラ協会京滋支部	3名	3名	3名	3名	1名
50	一般社団法人口腔ケア学会4級認定	一般社団法人 日本口腔ケア学会	1名	1名	1名	1名	1名
51	CRC 養成研修会修了	一般社団法人 日本病院薬剤師会	1名	1名	1名	1名	1名
52	JTASm コース	一般社団法人 日本救急看護学会	1名	1名	1名	2名	1名
53	日本臨床救急医学会認定 ISLS コース修了	和歌山 ISLS 研究会	13名	13名	13名	31名	27名
54	二次救命処置（ICLS コース）	一般社団法人 日本救急医学会		8名	22名	25名	19名
55	JADM	日本集団災害医学会		3名	7名	7名	4名
56	DMAT 技能維持研修修了	厚生労働省	5名	5名	6名	4名	2名
57	災害支援ナース登録者	公益社団法人 和歌山県看護協会	11名	14名	14名	14名	9名

【概要】

外来診察がスムーズに行え、待ち時間などにも配慮し患者満足度を向上出来るように努めています。スタッフの構成は、看護師長1名・副看護師長2名・主任看護師4名・看護師27名・クラーク（委託含む）15名です。外来看護師が外来患者の症状や訴えだけでなく、観察や情報収集を行うことで、その人にとって必要な支援を行い診療がスムーズに受けられるよう努力しています。救急外来では、救急看護認定看護師1名と看護スタッフで共に救急医療を担っています。中央処置室では、がん化学療法認定看護師を1名配置し、がん患者の身体面だけでなく、精神面や社会復帰に向けての援助、症状マネジメントなどを外来患者だけでなく入院患者にも行っています。専門外来では、皮膚排泄ケア認定看護師によるストマ外来、糖尿病療養指導士による糖尿病療養支援外来、フットケア外来を行っています。他にも医師の指示のもと、リンパ浮腫指導技師が患者の相談・リンパドレナージなどの処置を行っています。地域との連携を密にし、在宅療養支援に努めます。

【外来目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 報・連・相の徹底
 - ・内容の振り返りを行い、原因を確認し対策を考え共有する
 - 2) インシデント・アクシデント内容について速やかに報告・対応
 - 3) 100%の感染対策
 - ・アルコールジェルの適正使用の徹底、標準予防策の定着を図る
2. 無駄・無理・ムラをなくし、働きやすい職場づくり
 - 1) 業務改善と時間管理
 - ・検査における看護記録マニュアルの充実と物品管理の徹底
 - 2) お互い声を掛け合い、活気ある職場づくり
 - ・笑顔で挨拶をし、円滑なコミュニケーションを図る
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
 - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援
 - 2) 専門職として誇りをもち、誠実な態度で患者サービス
 - ・患者対応は先ず対面し、訴えに耳を傾け患者の声を聴く

【取り組み等】

病棟勉強会

4月	リブレ導入の目的について トラブル時の対応について	9月	尿管ステント留置・交換時の手順と看護ケアについて
5月	脳アンギオ検査の手順と看護ケアについて	10月	イレウス管挿入時の手順・観察・看護ケアについて
7月	松葉杖使用時の注意と説明方法 貸し出しの手順について	11月	在宅モビプレップ服用に向けての注意事項について
8月	疥癬患者の来院時の対応について		

【今後の課題】

- ・患者に寄り添い、看護専門職としての責任と行動が取れる
- ・医療安全に努める
- ・病棟、地域との継続看護につなげるための情報提供と情報共有
- ・必要な情報をセレクトし、「見える」看護記録の徹底

【概要】

消化器外科37床、総合内科13床、代謝内科4床による54床の混合病棟です。看護師長、副看護師長、主任看護師3名、看護師18名、ケアワーカー2名、医療ソーシャルワーカー1名、病棟クラーク1名を含む27名で構成し、チームナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。

当病棟で、治療を受ける患者さんは年々高齢化の傾向で、様々な既往歴や重症な患者さんも多く収容しています。そのため、病状に合わせながら安全かつスムーズな離床の促進、異常の早期発見や合併症の予防に努めています。また、受け持ち看護師を中心とし、入院時から在宅状況や転院等について患者さんご家族さんの要望を聞き、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・医療ソーシャルワーカー等の多職種で関わりを持ち、社会復帰や在宅に向けた支援を行っています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 積極的なコミュニケーションの実施
 - 2) 危機管理を持ち、安全意識を高める
 - 3) 適切な手指衛生と感染対策の実施
2. 働きやすい職場づくり
 - 1) 業務整理を行い、仕事にメリハリ
 - 2) 看護に対する積極的な意見交換
3. 誰もが入院したいと思う病棟づくり
 - 1) 受け持ち看護師中心の退院支援
 - 2) 業務だけでなく看護を提供

【取り組み等】

病棟内で定期的に勉強会を開催し、専門性の高い看護を提供できるように努力しています。

5月	KYTについて	10月	看護サマリーの書き方
6月	脳外科勉強会	12月	認知症について
7月	化学療法について	1月	ヘルニアについて
8月	緩和について	2月	腹腔鏡下胆のう摘出術について
9月	人工肛門について		

【今後の課題】

超高齢化社会に向けて、地域で患者さんが安心して療養できるサポート体制が必要となります。そのため、入院時から患者さんの情報を元に、外来と病棟と連携を図り、地域での生活を安心して送られるようにしていく必要があると考えます。今以上に地域との連携を充実させることに重点を置き、患者さんが安心して退院できるよう取り組みます。

医療の安全を守り、患者さんが安心して療養生活を送ることができ、できるだけ早期に元の生活に戻れることを目標として、多職種と連携を図りながら患者さんに合わせた看護を提供できるように、日々自己研鑽に努めていきます。

【概要】

病棟の紹介（特徴）

産科・婦人科・消化器内科・眼科・皮膚科の40床の混合病棟です。産科では、日本助産評価機構より認定を受けた助産師が中心となり、妊娠前から産後の育児まで、助産外来、病棟と継続した支援を行っています。また必要時に地域の保健師、訪問看護師と連携を図ることで妊婦、褥婦さんを支援しています。婦人科では手術、化学療法、終末期患者さんの看護を行い、消化器内科では、主に内視鏡手術を受けられる患者が多く、他職種とも連携し患者さんを支援しています。眼科は白内障手術を受けられる患者にクリニカルパスを用いて、術前、術後の看護をおこなっています。

【病棟目標】

- 1) 医療の質と安全の向上
 - ・必要なことが報告・連絡・相談ができ皆で情報共有できる。
 - ・リーダー・メンバー間で情報共有して業務調整を行う。医療安全に対する意識を高める。
 - ・手指消毒の徹底とゴーグルの適正使用。針刺し事故を起こさない。
- 2) 無駄・無理・ムラのなくし、働きやすい環境づくり
 - ・業務の時間配分が適切に行えて、時間管理ができる。
 - ・毎週の担当者が適切な物品請求を行う事で、無駄なく物品管理ができる。
- 3) 地域医療機関との信頼と患者満足の上昇
 - ・受け持ち看護師としての自覚を高めて患者・家族に入院から退院まで関わる。
 - ・退院後に活用できる看護サマリーを記載する。
 - ・多職種、地域の方と連携を図り、退院後の生活が安心して過ごせるよう、多職種カンファレンスを定期的に実施する

【取り組み・実績】

- ・婦人科で手術を受けられる患者・家族に対して、「退院パンフレット」作成に取り組みました。
- ・感染対策として、感染認定看護師の指導の元、産科領域のクベース内、ベビーコットン等のベビー室の清掃方法についての見直しを行いました。
- ・特定妊婦・気がかり妊婦として地域の保健師と連携した件数は22件でした。
- ・適宜勉強会を実施

5月	婦人科疾患について	9月	帝王切開の準備とOP出し
6月	抗がん剤治療の患者の退院指導	10月	婦人科手術について
7月	H E R療法について・婦人科手術について	12月	婦人科患者の急変時の対応 B L S実技
8月	消化器内科疾患について（経過と注意点） 婦人科患者の退院後の日常生活について	1月	婦人科退院指導について

- ・助産学科（大学）1校と母性学科8校の学生を受け入れ母性実習を行いました。
- ・紀北農芸高校に講師派遣：演題「思春期の心とからだ」

【今後の課題】

- ・引き続き退院指導の充実
- ・受け持ち助産師・看護師が、支援が必要な妊婦・褥婦・患者を地域につなげることができる。
- ・消化器内科では、終末期患者の入院が増えてきているため、終末期患者への関わりや緩和ケアについての知識を深める。緩和認定看護師と共に、カンファレンスの実施・看護の振り返りを行い、適宜勉強会を実施する。

【概要】

4階西病棟は、循環器内科30床、総合内科8床、歯科口腔外科4床、呼吸器内科4床、代謝内科4床、の混合病棟です。循環器内科では24時間体制で循環器疾患治療が必要な患者さんの受け入れを行っています。今年度より代謝内科が加わり、糖尿病の教育入院も開始しています。

病棟スタッフの構成は、看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師19名、看護補助者2名、の25名体制です。チームナーシングと受け持ち制を取り、看護を展開しています。定期的に医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、MSWなど他職種カンファレンスを行い、患者に必要な治療・看護を提供し、順調に回復過程をたどることができるよう努めています。

【病棟目標】

2019年 4 階西病棟スローガン M（みんなで）K（協力）P（パートナー）

- 1 医療の質と安全の向上
 - 1) 報告・連絡・相談の徹底
 - 2) インシデント・アクシデント内容について速やかな報告・対応
 - 3) 100%の感染対策
- 2 無駄・無理・ムラを無くし、働きやすい職場作り
 - 1) 業務改善と時間管理
 - 2) お互い声の掛け合い、活気ある職場づくり
- 3 地域医療機関の信頼と患者満足の上昇
 - 1) 入院から退院後の生活を見据えた退院支援
 - 2) 専門職としての誇りを持ち、誠実な態度で患者サービス

【取り組み等】

- ・今年度より代謝内科の診療科が加わった事により、当病棟では糖尿病教育入院患者を受け入れる事になりました。糖尿病に関する知識・技術を習得を目指し、4月～6月は各専門スタッフの協力の下勉強会を開催し、病棟での療養指導に役立てるよう努めました。また、糖尿病ワーキングチームのリーダーシップにより病棟患者の情報共有を行い、個々に応じた療養支援、指導に努める事ができたと考えます。
- ・循環器科では大動脈弁狭窄症に対してのカテーテル治療も行われるようになり、医師からの研修会の開催も行い、安全に患者の受け入れができるよう努める事ができました。
- ・医療安全委員会を中心に、インシデント発生時には速やかにカンファレンスを開催し、対策を検討すると共に患者の安全確保の周知徹底を行いました。

【取り組み等】

4月	糖尿病	5月	糖尿病
6月	肺炎・糖尿病	7月	心不全・糖尿病薬
8月	エンゼルケア	9月	医療安全に関する
11月	大動脈弁狭窄症	12月	パートナーシップについて

【今後の課題】

- ・引き続き、ハドル、デブリーフィング、ペア体制を継続し、患者さんの情報共有を行い、安全に看護の提供が行えるよう努めていきます。また、定期的な勉強会を継続して行い、専門性を高め、患者さんに応じた看護の展開をおこなえるよう知識、看護技術力を身につけていきます。また、退院される患者さん個々に応じた支援ができるよう取り組んでいきます。
- ・インシデント内容から、原因を分析し対策を検討、実施する事で安全な看護の提供に努めていきます。

【概要】

4 階東病棟は整形外科45床 小児科5床の混合病棟です。整形外科では24時間体制で外傷により骨折され、主に手術が必要となる患者さんを受け入れています。突然の入院で、生活環境が一変した患者さんをできる限り、安心して手術が受けられ、一日でも早く退院され、地域でその人らしく過ごすことができるよう支援しています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 速やかな報告、連絡、相談
 - 2) 危険予測から、注意喚起できる環境づくり
 - 3) 適切な感染防止対策
2. やりがいと楽しさが感じられる病棟づくり
 - 1) ムダを省き、効率的な時間活用
 - 2) 積極的な行動、発言をしよう
3. 患者から信頼が得られる病棟
 - 1) 受け持ち看護師の責任を果たす
 - 2) 患者の立場となって考え、寄り添う看護を行う

【病棟の取り組み】

看護師が安全で質の高い看護を提供することと情報共有を目的とし、以下の取り組みを行いました。

- ・二人の看護師がパートナーとして協力し合うペアリングを導入
- ・タイムスケジュール表の作成と活用
- ・患者状況報告、業務遂行確認を行うハドル、デブリーフィングを導入
- ・0レベル報告書の提出を一ヶ月で3件以上の提出

【今後の課題】

- ・今年度の取り組みの定着に向け評価と修正を行い、充実を図ります。
- ・受け持ち看護師が責任を持って、退院後を見据えた看護を目指します。
- ・専門性を高めていけるよう、自己研鑽に努めていきます。

【概要】

5階西病棟は、脳神経外科31床、呼吸器内科7床、泌尿器科7床、総合内科5床の混合病棟です。

脳神経外科では、24時間体制で救急患者を受け入れており、そのため緊急入院患者が多くを占めます。脳血管治療後や脳内手術治療後の看護、脳卒中後のリハビリ看護が中心です。医師を始め多職種を交えたベッドサイドカンファレンスを毎週行っています。泌尿器科においては、検査入院からがんの診断、手術、化学療法、放射線療法、ターミナルケアと検査から最期を迎えるまでの様々な場面に携わります。周手術期看護や緩和ケアなど医師を交えて話し合いを持ち、その患者の状態にあった適切な看護を提供しています。呼吸器内科では慢性閉塞性呼吸器疾患が多く、在宅酸素の調整、呼吸リハビリを積極的に行っています。総合内科では幅広く多くの疾患が対象なためその人の生活習慣をとともに振り返り、治療だけではなく患者様の心理的、精神面のサポートも行うよう心がけています。

病棟スタッフ構成は、病棟看護師長1名、副看護師長1名、主任看護師2名、看護師22名、ケアワーカー1名で構成し、チームナーシングと受け持ち制で看護を展開しています。疾患を幅広く看るため、スタッフ同士の連携はかかせず、日々カンファレンスを行うことで適切なケアを考え、個別に応じた看護を提供できるようにしています。安心して安全に入院生活を送って頂けるよう多職種が協働し、情報交換を密にし医療、看護の質向上に努めています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 報告・連絡・相談の徹底
 - ・スタッフ看護師は、看護技術や患者対応での問題発生時は必ずリーダー看護師に報告する
 - ・リーダー看護師は、インシデント発生時、詳細を確認後全責に報告する
 - *看護師も管理的視点が持てるように各勤務の申し送り方法を変更した。各勤務のリーダー看護師が病棟管理、患者管理、インシデント報告と対策、物品管理について申し送り、患者情報を共有できるようになった。
2. 無理・無駄・ムラをなくし、働きやすい職場作り
 - 1) 時間管理
 - ・11:30、15:30に業務調整を行い、業務終了を予測した行動がとれる
 - 2) 新人看護師・中途採用者の育成
 - ・日勤看護師が二人一組で業務するパートナー化を行い、業務を協力する体制ができた。業務調整を行う時間を作り、他のスタッフの協力も得られ、時間外勤務は減少している
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上
 - 1) 受け持ち看護師が中心となり、患者看護を展開する
 - ・受け持ち看護師が患者や家族から得た情報を速やかに看護サマリーに記載する。患者カンファレンスで、多職種に患者の入院生活情報の提供ができ、よりよい退院支援に結びついている。

【今後の課題】

- ・今後も病棟全体で患者情報の把握に努め、患者カンファレンスを充実する
- ・インシデントに関しては、要因・対策を早急に考え安全対策を継続し再発を防止する
- ・受け持ち看護師が患者に必要なケアを提供し、看護を展開する。患者カンファレンスに必要な情報提供が行えることを継続する

【概要】

5 東病棟は地域包括ケア病棟として、退院後もその方に適した療養が受けられるように退院支援を行っています。看護師配置13：1、看護補助者配置25：1で、看護を提供しています。

【病棟目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - ①報告・連絡・相談を毎日行う
 - ②インシデントは発生時すぐに責任者に報告し、当日にインシデントレポートを記載し対応する
 - ③手指衛生実施回数を1患者30回以上行う
2. 魅力ある職場作り
業務改善を行い、時間外勤務を10%削減する
3. 地域との連携を図る
・看護サマリーが記載できる

【病棟の取り組み】

1. 明るい雰囲気であい拶を積極的に行うことで、患者さんからお褒めの言葉を頂けるようになったので継続していきたい。自己研鑽には消極的であり、日々勉強の姿勢を忘れず、病棟内での勉強会を行っていく。
2. 転倒防止対策を行うため、リハビリ担当のセラピストと共にカンファレンスを行い、患者さんのベッド周囲の環境整備をおこなった。セラピストとのコミュニケーションも良くなり、受け持ち看護師が積極的に相談し、より安全な環境整備ができるようになった。
3. 看護サマリーの内容が、病状経過中心であった。看護の内容を詳しく、解りやすく記載できるよう、受け持ち看護師と何度も修正をおこなった。徐々にではあるが、他施設のスタッフの方から解りやすくなったと評価を頂けるようになってきた。継続した看護が提供できるよう、さらなる改善が必要である

【今後の課題】

患者さんが住み慣れた地域で生活ができるよう5東スタッフ一同、心を込めた看護を提供したいと考えています。そのためにも自己研鑽を継続することが課題です。患者さんや家族の目指す目標に近づけるように、受け持ち看護師を中心に、外来スタッフや地域の皆様との連携強化を継続していきたいと思っております。

【概要】

主に呼吸・循環管理が必要な急性期疾患や救急患者、開腹手術や全身麻酔後の患者等、24 時間体制で受け入れを行い、看護を展開しています。

【看護職員の構成】

看護師長 1名、副看護師長 1名、主任看護師 1名、看護師 11名
4対1の看護体制により、患者の安全管理を主とした安心・安楽な看護に努めています。

【HCU目標】

- ・気づきを声に出し、スタッフ間で共有・検討し、お互いリスクコミュニケーションを深めながら、確認行為を徹底する。
- ・感染対策については、標準予防策の徹底と定着を図る。
- ・各自、自己研鑽に努めるとともに、スタッフ全員が新人教育を経験することで、自身のスキルアップを図る。
- ・ブリーフィング、パドル、デブリーフィングを定着と意識的な時間管理を行い行動する。
- ・予測をもち、物品在庫管理を行う。
- ・入院中だけでなく、退院支援に必要な情報を収集し活用する。
- ・患者家族へ思いやりをもち対応する。

【取り組み】

各自、スケジュール表を用いてスケジュール管理を実施しながら業務に従事しています。また、カンファレンスを行い、医師や多職種と連携をとり看護を実践しています。

フィジカルアセスメント能力を身につけ、実践に繋げられるよう、定期的に勉強会を開催し、自己研鑽を図っています。

また、今年度は初めて新人看護師を迎え入れ、1年間かけて指導を行いました。

【実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均入室期間 (日)	2.5	2.7	2	2.5	3	4.2	3.3	2.7	3.2	2.6	2.7	2.1
1日平均人数 (人)	4.9	4.8	4	4.5	5.3	5	4.9	4.9	5.1	5.2	4.4	4.2
稼働率 (%)	80	80.1	69.4	74.7	86	82.8	82.3	81.1	84.4	83.3	73.6	70.4
看護必要度 (%)	99.8	98	99.7	98.6	100	100	100	100	99.4	99.4	99.2	97.7

【今後の課題】

看護実践能力を高めるため、自己研鑽に努めるだけでなく、日々の看護の振り返りと評価を行い、その能力を高める。また、入院時より退院の方向性を見据えて患者・家族との関わりを持ち、安心・安楽な看護を提供できるよう努める。

【概要】

手術室は5ルームあり、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、産婦人科、心臓血管外科、泌尿器科、歯科口腔外科の手術を行っています。今年度の手術件数は、2,436件でした。手術体制は365日24時間待機制としており緊急手術にも迅速に対応しています。スタッフは、看護師長1名、主任看護師2名、看護師10名、臨床工学技士3名で構成されています。それぞれの役割を定め、手術室の質を担保するために専門性を発揮し業務を行っています。

手術室では、患者に安全な医療・看護が提供できるようカンファレンス、研修会などを通じ日々研鑽しています。特に今年度は、医療安全・感染対策の目標に対しての対策を強化し、より安全・安心な手術看護が提供できるよう取り組みを実施しました。

【目標】

1. 医療の質と安全の向上
 - 1) 報告・連絡・相談の徹底
 - 2) インシデント・アクシデントは速やかに報告・対応
 - 3) 100%の感染対策
2. 無駄・無理・ムラを無くし、働きやすい職場作り
 - 1) 業務改善と時間管理
 - 2) お互い声を掛け合い活気ある職場づくり
3. 地域医療機関の信頼と患者満足の向上

【部署での取り組み】

- ・災害アクションカードを改訂し、大規模地震時のシミュレーション研修の実施
- ・手術間、手術後清掃方法の手順書を作成し、短時間で効果的な清掃への取り組み
- ・インシデント報告では、毎月、0レベル報告書を検討し、対策立案および実践
- ・手術室での在庫削減に向けて、随時定数の見直しの実施
- ・滅菌有効期限の見直し(中央材料室)
- ・一足制の導入

【今後の課題】

速やかな報告・連絡・相談を徹底し、コミュニケーションを密にすることで情報を共有し、手術室における安全な医療、看護の提供を実施していけるよう努めます。また、災害シミュレーション訓練では、実際に必要な準備は何か、実際に活かせるアクションカードの見直しなど、新たな課題とともに継続した訓練の必要性が分かり、継続していきたいと考えています。

VI 診療技術部紹介

VI 診療技術部紹介

薬剤部

臨床検査科

放射線科

臨床工学科

リハビリテーション科

栄養管理科

歯科技工室

地域医療部

医療安全管理部

【概要】

1. 薬剤部の理念

- (1) 薬の知識を活用し公衆衛生の保持および増進に寄与し、地域住民の健康と利益を支えていく。
- (2) 専門職能を生かしチーム医療に貢献する。

2. スタッフ

薬剤部長 : 河崎 尚史
 主 任 : 小山 恵理、井上 裕子、宮本 賢典、木村 ナオ子、村田 典代
 指 導 員 : 北島 正大
 薬 剤 師 : 西 千尋、松山 真範、森崎 潤埜
 東 万記子（非常勤）、野沢 健太郎（非常勤）、平田 耕三（非常勤）
 森脇 竜太（非常勤）、森中 美和（非常勤）
 助 手 : 崎山 めぐみ、櫻木 花織、矢原 典子、織田 和隆、沖田 敏弘、酒井 久恵

薬 剤 師……………計15名

助 手……………6名

3. 主な業務と取り組み

- (1) 電子カルテ・調剤部門システムを含むマスタ管理業務
- (2) 全入院患者への一包化調剤業務
- (3) 注射剤の個別払い出し調剤業務
- (4) 医薬品安全管理業務
- (5) 麻薬・覚醒剤原料・毒薬・向精神薬・血液製剤等管理業務
- (6) 医薬品情報提供業務
- (7) 中心静脈栄養および抗悪性腫瘍注射薬の混合業務
- (8) 入院・外来患者への薬剤管理指導業務
- (9) 入院患者の持参薬調査および報告業務
- (10) 各種チーム医療への参画

4. 薬局内 勉強会

実施日	内容	メーカー名	
2019年	4月9日	抗凝固剤について	日本ベーリンガー
	5月16日	リリカについて	エーザイ
	5月24日	ヒト IL-4/13受容体	サノフィ
	6月5日	モノクロナルボ体について	日本イーライリリー
	6月13日	フォルテオについて	第一三共
	6月25日	タリージェについて	グラクソスミスクライン
	8月29日	テルリジーについて	興和
	9月4日	カリメートについて	ミヤリサン
	10月10日	ミヤBMについて	小野薬品
	11月25日	HCNチャネル遮断薬について	旭化成ファーマ
	12月20日	リコモジュリン (Web) について	ヤンセンファーマ
	12月20日	nmCRPC治療薬について	アステラス

5. 各種研修会参加

参加日	研修会名
6月9日	日本臨床腫瘍薬学会スタートアップセミナー2019
6月15日-6月16日	日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum
6月22日-6月23日	第3回NST専門療法士受験必須セミナー
7月5日-7月7日	令和元年度がん専門薬剤師教育講座
7月15日、8月11日	EssentialSeminar2019
9月15日	第41回日本病院薬剤師会実務研修会
9月7日-9月8日	JASPOブラッシュアップセミナー2019(大阪)
9月8日	和歌山県血液がんチーム医療ワークショップ
9月14日	第24回和歌山栄養療法研究会
9月14日	第52回抗菌薬適正使用生涯教育セミナー
10月16日	和歌山県薬剤師就職説明会
10月20日	MegaOakHR・isユーザーフォーラム
11月1日	和歌山県病院薬剤師会学術講演
11月8日	2019年度医薬品安全管理責任者講習会
11月9日	薬剤管理研修会
11月17日-11月18日	和歌山インジェクション・フォーラム
2020年	
1月24日	ImSAFER研修
1月25日	令和元年度きのくががん薬物療法チーム研修会
2月20日	第85回腫瘍センター勉強会

【実績】

1. 2019年度 薬剤管理指導統計

(単位：人、回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総指導人数	65	67	64	94	123	101	122	102	112	155	137	173	1,315
服薬指導数	69	69	70	97	136	110	134	107	122	164	151	211	1,440
ハイリスク指導	29	38	27	53	59	40	54	31	53	60	65	61	570
通常指導	39	30	40	41	70	69	77	74	66	104	83	138	831
麻薬指導	2	2	3	0	2	1	1	2	0	0	2	4	19
退院指導	53	55	52	64	83	62	80	68	81	96	98	97	889
外来がん指導3	29	52	19	12	13	7	10	2	9	14	9	9	185

2. 2019年度 TDM件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
VCM	4	6	6	3	5	12	2	6	9	6	10	7	76
TEIC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
GM	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 2019年度 無菌製剤調整件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TPN	0	0	0	0	0	6	35	22	23	31	17	18	152
抗癌剤(入院)	29	21	11	12	12	13	11	13	11	21	17	8	179
抗癌剤(外来)	112	125	112	104	116	100	125	98	100	114	96	108	1,310

4. 学会発表

「橋本市民病院における多職種によるポリファーマシーチームの活動報告」

第3回日本老年薬学会学術大会, 2019年5月11日-5月12日
北島 正大

「白内障手術における術後経口第三代セフェム系抗菌薬中止による術後細菌感染への影響」

第66回日本化学療法学会東日本支部総会 2019年10月17日-10月18日
西 千尋

「減薬について処方医と交わした診療情報提供書から考えるポリファーマシーに対する意識と実際の処方数」

第29回日本医療薬学会年会, 2019年11月2日-11月4日
北島 正大

「処方オーダシステムアップデートに伴う一般名処方件数の動向調査」

第29回日本医療薬学会年会, 2019年11月2日-11月4日
松山 真範

「一般名処方をサポートする処方オーダシステムの構築とその評価」

第29回日本医療薬学会年会, 2019年11月2日-11月4日
河崎 尚史

(参加した学会)

- 第13回緩和医療薬学会年会 5月31日-6月2日
- 第24回日本緩和医療学会年会 6月21日-6月22日
- くすりと糖尿病学会 9月6日-9月8日
- 第68回日本感染症学会東日本地方会他 10月16日-10月18日
- 第29回日本医療薬学会年会 11月2日-11月4日
- 第20回日本医療情報学会学術大会 11月21日-11月24日

【今後の課題】

- ① 適切な薬物治療を提供するため、病棟薬剤業務を実施する体制を整える。
- ② チーム医療に積極的に参加しNST・糖尿病・がん・感染・緩和・腎臓・医薬品情報等の認定薬剤師制度や専門薬剤師制度などの取得をバックアップする。
- ③ 医薬品安全管理の観点から医師・看護師・他のコメディカルや患者に適切な情報提供を行い、各診療ガイドライン等に基づき医薬品の適正使用に貢献できる業務を展開する。
- ④ 腎機能低下時・肝機能低下時・高齢者など減量が必要な患者に対しては、ポリファーマシーの観点に注目しながら適切な処方提案を実施する。
- ⑤ 薬品購入に際して購入方法の見直しを含め、医薬品採用品目の適正化を図り、院内採用薬で代用可能な薬剤の処方提案を推進する。

【概要】

1. 臨床検査科の基本理念

地域の中核病院としての使命と機能に相応しい、質の高い最善で安全な診療支援を行なうために、以下のことを基本理念としています。

- (1) 日々研鑽し、精度を重視して、正確かつ迅速にデータを提供できるように努力する
- (2) 医療のニーズに応じた検査が提供できるように努力する
- (3) 他部門ともコミュニケーションをとり、お互い協力し病院発展の為に尽くす

2. 人員配置状況

○検体検査部門（一般・免疫・生化学・血液・輸血）	5名
○生理検査部門	5名
○病理検査部門	3名
○超音波検査室	1名
○細菌検査部門（委託）	2名
○中央採血室看護師	3名
○採血室および生理検査受付事務	2名

3. 有資格者数

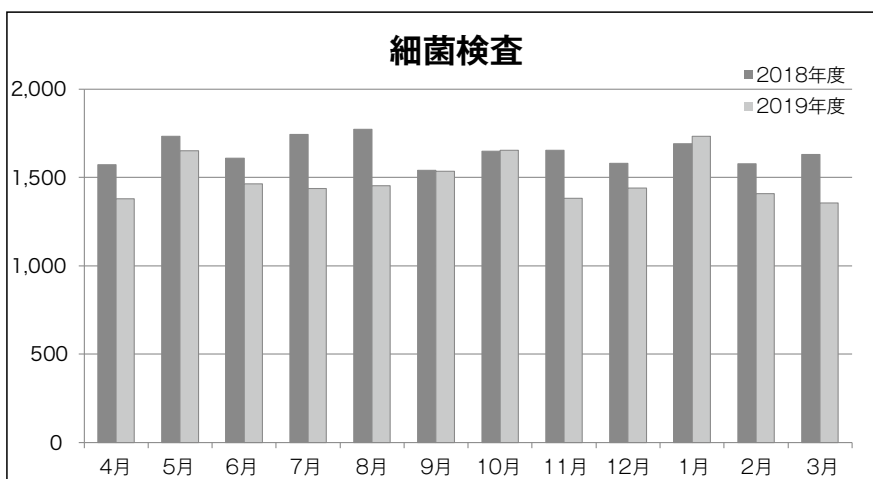
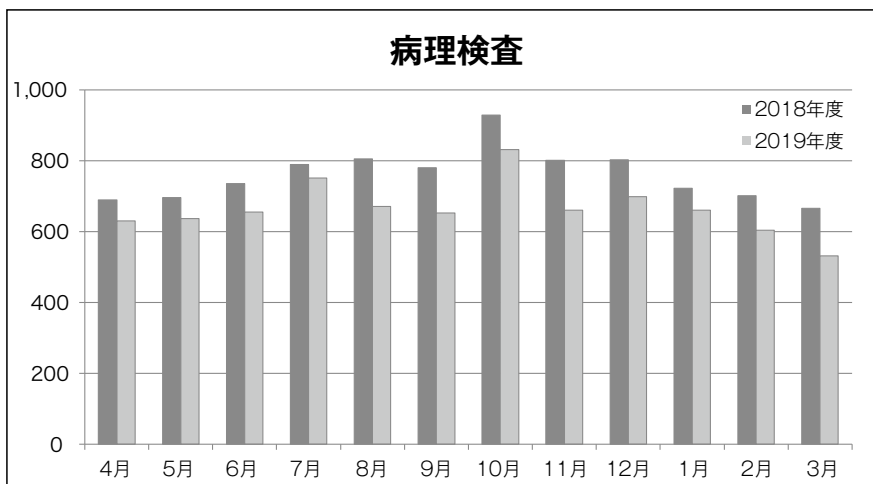
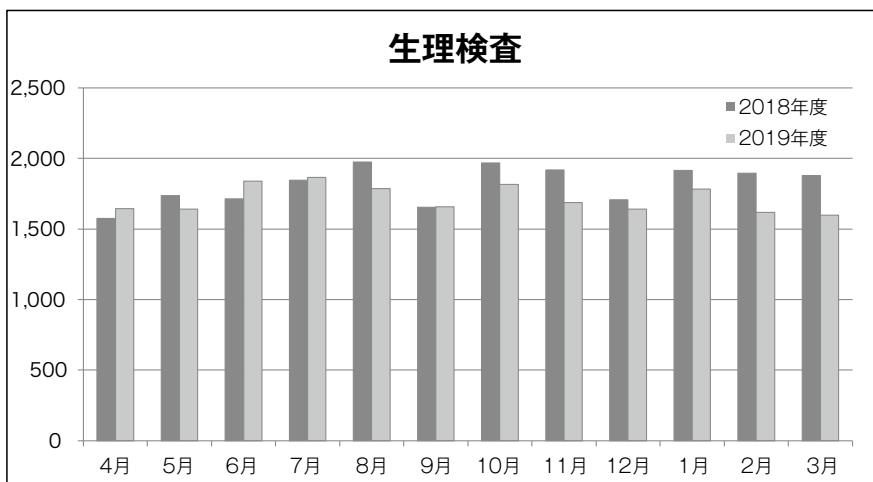
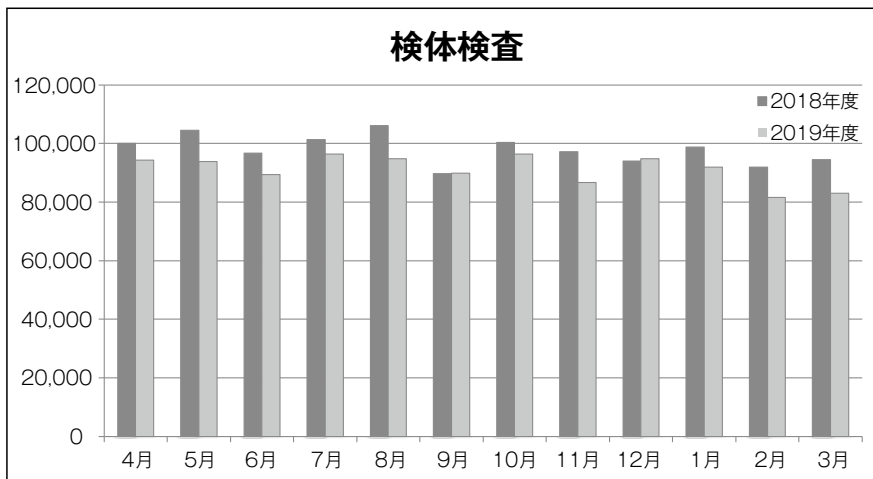
・細胞検査士	：2名	・認定輸血検査技師	：1名	・二級臨床検査士（微生物）	：1名
・超音波検査士	：4名	・糖尿病療養指導士	：2名	・緊急検査士	：1名
・医療安全管理者	：1名				

【実績】

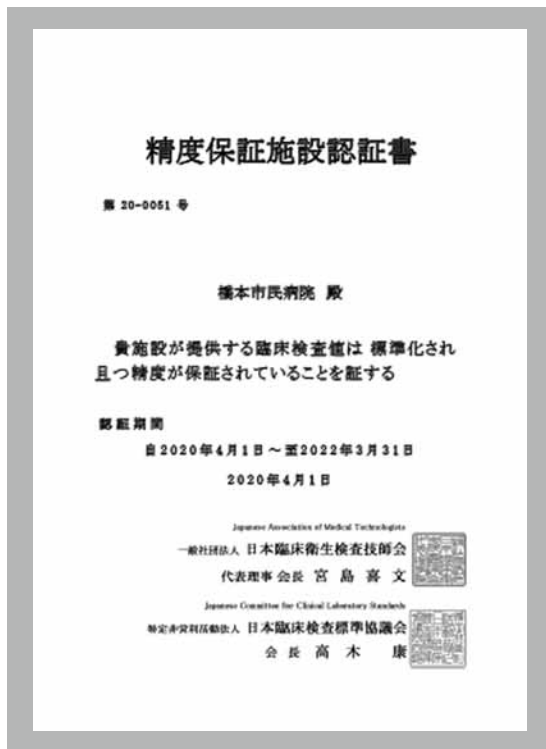
1. 対外実績（学会発表）

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2020年2月	第31回日本臨床微生物学会	血液培養から Neisseria meningitidis が分離された1例	長谷川祐紀	喜幡 聖子	金沢市
2	2020年2月	第40回和歌山県医学検査学会	令和元年度和臨技サーベイ結果報告（免疫部門）	前原 純		日高郡 みなべ町
3	2020年2月	第40回和歌山県医学検査学会	当院の糖尿病ワーキングチームの活動報告について	前原 純	山崎 宗計、秋田 豊和	日高郡 みなべ町
4	2020年2月	第40回和歌山県医学検査学会	QC手法を用いた当直時の問題解決策	秋田 豊和	豊田 耕三、東川 幸恵、山崎 宗計、坂東久美子、前原 純、手嶋 優子、田中和寿子	日高郡 みなべ町

2. 部門別対前年検査数実績



3. 外部精度管理調査結果



(2018年度)

○日本臨床衛生検査技師会：98.0点

○日本医師会：99.1点

(2019年度)

○日本臨床衛生検査技師会：97.2点

○日本医師会：98.1点

直近2年間の精度管理調査で所定の成績を取めたため、日本臨床衛生検査技師会より、精度保証施設認証の更新ができました。

尚、左記認証書は⑥番受付後方に掲示しております。

【今後の目標】

COVID-19が感染拡大している状況で、様々な学会が中止を余儀なくされております。当面は早期終息に向けて臨床検査科のみならず病院全体で対策に取り組んでいき、元の状態に戻すことが先決です。

緊急事態宣言が解除され、自由に外出できるようになることを願っております。

技師長：泉本 達治

日本放射線技師会 会員
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了
日本放射線技師会認定 臨床実習指導認定技師

副技師長：藤本 佳文

日本放射線技師会 会員
日本消化器がん検診学会 会員
NPO法人 日本消化器がん検診精度管理評価機構 会員
胃がんX線検診読影部門 B資格検定取得
胃がんX線検診技術部門 B資格検定取得
日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
日本医師会医療安全推進者養成講座修了

主任：新田 伸一

日本放射線技師会 会員
日本放射線腫瘍学会 準会員
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了

主任：三木田 正夫

日本放射線技師会 会員
日本放射線技師会主催 生涯教育課程修了
塩化ラジウム注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習修了

主任：小坂 将弘

日本放射線技師会 会員 ， 日本放射線技術学会 会員
日本磁気共鳴学会 会員 ， 日本心臓CT研究会 会員
放射線機器管理士 ， 医用画像情報管理士
X線CT認定技師 ， 救急撮影認定技師
日本診療放射線技師会 アドバンス診療放射線技師

主任：森本 拓也

日本放射線技師会 会員
第1種放射線取扱主任者

主任：宮田 政明

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

主任：武田 有紀

日本放射線技師会 会員
第1種放射線取扱主任者
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

主任：西村 一真

日本放射線技師会 会員
日本放射線技術学会 会員
放射線管理士

主任：森本 勝士

日本放射線技術学会 会員
日本血管撮影インターベンション専門診療放射線技師
日本磁気共鳴専門技術者

技師：小坂 恵子

検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師

他：受付助手1名

『放射線科 理念』

- ・よりよい画像情報を提供します
- ・安心して、安全に検査を受けてもらえるよう心がけます
- ・待ち時間の短縮など、サービスの向上に努めます

『放射線科 行動指針』

- ・はっきり わかりやすく話す
- ・相手の気持ち 立場に立って行動する
- ・不安を取り除き、緊張をほぐしてあげる

『2019年度 放射線科 目標設定』

- 1 「放射線検査における 患者の信頼と満足の向上 および 患者サービスの向上に向けての総合的取り組み」
 - ・検査に対する医療の質（より良い画像情報・適切な画像情報の提供）と安全性を高めるための知識や技術のさらなる取得
 - ・安心を提供するため、適切な検査説明を行えるための個人の能力の向上に向けての取り組みや、様々なツールを使用し、患者の安全確保のための取り組み等総合的なことを言う
- 2 「チームワーク・協調性の強化から、より良い職場環境づくり」
 - ・協調性の充実等を図り、良質な組織作りを行う
 - ・組織である以上協調性は絶対不可欠要素で有り、そのための良質な組織人としての人間形成を行う

高齢化社会の加速化、また食事環境の変化率によって、骨粗鬆症による骨折事例が増加しており、予防医学の視点からも骨塩定量検査の有用性が見直されています。この点に着目し、院内での骨塩定量検査推進の取り組みを行っています。

超急性期脳梗塞患者の血管内治療を行うため、脳血管治療センターを中心に、救急外来看護師と共に研修会や訓練を行い、「Code Stroke」を行っています。

放射線科は、技師11名中2名が女性技師で、年々需要が高まるマンモグラフィーやマンモMRI撮影に対して、女性技師が対応することにより 検査・検診への抵抗を可能な限り取り除くよう努めています。

また、各検査に於いても 高度な専門性が求められる傾向にあり、各種研修会等への参加および専門資格の取得など、積極的な取り組みを行っています。

【実績】

2019年度 放射線科実績（検査数）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般撮影	2,666	2,079	2,635	2,772	2,650	2,401	2,726	2,526	2,581	2,770	2,436	2,282
C T	1,515	1,424	1,410	1,475	1,424	1,350	1,506	1,403	1,498	1,571	1,187	1,312
M R I	440	455	449	511	445	422	437	440	440	430	406	445
T V	105	150	150	155	128	140	152	136	154	118	92	75
Angio	87	70	74	77	92	62	79	66	75	65	67	70
マンモ	57	77	102	115	96	100	122	109	92	66	93	23
歯科撮影	78	90	99	89	107	71	74	90	75	91	59	88
骨塩	69	45	56	66	54	55	49	52	57	35	48	23
ポータブル	596	323	341	301	317	358	361	306	349	331	247	263
核医学検査	30	35	34	37	24	29	36	36	48	37	29	41
放射線治療	204	152	207	202	140	53	82	189	191	74	138	254

2019年度 参加研修会

日付	研修会名	会場
4月25日	BAV ワークショップ	兵庫県立淡路医療センター
5月16日	第105回 南大阪MRI研究会	大阪労災看護専門学校
5月17日	放射線業務従事者のための教育訓練講習会	天満研修センター
5月25日	第5回 和歌山放射線腫瘍研究会	和歌山県立医科大学附属病院
6月6日	第105回 関西MRI技術研究会	大阪国際がんセンター
6月9日	2019年度 ステップアップ臨床セミナー	大阪市立大学医学部学舎
6月16日	(一社)和歌山県放射線技師会 第71回定期総会 2019年度 第1回研修会	橋本商工会館
6月22日	第30回 関西Gyro Meeting ~For next scan~	北野病院
7月27日	第12回 認定講習会	首都大学東京 荒川キャンパス
7月30日	BAV ワークショップ	兵庫県立淡路医療センター
8月24日	第40回 関西CTシンポジウム	梅田スカイビル
8月24日	第48回 日本消化器がん検診学会 近畿地方会	京都テルサ
8月29日	第106回 南大阪MRI研究会	大阪労災看護専門学校
8月31日	第19回 近畿救急撮影セミナー	国立病院機構大阪医療センター
10月19日	第20回 和歌山救急・災害医療研究会	和歌山県立情報交流センター Big U
11月8日	医療安全管理対策研修会	和歌山マリーナシティ
11月9日	第51回 CT画像研究会	大阪商工会議所
11月9日	NMP核医学技術セミナー	和歌山ろうさい病院
11月16日	(一社)和歌山県放射線技師会 2019年度 第2回研修会	和歌山市南コミュニティセンター
11月21日	第107回 南大阪MRI研究会	大阪労災看護専門学校
11月22日	JDDW 2019 KOBE 第27回日本消化器関連学会週間	神戸コンベンションセンター
11月23日	日本放射線技術学会近畿支部 2019年度超基礎講座	大阪市立大学医学部学舎
11月30日	第31回 Gyro Meeting	マイドームおおさか
1月18日	NPO法人日本消化器がん検診精度管理機構 西日本合同研修会	エル大阪
1月19日	第127回 関西IVR撮影技術研究会	大阪市立大学医学部附属病院
2月6日	第108回 南大阪MRI研究会	大阪労災看護専門学校
2月9日	第106回 関西MRI技術研究会	大阪国際がんセンター
2月14日	放射線取扱主任者定期講習	大阪科学技術センター
3月1日	2019年度近畿放射線技師会学術大会	京都テルサ

日付	研修会名	演題
6月16日	(一社)和歌山県放射線技師会 第71回定期総会 2019年度 第1回研修会	『当院における頭部DWI volume測定 の試み』 発表 : 小坂 将弘
6月16日	(一社)和歌山県放射線技師会 第71回定期総会 2019年度 第1回研修会	市民公開講演会 『脳卒中のお話』 座長 : 藤本 佳文
6月16日	(一社)和歌山県放射線技師会 第71回定期総会 2019年度 第1回研修会	ランチョンセミナー 『シーメンスMRIの最新情報』 座長 : 西村 一真
6月16日	(一社)和歌山県放射線技師会 第71回定期総会 2019年度 第1回研修会	学術発表 I 座長 : 森本 拓也
10月19日	第20回和歌山救急・災害医療研究会	『当院におけるMRIによる脳梗塞 体積測定を試み』 発表 : 三木田 正夫
3月1日	2019年度近畿放射線技師会学術大会	『MRIによる脳梗塞体積測定を試み』 発表 : 三木田 正夫

【今後の課題】

新病院へ移転後十数年が経過し、当時は最新機器であった撮影機器も老朽化の兆しが見えてきました。

2017年度はMR I（フィリップス社製 1.5T）と、治療計画装置（Pinnacle）の更新を、2018年度はアンギオ装置（Canon社製）の更新が行われました。今年度はX線TV装置（Canon社製）の更新が行われ、来年度は骨塩定量装置の更新を予定しています。

これらにより、以前よりも精度の高い画像の提供と患者様への撮影の負担が軽減ができたと考えており、臨床からのニーズにできるだけ迅速にまた適格に対応できるように努めていきたいと考えています。

またチーム医療として、造影剤を使用した検査に関する危機意識の向上や、MR I室に入室の際の注意事項 等に関する研修会や啓発を継続的に行い、積極的に他部門との情報の共有化・充実化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

そして引き続き、骨塩定量検査推進の取り組みと、超急性期脳梗塞患者における血管内治療の体制を強化していきます。

1、概要

2005年度臨床工学科新設

2016年度の4月より業務拡大の1つとして、手術室業務開始

それに伴いスタッフ増員し、ME業務4名、手術室業務3名（専従）体制で業務を実施

【理念】

ME機器を安全かつ効率よく使用できる環境を整える

【スタッフ】

ME業務	小嶋 宏之	手術室業務（専従）	西 真吾
	宮本 征士		松本 拓巳
	田嶋 勇介		皿谷 悠之助
	岩谷 亮佑		

【業務内容】

（カテ室業務）

心臓カテーテル検査およびP C Iにおけるポリグラフ及び周辺機器の操作、使用する医療材料の取り扱い。

（手術室業務）

各科手術機器の操作。

専従技士による手術介助業務（直接・間接）

注 手術室業務実績は下表【実績】には件数は入っていません

（血液浄化業務）

病棟における持続血液濾過透析をはじめとする各種血液浄化法の実施。

（人工呼吸器管理業務）

院内で使用する人工呼吸器の保守及び点検業務。

（医療機器管理業務）

人工呼吸器（13台）、輸液ポンプ（136台）、シリンジポンプ（78台）、低圧持続吸引器（14台）などの機器を効率よく使用できるよう中央管理を行う。院内の医療機器の管理台帳を作成し各ME機器の保守点検及び修理業務の管理。

（ペースメーカー外来）

毎月ペースメーカー外来日を設け、定期的にペースメーカーチェックを行う。

（在宅呼吸療法）

在宅での呼吸療法で使用する機器の手配、使用説明およびその指導、管理。

（内視鏡業務）

内視鏡室での検査・治療の補助及び機器の洗浄・管理を行う。

小腸カプセル内視鏡検査の準備・装着・回収・解析記録の処理を行う。

2、実績

2019年度臨床工学科実績

（数字は件数）

			2018年度	2019年度
臨床業務	カテ室業務	P C I	245	244
		心カテ	171	174
		その他	565	590
	内視鏡業務※	内視鏡	4,700	4,563
		カプセル	22	8
	病棟業務	C H D F + H D	114	45
		その他	128	89
ペースメーカーチェック		314	382	
呼出件数		100	95	
修理・点検業務	修理業務	225	238	
	点検業務	1,402	1,550	
合計		7,986	7,978	

3、今後の展望と課題

今後、ますます医療が発達しそれに伴い新しい医療機器を使用する治療が増えてきます。それらの機器を安心・安全に使用できるよう、研鑽に努めていきたいと思ひます。また、ME機器の更新についても積極的に関わっていきたく思ひます。

【概要】

リハビリテーション科は、理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3部門で構成され、それぞれ理学療法士（PT）23名、作業療法士（OT）4名、言語聴覚士（ST）4名が携わっています。役割として、入院後や発症早期からの急性期リハビリテーションを担っており、ベッドサイドからの介入により早期離床、廃用症候群の予防を行い、日常生活動作の早期再獲得を目指しています。リハビリ対象疾患は、高齢化や複数の疾患障害を持つ方も多く、運動器疾患や脳血管疾患に加え、循環器疾患や内科・外科の内部障害、がん患者へのリハビリテーションなどです。理学療法部門では、365日リハビリテーションを行っております。

また、地域の回復期リハビリ医療施設あるいは介護保険下の療養施設や老人保健施設と連携して、適切な転院を模索することで役割を明確にした効率的なリハビリ医療を行っています。一部ですが運動器疾患を中心に退院後も必要に応じて外来での継続的なリハビリも提供しています。

<施設基準>

- ・運動器リハビリテーション（I）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション（I）
- ・呼吸器リハビリテーション（I）
- ・がん患者リハビリテーション
- ・心大血管リハビリテーション（I）
- ・廃用症候群リハビリテーション（I）

<有資格者>

- ・3学会合同呼吸療法認定士：4名
- ・がんのリハビリテーション研修修了者：14名
- ・地域包括ケア推進リーダー：3名
- ・介護予防推進リーダー：3名
- ・和歌山県糖尿病療養指導士：2名
- ・リンパ浮腫療法士：1名
- ・医療安全管理者：1名

【スタッフ紹介】（2019年4月）

理学療法士23名			作業療法士4名	言語聴覚士4名
・梶木 重裕	・左海 登子	・後呂 達哉	・水野 恵子	・坂井 俊文
・浅倉 洋司	・兼井 奈保	・尾家 千尋	・金岡 歩	・片山 季也
・吉岡 徹	・小原 準矢	・則岡 優佑	・汐崎 敦子	・木村 奈央実
・松本 隆幸	・井向 博信	・中谷 竜也	・佐藤 将人	・岩橋 幸奈
・内田 利加	・濱田 知也	・橋角 亮佑		
・松田 恒輝	・櫻井 諒	・大江 光司		
・菅野 徳央	・佐本 善紀	・中西 翔太		
・阪部 陸	・松島 宏治			

【科の取り組み】

・理学療法部門

病気やケガ等により身体に障害を来した患者さんの基本的動作能力（寝返り・起き上がり・座る・立つ・歩く）の維持・回復を主な目的としての運動療法（関節可動域運動・筋力増強運動・基本動作練習等）に加え、日常生活に必要な日常生活動作練習を行うことによりADL・QOL向上を目的に寝たきり予防、家庭復帰、社会復帰を目指しています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	2019年度	2018年度
運動器疾患	12,010	13,896
脳血管疾患等	7,994	8,284
廃用症候群	8,602	9,569
呼吸器疾患	4,652	4,658
心大血管疾患	3,383	2,323
がん疾患	1,908	3,599
合計	38,549	42,329

※前年比 8.9%減

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	2019年度	2018年度
運動器疾患	20,099	22,560
脳血管疾患等	12,325	12,339
廃用症候群	10,841	11,668
呼吸器疾患	5,866	5,702
心大血管疾患	4,696	2,880
がん疾患	2,692	4,605
合計	56,519	59,754

※前年比 5.4%減

・作業療法部門

上肢や手指の運動機能回復、着替え・トイレといったような日常生活動作練習、家事・職業など生活関連動作練習、認知・注意・記憶力などの低下といった高次脳機能障害に対するアプローチを行っています。また、手の装具の製作や自助具の紹介・製作、福祉用具や家屋改造の相談なども行っています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	2019年度	2018年度
運動器疾患	4,283	3,214
脳血管疾患等	4,768	4,948
廃用症候群	309	537
呼吸器疾患	22	106
心大血管疾患	47	32
がん疾患	42	94
合計	9,471	8,931

※前年比 6%増

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	2019年度	2018年度
運動器疾患	5,210	4,236
脳血管疾患等	7,943	8,264
廃用症候群	515	818
呼吸器疾患	24	159
心大血管疾患	92	67
がん疾患	46	122
合計	13,830	13,666

※前年比 1.2%増

・言語聴覚療法部門

脳卒中後遺症により話す、聴く、書く等が困難となる失語症、麻痺で正しく発音ができない構音障害に対しコミュニケーション能力向上、記憶力や判断力の低下などの高次脳機能障害を対象とします。また、飲み込むことが困難となる嚥下障害に対しても口から食べることを目標として評価・訓練・指導を行います。近年増加の一途をたどる摂食嚥下障害に対するニーズが高く、各診療科から依頼の多い分野となっています。

リハビリ実施患者数 (件)

疾患別	2019年度	2018年度
脳血管疾患等	4,814	3,851
がん疾患	79	25
摂食機能療法	4,662	4,220
合計	9,555	8,096

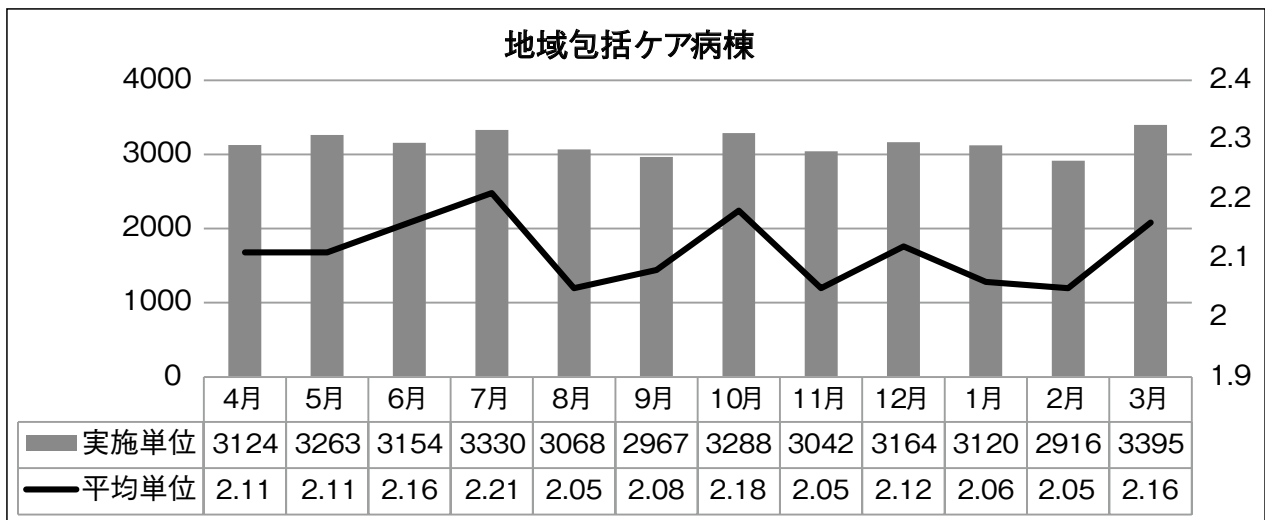
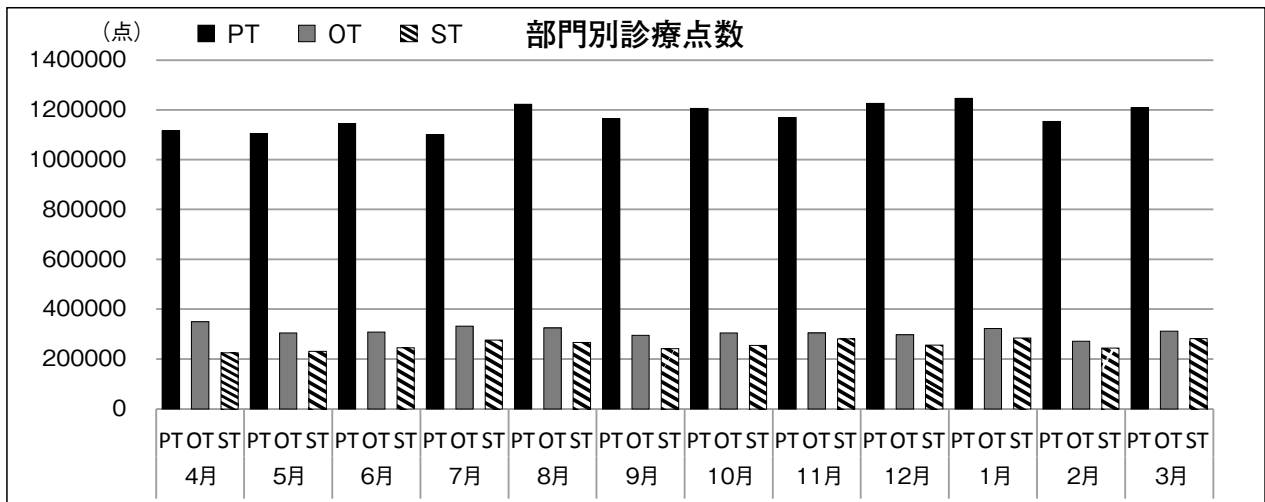
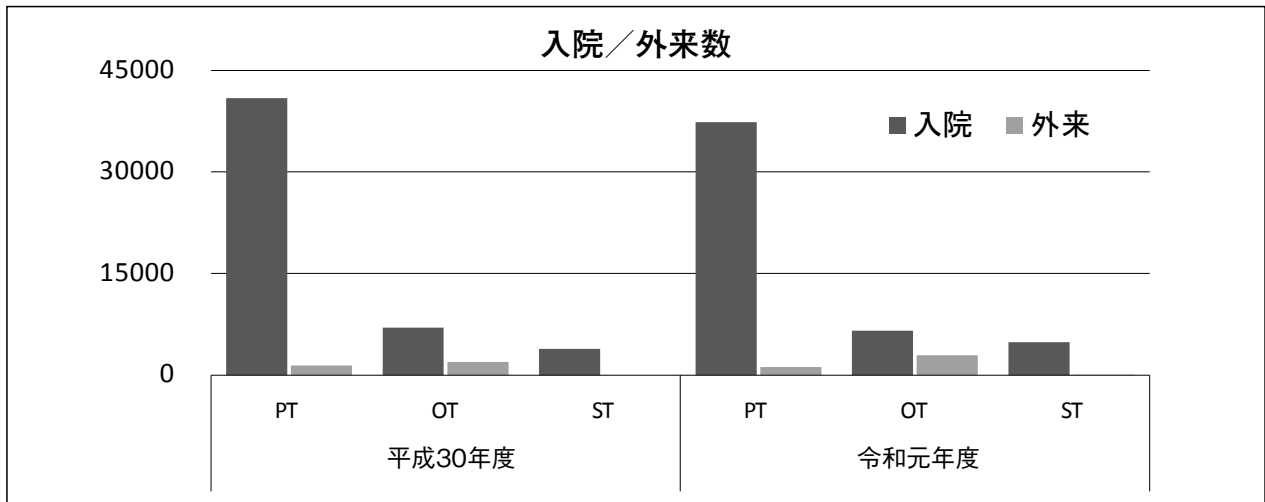
※前年比 18%増

疾患別リハ実施単位数 (単位)

疾患別	2019年度	2018年度
脳血管疾患等	7,716	5,334
がん疾患	100	26
摂食機能療法	4,662	4,220
合計	12,478	9,580

※前年比 30%減

【診療実績】



地域包括ケア病床入院中の患者に対する月平均のリハ実施患者数は49.2名、月平均の総実施単位数は3152.5単位、患者一人1日当たりの平均実施単位数は2.11単位です。

【今後の課題】

医師の指示のもと早期に機能改善を目指し、廃用症候群を予防して効果的リハビリテーションを行い、できる限りの機能回復が成された状態で回復期や在宅へ繋いでいます。理学療法部門ですが365日リハビリテーションが定着してきました。

各部門専門職としての質の向上のために、院内外の研修会や学会へ積極的に参加し、幅広いニーズに対応できる臨床能力の高いセラピストを目指しています。さらなる知識・技術の向上に努め、リハビリ治療の質の均質化を図るとともに可能な限り早期リハビリテーション介入を目指します。

業績

発表・講演

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年4月～ 2019年10月 (計6回)	和歌山県中枢神経麻痺研究会	成人片麻痺者における体幹機能	佐藤 将人		橋本市
2	2019年10月	日本赤十字社和歌山医療センター リハビリテーション科院内研修会	成人片麻痺者における床上動作へのアプローチ	佐藤 将人		和歌山市

【概要】

栄養管理科は管理栄養士3名体制で、主な業務は外来および入院患者の栄養管理です。その中で最も中心となるのは栄養食事指導業務です。外来個人栄養食事指導、入院個人栄養食事指導、妊産婦教室栄養指導なども行っています。糖尿病ワーキングでは糖尿病教室、院内、院外でのイベント活動や栄養食事指導、NSTでは回診、カンファレンスの参加や定例勉強会等の活動にも力を注いでいます。病院管理栄養士は専門性を高め、個々の患者の栄養管理、栄養補給法を提案する活動に変化しつつあります。

嚥下ワーキング活動においては、食べやすい食事形態の要望も多く、当院の嚥下食の現状と課題について「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013」に基づき、重曹や酵素を導入した調理方法や献立の改良を行い嚥下食の充実に向け整備を行いました。食欲不振は、化学療法、高齢者の食欲不振における食事として導入を行い、改良に向け、取り組みました。

給食部門は1999年に直営から給食会社へ全面委託となり、入院患者の食数管理、献立作成、食材発注、在庫管理、調理、盛り付け、配膳、下膳、洗浄は給食会社が行っています。

＜理念＞

- ◇ 患者様の病態に応じて適切な食事を提供し、その治癒あるいは回復の手助けをする
- ◇ 治療食であっても個人の嗜好と生活習慣を考慮した食事を提供する
- ◇ 衛生的で、安全・安心な食事を提供する
- ◇ 栄養指導を行い、食事・栄養管理できるように行動の変容に導く
- ◇ 栄養管理を行い、患者様のQOLを高める手助けをする

＜行動指針＞

- ◇ いつも笑顔でまごころをこめた対応
- ◇ 「ありがとう」という感謝の気持ちを持って行動
- ◇ 「すみません」という謙虚な気持ちを持って行動

＜スタッフ＞

副技師長 藤本 佐和子

主任 高橋 佐智

管理栄養士 下垣内 愛奈

(給食会社 シダックスフードサービス株式会社) 27名

(栄養士5名・調理師10名・調理員11名・事務員1名)

【実績】

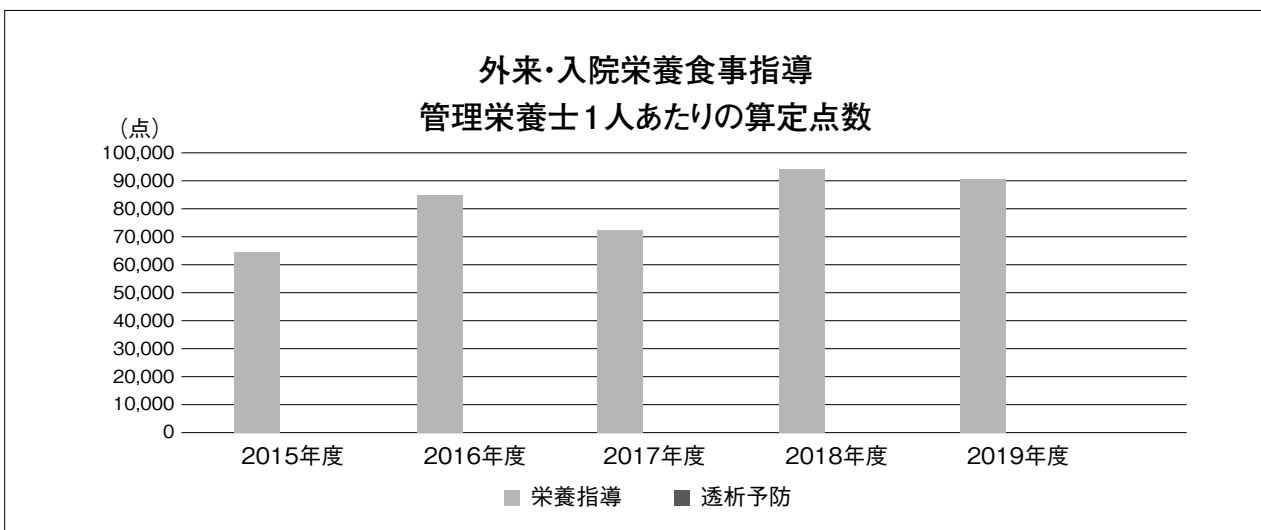
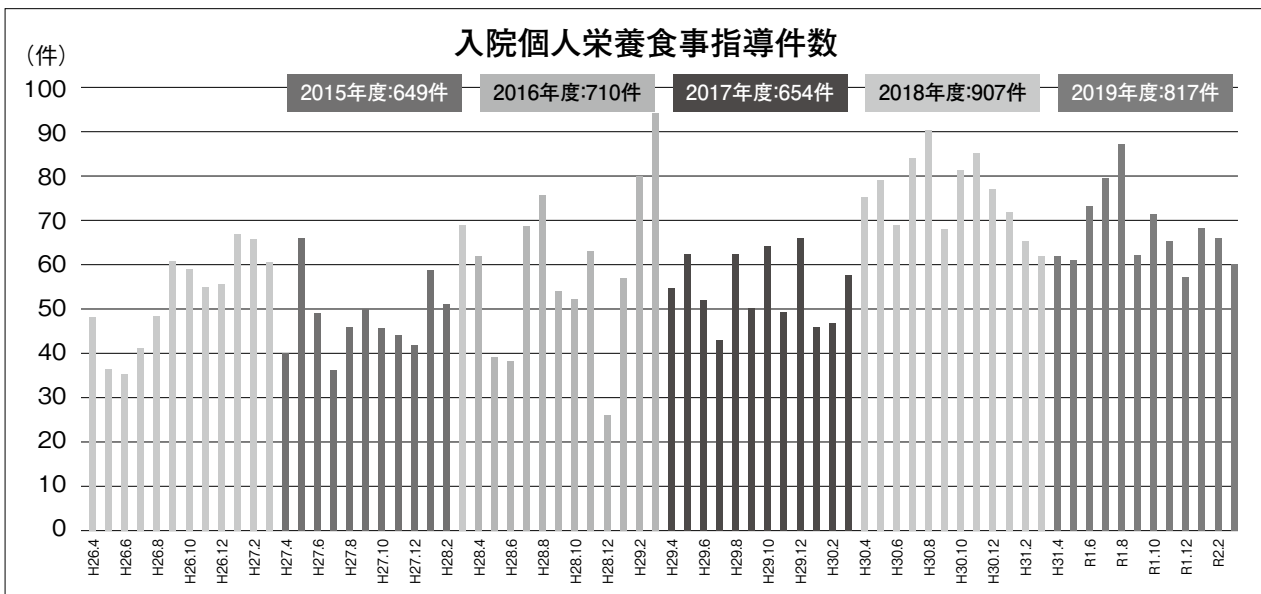
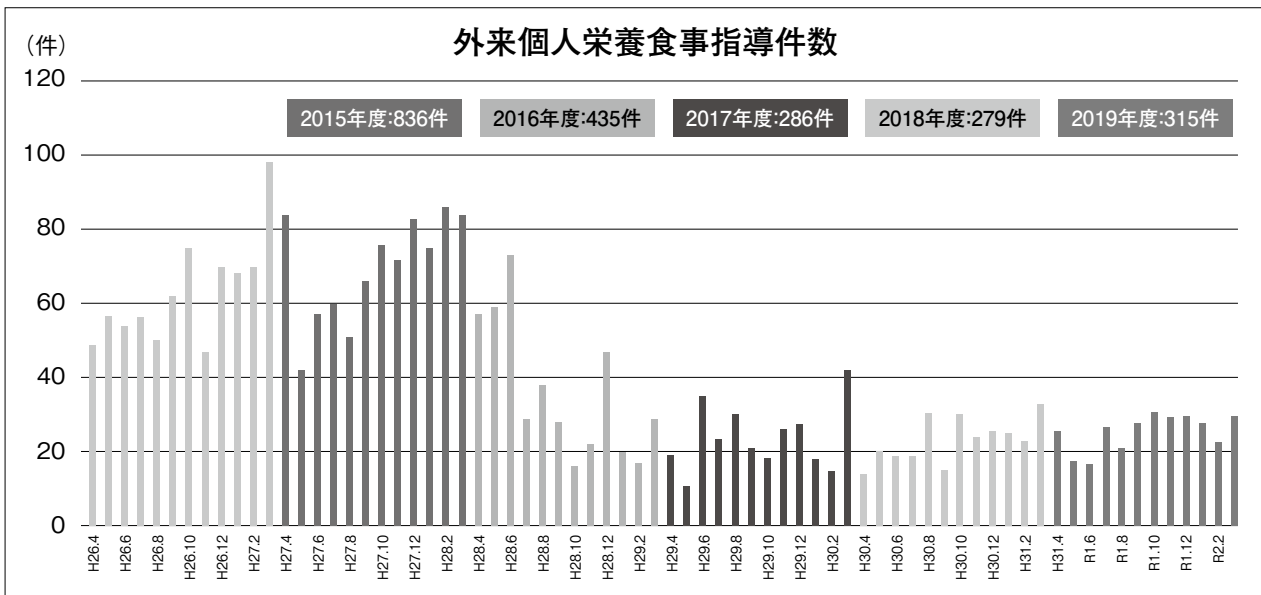
2019年度給食提供実施件数および栄養指導件数

(件)

食種	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均	
		一般食	常食	5,892	6,193	5,648	6,280	6,648	6,325	6,531	6,401	6,915	8,145	8,104	6,614
	軟食等	6,963	6,651	5,899	5,730	6,819	6,057	6,618	6,518	6,694	6,756	5,975	6,118	6,400	
特別食	加算	6,047	6,874	6,983	6,368	6,935	5,895	6,595	6,328	6,204	6,439	6,301	6,500	6,456	
	非加算	155	267	182	210	91	397	246	322	328	323	268	468	271	
計		19,057	19,985	18,712	18,588	20,493	18,674	19,990	19,569	20,141	21,663	20,648	19,700	19,768	
患者外食	職員食	627	623	603	695	565	556	637	592	602	578	481	609	597	
その他	託児所	83	85	89	85	75	100	139	136	134	177	192	246	128	
計		83	85	89	85	75	100	139	136	134	177	192	246	128	
栄養指導	個人	外来集団	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
		入院集団	0	6	16	8	6	5	9	2	2	3	6	0	5
		外来個人	26	18	17	27	22	28	31	30	30	28	23	35	26
		入院個人	62	61	73	79	87	62	71	65	57	68	66	60	68
計		88	85	106	114	115	98	111	97	89	99	95	95	99	

糖尿病性腎症重症化予防	3	5	5	5	2	0	0	0	0	0	3	5	5	3
-------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2019年度 外来・入院栄養食事指導実施件数



【栄養管理委員会】
 <栄養管理委員会>

2019年5月30日

- *経腸栄養剤 RTHへの移行、入れ替え案
 食欲不振食「なごみ食」献立リニューアル
 特別食加算、栄養食事指導件数増加に向けての活動

2020年3月12日

- *経腸栄養剤入れ替え製品案
 厚生労働省 日本人食事摂取基準（2020年版）栄養基準（常食）検討
 特別食加算、栄養食事指導件数増加に向けての活動結果報告および評価
 特別食の一部見直し
 2020年診療報酬改定にむけて 栄養関連報告

【食事についての紹介】

行事食は毎月1～2回行われ、暦行事にちなんだ料理・普通食～治療食（特別食）の行事食を提供しています。
 オリジナルメッセージカードも添えて提供しています。

【行事食の紹介】

- 1月1日～3日 正月料理（雑煮・黒豆・田作り・数の子・紅白なます・赤飯・鯛）
- 1月7日 七草粥
- 2月3日 節分（巻き寿司・鯛・節分豆）
- 3月3日 ひな祭り
- 4月4日 お花見弁当
- 5月5日 子供の日
- 6月 入梅
- 7月7日 七夕
- 8月15日 夏祭り
- 9月15日 敬老の日
- 10月 秋祭り
- 11月 開院記念日
- 12月 冬至、クリスマス、大晦日

【食種】

院内食事箋規約より、普通食（A～D）、軟菜食（3分粥、5分粥、7分粥、全粥、軟飯）
 流動食（流A、流B、流2）食欲不振食（なごみ食）
 陣痛食、産褥食、嚥下食、経管栄養食、術前食、各術後食（術A、術B、術C、術D、術E）、糖尿病食、脂質異常症食、腎臓食、ネフローゼ食、透析食、心臓食（A、心BⅠ、心BⅡ、心C）、肝臓食（A～C）、膵臓食（3分粥～米飯）、胆嚢炎・胆石食（流動～米飯）、潰瘍食（1分粥～米飯）、腸炎食（3分粥～全粥）、貧血食、低残渣食、低ヨード食、大腸検査食、小児食（A～D）、離乳食（A～D）、小児腸炎食（A～D）、小児腎臓食（A-A～D、B-A～D、C-A～D）小児ネフローゼ食（A-A～D、B-A～D）があり、合計200種類以上の食種となる。この食種に加え、多様な個人対応（アレルギー除去食含む）も行っています。

【今後の課題】

安全・安心で且つ患者様に喜んでいただける食事作りと、各専門性を活かした栄養管理と栄養食事指導の拡充を図り、地域に貢献できるよう発信していきたいと考えております。

**業績
発表**

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年6月	第11回日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会	「積極的な経腸栄養により全身状態が改善し、入院前施設に退院可能となった1例」	高橋 佐智	川北 ひさ、木村ナオ子、前垣内真由美、田中 章夫、坂井 俊文、青木 達也、前田 恒宏	大阪市
2	2019年9月	第24回和歌山栄養療法研究会	「特別食及び栄養指導件数増加に向けた取り組み」	下垣内愛奈	高橋 佐智、藤本佐和子、川北 ひさ、西 未知子、前田 恒宏	和歌山市

講演（院内も含む）

No	発表月	会名	演題名	講演者	開催都市
1	2019年11月	健康セミナー	「免疫力を高める食事について」	藤本佐和子	橋本市

【概要】

歯科技工室は、歯科口腔外科外来に設置構成された歯科専門技術職です。

<理念>

- 1) 専門職として患者さんに対応する。
- 2) 他職種とのコミュニケーションづくりをする。
- 3) 患者さんが来院しやすい病院づくりをする。

<スタッフ>

歯科技工士 下坂洋二
 歯科衛生士 北河寛子
 山浦 彩
 福井恵子
 金崎佑規

(1) 技工部門

歯科医師の指示の下、他科から依頼のさまざまな技工物や睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置、手術後の顎欠損患者様の顎補綴、止血用のシーネ、顎関節治療用のスプリント、歯ざしり防止用ナイトガード等を迅速に作製し、入院患者様の生活の質向上に努めています。

(2) 診療部門

歯科衛生士は、歯科診療補助業務の他、外来患者様と入院患者様に専門的口腔ケアなどを行います。周術期口腔機能管理では、医科と連携し、歯科医師と共に口腔管理を行います。また、嚥下機能が低下している他科の入院患者様などを歯科医師と共に往診し、病棟看護師の協力の下、専門的口腔ケアを行います。チーム医療では、NSTチーム、緩和ケアチームに積極的に参加しています。

【実績】

2019年度 周術期口腔ケア患者人数 (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	13	13	13	22	6	6	11	7	6	8	7	124

2019年度 往診口腔ケア・外来口腔ケア・周術期口腔ケア (延べ件数) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往診口腔ケア	27	30	29	3	5	3	10	2	13	14	11	16	163
外来口腔ケア	14	20	18	17	27	12	28	22	18	17	17	25	235
周術期 (往診)	8	2	8	10	15	8	7	5	10	4	3	10	90
周術期 (外来)	24	32	40	41	56	41	39	41	45	29	23	39	450

【今後の課題】

周術期では、術前・術後の口腔機能管理を行うことにより、術後肺炎などの合併症予防ができることが期待されています。診療部門では、通常外来診療と並行して、歯科医師と共に周術期口腔機能管理を行っているため、術後の口腔ケア介入のタイミングを検討し取り組んでいく必要があると考えています。

【概要】

地域医療部では前方支援を地域医療連携室、後方支援を入退院支援室として設置し、地域における中核病院として地域医療機関及び介護施設等の関係機関と連携を深め、患者様に対してより質の高い医療を提供できるよう活動しています。

2019年度も地域の医療機関からの診療・検査の予約受付や転院受入れを行うとともに、医師・看護師・その他のコメディカル等と連携して、急性期治療後の在宅復帰・転院の退院調整などの支援を患者様・ご家族に対して実施しました。また、地域医療部の取り組みとして、「橋本市民病院地域医療ネットワーク会議」の開催や地域医療機関向け広報誌等の発行、各診療科の勉強会等の実施等を通じて当院の情報発信を行いました。

【組織図】

組織名	補職名	氏名 (職種)	備考
地域医療部	部長	星屋 博信 (副院長兼務)	
	副部長	西 未知子 (看護部長兼務)	
地域医療連携室	室長	兼平 龍一 (入退院支援室長兼務)	
	室長補佐	池田 知将 (事務員)	
	主幹	山本 茂晴 (事務員)	
		金本 純子 (看護師) ※糖尿病看護認定看護師	
	染原 佳代子 (看護師)		
	中本 優紀 (事務員)		
	澤本 真由美 (事務員)		
	堀川 祐子 (事務員)		
	西山 真由 (事務員)		
	入退院支援室	室長	兼平 龍一 (地域医療連携室長兼務)
師長		恋中 理恵 (退院支援看護師)	2019年10月まで
師長		宮内 豊路子 (退院支援看護師)	2019年11月から
主任		吉高 賢司 (社会福祉士)	2019年7月まで
主任		泉本 大佑 (社会福祉士)	
主任		松本 美紗 (社会福祉士)	
		上中居 幹太 (社会福祉士)	
吉鶴 伸太郎 (社会福祉士・精神保健福祉士)			
土居 美佳 (事務員)			
田中 佐智 (事務員)			

【地域医療連室】

前方支援業務では連携業務の推進強化のため、渉外活動を促進し、伊都医師会及び五條市医師会を中心に「連携登録医」を締結のうえ、外来に連携登録医ポスターを配置、院内・院外ホームページでの連携登録医を検索できるようにして「かかりつけ医」を推奨しています。2019年度は連携登録医の強化として伊都歯科医師会の40歯科医院と締結し、橋本市民病院連携登録医数は132診療所となりました。

地域医療連携室の窓口で専属の看護師を配置することで地域の医療機関からご紹介いただいた患者様の速やかな受入れをはじめ、受診予約や結果連絡等に関する業務を行うとともに、土曜日や平日の19時までの受診予約も定着し、受診予約件数は新型コロナウイルスの影響もありましたが昨年度並みとなりました。

(1) 紹介率・逆紹介率

	紹介率	逆紹介率
2016年度	22.6%	35.2%
2017年度	24.8%	43.6%
2018年度	27.8%	46.0%
2019年度	29.1%	47.1%

(2) 渉外活動の状況

近隣施設、医療機関との医療連携の強化を図る目的で定期的に訪問している。

	伊都郡・橋本市	五條市	その他	合計
2018年度	292件	97件	3件	392件
2019年度	338件	42件	18件	398件

(3) 「橋本市民病院連携登録医制度」の運用状況

連携登録医契約状況 132診療所（2020年3月31日現在）

- 〈医科〉伊都医師会登録医数 70診療所
 五條市医師会登録医数 22診療所
 〈歯科〉伊都歯科医師会登録数 40診療所
 （詳細は巻末連携登録医を参照ください。）

(4) 「第7回橋本市民病院地域医療ネットワーク会議」の開催

開催日：2019年7月18日（土）15時～

場 所：橋本市保健福祉センター

参加者：68施設 123名

開催内容：

- 【病院紹介】 ①外傷初期診療 救急科 岡本 潤
 ②全身疾患と口腔外科 歯科口腔外科 田中 章夫
 ③大腸腫瘍の内視鏡診断 消化器内科 吉田 悟
 ④地域医療部報告事項 地域医療部 兼平 龍一

【ワークショップ】

「退院に向けての取り組みの中で、携わる人たちが問題に思っていること、良かったこと」

(5) 地域医療機関向け広報誌の発行

- ①「橋本市民病院診療科紹介パンフレット」 7月発行
 ②「橋本市民病院診療科だより」 歯科口腔外科
 消化器内科
 代謝内科
 リハビリテーション科

(6) 診療の予約業務等

地域医療機関からの診療依頼に対して適切な診療科への予約取得を行うとともに、診療経過・検査結果・入院経過などの報告支援や、当日緊急受診の要請・入院要請に対して、迅速かつ適切な受診調整、受入れ確認を行った。また、画像診断用の診療情報提供書及び栄養食事指導予約申込み用の診療情報提供書の様式等を一部変更し運用を見直すことで、医療機関相互の診療情報提供依頼について利用し易いよう、改善に努めました。

(7) 研修会等開催

地域の医療機関の先生方と連携を深め、相互の機能連携を通じて地域医療に貢献することを目的に各種研修会を開催しました。

また、公益社団法人 全国自治体病院協議会が、平成30年度老人保健健康増進等事業『退院支援の事例分析による在宅医療・介護への円滑な移行のための介護職視点を取り入れた在宅医療・介護連携促進に関する調査研究事業』において抽出された、介護職視点からの円滑な退院支援に関する知見を病院医療職を中心に共有することを目的として近畿厚生局管内10病院で開催するにあたり、和歌山県で唯一、当院が選ばれ、開催の支援を行いました。

【入退院支援室】

入退院支援室では、病床の効率的な運用を図るとともに、患者様の入院から退院まで円滑に安心して医療

を受けられるよう、一人ひとりの状況を身体的、社会的、精神的背景からしっかりと把握し、入院中の一貫した支援を行っています。

また、医療ソーシャルワーク業務を中心に各種相談援助業務に取り組みました。がん相談支援センターでは、がんに関する情報の発信や外来通院時からの療養支援、がん情報コーナーを設置するとともに、橋本市民病院がん患者サロン「サロン・ド・サクラ」の毎月開催（毎月第3水曜日）を行いました。

がん相談や緩和ケアチームの活動にも携わり、がん医療に係る相談援助業務等にも積極的に取り組みました。

【今後の課題】

退院前カンファレンスの実施を確実にし、在宅医、訪問看護、ケアマネージャー、介護施設等と連携を密にして退院支援・調整の質の向上を図る。

また、紹介率・逆紹介率の向上を目的として、地域医療機関とのより良い医療連携の構築を目指し、返書管理の運用見直しを図る。

医療・介護・福祉行政が一体となり、地域住民のケアをスムーズに行える体制が今後も含めた課題である。

業績 発表

No	発表月	学会・研究会名	演題名	発表者	共同発表者	開催都市
1	2019年9月	日本糖尿病教育・看護学会	診療所に勤務する看護師の糖尿病患者のセルフマネジメントを支えるかかわりの実態	金本 純子		千葉市
2	2019年10月	和歌山糖尿病地域連携研究会	糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて	金本 純子		和歌山市
3	2019年11月	日本糖尿病学会近畿地方会	橋本市における糖尿病性腎症予防プログラムの現状と課題	金本 純子	藤本佐和子、山本 勝廣（橋本市民病院）、瓜生 珠恵（橋本市役所いきいき健康課）、古田 浩人（和歌山医大）	大阪市
4	2020年2月	インスリン懇話会	橋本市における糖尿病性腎症予防プログラムの現状と課題	金本 純子	藤本佐和子、山本 勝廣（橋本市民病院）、瓜生 珠恵（橋本市役所いきいき健康課）、古田 浩人（和歌山医大）	和歌山市

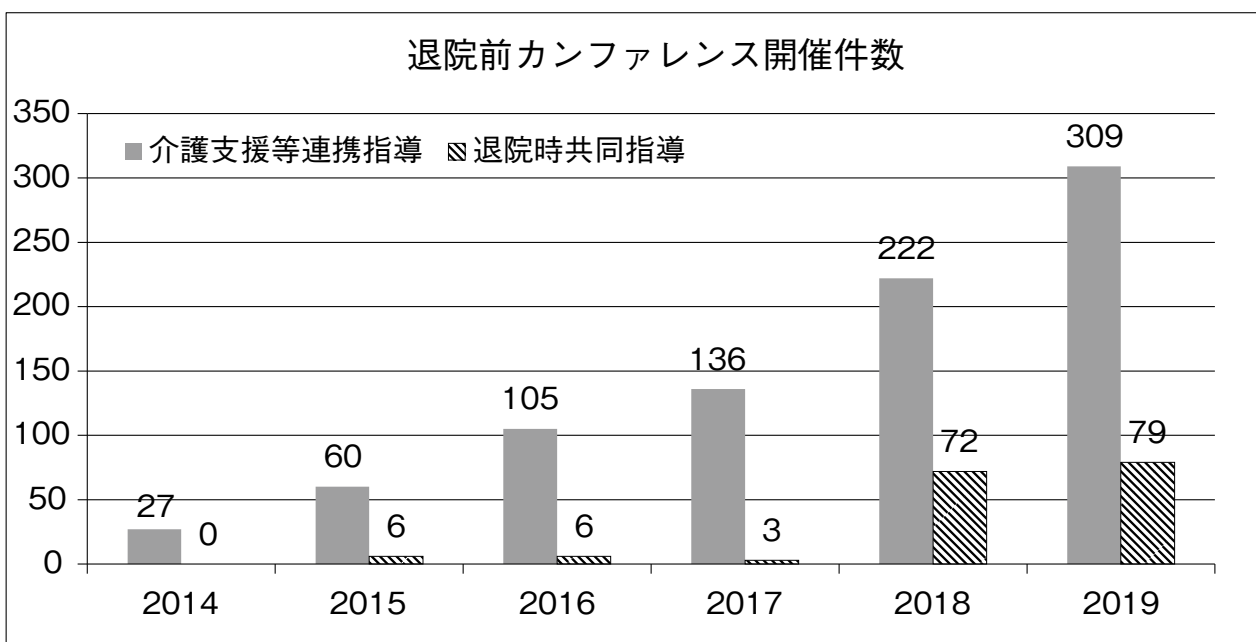
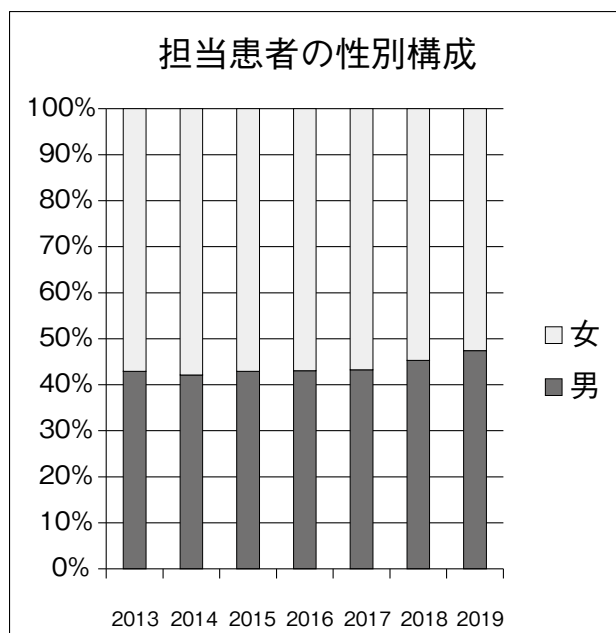
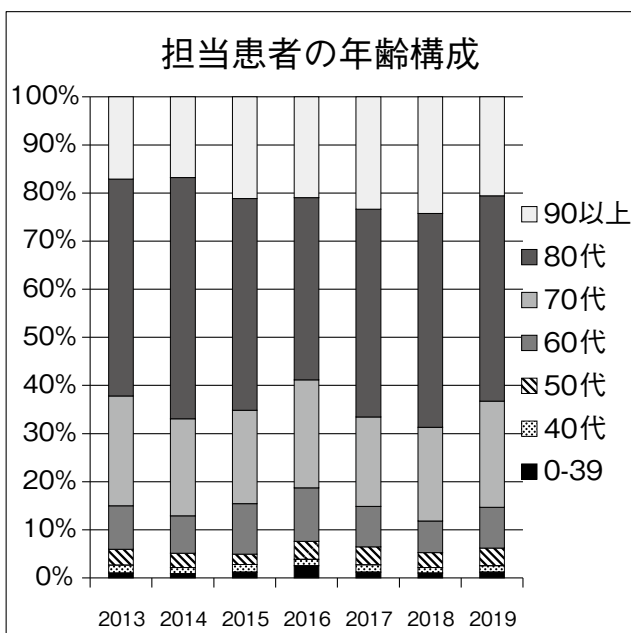
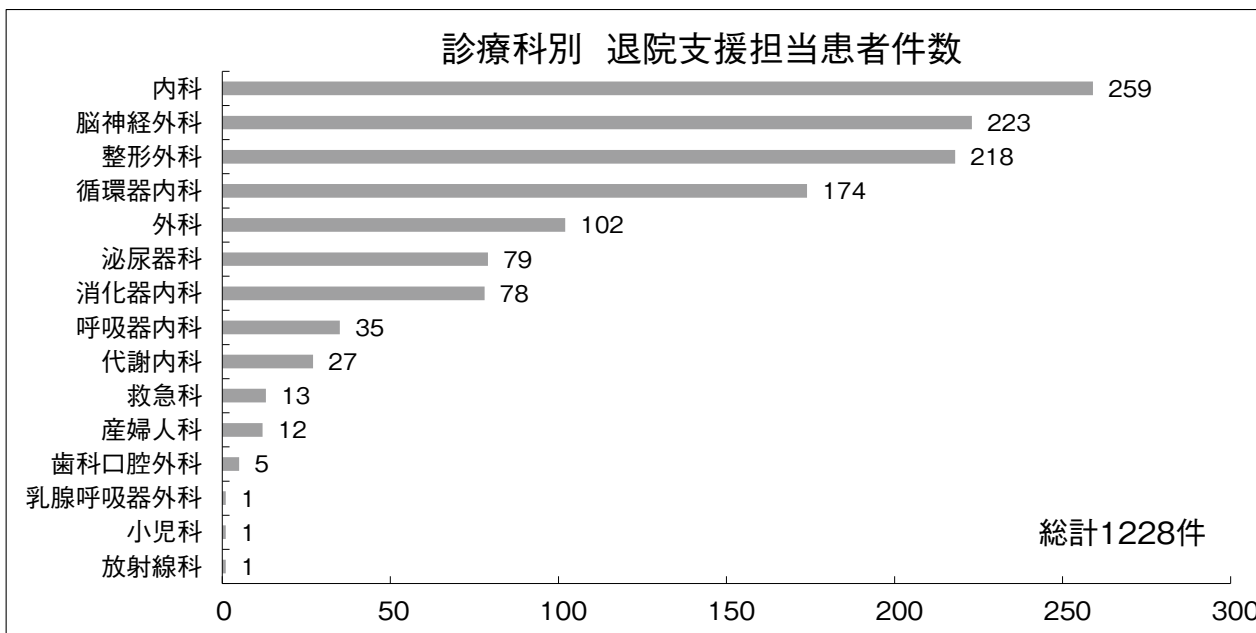
講演（院内も含む）

No	発表月	会名	演題名	講演者	開催都市
1	2019年7月	御坊保健所保健師研修会	糖尿病の基本～糖尿病性腎症重症化予防まで	金本 純子	御坊市
2	2019年10月	和歌山県看護協会 糖尿病合併症予防研修	フットケアの基本と演習	金本 純子	和歌山市
3	2019年11月	シンメディカル糖尿病セミナー	専門医がいなくても私たちに出来ること	金本 純子	大阪市
4	2019年11月	和歌山県腎不全研究会	糖尿病看護からのフットケア	金本 純子	田辺市
5	2019年12月	和歌山県糖尿病性腎症重症化予防プログラム研修会	糖尿病の基本～糖尿病性腎症重症化予防まで	金本 純子	和歌山市
6	2020年1月	海南市役所 居宅介護支援員連絡協議会研修	糖尿病と日常生活について	金本 純子	海南市

論文・雑誌掲載

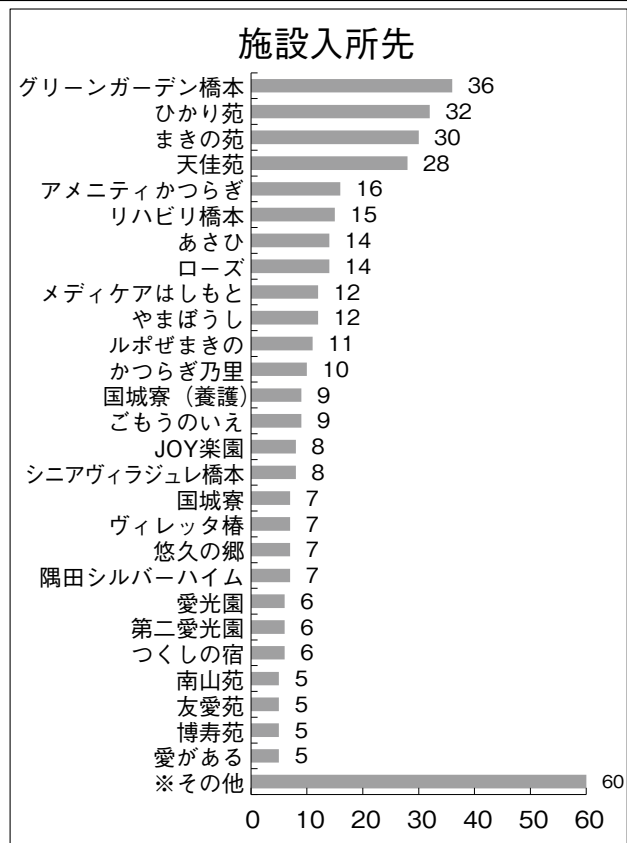
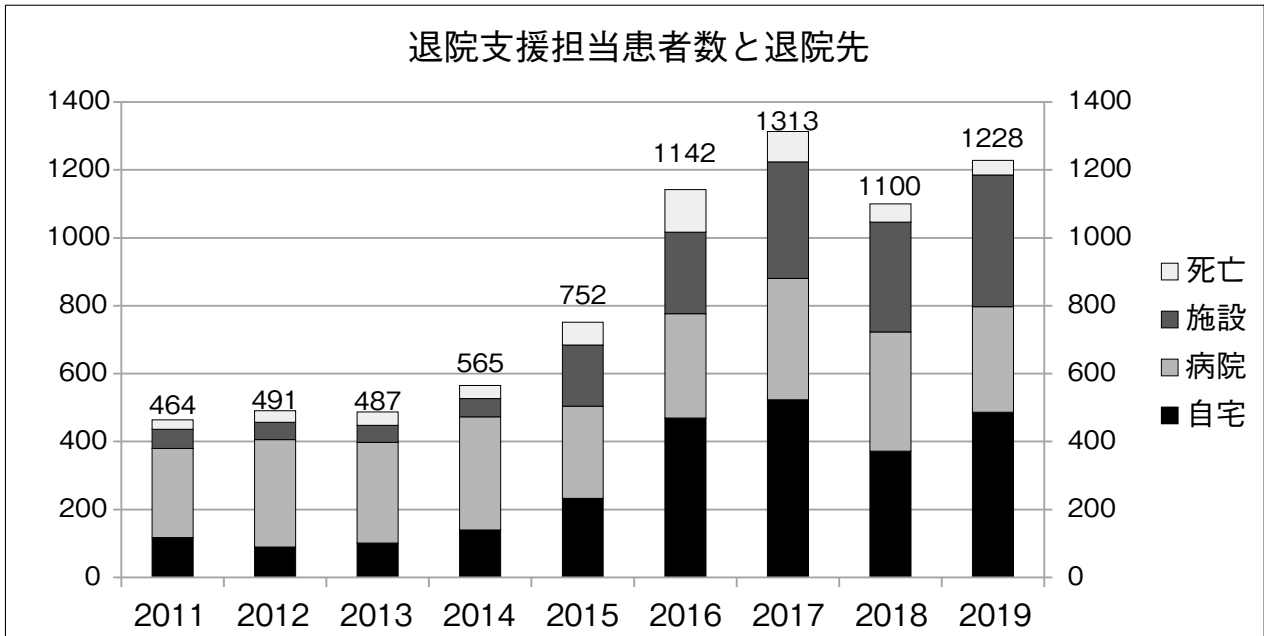
No	採択月	著書名	題名	筆頭著者	共著者	年号 Vol (ページ)
1	2019年9月	糖尿病ケア12月号	私の施設の質問力・ヒアリング力・支援力アップ術	肥後 直子	金本 純子	第16巻12号 P44～46
2	2019年11月	糖尿病ケア春期増刊号 糖尿病看護きほんノート	①多職種や患者家族とのかかわりのきほん ②糖尿病患者の介護・地域包括ケアのきほん	肥後 直子	金本 純子	2020年春期増刊号 ① P226～231 ② P232～239

◀ 退院支援統計 ▶



Ⅵ 診療技術部紹介

《 退院支援統計 》



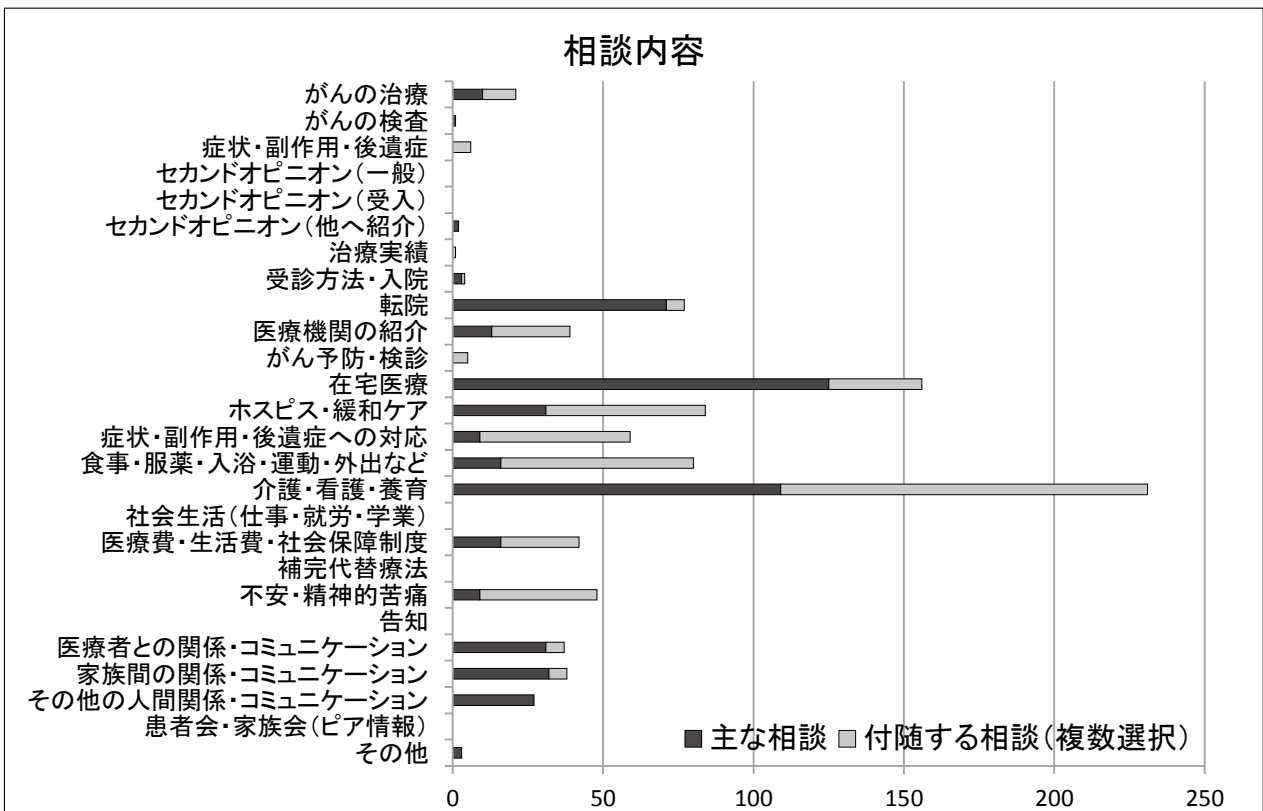
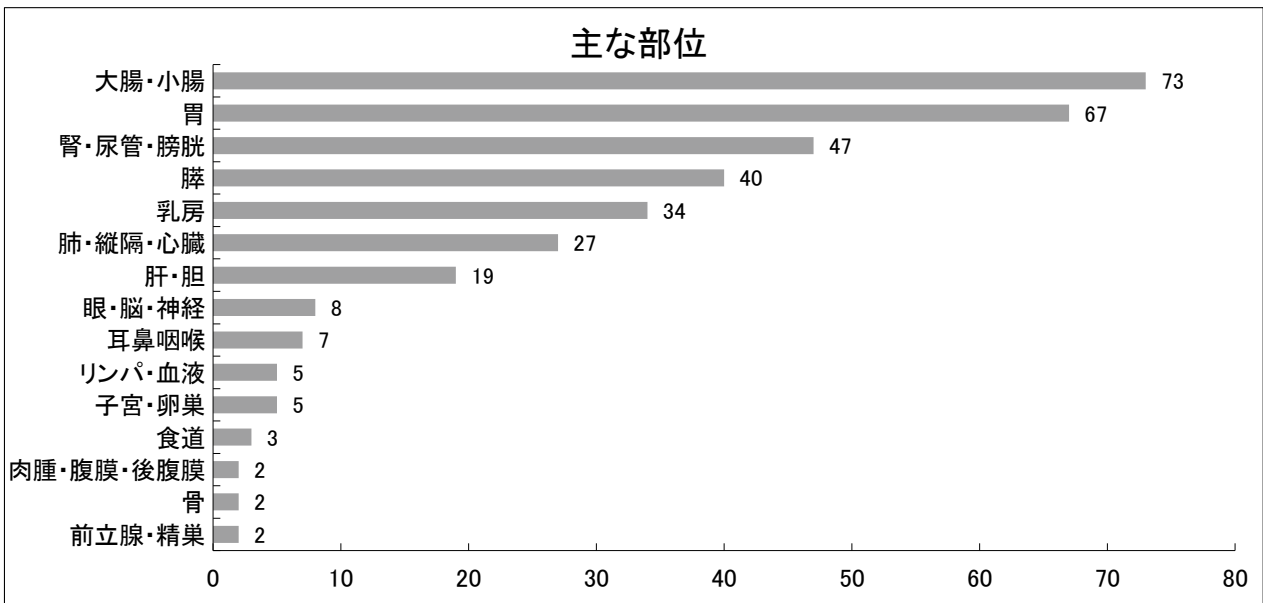
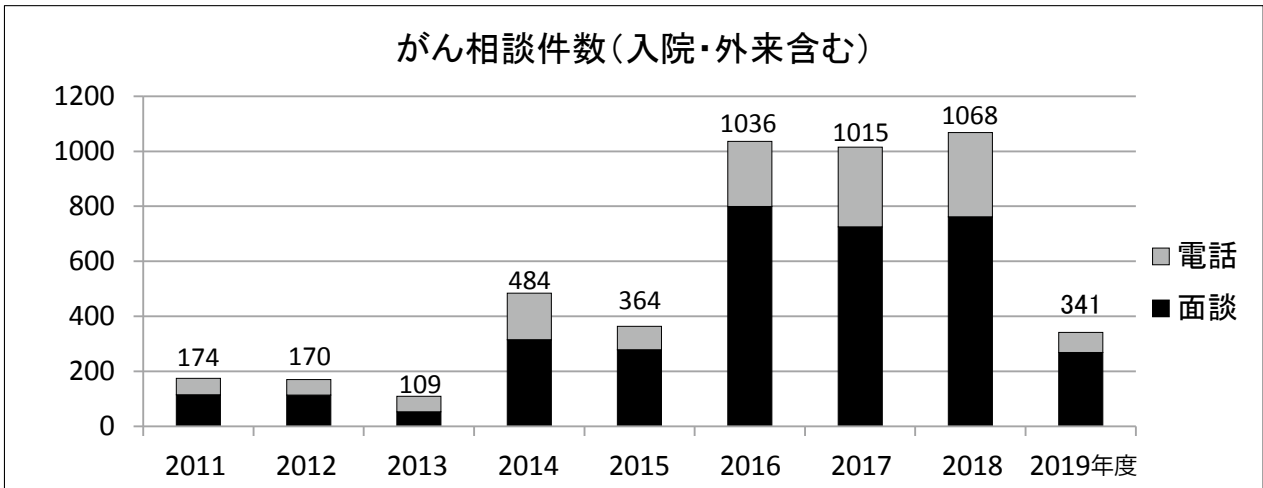
※ その他の転院先に含まれる医療機関

奈良医大	老寿サナトリウム	岸和田平成病院
こころの医療センター	阪和第一泉北病院	大阪はびきの医療センター
角谷整形外科病院	大阪国際がんセンター	阪南病院 (精神)
野上厚生病院	堺市立総合医療センター	阪堺病院
大阪南医療センター	金岡中央病院	関西リハビリ病院 など

※ その他の施設入所先に含まれる施設

さくら苑	ライフガーデン御幸	伊都シルバーハイム
祥水苑	ケアハウス幸楽の里	さくらの丘
友幸苑	ケアハウスまきの苑	みとうの里
友喜苑	はるすの郷 神野々	鴻池荘
ハートランド五條	花咲寮 (養護老人ホーム)	悠久の杜 など

《 がん相談統計 》



VI 診療技術部紹介

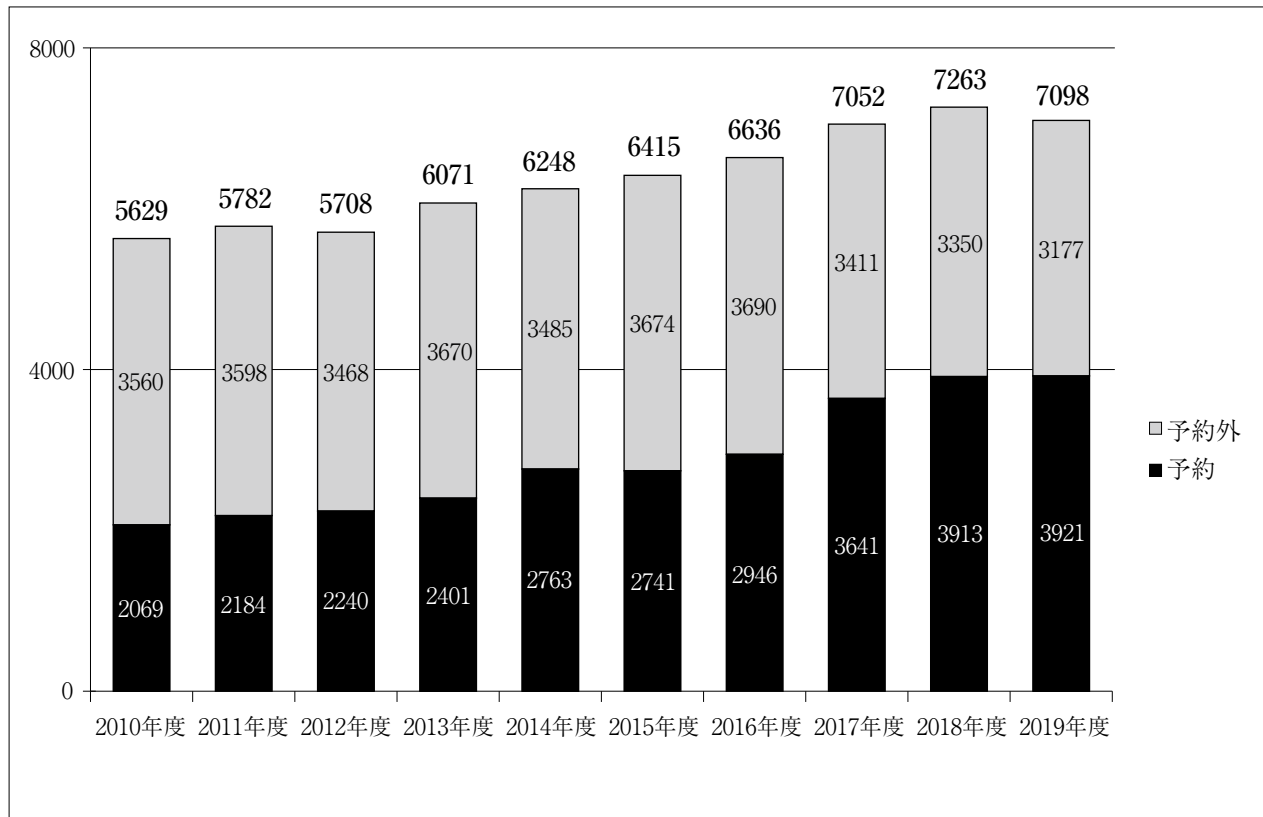
2019年度 地域医療連携室 事務業務件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
電話対応	2,133	1,878	2,051	2,289	2,097	2,053	2,081	1,964	1,975	2,272	1,785	1,897	2,039.6
FAX 対応	2,360	2,394	2,525	2,614	2,265	2,092	2,565	2,316	2,338	2,726	2,248	2,332	2,397.9
受診報告書	63	53	69	98	75	69	63	52	61	66	42	73	65.3
入院報告書	125	122	114	150	162	140	122	134	141	119	98	117	128.7
退院報告書	133	122	112	159	133	154	126	135	137	115	101	127	129.5
死亡報告書	4	7	7	8	7	1	10	5	3	4	8	5	5.8
紹介予約取得	247	265	280	330	266	276	294	281	245	288	236	254	271.8
逆紹介予約取得	64	58	62	79	161	45	59	80	51	74	52	51	69.7
画像診断結果送付	88	76	56	76	53	69	75	71	74	56	50	59	66.9
経過報告書送付	455	486	479	528	437	442	502	486	481	485	401	421	466.9

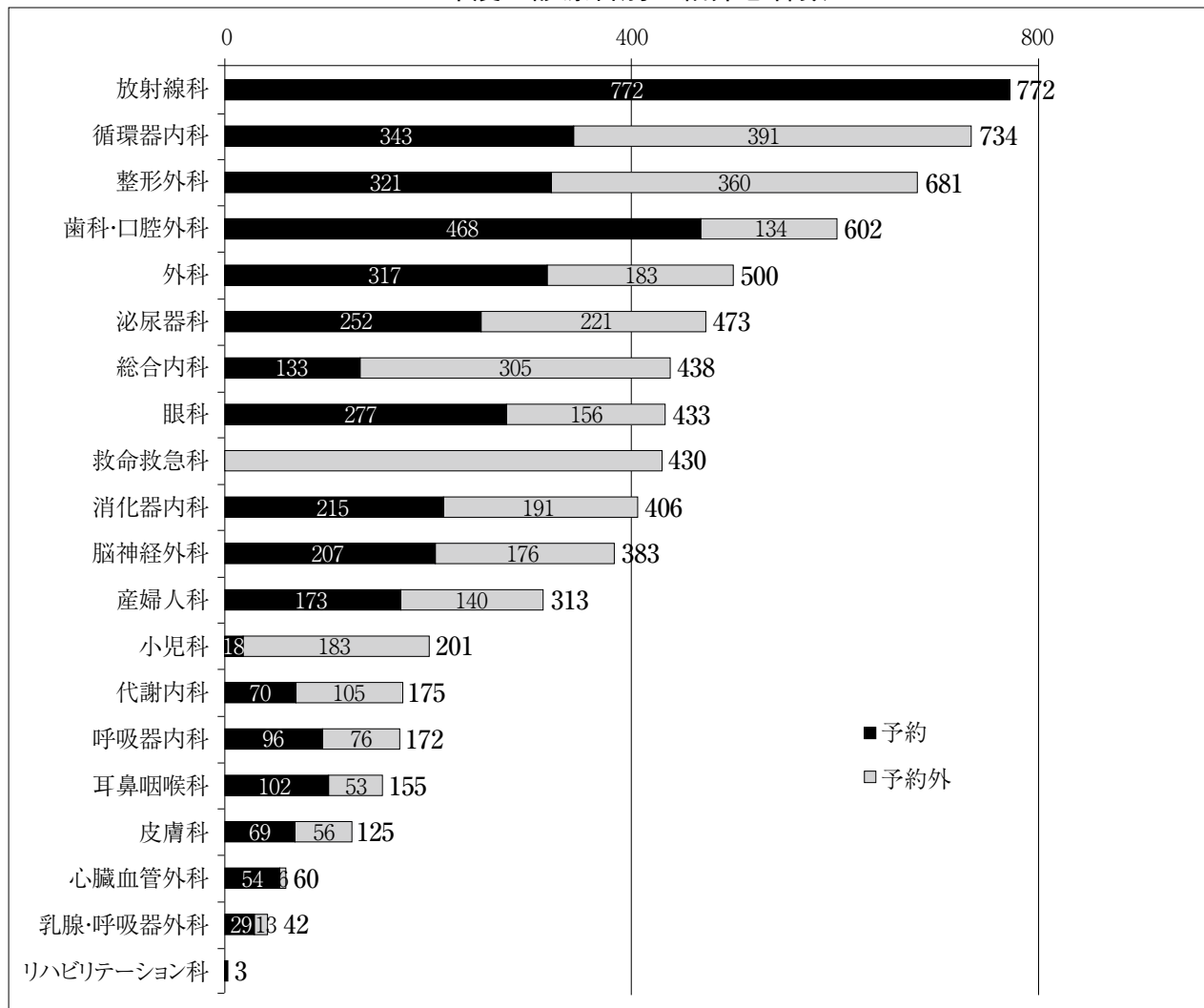
2019年度 地域医療連携室イベントの開催実績

No	年月日	イベント名	内容	診療科	講師医師	参加人数
1	2019年5月9日	橋本市症例検討会	溶連菌弱陽性で抗生剤投与されたが改善乏しく、咽頭痛、発熱を主訴に紹介された15歳女性	総合内科	橋本 忠幸	18人
2	2019年6月13日	橋本市症例検討会	3ヶ月続く全身倦怠感、発熱を主訴に来院	総合内科	長谷美菜子	17人
3	2019年6月19日	地域医療連携イベント	代謝内科の紹介・意見交換会	代謝内科	宮田佳穂里、山岡 博之	48人
4	2019年7月10日	橋本市症例検討会	立位困難で救急搬送された70歳男性	総合内科	根本 樹希	17人
5	2019年7月13日	第7回 橋本市民病院 地域医療 ネットワーク会議	【病院紹介】 ・外傷初期診療 ・全身疾患と口腔外科 ・大腸腫瘍の内視鏡診断 ・地域医療部報告事項 【ワークショップ】 ・退院に向けての取り組みの中で、携わる人たちが問題におもっていること、良かったこと	橋本市民病院	岡本 潤、田中 章夫、 吉田 悟、兼平 龍一	123人
6	2019年7月17日	診療懇話会	・高齢者の糖尿病診療について・甲状腺ホルモンの補充療法について	代謝内科	宮田佳穂里、山岡 博之	28人
7	2019年8月8日	橋本市症例検討会	胸痛を主訴に来院した71歳男性	総合内科	広川恵寿輝	14人
8	2019年9月12日	橋本市症例検討会	筋力低下と番外編	総合内科	平山 陽士	19人
9	2019年10月10日	橋本市症例検討会	手足がむくんできた36歳男性	総合内科	青木 達也	21人
10	2019年11月14日	橋本市症例検討会	めまいを主訴に来院された80歳男性	総合内科	平山 陽士	16人
11	2019年11月21日	地域医療連携イベント	循環器内科の紹介・意見交換会	循環器内科	山本 勝廣、星屋 博信、 小林 克暢、寒川 浩道、 榎野 富造、匹本 樹寿	36人
12	2019年12月11日	地域包括ケア勉強会	地域で取り組むポリファーマシー	総合内科	橋本 忠幸	44人
13	2019年12月12日	橋本市症例検討会	若年女性の浮腫	総合内科	広川恵寿輝	14人
14	2020年1月9日	橋本市症例検討会	発熱、頭痛を主訴に来院された40歳男性	総合内科	堀谷 亮介	11人
15	2020年1月15日	診療懇話会	CREアウトブレイク対応から一年 現状と今後について	感染管理室	栞田美加子	19人
16	2020年1月18日	全国自治体病院協議会 ワークショップ	円滑な退院支援のためのワークショップ	全国自治体 病院協議会	本院職員、地域看護・ 介護・行政職員	52人

紹介患者数 年度推移

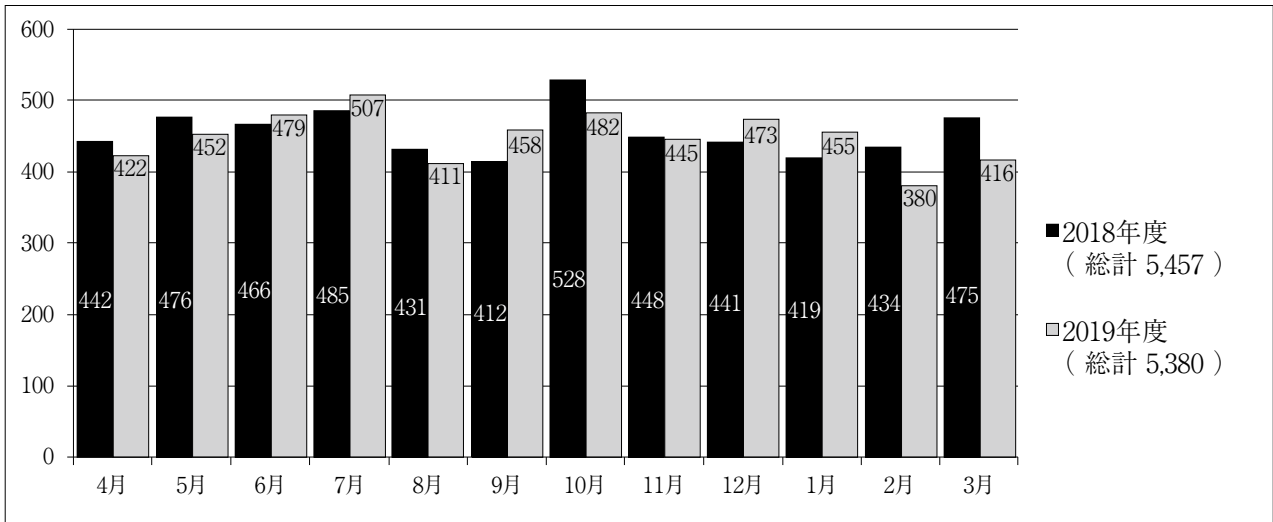


2019年度 診療科別 紹介患者数

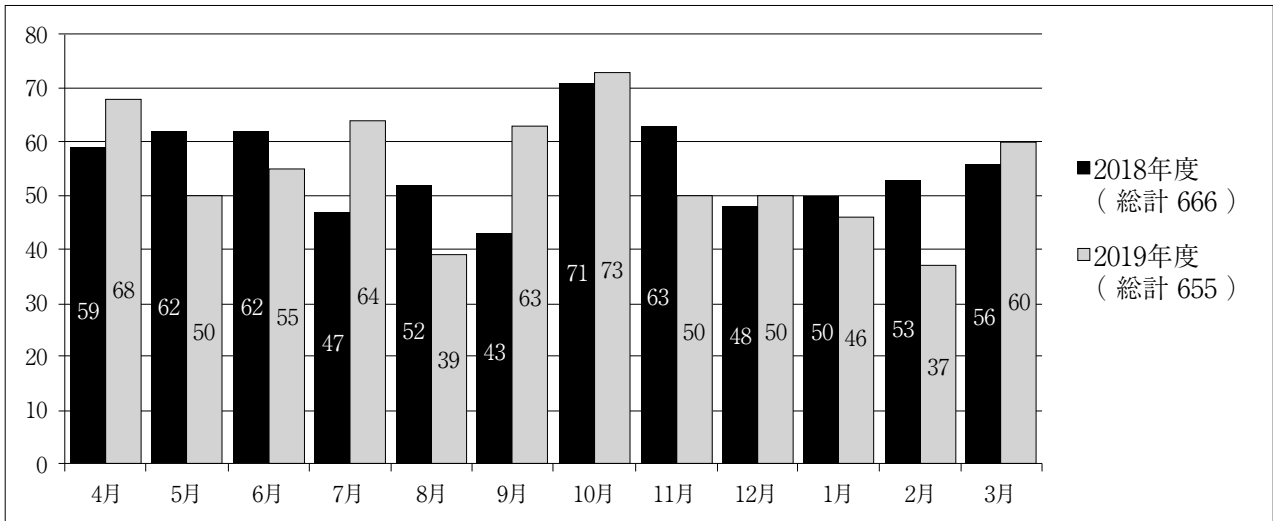


地域別 紹介患者数

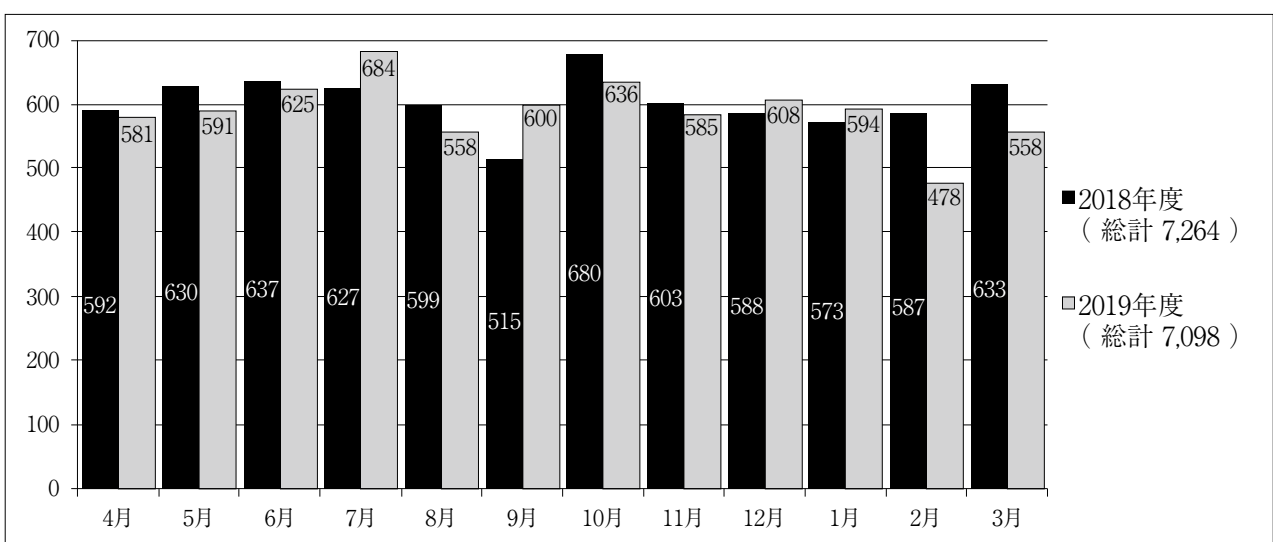
➤ 伊都橋本地域医療機関からの紹介患者数



➤ 五條市医療機関からの紹介患者数

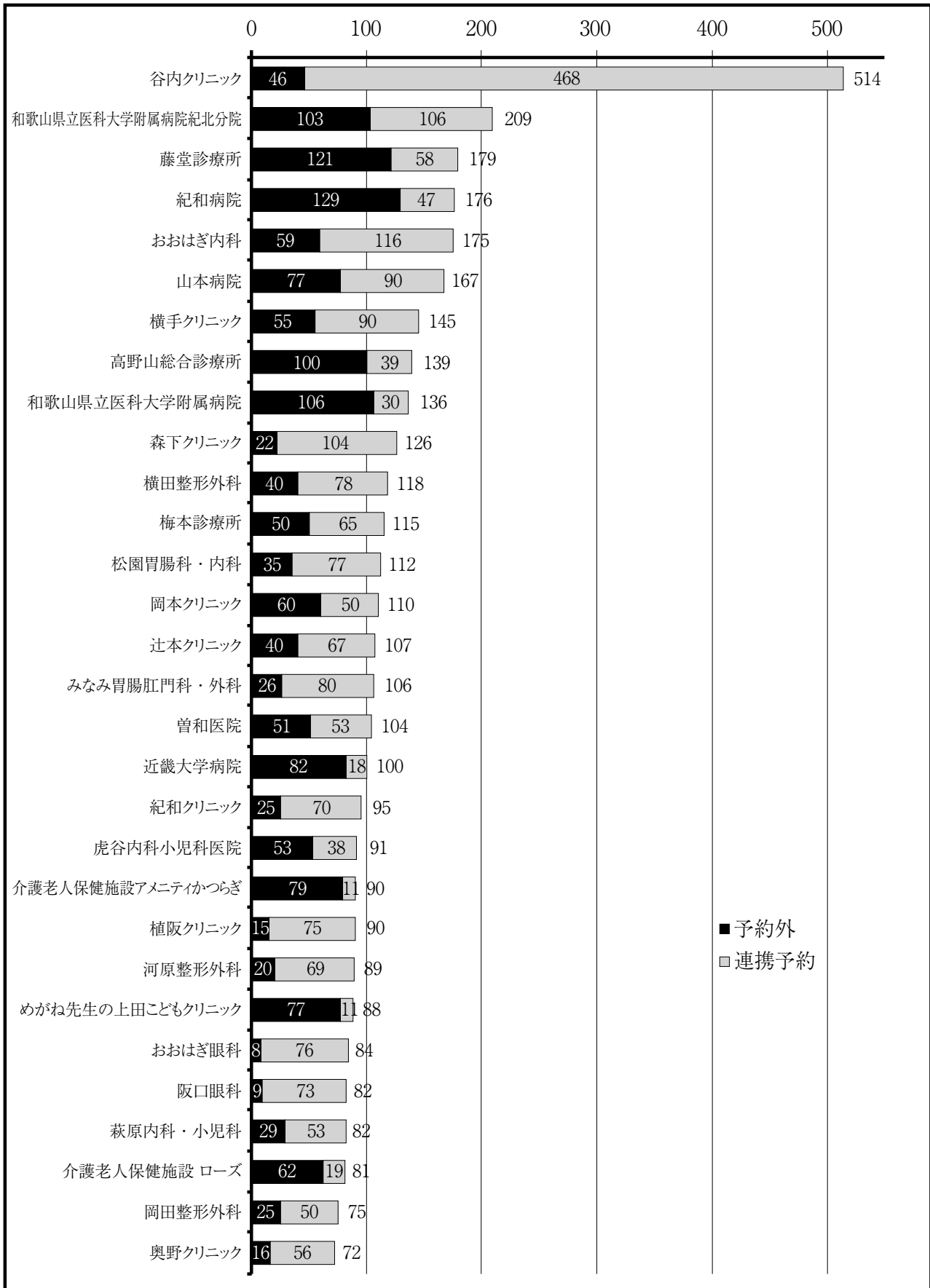


➤ 全地域医療機関からの紹介患者数



《 地域医療連携統計 》

医療機関等 紹介患者数（2019年度TOP30）



【概要】

医療安全管理と感染管理活動は、院内活動だけでなく、地域の医師会・歯科医師会及び薬剤師会や近隣病院、保健・福祉施設、行政機関との情報交換や連携の強化に努めています。

医療安全、感染管理のそれぞれの立場から、院内外の多職種との協働・連携を推進し、役割を遂行しています。

【スタッフ紹介】

- | | | |
|------------------|--------|-----------------|
| ・ 医療安全管理部部长 | 金 桂洙 | (眼科部长) |
| ・ 医療安全管理副部长 | 橋本 忠幸 | (総合内科副医長) |
| ・ 医療機器安全管理責任者 | 小嶋 宏之 | (臨床工学科技師長) |
| ・ 医薬品安全管理責任者 | 河崎 尚史 | (薬剤部長) |
| ・ 医療安全管理者 (専従) | 近藤 史子 | (医療安全管理室長) |
| ・ 医療安全管理室主幹 | 山口 博志 | (医療安全管理室兼感染管理室) |
| ・ 感染管理認定看護師 (専従) | 栞田 美加子 | (感染管理認定看護師) |
| * 感染管理事務 | 里和 順子 | (～2019年9月) |
| * 感染管理事務 | 中谷 仁美 | (2019年10月～) |

感染管理

- ・感染防止対策加算1
年4回の共同カンファレンス開催
- ・感染防止地域連携加算
年1回の相互ラウンド評価実施
- ・週1回のICTラウンド会議と院内ラウンド
- ・ICTからのお知らせ発行
- ・感染対策マニュアル改訂
- ・アウトブレイク対応
- ・サーベイランス実施
院内：SSI・UTI・手指消毒実施回数
厚生労働省：SSI
(胃手術)・全入院患者部門・検査部門
- ・コンサルテーション(院内・院外)
- ・感染対策研修会(院内・院外)
- ・感染管理に関する地域連携
- ・学会発表

【主な活動実績】

月	活動実績内容	
4月	新規採用者オリエンテーション 環境培養実施・結果報告 ICTニュース発行	栞田 ICT ICT
5月	紀和病院との共同カンファレンス開催	ICT
6月	当院の相互ラウンド評価受け入れ 病院感染症連絡会出席 外来ワクチン接種(成人)フロー作成 伊都橋本感染管理ベストプラクティスアドバイザー 感染管理ベストプラクティスと歌山ワーキングアドバイザー	ICT 栞田・里和 ICT 栞田 栞田
7月	紀和病院との共同カンファレンス開催 公立那賀病院ICTによる相互ラウンド評価実施 中材業務及び感染対策研究会参加	ICT ICT 栞田
8月	公立那賀病院相互ラウンド評価実施 院内抗菌薬適正使用ガイドライン作成 病院感染症連絡会出席	ICT ICT 栞田・里和
9月	ICTニュース発行 地域での感染対策研修会開催(介護予防教室) 伊都橋本感染管理ベストプラクティスアドバイザー	ICT 栞田 栞田
10月	紀和病院との共同カンファレンス開催 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 中材業務及び感染対策研究会講演 感染管理ベストプラクティスと歌山ワーキングアドバイザー	ICT ICT 栞田 栞田
11月	職員インフルエンザワクチン接種 院外施設(特養)感染対策研修会(2回)講師 病院感染症連絡会出席 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 第1回院内感染対策研修会開催	ICT 栞田 栞田 ICT ICT
12月	地域での感染対策研修会開催(介護予防教室) 病院感染症連絡会橋本市市民病院ラウンド評価受け入れ 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催	栞田 ICT ICT
1月	病院感染症連絡会紀和病院ラウンド評価 病院感染症連絡会紀北分院ラウンド評価 地域での感染対策研修会開催(介護予防教室) 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 第2回院内感染対策研修会開催 中材業務及び感染対策研究会座長 伊都橋本感染管理ベストプラクティスアドバイザー	栞田 栞田 栞田 ICT ICT 栞田 栞田
2月	管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催 感染管理ベストプラクティスと歌山ワーキングアドバイザー 日本環境感染学会参加	ICT 栞田 栞田
3月	病院感染症連絡会 管轄保健所との結核DOTSカンファレンス開催	栞田 ICT

【今後の課題】

院内感染対策推進を図りつつ、行政との連携を強化して地域での感染対策に貢献する。

医療安全

- ・医療安全に関する地域連携
- ・院内医療安全研修会の開催
- ・患者相談窓口等との連携
- ・院内各種委員会と連携し医療安全対策を検討、実施
- ・院内外における医療安全対策情報のお知らせを配布
- ・インシデント、アクシデント報告の事例検討、対策立案・評価などの再発防止活動
0レベル報告書提出推進
- ・院内医療安全に関するマニュアルの整備
- ・院内ラウンドと週1回の医療安全カンファレンスを開催

【主な活動実績】

月	活動実績内容	
4月	新規採用者（医師・看護師）オリエンテーション実施 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など）	医療安全管理者 医療安全副部長
5月	新看護師長・看護副師長研修 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など）	医療安全管理者 医療安全副部長
6月	補助者研修2回（看護補助者） 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など） 伊都・橋本医療安全地域ネットワーク会議参加	医療安全管理者 医療安全副部長 医療安全管理者
7月	ラダー研修（ラダーII受講者） 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など） 医療安全管理対策地域連携加算相互ラウンド（那賀病院）	医療安全管理者 医療安全副部長
8月	内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など）	医療安全副部長
9月	内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など） 伊都・橋本医療安全地域ネットワーク会議参加	医療安全副部長 医療安全管理者
10月	内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など） 医療安全管理対策地域連携加算相互ラウンド（紀和病院）	医療安全副部長
11月	第1回院内医療安全研修会 自治病医療安全管理対策研修会参加 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師） 第1回院内医療安全録画研修会2回 ベッド使用方法説明会7回 医療安全管理対策地域連携加算相互ラウンド（橋本市民病院）	外部講師 医療安全副部長 医療安全管理室 メーカー
12月	第1回院内医療安全録画研修会4回 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など） DC取り扱い説明会6回（看護師） 神経麻酔相互接続防止コネクタ導入説明会 回（看護師） 伊都・橋本医療安全ネットワーク会議参加	医療安全管理室 医療安全副部長 医療機器安全管理責任者 メーカー 医療安全管理者
1月	神経麻酔相互接続防止コネクタ導入説明会 回（看護師） 内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など） 医療機器・医薬品安全研修会 第2回院内医療安全研修会	メーカー 医療安全副部長 医療機器安全管理責任者 医薬品安全管理責任者 外部講師
2月	内科勉強会（シミュレーション研修）（医師・看護師など）	医療安全副部長

【今後の課題】

- ・他職種で共有でき、現場で活用できるシミュレーション研修や勉強会の開催
- ・アクシデント報告により事例検討を行い、根本原因の分析、対策立案・評価を継続的に行う
- ・職員が周知できるマニュアルの作成・改訂
- ・専門的知識を活かした他職種参加の院内ラウンド
- ・地域連携ネットワークの強化

VII 事務局紹介

Ⅶ 事務局紹介

総務課

医事課

診療情報課

【概要】

総務課は、庶務係、経理係、用度係の3係で構成しています。庶務係は、職員の人事、給与、労務、サービスや福利厚生などの庶務業務を主な業務とし、次に経理係は、病院事業に関する総合計画の策定及び推進、病院事業の経営健全化の推進、予算の調整と執行管理を主な業務とし、最後に用度係は、施設の整備や維持管理、薬品、診療材料物品などの購入・調達、医療機器の新規購入及び更新などの用度業務を主な業務としています。

【課題】

- ① 高額医療機器の更新や、新築後16年となることから建物及び設備等の更新・修繕が増加対応のための用度係の体制の見直し。
- ② 原価計算を活用し、企画経営担当を中心に、医学管理料を中心とした項目の算定状況の分析やチームによる収益改善のための継続的な取り組み。

【スタッフ紹介】

総務課長・・・・・・・・池之内 正行
 総務課長補佐兼経理係長・・・・山内 壯一
 総務課庶務係長・・・・・・・・香川 貴俊
 総務課用度係長・・・・・・・・鈴木 昇太

【活動実績】

① 健康セミナー

	開催日	テーマ	講師	開催場所	参加人数
1	9/19	薬でお腹いっぱいにならないために知って欲しいこと	総合内科 副医長 橋本 忠幸	隅田地区公民館	68人
2	9/21	認知症の予防と対応策について	脳神経外科 部長 大饗 義仁	紀見地区公民館	74人
3	10/24	緩和ケアとは	緩和ケア認定看護師 南 真理	橋本市保健福祉センター	14人
4	10/25	感染対策に関すること 家庭での感染対策（インフルエンザ・ノロウイルス等）	感染管理認定看護師 栢田 美加子	JA 紀北かわかみデイサービスセンター えびす	45人
5	11/30	免疫力を高める食事について	栄養管理科 副技師長 藤本 佐和子	橋本市教育文化会館	13人
6	12/23	思春期の体とこころ	助産師 高水 佳代	紀北農芸高校	245人

【2020年度目標】

- ・ 人事給与制度を見直しと働き方改革を推進する。
- ・ 会計年度任用職員制度を適正に運用する。

【概要】

医事課の主な業務は保険請求であり、医師の指示の下、ライセンスを持った全ての職員が行う医療行為をお金に変換し、窓口でご負担いただく分と保険請求する分の計算を行う業務です。また、保険請求に必要な近畿厚生局への届け出業務、窓口未収金の管理業務、各種患者数・医業収益等の医療データの作成・管理等々を行っております。また、未収金の回収業務、患者さんからのご相談・お問い合わせの対応も行っております。

医事課には、医師事務作業補助者も在籍しております。現在、厚生労働省は医師の働き方改革を推進しており、2020年度診療報酬改定でも重点課題とされ、医師事務作業補助者は欠かせない存在となっております。医師事務作業補助者は、医師が行う医療行為以外の事務的な業務の補助、すなわち、診断書の作成・データの入力代行等の業務を行い医師の負担軽減に努めております。

院内での諸所の課題改善に努めながら、医事課では最大限に収益を上げることのできるよう努力してまいりました。2020年度も診療報酬改定をふまえ、可能な限り経営改革に取り組んでまいります。

また橋本市民病院を利用する患者さんに、より快適にご利用いただけるよう、今後も職員の接遇改善にも力を注ぎ、いつも笑顔で業務に当たれるよう心掛けてまいります。

【目標】

1. 知識の向上に研磨し、診療報酬請求業務を正確に行う。
2. 常に患者さんの立場になって考え、奉仕する心で行動する。
3. 患者満足度の向上。
4. 救急搬送時等の受付や会計について、迅速な対応を行う。
5. 業務知識・スキルの向上。
6. 未収金を極力少なくすること。

【課題】

医業収益を上げるための課題

医業収益の分析を徹底し、新たな収益増加を検討すると共に、診療報酬を基本としたベットコントロールの提案、病院全体への保険請求制度の理解を広げる取り組みが必要と考えます。

【スタッフ紹介】

医事課長・・・・・・野口 朋弘

医事課主幹・・・・・・高木 誠

堀 芳彰

医事課長補佐・・・・浅田 浩嘉 他 3名

医師事務作業補助者・6名

【概要】

診療情報課は、診療情報管理係、システム係で業務を行っております。

診療情報管理係は、患者管理医療データの作成・報告・提出業務、また、紹介状・手術記録等紙ベースでの運用を行っているデータの取り込み、カルテデータの取り出しを行っております。

医療データと言えども多岐にわたっており、主には退院患者の病名コーディング、身体状況、入院経路、退院後の動向等々1人1人の細かい患者データをまとめた様式関係、診療内容をデータ化したE Fファイル等厚労省から提出を義務付けられたデータを初め、がん拠点病院として提出を義務付けられた癌登録を行い、データを作成・報告し、キャンサーボード等がん診療に関する様々な会議・勉強会を開催し、基準が高度化したがん拠点病院の認定が維持できるよう努めております。

また、作成データから見えてくるD P Cコーディング・請求漏れ等も医事課と連携しながら、検討・助言を行い収益上昇の手助けも行っております。

システム係は、電子カルテの管理を主な業務とし、病院内の通信ネットワーク、院内電話の管理までシステム全般に保守・管理を行っております。

天災（雷）等でのシステム停止など課題が多い中、令和元年度は電子カルテ導入後7年が経過しハードの保守が終了します。令和2年度からは第3保守の企業と契約の上、令和3年度の新電子カルテシステムの稼働に向けて準備を行っております。

診療情報課は、システム内の個人情報保護の核で有り、に個人情報漏洩事故が起こらないよう努めております。

【実績】

・提出データ数	様式1等	5,910	件/年
	E Fファイル	100,000	件/年
	がん登録	500	件/年

【目標】

1. がん拠点病院の維持
2. より正確な患者データの作成し、期日までに提出すること【D P C係数の維持】
3. 個人情報の漏洩が起こらないようにすること
4. 天災（雷）・老朽化等でのシステム停止などに迅速に対応すること
5. 2021年度の新電子カルテシステムの稼働に向けて準備

【課題】

電子カルテの老朽化の中、買い換えまでの間トラブル無しに運用していけるか。

【スタッフ紹介】

診療情報課課長	上垣 芳樹	
診療情報課課長補佐	名村 隆	(診療情報管理士・がん登録実務中級者、医療情報技師)
診療情報課係長	井上 正輔	(診療情報管理士・がん登録実務初級者)
診療情報課副主査	阪本 実優	(診療情報管理士・がん登録実務中級者) 他1名
システム係長	飯田 淳	

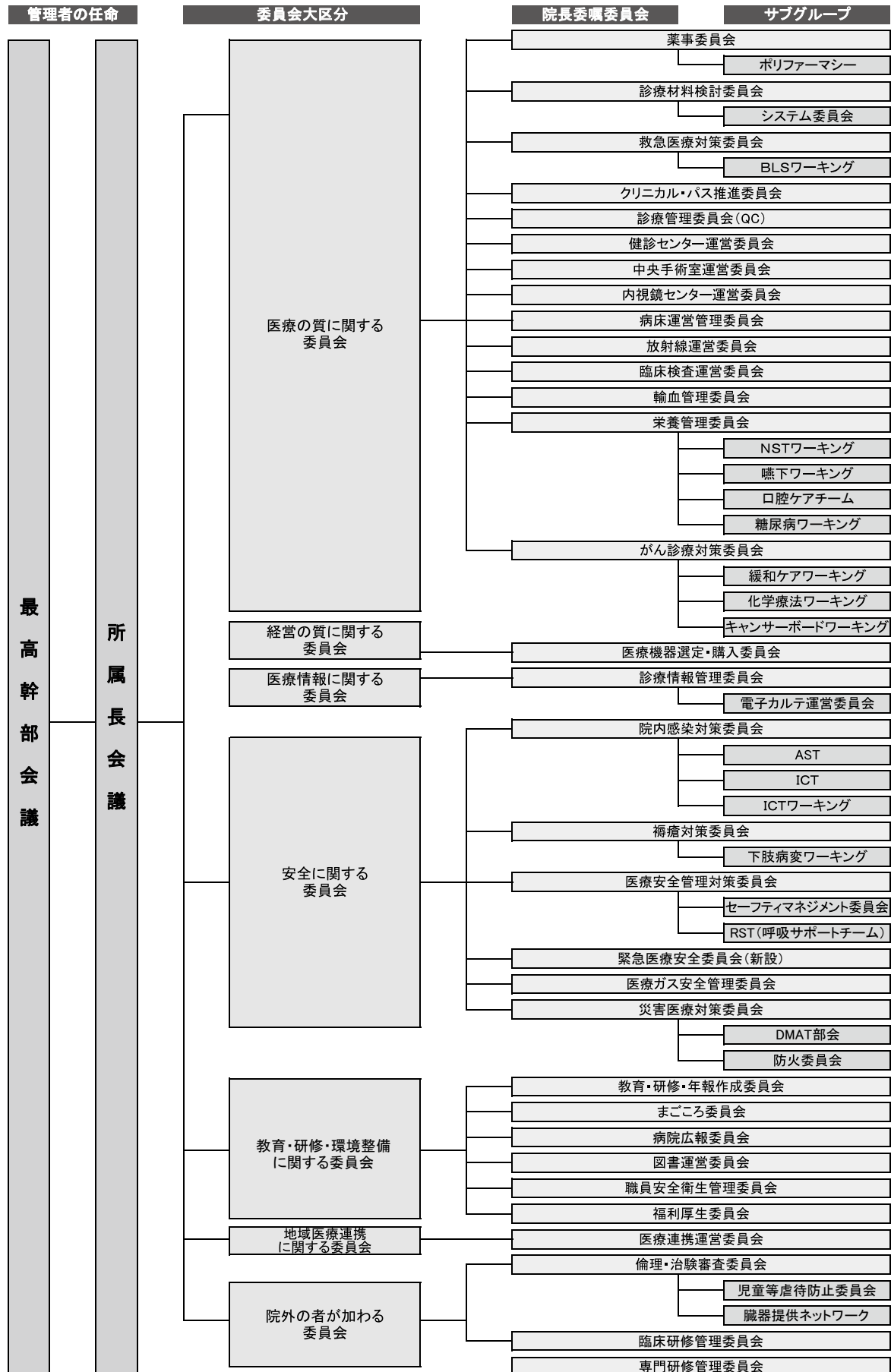
VIII 委員會介紹

Ⅷ 委員会紹介

薬事委員会
診療材料検討委員会
診療材料システム委員会
救急医療対策委員会
クリニカル・パス推進委員会
診療管理（QC）委員会
健診センター運営委員会
中央手術室運営委員会
内視鏡センター運営委員会
病床運営管理委員会
放射線運営委員会
臨床検査運営委員会
輸血管理委員会
栄養管理委員会
NST ワーキング
嚥下ワーキング
糖尿病ワーキング
がん診療対策委員会
緩和ケアワーキング
化学療法ワーキング
がんセンターボードワーキング
医療機器選定・購入委員会
診療情報管理委員会
電子カルテ運営委員会
院内感染対策委員会
AST
ICT
ICT ワーキング
褥瘡対策委員会
下肢病変ワーキング
医療安全管理対策委員会
医療ガス安全管理委員会
災害医療対策委員会
DMAT 部会
防火委員会
教育・研修・年報作成委員会
まごころ委員会
病院広報委員会
図書運営委員会
職員安全衛生管理委員会
福利厚生委員会
医療連携運営委員会
倫理・治験審査委員会
臓器提供ワーキング
臨床研修管理委員会
専門研修管理委員会

委員会組織図

院内各種委員会一覧



【目的】

医薬品の採用、医薬品の不良在庫の防止、その他薬剤業務の合理化に資する事項を検討し、病院経営の効率化を図っています。

【開催状況】

原則、3ヶ月に1回開催しています。

2019年度は5月、9月、11月の計3回開催しました。

【取り組み】

現在、正規採用品目数が1600品目まで増加しており、病院規模に対して適正な品目数とされる1200品目を目標としました。

薬効が重複している薬剤を中心に2019年度22品目を採用中止としました。

新規採用薬剤は院内採用6品目、院外採用11品目、院内外採用7品目です。

処方マスタの機能により、院内の正規採用薬と臨時採用薬を明確に分けることで、臨時採用薬の不良在庫削減に努めています。

【今後の課題】

正規採用品目数1149品目と目標を達成することができましたが、引き続き採用品目数の適正化を目指します。そのために、院内の薬剤使用量を把握し、使用量、使用頻度の少ない薬剤の採用中止を検討します。また、治療上必要な新薬について、必要性を十分に検討した上で、迅速に使用できるよう取り組みます。

昨年度は後発医薬品の中で供給停止や出荷調整となった品目が数種類あり、在庫量が不安定になりました。今年度は、薬品の流通状況を常に把握し、安定した在庫量の確保に努めます。

診療材料検討委員会

委員長 林 未統

【目的】

委員会は、各部署からの要望あるいは材料コスト等を考慮し、適正な診療材料の採用や変更をおこなうことを目的としています。

【開催状況】

委員会は原則奇数月に開催している。2019年度は9月と12月の計2回開催しました。

【取り組み】

委員会では、下記の事項についての取り組みを行っています。

- ①医療材料等新規購入の採用に関する事項
- ②既採用医療材料等の削除に関する事項
 - ・発売中止・製造中止になった品目
 - ・同種医療材料等の採用により不要となった材料もしくは不要となる見込みの材料
- ③医療材料等の適正な使用及び管理に関する事項

【今後の課題】

今後の課題としては、下記3点であり今後改善していく必要があります。

- ①委員会にて議論されずに現場または他委員会で既に採用させられている材料が多く、当委員会で採用決定してから使用する等のルール化をする必要がある。
- ②職員間においてもコスト意識の差が顕著であり、材料の過剰使用や期限切れ材料の発生などコスト意識の徹底を図る必要がある。
- ③同じ用途の材料を何種類も購入している材料があり、採用材料をスリム化し、採用材料のコストメリットを出しやすく工夫し、材料の標準化する必要がある。

診療材料システム委員会

委員長 川北 ひさ

【目的】

委員会は、橋本市民病院における医療材料諸管理の適正化、標準化、並びに定数の適正化を目的としています。

【開催状況】

委員会は原則偶数月に開催しています。2019年度は6月と12月の計2回開催しました。

【取り組み】

委員会では、下記の事項についての取り組みを行っています。

- ①材料・物品の定数設定に関する事項
- ②長期連休前の物品・材料供給スケジュールの周知に関する事項
- ③診療材料検討委員会にて採用となった材料の取扱いに関する事項

【今後の課題】

都度請求している物品については、コスト意識もあるが、定数配置されている物品についてはコスト意識が低い使用量が増える傾向があります。定数配置されている物品についてもコスト意識を高めていく必要があります。

【目的】

救急医療の充実を目的とし、院内及び地域の救急体制について検討を行います。メディカルコントローラー機能検討、消防との連携、受け入れの検証、外来救急体制等幅広く議論を行っています。また、症例検討会も委員会主導で開催しています。

【開催状況】

本委員会は、2ヶ月に1回程度開催しています。運用等即座に検討が必要な場合はその都度開催しています。

【取り組み】

- (1) 院内救急医療体制の整備
- (2) 地域救急医療体制の確立
- (3) 救急救命士の研修
- (4) 救急に関する研修会
- (5) その他

【今後の課題】

救急科の専従医が配置されてからは、メディカルコントローラー会議の開催、救急ワークステーションの設置など、消防との連携について充実できております。同様に医療圏の救急受入件数も増加しております。今後は、受け入れ事例での細やかなフィードバックを行い、スムーズな救急の受け入れ体制を構築していくことを目的とします。

【目的】

医療の質の向上のため、院内クリニカルパスの使用推進を行い、適用率の向上を目的としています。

【開催状況】

原則として、毎月第4水曜日に開催しています。

【取り組み】

2004年に電子カルテが導入されてからは、電子パスの増加に向けて取り組んでいます。パスを使用することによって、医療の標準化や負担軽減を図ることができ、質の向上に寄与すると考えています。

しかしながら、未だに紙パスが存在するのも事実であり、現在、電子化を進めています。今年度も症例数の多い疾患からパス化するため医師にお願いし、システム係と協力してパスの電子化を進めてきました。パス症例も徐々にですが増加傾向になっています。

現在当院のパスの適用率については、30%程度の適用率になっていますが、来年度は今より増加すると予想されます。今後もさらにパス適用率の向上に取り組みたいと考えています。

【今後の課題】

現在、パスの精査が出来ていないため、適用率を向上させることはもちろんのこと、医療の標準化と、DPC制度に沿った効率性を目指して取り組みたいと考えています。

パスの例（一部抜粋）

眼科	白内障	整形外科	人工骨頭挿入術
代謝内科	糖尿病教育入院	整形外科	転子部骨折
外科	単径ヘルニア	整形外科	人工膝関節置換術
外科	大腸ポリペク	乳線呼吸器外科	肺部分切除術
外科	腹腔鏡下胆嚢摘出術	乳線呼吸器外科	肺葉切除術
産婦人科	子宮全摘出術（腹式・膣式）	乳線呼吸器外科	乳癌手術
産婦人科	帝王切開術	乳線呼吸器外科	乳房再建術
泌尿器科	TUL・TURBT	乳線呼吸器外科	気管支鏡検査
泌尿器科	前立腺生検	呼吸器内科	気管支鏡検査
循環器内科	心カテ	呼吸器内科	睡眠時無呼吸検査

等

【目的】

外来・病棟部門の業務及び業務連携を円滑にすること、ならびに患者に対する医療の質の向上について検討することを目的としています。

【開催状況】

- ・ 毎月第4金曜日に開催しています
- ・ 6月にQC説明会を開催
- ・ 3月に第14回QCサークル発表大会を開催

【取り組み】

毎月の委員会では、主にQC手法の知識を周知・共有するための演習や、QCサークル活動に対してのレビューやアドバイス等を行っています。

第14回QCサークル発表大会では、

看護部より『時間外面会について』

『安心して退院できる指導を目指して取り組もう』

『術後清掃の時間を短くしよう』

『SPDのシール紛失「0」を目指そう!』

放射線科より『CT検査における使用後造影剤廃棄量を減らそう』

栄養管理科より『特別食増加に向けた取り組み』

などのテーマについて発表がありました。今回も昨年度同様に発表後の経過報告を行うことにより、継続性の有無や改善度の確認をすることが出来ました。職種関係なく全職員を対象にQCサークルへの参加を促し、問題を解決に導くために必要なものの見方・考え方を身につけ、業務改善活動の一環として自己啓発と相互啓発を行い、QCサークル発表大会で全職員に報告し、今後の業務改善に生かしていけるように努めています。

【今後の課題】

医療のTQM推進協議会の施設会員となり、QCに関する研修会等の情報が今まで以上に入手できるようになりました。今後は、職員により多くの研修会等の案内を行い、各職員、各職種の業務改善の意識向上に繋げていきたいと考えています。

【目的】

橋本市民病院健診センターにおける方針管理、運用、各部門の調整を目的としています。健診部門においては、他部署との健診調整が重要であり、計画的な運用のためには密に連携をとっていく必要性が高く、健診センター長を中心に運用方針を決定しています。また、市役所など他機関との調整・連携も行っています。

【開催状況】

適時開催しています。

【取り組み】

健診全体の協議を行っています。

- ・ 検査部門、画像部門との調整
- ・ 多種にわたる健診種別の調整
- ・ 職員健診への取り組み
- ・ 健診啓発への取り組み
- ・ 収益性の拡大

【今後の課題】

健診センターの効率的運用と増収に向けた取り組みを推進していきます。企業が実施する健診を受注していくことで増収を図る計画を立案しています。

【目的】

中央手術室運営委員会の目的は、中央手術室の適切な管理と運営に関する検討を行うことを目的としています。

【開催状況】

委員会は最低年に1回以上、また委員長が必要と認めたときに招集し開催しています。本年度より委員長が麻酔科部長に変更となり、2019年度は3回開催しました。

【取り組み】

2019年度は、以下について討議を行いました。

- ・麻酔体制について
- ・木曜日手術枠の検討
- ・手術間の時間短縮に向けた取り組み
- ・シューズ一足制導入について
- ・リユース製品による手術ガウン、覆布類の検討

【今後の課題】

今後も患者さんに安全な手術が提供できるよう、医師、手術室に関わるスタッフ全てが協力し、効率的な手術運営を図るための委員会を開催していきたいと考えています。

【手術件数実績】

2014年度	2,453件
2015年度	2,407件
2016年度	2,487件
2017年度	2,508件
2018年度	2,507件
2019年度	2,436件

【目的】

当院内視鏡室の適正な管理と運営を検討することを目的としています。

【開催状況】

当委員会は、委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

【検討内容】

2019年4月18日

- ・内視鏡施行医の担当スケジュールについて
- ・健診 EGD 枠の増設について
- ・内視鏡スタッフの意見・要望

2020年1月28日

- ・造影 CT と CS 検査の同日施行について
- ・内視鏡検査数報告
- ・酢酸を用いた EGD 検査について
- ・内視鏡室で使用する医療材料の検討及びコストについて
- ・カプセル内視鏡検査実施について
- ・CS 前処置の在宅での下剤内服について
- ・内視鏡スタッフの時間外勤務について

2020年3月30日

- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する当院での内視鏡診療について

【今後の課題】

- ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する当院での内視鏡診療について、通常の内視鏡診療をどのように再開させていくか
- ・JED（Japan Endoscopy Database）Project 対応内視鏡所見入力システムへの移行について

病床運営管理委員会

委員長 星屋 博信

【目的】

当委員会は、病床の適切な管理と効率的な運営に関する検討を行い、高度急性期の HCU, 急性期の一般病棟、回復期の地域包括ケア病棟を患者さんの病状に応じて適切な選択すること等を目的としています。

【取り組み】

- 地域医療構想策定ガイドラインによる最低病床数稼働の遵守
- HCU、地域包括ケア病棟の要件の遵守とチェックを行う
- 各データによる入院患者、病床状況管理
- 各診療科の割り当て病床数の決定
- 各病棟内の診療科と病床の決定
- 病床の有効利用に関する事項

【今後の課題】

適正かつ効率的な病床（300床）フル稼働を行うために「環境」や「業務」の情報収集を行い、病院事業の健全経営が図られるよう病床利用率の向上を目指します。

放射線運営委員会

委員長 角井 一之

【目的】

放射線領域に於ける患者および従事者の安全に関する検討と、その他 放射線に関する事項全般について審議を行います。

【開催】

必要時、委員長の招集により開催

【取り組み】

患者安全を最優先とし、放射線検査の有意利用を推進しています。

- ・放射線検査の円滑な実施および検査室の有効利用促進
- ・待ち時間の短縮等、患者サービス向上に対する取り組み
- ・安心・安全の検査に向けての検査説明
- ・経年劣化および老朽化の進む機器の点検強化
- ・更新された機器の取扱いに関する検討
- ・放射線の安全利用に対する取り組み

など

【今後の課題】

令和2年4月より、診療用放射線の安全利用に対する管理が開始となります。

医療放射線安全管理責任者および放射線運営委員会を中心とし、診療用放射線の取扱いに関して、各ガイドライン等を参考に管理体制作りを進めていきます。

本件は放射線の利用に関してだけでなく、医療の安全の質にも関わる事項と捉え、医療安全管理対策委員会とも連携し、病院全体として取り組んでいきます。

【目的】

橋本市民病院臨床検査の適正な管理及び合理的な運営を図ることを目的としています。

【開催状況】

2019年度の臨床検査運営委員会の開催は10月2日、12月11日の計2回でした。

【取り組み】

委員会では臨床検査についての話し合いが行われています。

- ・ 定期的な臨床検査の精度管理に関すること
- ・ 臨床検査の適正化に関すること
- ・ その他、必要な事項に関すること

【主な決定、報告事項】

日臨技精度管理調査結果報告

97.2点：血液・一般・生理のフォトサーベイでD評価、尿化学分析で試料の測定間違いD評価

日本医師会サーベイ結果報告

98.1点：D評価なし

PSG検査の運用変更

借用装置の更新に伴い、装置アタッチメントが無線化されました。これにより運用を業務時間内の16：30にスタッフ2名で装着して時間外はスタッフ1名が残り、夕食後に検査を開始するように変更し時間外業務の削減を行いました。

血中薬物濃度検査容器の変更

分離剤の影響で結果が偽陰性や偽陽性になる項目があるとの報告を受け、遠心後すぐに分注保存する運用に変更しました。

病理解剖マニュアル更新

内容を検討して加筆修正を行い、医療安全管理室で確認後に院内Webにアップロードを行いました。

パニック値対応項目の追加要望

医師からの要望があり[PT-INRを5以上]、[CRPを30mg/dl以上]の追加を行いました。

生化学および血液検査項目の基準値変更について

- ① 共用基準範囲の適応
 - ② IFCC(国際臨床化学連合) 準拠法の適応 (ALPのみ)
- 2020年8月1日より変更予定

【設置目的】

輸血委員会は安全で適正な輸血の在り方をサーベイランスするために設置されています。輸血療法の適応、血液製剤の選択と適正使用、輸血マニュアルの整備、血液製剤の保管・管理と使用状況調査、事故・副作用・合併症の把握と対策、輸血関連情報の伝達、院内採血・自己血採血などのマニュアルの整備などを話し合い、検討しています。

【開催状況】

- ・年間6回
- ・臨時議案がある場合は委員長が別途招集します。

【取り組み】

1 血液製剤使用に関する統計報告

検査科で血液製剤を一元管理し、使用状況と廃棄率、6単位以上依頼のあった事例の輸血実績などを報告します。(表1. 2019年度血液製剤の動向)

2 事故・副作用・合併症の把握

副作用事例があった場合、その状況や治療に関して調査します。

3 輸血に関する情報の伝達

血液センターや厚労省からの輸血関連情報の伝達を行います。

【今後の課題】

1 血液製剤廃棄率の低下

過度な血液製剤依頼や発注ミスのないようにし、廃棄率を下げる重要性を考えます。

2 適正な輸血依頼を目指す

手術時のT & Sなど、医師に適正な輸血依頼を行ってもらうように、今一度アナウンスします。

表1. 2019年度血液製剤の動向

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
赤血球製剤使用単位数	212	220	188	190	172	214	244	220	304	178	194	172	2,508
赤血球製剤入庫数	216	228	196	198	188	208	244	238	300	194	200	190	2,600
赤血球製剤廃棄数	4	0	10	12	8	4	4	10	2	8	8	16	86
A型	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4
AB型	4	0	6	4	4	0	4	6	2	4	4	2	40
B型	0	0	4	4	0	4	0	2	0	4	4	4	26
O型	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	8	16
赤血球製剤廃棄率	1.9%	0.0%	5.1%	6.1%	4.3%	1.9%	1.6%	4.2%	0.7%	4.1%	4.0%	8.4%	3.3%
FFP使用数	168	30	36	24	46	22	88	56	64	48	16	48	646
FFP入庫単位数	166	30	40	34	34	26	84	56	70	54	16	46	656
FFP廃棄単位数	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	8
FFP廃棄率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	1.2%
血小板製剤使用数	345	100	60	10	160	90	100	40	150	60	70	150	1,335
血小板製剤入庫数	345	100	60	10	160	90	100	40	150	60	70	150	1,335
血小板製剤廃棄数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血小板製剤廃棄率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(単位)

	単価	廃棄金額
MAP 1単位	9,066	36,264
FFP 1単位	9,161	378
PC 10単位	81,744	0
廃棄合計		99,971

(円)

【目的】

栄養管理委員会の目的は患者給食および栄養管理の質向上に資するため、栄養管理、栄養改善に関する事項の検討を目的としています。

【開催状況】

委員会は委員長が必要と認めた時に招集し開催しています。

第1回 令和元年5月30日

第2回 令和2年3月12日

【取り組み】

- * 経腸栄養剤 RTH 製剤への移行、入れ替え案
食欲不振食「なごみ食」献立リニューアル
特別食加算、栄養食事指導件数増加に向けての活動
- * 経腸栄養剤入れ替え製品案
厚生労働省 日本人食事摂取基準（2020年版）栄養基準（常食）検討
特別食加算、栄養食事指導件数増加に向けての活動結果報告および評価
特別食の一部見直し
2020年診療報酬改定にむけて 栄養関連報告

【今後の課題】

NST、嚥下ワーキング・糖尿病ワーキングの活動強化及び、院内・院外への啓蒙活動継続と強化、栄養食事指導、給食・栄養管理の充実にむけて取り組みを推進していきたいと考えています。

【目的】

患者の栄養状態や QOL 向上のため、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など他職種連携し、栄養管理・栄養改善について検討することを目的としています。

【開催状況】

毎週木曜日 15 時 00 分～ 回診及びカンファレンスを実施

【取り組み】

- * 栄養管理の必要性の判定及び栄養評価の施行
- * 適切な栄養管理が行われているかのチェック
- * 各症例に適した栄養管理方法の提案
- * 栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見
- * 栄養管理上のコンサルテーションへの対応
- * 早期退院や社会復帰の促進と QOL の向上
- * 栄養治療ガイドラインに則った新しい知見の修得と啓蒙

【2019 年度 N S T 症例件数】

- * 新規介入患者数 89 件（2018 年度から継続患者は含まず）
- * 介入延べ件数 328 件
- * 依頼件数 59 件（医師：29 件、看護師：8 件、コメディカル：11 件、MNA からの抽出：11 件）

【2019 年度実施 N S T 勉強会】

日 時	内 容	講 師
4 月 25 日	消化態栄養の活用法	ネスレ日本株式会社 青木 玄氏
5 月 9 日	栄養管理で使用する漢方薬について 1) 気・血・水と虚実の考え方 2) 下痢時の漢方治療	株式会社ツムラ 奥田 俊博氏
6 月 13 日	低セレン血症治療剤 アセレンド注について	藤本製薬株式会社 石倉 知弥氏
7 月 25 日	経腸栄養の基礎 ・静脈栄養と経腸栄養の比較 ・経腸栄養剤の種類と特徴 ・濃厚流動食（食品）と経腸栄養剤（医薬品）の比較	株式会社明治 長田奈津実氏
8 月 1 日	カームソリッド説明会（3 西・3 東・HCU）	ニュートリー株式会社 鷹屋 潤氏氏
8 月 7 日	カームソリッド説明会（4 西・4 東）	ニュートリー株式会社 鷹屋 潤氏氏
8 月 8 日	カームソリッド説明会（5 西・5 東）	ニュートリー株式会社 鷹屋 潤氏氏
9 月 12 日	低亜鉛血症治療薬ノベルジンについて	ノーベルファーマ株式会社 菊本 祐弘氏
11 月 21 日	リハビリテーションと栄養	株式会社大塚製薬工場 松山 文則氏

【今後の課題】

- * コアメンバーの臨床栄養学のレベルの画一化とさらなるレベルアップ
- * リンクナースの栄養療法への積極的介入
- * 各職種の役割分担と円滑な連携
- * 臨床栄養学に関するわかりやすい勉強会の定期開催とその継続



【目的】

入院中の誤嚥性肺炎発症を減らすことを目的としています。

【開催状況】

毎週火曜日に開催しています。(17時～)

【取り組み】

2015年度から嚥下ワーキングを立ち上げて活動しています。主な構成メンバーは、大饗医師を中心に言語聴覚士・看護師・管理栄養士などです。

嚥下ワーキングの主な内容としては、言語聴覚士が嚥下リハビリテーションを行っている患者様を中心に問題点を話し合い、嚥下障害に対する共通認識を持ちスムーズな退院支援を目指しています。また入院時の嚥下スクリーニング検査として、看護師による「改訂水飲みテスト」を実施し嚥下障害患者を抽出しています。嚥下障害抽出患者を嚥下ワーキングにて話し合い、早期にSTが介入できるよう取り組んでいます。

他の取り組みとしては、当院における嚥下調整食分類 2013（日本摂食嚥下リハビリテーション学会）におけるコード1～4の食事が完成し、提供を開始しています。しかし食事内容の問題点が出てきた際は、栄養科と相談しながら、適宜試食会を行い改善に努めています。

【今後の課題】

当院での入院中の誤嚥性肺炎の発症を防ぐために、嚥下機能評価として入院時の嚥下スクリーニング検査を導入しています。病棟看護師から、飲み込みが悪い患者様の抽出が増え、ST介入する患者様は増えました。しかし嚥下リハが必要であるのに早期介入ができていない場合も多々ある状況です。今後は病棟毎に応じて、嚥下に注意が必要な患者様が、簡単にわかるようなパンフレットの作成を考えています。今後も入院中の誤嚥性肺炎の発症を防ぐために嚥下ワーキングでの情報交換、共通認識を大事にして活動していきたいと思えます。

【目的】

入院患者の糖尿病療養生活を多職種連携し支援します。院内・院外問わず、地域住民の方々に糖尿病への理解と関心を深めて頂けるように啓蒙活動を行います。糖尿病治療にあたり療養支援に関する知識の共有とスキルアップを図ります。

【開催状況】

毎月第3火曜日 17時00分～開催

【取り組み】

- ・今年度より糖尿病教育入院を受け入れています。糖尿病に関する知識の習得を目指し、患者や患者家族に各専門スタッフが療養指導を行います。
- ・他の診療科に入院中の糖尿病患者や高血糖患者を抽出し、チームで情報共有を図ります。必要な患者については個々に応じた療養支援を行います。

《糖尿病関連のイベント》

* 世界糖尿病デー

日時：2019年11月8日（金）13時30分～15時45分

場所：橋本市民病院2階講堂、1階エントランス

テーマ：“知ってるはず？の糖尿病。ホントの話、聞いてみませんか？”

内容：講義

代謝内科 宮田佳穂里医長「糖尿病合併症について」

栄養管理科 日本糖尿病療養指導士 藤本佐和子副技師長「塩分制限について」

リハビリテーション科 和歌山糖尿病療養指導士 濱田知也理学療法士「手軽なストレッチ」

医療従事者・患者やその家族との座談会

無料血糖・血圧測定、相談会

* ブルーライトアップ

日時：2019年11月14日（木）18時00分～21時30分

場所：橋本市民病院6階レストラン

* すこやか橋本 まなびの日

日時：2019年11月24日（日）9時30分～15時30分

場所：和歌山県立橋本体育館

内容：大人…無料血糖測定 / 子供…糖尿病にまつわる〇×クイズ / 糖尿病に関する資料掲示

【今後の課題】

- ・糖尿病教育入院の運用や指導内容の見直しを行い、糖尿病療養支援に努めます。
- ・療養指導に関わるスタッフを育成します。
- ・院内勉強会を開催し、糖尿病に関する知識の習得を深めます。
- ・院内で統一した指導を行えるよう情報共有と個々のスキルアップを目指します。

【ワーキング活動の写真】

世界糖尿病デー



すこやか橋本まなびの日



ブルーライトアップ



ワーキングメンバー集合写真



【目的】

委員会は、がん診療連携拠点病院としてその役割を果たし、機能強化にかかる事業を推進することを目的としています。

【開催状況】（2019年度実績）

・委員会は、年1回開催しています。

月	演 題	講 師
5月	化学療法セミナー（5/23） 『BEST な大腸癌治療を目指して』	小高 雅人 先生 （薫風会佐野病院 消化器がんセンター センター長）
11月	緩和ケア研修会（11/23）	17名 参加
12月	橋本・伊都地区がん化学療法研修会（12/5） 『もし患者さんにゲノム医療を受けたいと言われたら』	高濱 隆幸 先生 （近畿大学奈良病院 腫瘍内科 助教）
2月	放射線治療勉強会（2/20） 『がん診療における FDG-PET 検査 ～有用性、ピットフォール、今後の展開～』	中井 資貴 先生 （和歌山県立医科大学 放射線医学講座 講師）
2月	緩和ケア研修セミナー（2/25） 『がん患者の疼痛コントロールについて』 『緩和ケアと地域連携』 →新型コロナの影響で中止	広川 恵寿輝 先生（橋本市民病院 総合内科） 南 真理 先生（橋本市民病院 緩和ケア認定看護師）

【取り組み】

上記の開催状況の通り、地域がん診療連携拠点病院を担うため、以下の事を念頭に置き各種研修会・勉強会などを企画・開催し職員にがん拠点病院としての自覚と専門知識の向上に努めています。

- (1) 手術や放射線、化学療法などを効果的に組み合わせた専門的ながん医療を提供する
- (2) 治療の初期段階から、不安や痛みなどを和らげる緩和ケアを実施する
- (3) 診療所や一般病院に診療支援を行い、在宅医療と連携する
- (4) 『がん相談支援センター』を設置して、患者、医療関係者などからの相談を受けける

【今後の課題】

がん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の構築の為にも、より多くの研修会・勉強会の機会を増やし、職員の育成に取り組むと考えています。



【目的】

当院における緩和ケアの充実を図ることを目的としています。

【開催状況】

原則として、毎月第4火曜日に開催しています。

【取り組み】

当ワーキングは毎月第4火曜日に開催し、医師・薬剤師・看護師・MSW・作業療法士など多職種により構成されています。当ワーキングでは、緩和ケアに関する組織や運営に必要な事項を決定することを主としています。当ワーキングの中のメンバーから構成された緩和ケアチームが、毎週カンファレンスと病棟ラウンドを行い、緩和ケア対象患者について対策・対応を検討しています。

精神科のない当院では、精神的サポートとしてなかいクリニックの中井先生に月2回来て頂き、精神的ケアの必要な患者を診療し、カンファレンスで助言を頂いています。

緩和ケアワーキング・緩和ケアチームでは、主に以下のことについて話し合っています。

- ・がん性疼痛の緩和（痛みのアセスメント・医療用麻薬の適正使用・用量調整）
- ・疼痛以外の症状の緩和（消化器症状・倦怠感・せん妄など）
- ・告知・再発・終末期の患者の精神的サポート
- ・患者家族の支援、急変時の対応、最期の療養場所の選択

今後も入院患者に限らず、国の進めている『がんと診断されたときから緩和ケア』をスローガンに身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケアを目指して取り組んでいきます。

月	演 題	講 師
11月	緩和ケア研修会（11/23）	医師6名、看護師11名 参加

【今後の課題】

- ・疼痛管理に関するマニュアルの周知
- ・カンファレンスと病棟ラウンドの充実
- ・メンバーの資質の向上と院内全体のレベルアップ
- ・院内の他チームとの連携
- ・地域連携パス等、様々なツールを活用した地域連携体制の構築
- ・各種診療報酬獲得の為に体制整備

【目的】

がん化学療法に関わる諸問題の討議や治療計画（レジメン）を科学的根拠に基づき審査し、組織学的に統括、管理し安全に化学療法を行うことを目的としています。

【開催状況】

毎月第4木曜日に開催

【取り組み】

- ・ レジメン審査および管理
- ・ がん化学療法施行に伴う安全管理、副作用対策等の情報共有
- ・ がん化学療法により発症するB型肝炎ガイドラインを遵守し全抗がん薬におけるスクリーニング検査の徹底
- ・ 外来化学療法の運営
- ・ 薬剤師外来の運用を継続、がん化学療法の質向上に努める
- ・ 職業性曝露対策とし、院内全体において閉鎖式システムの導入を行った
- ・ 研修会の開催

5/23 「BEST な大腸癌治療を目指して」

薫風会 佐野病院 小高雅人先生

12/5 「もし患者さんにゲノム医療を受けたいと言われたら」

近畿大学奈良病院 高濱隆幸先生

【化学療法件数】

総数：1,712件

（入院 276件 外来 1,436件）※ホルモン剤、ビスホスホネート製剤は除く

外来化学療法加算：8,616,000円

【今後の課題】

- ・ がん化学療法に伴う安全管理の推進
- ・ 医療スタッフの知識向上に努め、チーム医療を推進する
- ・ ゲノム医療についての知識を深め推進する
- ・ 薬剤師外来の充実により、外来化学療法患者のマネジメントを多職種で介入し質向上につなげる



がんボードワーキング

委員長 稲垣 武

【目的】

がん患者さんの病態に応じたより適切ながん医療の提供ができるよう、また、地域がん診療連携拠点病院として院内におけるがん治療の把握と共有を図ることを目的としています。

【開催状況】

月1回以上開催。臨時検討症例あれば随時開催。

【取り組み】

当院ではがんボードを毎月定期的で開催しており、問題点を多く抱えた悪性腫瘍や希少がんや多重がんに対し様々な治療法（手術、抗がん剤治療、放射線治療など）を検討するため、各科の医師や画像診断医、病理診断医、看護師、薬剤師、社会福祉士など多くの職種により、意見交換を行い患者さんにとって最良の治療を提供することを目指して行っています。

重複がんや原発不明がん、稀ながん腫など診断や治療に難渋する症例があった場合に、速やかに関係する担当者を招集しがんボードを開催できるよう、症例が発生した際の開催依頼先（招集担当部署）を明確にするなどしています。

【今後の課題】

各診療科で検討されている症例などについても、がんボードで検討・報告がされるような仕組み作りをしていく必要があると考えています。

医療機器選定・購入委員会

委員長 嶋田 浩介

【目的】

委員会は、橋本市民病院の医療機器等の新規導入または更新に際し、業務効率及び患者サービス向上にふさわしい機器を整備することを目的としています。

【開催状況】

不定期開催となっている。2019年度は11月と12月の計2回開催しました。

【取り組み】

委員会では、医師の要望、病院としての収益、患者サービス向上等、多角的な視点から翌年度に購入する医療機器の選定を実施しています。また、限られた予算内でいかに効率よく医療機器を購入・更新出来るかを協議し、綿密な計画を策定しています。

【今後の課題】

高額医療機器の更新の平準化は引き続き行っていく必要があります。多くの少額機器が未更新状況であり新規購入機器購入の予算を圧迫しています。今後は、電子カルテの更新が控えており、より一層適切な機器選定が必要になります。

【目的】

診療情報の管理運営及び、医療情報システムの運営、開発についての諸問題を検討し、医療水準・患者サービスの向上及び業務の効率化を図ることを目的としています。

【開催状況】

隔月の第3水曜日に開催しています。

【取り組み】

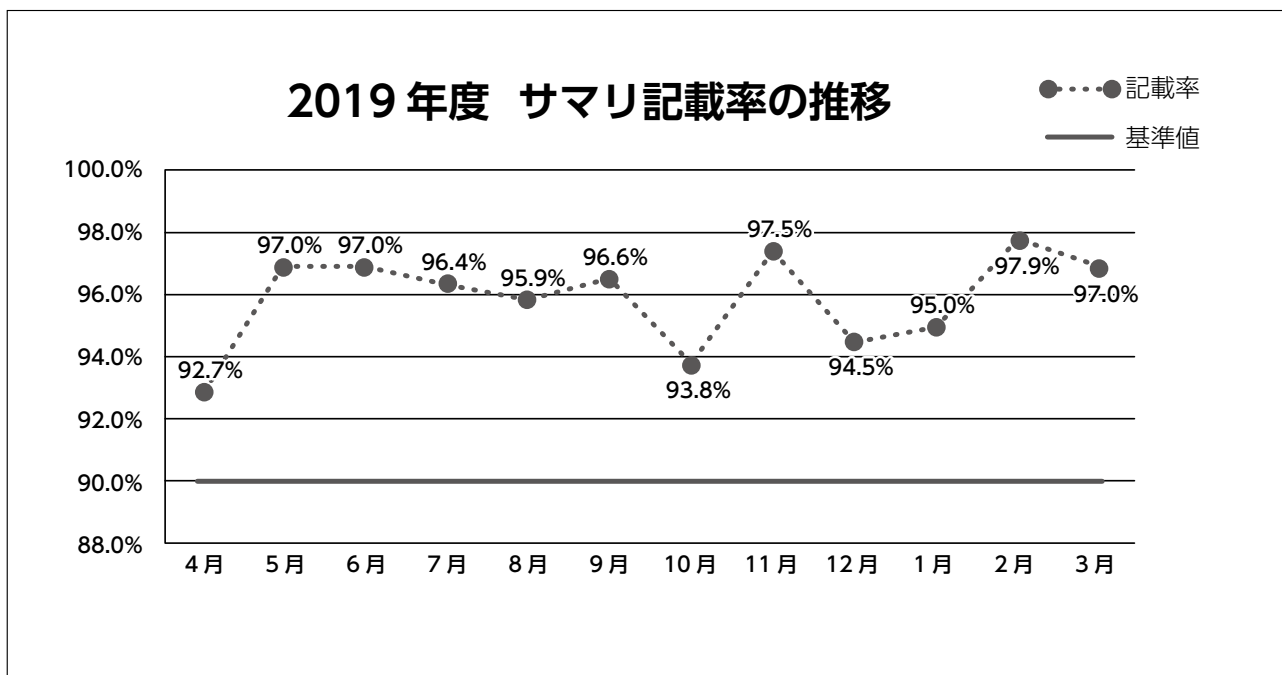
委員会では、診療録・診療情報に関するさまざまな事について検討しています。今年度については、診療録の不正閲覧監視に力を入れました。幸いに大きな問題は確認されませんでした。昨今の個人情報アクセスの厳密化から、今後も重要な管理項目となりますので引き続き職員に対する啓蒙と不正閲覧防止に努めていきます。

また、委員会では退院サマリの記載率と詳細不明傷病名の使用率、適切なコーディングに関する管理を行っています。退院サマリの記載率は下記のとおりとなっており、最終的に100%となっています。詳細不明傷病名の使用率や傷病名を報告し、適切なコーディングについての検討も行っています。

小委員会である電子カルテ運営委員会では、より安全で効率の良いシステム運営を目指し取り組んでいます。

【今後の課題】

当院は診療録管理体制加算Ⅰを算定しているため、退院後14日以内の記載率90%以上が必須条件となっていることから、今後も記載率100%を目標に努めていきます。また、診療録に関することについては、量的・質的監査を行い診療録の記載内容の充実と向上を目指していきます。診療情報の管理では個人情報の取り扱いについてなど、病院情報システムでは、システム障害や運用などそれぞれの諸問題を検討し、常に病院業務の向上と効率化に取り組んでいくことが課題です。



【目的】

橋本市民病院での電子カルテの適切な運営・管理・改善に係わる事項を審議することを目的としています。

【開催状況】

毎月第一火曜日に開催しています。

【取り組み】

委員会では、電子カルテシステムだけでなく院内で運用している全ての病院情報システムの安定稼働を目指して、障害対応だけでなく、業務改善になるシステム改造の要望などを検討し、より安全で効率の良いシステム運営を目指し取り組んでいます。

【今年度の電子カルテ機能強化項目】

- ・レポート管理機能

【レポート管理画面】

【説明用テンプレート】

【導入効果】

- ・レポートの未読を担当医へ通知することにより、結果の確認漏れを抑制することができる
- ・レポートの未読・既読に加えて、患者説明とその記録まで管理することができる

【今後の課題】

来年度のシステム更新に向けて現在のシステム整理を行い、病院経営およびシステム変更における影響を最小限におさえることです

【目的】

院内感染予防と拡大防止を積極的に推進し、院内感染管理の万全を期するとともに、院内感染が発生した際にはその対策を樹立させ、ICT と連携して周知徹底することを目的としています。

【開催状況】

毎月第3水曜日に開催

【取り組み】

- ・ 定期的な研修会の開催を行っています。
- ・ ICT 活動を支援し、ICT からの報告（耐性菌等の監視対象菌報告、特定感染症報告、抗菌薬使用状況、その他感染対策に関する事項について院内感染対策で検討しています
- ・ 院内感染の発生状況について、継続したサーベイランスを実施し、院内感染の低減を図っています。
- ・ 感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動を支持しています。
- ・ 院内感染の発生状況に応じた対策を樹立し、周知徹底しています。
- ・ 院内アウトブレイクの、連絡体制の確立に努めています。
- ・ 感染管理に関する地域連携に努めています。

【今後の課題】

- ・ AST による抗菌薬の使用適正化の支援
- ・ 院内感染対策マニュアルの見直し・改訂
- ・ ICT と連携した院内清掃手順の見直し
- ・ 地域連携の強化

【目的】

院内感染対策委員会での決定事項に沿って、感染症患者への適時介入や診断の支援、抗菌薬適正使用を現場で支援する組織です。また抗菌薬適正使用に向けたサーベイランスや教育・啓発を行うことを目的としています。

【開催状況】

毎週水曜日に開催

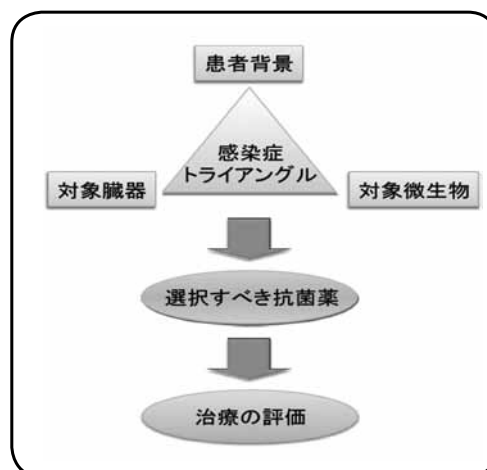
【取り組み】

右記感染症トライアングルを基に、患者の全体像を捉えながら、適切な抗菌薬使用について協議を行っています

- ・ 抗菌薬の使用原則
- ・ 抗菌薬の適正使用を推進
- ・ 抗菌薬適正使用支援
- ・ 感染症治療コンサルテーション
- ・ 研修会開催（年2回）
- ・ 血液培養フォロー

【今後の課題】

- ・ AST 介入後の評価
- ・ 根拠に基づいた抗菌薬使用支援の啓発活動
- ・ 抗菌薬適正使用の充実
- ・ 分かりやすい情報発信
- ・ マニュアル作り



【目的】

院内感染対策委員会の下部組織であり、感染対策を現場で推進する実働組織であり、院内感染状況を把握・介入・評価を行い、感染対策の改善と感染率の低減に努めることを目的としています。

【開催状況】

毎週水曜日に開催

*年1回 ICTW と合同会議開催

【取り組み】

- ・サーベイランスの実施・感染管理ベストプラクティス導入
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施
- ・コンサルテーション
- ・抗菌薬の適正使用を推進
- ・アウトブレイク時の対応を実施
- ・職業感染対策の実施
- ・他医療機関との地域連携
(感染防止対策加算、地域連携感染防止対策加算に伴う共同カンファレンス開催、相互ラウンド評価や感染症連絡協議会などの ICT 活動、地域での感染対策研修会開催)
- ・地域貢献 (地域周辺施設、地域住民への情報提供)



月	2019 年度 ICT 活動
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議 (ラウンド9回) ・ ICT ニュースを発行し情報提供 ・ 地域連携施設 (加算1・2施設) との調整 ・ 新規採用者感染管理オリエンテーション実施 ・ 大阪大学朝野教授と面談 ・ 奈良医大笠原先生と面談 ・ 手指衛生自動ディスペンサー取付
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議 (ラウンド10回) ・ 研修生・学生のワクチン接種規程作成 ・ 紀和病院との地域連携 第1回共同カンファレンス ・ N95 マスクフィットテスト ・ PPE ホルダー取付
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議 (ラウンド9回) ・ 病院感染症連絡会出席 (保健所) ・ 地域との感染対策研修会 ・ 奈良医大笠原先生による病院ラウンド・N95 マスクフィットテスト
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議 (ラウンド10回) ・ 抗 HIV 治療薬取り扱いについて県庁と面談
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議 (ラウンド9回) ・ 地域との感染対策研修会 ・ ICT ニュースを発行し情報提供 ・ 感染防止対策録画研修会実施 ・ 他院より感染制御システム見学受け入れ ・ 感染防止対策研修会開催 ・ 感染防止対策録画研修会実施
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT ラウンド会議 (ラウンド8回) ・ 地域での感染管理ベストプラクティス開催 (保健所と連携) ・ 紀和病院との地域連携 第2回共同カンファレンス ・ 公立那賀病院にて相互ラウンド評価実施 ・ 紫外線照射器による環境清掃

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT ラウンド会議（ラウンド11回）・外来インフルエンザワクチン予約開始 ・地域との感染対策研修会 ・公立那賀病院相互ラウンド評価実施（橋本市民病院ラウンド） ・感染研修会開催
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT ラウンド会議（ラウンド8回） ・外来インフルワクチン接種開始 ・職員インフルワクチン接種（3日間） ・紀和病院との地域連携 第3回共同カンファレンス ・吸引架台新規導入 ・地域との感染対策研修会 ・大阪大学朝野教授と面談
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT ラウンド会議（ラウンド7回） ・奈良医大笠原先生と面談 ・面会制限のお知らせ掲示、院内周知 ・保健所立ち入り調査 ・CRE アウトブレイク終了準備
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT ラウンド会議（ラウンド10回） ・AST/ICT 合同感染対策研修会開催 ・CRE アウトブレイク対応終了報告（関連6病院と保健所） ・新型コロナウイルス感染症対応準備
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT ラウンド会議（ラウンド6回） ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策本部立ち上げ ・発熱者／接触者外来開設 ・紀和病院との地域連携 第4回共同カンファレンス
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT ラウンド会議（ラウンド4回） ・COVID-19 対応フローチャート作成、シミュレーション開催 ・2019年度活動の評価 ・次年度活動計画立案

【今後の課題】

- ・院内感染対策実施の推進
- ・感染管理における地域連携の拡大
- ・職業感染対策の充実
- ・現場における感染管理能力の向上



COVID-19 対応：シミュレーション



DMAT 隊派遣前防護具着脱訓練



他施設との院内ラウンド



COVID-19 対応：体温トリアージ



個人防護具着脱訓練



AST/ICT 合同研修会

【目的】

ICTW は、院内感染対策委員会での決定事項に沿って、ICT の指示により、感染対策を実践現場で実施・指導する実働組織です。

また、ICT と共にサーベイランスを実施し、感染対策改善と感染率の低減に努めることを目的としています。

【開催状況】

毎月第 1 木曜日に開催

* 年 1 回 ICT と合同会議開催

【取り組み】

- ・サーベイランス・感染管理ベストプラクティスの実施
- ・有効な感染対策の推進
- ・感染管理教育の実施

月	内 容
4 月	・ 2019 年度 ICTW 年間計画の調整 ・ 感染管理ベストプラクティス・手指消毒サーベイランス実施
5 月	・ 5 月 12 日（土）ベスプラ研修発表 ・ 院内環境ラウンド
6 月	・ CER の取り組みと現状について報告 ・ 個人防護具の着脱訓練
7 月	・ 感染研修会受講後の振り返り ・ 手指衛生実施向上に向けた研修会企画
8 月	・ 手指衛生実施状況の直接観察ラウンド
9 月	・ 病棟ラウンド実施 ・ CRE の取り組みと現状について報告 ・ 爪白癬についてメーカー研修会開催
10 月	・ 手洗いキャンペーン企画 ・ 病棟ラウンド ・ 所属における問題点の共有
11 月	・ 手洗いキャンペーン開催 / 評価 ・ 手指衛生の実施状況報告
12 月	・ 手洗いキャンペーン振り返り ・ 各所属における手指衛生実施回数決定 ・ 手指衛生ラウンド ・ CRE アウトブレイク対応終了に向けた報告
1 月	・ CRE アウトブレイク対応報告 ・ 手指衛生実施回数目標達成に向けた取り組み報告
2 月	・ 新型コロナウイルス感染症について情報共有 ・ 環境 / 手指衛生ラウンド
3 月	・ 2019 年度各部署での活動の評価 ・ 次年度の ICTW 活動計画案立案 ・ 病棟ラウンド

【今後の課題】

- ・ ICT と共に院内感染対策を推進する。
手指衛生遵守の向上
防護具適正使用の推進
各部署の感染対策に関する課題の明確化
自らが中心となり活動できる組織作り

【目的】

入院患者の褥瘡予防と改善を図り、安心・安全な医療を提供するため改善・対策を検討します。

【開催状況】

毎月～2ヶ月に1回 第一水曜日 17時～（定例～）

【取り組み】

- 皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、感染管理認定看護師、管理栄養士、褥瘡対策委員、病棟看護師等で毎週1回（水曜日）に褥瘡回診を実施し現場指導を行う。
- 看護部の褥瘡委員会の開催
- 毎月院内の褥瘡保有率ならびに褥瘡推定発生率を確認し、所属長に報告する。
- 褥瘡への知識向上のため、勉強会の開催

2019年度 院内褥瘡、スキンテア件数

2019年度	院内件数	発生	持込	平均年齢
褥瘡	165件	84件	81件	83歳
スキンテア	85件	59件	26件	87歳

褥瘡推定発生率、有病率（2015年～2018年）

2015年度	推定発生率	2.8%	有病率	3.4%
2016年度	推定発生率	1.2%	有病率	2.6%
2017年度	推定発生率	1.3%	有病率	2.8%
2018年度	推定発生率	0.8%	有病率	3.0%

【今後の課題】

- ・褥瘡発生率の増加があり、リンクナース中心に褥瘡予防対策が実施できるようにしていくことが課題です

【目的】

他疾患で入院し見過ごしてしまいがちな下肢病変患者を早期発見し、早期に予防治療が行えます。
下肢病変患者を入院中にピックアップし、外来治療・ケアに継続していくことを目的としています。

【開催状況】

毎週水曜日に回診を行っています。

【取り組み】

- 皮膚科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、糖尿病看護認定看護師、管理栄養士、病棟看護師、ワーキングチーム等で毎週1回（水曜日）に回診を実施し、適切なケアの指導を行っています。
- 退院後も適切なケアが継続出来るよう、フットケア外来や地域につなげていきます。

【2019年度のデータ】

- 下肢病変チーム登録人数 45人（男性15人、女性30人）
- 平均年齢 79.9歳（内訳 30歳台1人、40歳台1人、50歳台0人、60歳台9人、70歳台7人、80歳台17人、90歳台9人、100歳台1人）
- 登録理由（複数回答）

潰瘍	18人	むくみ	1人
発赤	7人	色調変化	9人
熱感	7人	壊疽	0人
疼痛	9人	水疱	0人
爪の異常	8人	その他	4人

【今後の課題】

ワーキングチーム員が中心となり、各部署でのピックアップを行い、チームで関わることで早期から予防治療を行えるようにしていきます。また、フットケアのスキルアップにも取り組みます。

医療安全管理対策委員会

委員長 嶋田 浩介

【目的】

医療安全管理対策委員会の目的は、病院における医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立することを目的としています。

【開催状況】

委員会は月1回定期的に開催しています。(第4月曜日 16:30～)
また必要に応じて臨時にも開催しています。

【取り組み】

委員会では、医療安全管理対策に関するさまざまな事項についての話し合いを行っています。

- ・医療安全管理対策の検討及び研究に関する事項
- ・医療事故の分析及び再発防止の検討に関する事項
- ・医療安全管理対策のための職員に対する指示に関する事項
- ・医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関する事項
- ・医療紛争の処理に関する事項
- ・その他医療安全管理対策に関する事項

【今後の課題】

問題点改善のため、今年度のセーフティマネジメント部会では5グループ(薬剤、ライン管理、転倒転落、書類、食事)に分かれ取り組みを行っており改善につなげています。来年度も引き続き各グループで改善につなげる取り組みを行っていきたいと考えています。

他職種での院内ラウンドを行うことにより、各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な対策を推進していきます。

安全対策に必要な情報については医療安全ニュースなどを通じて通知していく必要もある。また、情報を発信するための方法として医療安全研修会を行っており、参加率向上のため、研修会に出来るだけ参加できるように様々な対応の検討も行っています。

医療ガス安全管理委員会

委員長 西浦 徳裕

【目的】

委員会は、橋本市民病院における医療ガス(診療の要に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素等をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的としています。

【開催状況】

委員会は年2回開催(12月、3月開催)

【取り組み】

委員会では、監督責任者、実施責任者の選定を行うとともに、医療ガス点検等の報告を受け、それについて検討しています。

【今後の課題】

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保に努めています。また、使用済みアウトレットの装着数が減少していますが、未だに装着しているのが確認されています。使用済みアウトレットの取り外しを院内に再度周知し、使用済みアウトレットの装着数ゼロを目指します。

災害医療対策委員会

委員長 吉村 良

【目的】

災害医療全般、防災・防火に関することを取り扱い、地域災害拠点病院としての体制整備、日常の防災対策を主として取り扱うことを目的としています。

【開催状況】

委員会活動として、2019年度においては12月7日（土）に開催した橋本市災害医療フォーラムへの関与が主となり、実施開催いたしました。実際の活動は、下部組織であるDMAT部会及び防火委員会が細やかな活動を実施しております。

【取り組み】

例年、橋本市災害医療フォーラムを開催しており、2019年度で第14回目を迎えました。地域訓練としての役割も大きくなっており、主催を保健所に移管させる動きもあったため、今年度で一区切りと考え、座学内容も総括的な内容で実施いたしました。訓練では運営に課題が多くあったため、今年度はできるだけシンプルに役割を分担させ、訓練コントローラーを充実させて実施いたしました。一番の課題であった本部運営については、統括訓練コントローラーの介入により、例年よりスムーズな運営ができたと思われま

【今後の課題】

災害に対しては日常の取り組みと意識付けが重要となります。今後の課題としては、できるだけ多くの職員に、災害マニュアルの周知や災害フォーラム等訓練の参加を促すとともに、訓練のための準備を行うのではなく、平日頃から災害について知識を深め、いつ起こるかわからない大災害について備えていきたいと考えています。

DMAT部会

委員長 吉村 良

【目的】

災害医療対策委員会の下部組織として、主にDMAT活動の連絡調整を行うことを目的としております。

【開催状況】

隔月で物品の準備を兼ねて開催しています。活動の報告と今後の研修についての情報共有も行います。

【取り組み】

ブロック訓練への参加、政府訓練への参加や技能維持研修への参加を行いました。当院からタスクの育成、ロジスティクス強化をはかるため、訓練を継続して実施いたします。上部組織である災害医療対策委員会のイベントである災害医療フォーラムでは、DMAT職員が中心となって訓練の計画を行います。

【今後の課題】

医師の異動や職員の退職、年齢層の上昇により、若手職員より隊員を募集していくことが重要と考えております。また、DMATの資格有無にかかわらず、院内の災害対策に携わるメンバーを増加させていくことが大きな課題です。

【目的】

日常の防火対策及び訓練について検討することを目的としています。

【開催状況】

委員会は年2回 各防火訓練前に開催しています。

本年度の訓練は以下の通り行ないました。

日 程	開催場所	参加人数	備 考
2020年2月13日	5階東病棟	9人	
2020年3月19日	4階東病棟	10人	

【取り組み】

防火訓練実施の事前準備として

- ①訓練シナリオの作成
- ②関係者との協議
- ③消防に対する事前通知内容協議を実施。

4階東病棟での訓練は火災の発見→報告→消火→鎮火の一連の行動が確実にできていたものの、5階東病棟での訓練では、前記した一連の行動に改善点が見られました。

【今後の課題】

引き続き、火災時のマニュアル及び所属部署での消火設備や避難経路を理解し、日ごろから防火に対する意識付けを行ないたい。また、次年度においては、避難者の避難訓練及び消防士立会いによる水消火器を使用した訓練等を実施し、防火に対する意識向上を図りたいと考えています。



【目的】

医療安全管理体制の確立及び、職員の技術・知識等の向上のため、研修会等の開催を企画・管理し、職員の資質向上を図るとともに、病院年報の作成を目的としています。

【開催状況】

月1回第2水曜日に開催しています。

【取り組み】

委員会では、橋本市民病院の医療安全管理の為、各委員会主催の研修会・勉強会の把握し、必要に応じて研修会の企画なども行い、職員の資質向上に取り組んでいます。

今年度の実施状況として、医療安全研修会では患者安全・医療安全の全体像や死亡診断書について、感染研修会では抗菌薬の適正使用等について学び、医療従事者として必要な知識の習得、資質向上を図りました。また、職場のハラスメントをテーマに人権研修会を開催し、職場環境の改善を図りました。

年報については、橋本市民病院の紹介や取り組みなどを掲載し、地域の医療機関関係者の方に橋本市民病院を知って頂くことを念頭におき作成しています。

【今後の課題】

職員の技術・知識等の資質向上のため、研修会の充実化を図るとともに、今まで以上に研修会のスケジュール管理を徹底し、より多くの職員が出席できるよう周知していくことが必要であると考えています。

年報については、中身を充実させるとともに、レイアウトの見直しや電子化での発行等、市民病院の取り組みをよりわかりやすくより多くの方に知っていただく事が今後の課題であると考えています。

2019年度 研修会一覧

月	演題等	講師
4月	NST勉強会(4/25 17:00～) 「消化態栄養の活用法」	青木 玄氏(ネスレ日本株式会社)
5月	NST勉強会(5/9 17:00～) 「栄養管理で使用する漢方薬について」 1. 気・血・水と虚実の考え方 2. 下痢時の漢方治療	奥田 俊博氏(株式会社ツムラ)
	橋本市症例検討会(5/9) 「溶連菌弱陽性で抗生剤投与されたが改善乏しく、咽頭痛、発熱を主訴に来院」	橋本 忠幸 総合内科副医長
	第1回化学療法セミナー(5/23 17:45～19:00) 「BESTな大腸癌治療を目指して」	小高 雅人 先生(薫風会 佐野病院 消化がんセンター長)
	がんサバード(5/27 17:00～) ①左腎盂癌 ②食道癌、右肺癌術後 ③左腎癌術後、肺転移、縦隔リンパ節転移、脾臓摘出後の局所再発	①上野 駿 泌尿器科医師 ②坂田 好史 外科筆頭部長 ③稲垣 武 泌尿器科筆頭部長
6月	NST勉強会(6/13 17:30～) 「低セレン血症治療剤 アセレンド注について」	石倉 知弥氏(藤本製薬株式会社)
	橋本市症例検討会(6/13) 「3ヶ月続く全身倦怠感、発熱を主訴に来院」	長谷 美菜子 総合内科医師
	地域医療連携イベント(6/19) 代謝内科の紹介・意見交換会	山岡 博之 代謝内科医長、宮田 佳穂里 代謝内科医長
	がんサバード(6/28 17:30～) ①右腎盂癌 リンパ節転移 ②尿管癌の疑い 左水腎症	①稲垣 武 泌尿器科筆頭部長 ②稲垣 武 泌尿器科筆頭部長、角井 一之 放射線科部長

月	演題等	講師
7月	橋本市症例検討会 (7/10) 「立位困難で救急搬送された70歳男性」 地域医療ネットワーク会議 (7/13) 診療懇話会 (7/17 20:00～) ①「高齢者の糖尿病診療について」 ②「甲状腺ホルモンの補充療法について」 NST勉強会 (7/25 17:00～) 経腸栄養の基礎 ・静脈栄養と経腸栄養の比較 ・経腸栄養剤の種類と特徴 ・濃厚流動食(食品)と経腸栄養剤(医薬品)の比較	根本 樹希 総合内科研修医 ①宮田 佳穂里 代謝内科医長 ②山岡 博之 代謝内科医長 長田 奈津実 氏 (株式会社 明治)
8月	橋本市症例検討会 (8/8) 「胸痛を主訴に来院された71歳男性」 がんサーボード (8/9 17:00～) (臨時) 原発不明がん (副腎腫瘍 多発骨転移 小脳転移 肝周囲腫瘍) 第1回感染研修会 (8/21 17:30～) 「行列のできる感染相談室～入院から在宅まで～」	広川 恵寿輝 総合内科医師 泌尿器科 川畑 仁貴 先生 (医療法人社団 裕和会 長尾クリニック 医師)
9月	NST勉強会 (9/12 16:30～) 「低亜鉛血症治療薬ノベルジンについて」 橋本市症例検討会 「筋力低下と番外編」	菊本 祐弘 氏 (ノーベルファーマ株式会社) 平山 陽士 総合内科医師
10月	橋本市症例検討会 (10/10) 「手足がむくんできた36歳男性」 第2回感染研修会 (10/18 17:30～) 「抗菌薬の適正使用について」	青木 達也 総合内科医師 笠原 敬 先生 (奈良県立医科大学 感染症センター 准教授・感染管理室長)
11月	第1回医療安全研修会 (11/1 17:30～) 「患者安全の全体像～一枚のレポートが命を救う～」 人権研修会 (11/13 17:30～) 「知っておきたい！ 職場のハラスメントに関する知識とトラブル予防のための具体策」 橋本市症例検討会 (11/14) 「めまいを主訴に来院された80歳男性」 NST勉強会 (11/21 17:00～) 「リハビリテーションと栄養」 地域医療連携イベント (11/21) 循環器内科の紹介・意見交換会 緩和ケア研修会 (11/23) 接遇研修会 (11/26 17:30～) 「歯と口の健康情報最前線～おもてなしは爽やかな口元から～」	長尾 能雅 先生 (名古屋大学医学部附属病院 副病院長 医療の質・安全管理部教授) 平松 利麻 先生 (トラヴェシア社会保険労務士事務所 社会保険労務士/産業カウンセラー代表) 平山 陽士 総合内科医師 松山 文則 氏 (株式会社大塚製薬工場) 山本 勝廣 病院事業管理者、星屋 博信 副院長、小林 克暢 循環器内科医長、 寒川 浩道 循環器内科医長、榎野 富造 循環器内科医長、匹本 樹寿 循環器内科医師 小畑 充彦 先生 (和歌山県福祉保健部健康局 健康推進課健康対策班 主任)
12月	地域がん診療連携拠点病院セミナー (12/5 17:45～) 「もし患者さんにゲノム医療を受けたいと言われたら」 地域包括ケア勉強会 (12/11) 「地域で取り組むポリファーマシー」 橋本市症例検討会 (12/12) 「若年女性の浮腫」	高濱 隆幸 先生 (近畿大学奈良病院 腫瘍内科 助教) 橋本 忠幸 総合内科副医長 広川 恵寿輝 総合内科医師

月	演題等	講師
1月	橋本市症例検討会 (1/9) 「発熱、頭痛を主訴に来院された40歳男性」 キャンサーボード (1/10 16:30～)(臨時) 「左卵巣腫瘍(小腸、S状結腸浸潤)」 診療懇話会 (1/15) 「CREアウトブレイク対応から一年 現状と今後について」 医薬品・医薬品安全管理研修会 (1/23 17:30～) ①シリンジポンプの正しい使い方 ②「注意の必要な注射薬の取り扱い～カリウム・脂肪乳剤・血管外漏出について～」 第2回医療安全研修会 (1/31 17:30～) 「死亡診断書について～死亡診断書の理解について～」	堀谷 亮介 総合内科医長 栢田 美加子 感染管理室感染管理者・主任看護師 ①小嶋 宏之 臨床工学科技師長・医療機器安全管理者 ②松山 文則 先生(株式会社大塚製薬工場) 吉野 俊平 先生 (株式会社麻生 飯塚病院 集中治療科部長)
2月	WEBセミナー「2020年度診療報酬改定の概要」(2/14 14:30～) 放射線治療勉強会 (2/20 18:00～) 「がん診療におけるFDG-PET検査～有用性・ピットfalls・今後の展開～」 WEBセミナー「2020年度診療報酬改定—中医協議論を中心に—」 (2/27 18:30～)	中林 梓 先生(株式会社ASK診療報酬研究所) 寺田 正樹 先生 (和歌山南放射線科クリニック 和歌山画像診断センター センター長) 猪口 雄二先生(寿康病院 理事長)
3月	「DPC分析サービス 機能評価係数Ⅱ・実績要件分析報告会」(3/11 17:30～)	大平 真也 先生(ニライ学館基幹事業統括本部 医療関連事業本部 経営支援部 経営支援課長 多摩大学医療・介護ソリューション研究所710- DPCマネジメント研究会 理事)

【目的】

まごころ委員会の目的は、橋本市民病院におけるコミュニケーションの強化をはかり、患者サービスの向上を目指すことを目的としています。

【開催状況】

委員会は月1回定期的に開催しています。(第3水曜日)

【取り組み】

委員会では、院内接遇及び、患者サービスに関するさまざまな事項について話し合いを行っています。

- ・ 職員の接遇に対する意識の強化に関する事項
- ・ 患者サービスの向上に関する事項
- ・ 職員間の円滑な関係の保持に関する事項

実施状況としましては、年一回、外部講師を招き病院職員を対象とした接遇研修会を開催し、職員全員に患者さんへのサービスの向上を目指しています。今年度は、和歌山県福祉保健部健康局 健康推進課健康対策班 主任(歯科医師) 小畑充彦先生に講演をしていただきました。内容としては、歯周病や喫煙による弊害を中心に、口臭衛生や審美歯科と関連させて講演をしていただき、いつもとは違った視点で職員一人一人が日頃の接遇を見直すきっかけとなり、有意義な研修会になりました。

また、定期的に院内ラウンドを行い、職員の接遇の問題点の見直しも行っています。定期的に行うことで、職員に『常に見られている』という意識が生まれ、出来ているつもりでも出来ていないところがないか、再確認をする良い機会となっています。

【今後の課題】

現状では院内ラウンドの結果などの周知が十分にできていません。今まで以上にわかりやすく職員に発信することで、よかった点を伸ばすとともに、問題点を早急に改善できるよう、活用していきたいと考えています。

【目的】

橋本市民病院の事業活動を正確かつ迅速に職員に周知させるとともに、市民に対する広報・広聴活動を行うことを目的としています。

【開催状況】

年4回開催しています。(病院だより発行毎 4月、7月、10月、1月末開催)

【取り組み】

- ・年4回(4月、7月、10月、1月)病院だよりを発行し、市民に対し病院の事業活動を周知しています。
- ・当院ホームページの在り方についてホームページのアクセス数等を調査、協議し、魅力あるホームページを構築しています。

【今後の課題】

限られたページの中で、必要な情報を発信するとともに、市民に興味を持ってもらえる情報を掲載することが今後の課題になります。

また、ホームページでは最新の動向・情報を掲示できるように作ることも課題となっています。ホームページの訪問者数や動向について分析し、市民がいま関心のあることを広報として提供できるよう取り組む必要があります。

2019年度はしもと市民病院だより掲載内容

	4月号	7月号	10月号	1月号
表紙1P	春の病院写真	病院航空写真	DMAT 新規メンバー集合写真	糖尿病デーライトアップ 管理者より年始のごあいさつ
2P	新年度を迎えて(院長) がんについて(外科)	代謝内科紹介	産婦人科紹介	橋本市病院事業会計概要
3P	がんについて(外科) がん治療についての案内	食堂がんについて(外科)	胃がんについて(外科) 病院送迎バス廃止案内	橋本市病院事業会計概要 糖尿病デー結果
4P	働き方改革 患者満足度調査結果	病院送迎バス廃止案内 救急患者受入の推移	Doctor's Dilemma 準優勝・クイズ サロン・ド・サクラのご案内 秋から冬に流行する感染症	大腸がんについて(外科)
5P	ゴールデンウィークの案内 4・5・6月の行事食	救急患者受入の推移 7・8・9月の行事食	クイズ回答 10・11・12月の行事食	冬から春に流行する感染症 1・2・3月の行事食
6P	まごころ駐車場 職員退職(医師)のお知らせ	手洗いのポイント	糖尿病デー案内 健康セミナー案内	病院送迎バス廃止案内 入札参加資格受付の実施
7P	市民病院職員募集	市民病院職員募集	市民病院職員募集	市民病院職員募集
8P	外来担当表	外来担当表	外来担当表	外来担当表

【目的】

図書運営委員会の目的は、橋本市民病院図書室の適切な運営管理と利用促進、図書・文献の整理を目的としています。

【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催しています。

【取り組み】

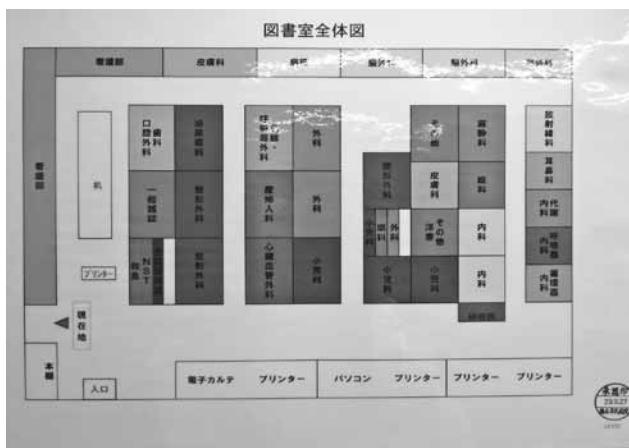
委員会では、図書室の運営管理及び、図書・文献に関するさまざまな事項について検討しています。

- ・ 図書統括と文献検索の管理、運営に関する事項
- ・ 図書の購入に関する事項
- ・ 図書館利用マニュアルに関する事項
- ・ その他病院長が必要と認めた事項

実施状況としましては、2019年度の購入図書について精査を行い各科との調整を行った。その結果、購入図書数は、診療部で98品目、診療技術部で48品目、看護部・その他で43品目となり、合計で189品目となりました。今後も購入図書については、委員会内で精査をおこない購入を進めていきます。

【今後の課題】

図書室内の文献管理の向上に努め、電子書籍などの導入も検討しています。また、購入図書の精査を強めていく必要があると考えています。



【目的】

労働安全衛生法第18条の規定により次の事項を調査審議し、職員の意見を収集することを目的としています。

- (1) 労働者の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること
- (2) 労働者の健康の保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
- (3) 労働災害の原因及び再発防止対策で、衛生に係るものに関すること
- (4) 前3号に掲げるもののほか、労働者の健康障害の防止及び健康の保持増進に関する重要事項

【開催状況】

毎月第4水曜日に開催しています。(16時～)

【取り組み】

- ・ 定期健康診断について（和歌山県民総合健診センターに健診業務を依頼）
子宮がん健診については、希望者に対して院内で実施
2次検診受診対象者への産業医による面談の実施
- ・ 職員への麻疹・風疹・水痘・ムンプス、HBs抗原・抗体検査の実施
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 結核感染予防対策の実施
（院内感染対策委員会との連携）
- ・ 針刺し事故予防対策の実施
（院内感染対策委員会、医療安全管理対策委員会との連携）
- ・ 年次有給休暇の取得促進について
- ・ ストレスチェック制度実施に伴う協議について
- ・ 時間外勤務時間の削減について
- ・ 「働き方改革」における院内実施に向けての協議について
- ・ 院内ご意見箱の設置について
- ・ ハラスメント及びメンタルヘルス対策について

【今後の課題】

今後の課題は、昨年度に引き続き、医師を始めとする長時間労働問題や、ハラスメント等防止の徹底、また、令和2年度から働き方改革推進委員会が新たに設置されることに伴い、当委員会と連携を図りつつ職員が働きやすい職場環境づくりを構築していく予定をしています。

【目的】

福利厚生委員会は、院内職員相互の親睦と福利厚生の増進を図ることを目的としています。

【開催状況】

委員会は、委員長が必要と認めた時に招集し開催しています。

【取り組み】

- ・院内における職員間の親睦を図る活動を行う
- ・院内職員の福利厚生の増進を図る活動を行う

実施状況としては、11月に職員運動会、1月に日帰り旅行を開催した。毎年3月恒例の送別会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止となりました。

職員運動会については、今年度が3回目の開催であり、多数の職員が参加した。参加者が4チームに分かれ、それぞれの特色を出し、6種目の競技を全力で争い、参加者全員が楽しむことが出来ました。参加者数は90名でした。

日帰り旅行については2回開催し、「三大牛ブランドプレミアムビュッフェ&カニ食べ放題♪日帰り滋賀散策」と題し、彦根城散策、ラコリーナ近江八幡で散策・ショッピング、Sekigahara 花伊吹で食べ飲み放題の昼食を行いました。参加者数は67名でした。

3月の送別会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為残念ながら中止となりました。

【今後の課題】

- ・引き続き多くのイベントを企画し、多くの職員の参加を促していきます。



【目的】

病病・病診連携推進、保健・介護・福祉機関との連携協力体制の強化、これらに対する院内・院外への啓蒙活動を図ることを目的としています。

【開催状況】

医師会との病診連携委員会に合わせ、隔月に開催しています。
2019年度は5回開催しました。

【取り組み】

・医師会との連携

病診連携委員会で取り上げられた当院に関する課題について、改善策を検討しました。紹介・逆紹介がスムーズに行えなかった例、救急対応についての要望など、提供いただいた問題事例について、病院としての対応を協議しました。また、当院各診療科の概要や、病院としての新たな取り組みについて情報提供し、紹介してもらいやすい関係作りに努めました。

・前方連携について

開業医への渉外活動を強化し、個々のニーズ把握に努め、改善点を抽出して対応を検討しました。診療科ごとの勉強会や懇親会を開催し、顔の見える連携の強化に取り組みました。

・連携登録医制度について

地域の医療機関との連携強化のため、92件（伊都医師会70件、五條市医師会22件）の医療機関及び新たに伊都歯科医師会（40件）に参加していただきました。

・ネットワーク会議について

第7回目のネットワーク会議について、会議の内容を協議し、終了後に総括を行いました。第一部に123名、第二部懇親会に87名の参加をいただきました。次年度の7月、第8回目の会議に向けて内容を検討しました。

・後方支援について

入退院支援加算等の算定について協議しました。介護支援連携等指導料、退院時共同指導料の算定について協議しました。算定件数を適正に維持するための方法を検討し、算定件数の確保に努めました。

【今後の取り組み】

- ・医師会や個々の医療機関との連携を密にとり、患者紹介がよりスムーズに運ぶように努めます。
- ・渉外活動で医療機関のニーズ把握に努め、きめ細やかな対応を目指します。
- ・ネットワーク会議をより有意義なものにするための協議を行います。
- ・その他、連携に関わる様々な問題点について協議します。

【目的】

倫理・治験審査委員会は下記の目的を以って組織しています。

- ・ 倫臨床倫理的課題（医療行為の妥当性、終末期医療、脳死判定、宗教に関する問題など）に対する病院の方針を審議し明確にする。
- ・ 臨床倫理的課題に対する病院の方針を職員に周知する。
- ・ 院長が治療及び研究について実施の可否を決定するための諮問機関として審議する。
- ・ 橋本市民病院治験取扱規程（平成 18 年橋本市病管規程 10 号）第 2 条第 1 項の規定により、橋本市民病院において治験を行うことの適否、その他の治験に関する調査審議を行う。

【開催状況】

委員会は 4 月、7 月、10 月、1 月の第 3 水曜日に開催しています。その他、委員長が必要と認めたときに招集し開催しています。2019 年度は 5 回開催しました。

【取り組み】

臨床倫理的課題や治療及び研究の実施可否について、審議しています。

2019 年度の実施内容としましては、

- ①対象操作・道具使用に困難性を抱える半側空間無視症例への治療的介入
- ②当院における頭部 DWI volume 測定の試み
- ③口腔扁平上皮癌に対する CTP 療法の使用について
- ④書籍掲載のための動画撮影の許可申請
- ⑤非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究
- ⑥経静脈的血栓溶解療法術後の神経学的症状変化の特徴
- ⑦適正使用指針第 3 版に基づく血管内再開通療法の安全性に関する調査研究
- ⑧ Stage II / III 大腸癌治癒切除患者に対する術後補助化学療法としてのカペシタビン 5 日投薬 2 日休薬投与法と通常投与法（2 週投与 1 週休薬）の治療継続に関する多施設共同ランダム化比較試験
- ⑨「ふれあい看護体験」に中国人看護大学生を受け入れて
～日本の高校生との交流の場を提供して～
- ⑩糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる保健指導の効果について
- ⑪「物忘れ外来」に受診同行する介護者の介護負担に関する実態調査
- ⑫看護研究 手術安全チェックリストに対する取り組み
- ⑬周術期口腔機能管理の効果および食性の変化に関する前向き観察研究
- ⑭日本整形外科学会症例登録について
- ⑮ CVIT 専門医試験のための申請
- ⑯消化器癌における心血管イベントの検討
の計 16 件が審議されました。

また、「包括同意で行われている臨床研究についての掲示」、「未承認の禁忌薬・適応外使用の申請・許可方法」についても議論しました。

【今後の課題】

臨床倫理的課題に対する病院の方針を明確にするとともに、より一層、患者へのインフォームドコンセントを徹底し、質の高い医療を提供していく必要があります。

【目的】

委員会は、橋本市民病院とその協力病院における初期臨床研修に係わるすべての事項について審議しています。

【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催

- 2019年度開催状況
- 第1回臨床研修管理委員会（2019年6月26日）
 - 第2回臨床研修管理委員会（2019年10月30日）
 - 第3回臨床研修管理委員会（2020年3月12日）

【取り組み】

臨床研修プログラムの検討、確認を行う等、医師卒後研修に関するすべての事項を検討しています。

2012年度より再度基幹型臨床研修病院の指定となり、2012年度1名、2013年度2名、2014年度2名、2015年度1名、2016年度4名、2017年度6名、2018年度は7名、2019年度8名の臨床研修医が研修を実施し、臨床研修プログラムや研修内容等の検討・検証・確認を行っています。

2014年度から和歌山研修ネットワークがスタートし、和歌山県下9箇所の基幹型臨床研修病院が互いに協力型病院として臨床研修医の受け入れを行っています。

2015年度には臨床研修医及び医学生のための臨床研修医室が設置、2016年度からは基幹型臨床研修枠が4枠に増枠され、卒後臨床研修センターが設置されました。

卒後臨床研修センターでは研修内容の管理及び充実のため毎月第1水曜日に研修センター会議を実施しています。

【研修医の修了認定について】

2018年度研修修了予定者1名が産休等で研修中断となっていた為、2019年度6月まで3か月間の研修延長を行い研修修了が認定されました。2019年度研修修了予定であった4名については、研修についての問題点等がなく、2年間での研修修了が認定されました。

【研修医の募集活動】

・病院説明会

- ① 2019年7月7日（日） 民間医局レジナビ合同説明会（インテックス大阪）
- ② 2020年2月23日（日）和歌山県医師臨床研修協議会（グランフロント大阪）

※②については、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催中止。

【見学・実習受け入れ実績】

2017年度・・・21名（内8名マッチング応募）

2018年度・・・20名（内6名マッチング応募）

2019年度・・・18名（内5名マッチング応募）

【初期臨床研修医採用実績】

年度	当院枠	マッチング登録		2次募集登録		採用数
2015年度	3名	7名	3名	-	-	3名
2016年度	4名	4名	2名	2名	2名	4名
2017年度	4名	6名	3名	2名	1名	4名
2018年度	4名	8名	4名	-	-	4名
2019年度	4名	5名	4名	1名	1名	4名

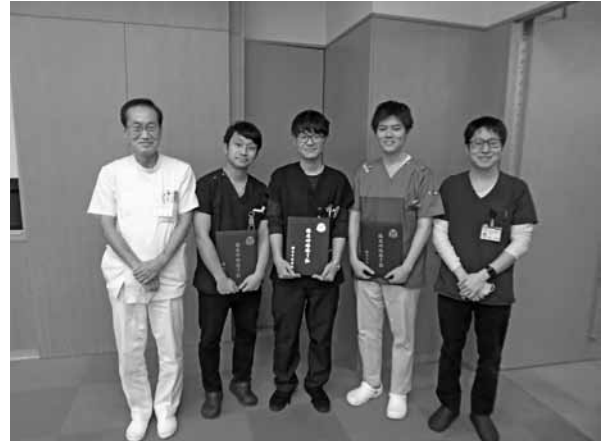
【今後の課題】

基幹型臨床研修病院として、魅力ある研修プログラム、研修内容の充実を図り、臨床研修医の確保に努めます。研修スケジュールや研修内容の充実をより一層図るとともに、後期研修に繋げていく為にも和歌山県立医科大学附属病院等の和歌山研修ネットワークの臨床研修医の積極的に受け入れ、充実した研修体制を目指します。

しかし、新型コロナウイルスの影響で説明会が中止、病院見学会も自粛となり、研修医募集が危惧される状況となっています。病院独自でWEB説明会の開催等で研修医募集の対応が必要とされています。



(臨床研修医宣誓式)



(臨床研修修了式)



(臨床研修病院説明会)



(ジェネラリスト勉強会)

【目的】

委員会は、橋本市民病院における新専門医制度に係わるすべての事項について審議を目的とします。

【開催状況】

委員長が必要と認めたときに招集し開催します。

2019年度は10月30日に開催しました。

【取り組み】

専門研修連携施設として専門研修基幹施設が定めた専門研修プログラムに基づいて専攻医に専門研修を提供するための体制づくりを検討していきます。

【今後の課題】

橋本市民病院では専門研修連携施設として指定を受けています。2018年度より開始された制度の運用等の状況を見ながら、適切な研修体制が整えられるよう検討していきます。

Ⅸ 連携登録医名簿

橋本市民病院連携登録医療機関リスト (132医療機関)

橋本市民病院連携登録医(医科 92医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本北部	1	おおはぎ眼科	大萩 康子		眼科
	2	おおはぎ内科	大萩 晋也	○	内科 胃腸科 呼吸器科 リハビリテーション科 小児科
	3	医療法人 橋本孝佑会 奥野クリニック	奥野 孝	○	脳神経外科 外科 内科 神経内科 放射線科 整形外科 リハビリテーション科
	4	きみが丘クリニック	康 龍男	○	内科 アレルギー科 血液内科 小児科 皮膚科
	5	しらすぎ台クリニック 山内耳鼻咽喉科	山内 一真		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	6	医療法人 曾和医院	曾和 正	○	内科 小児科 消化器科 循環器科 アレルギー科
	7	田倉皮膚科クリニック	田倉 学		皮膚科 内科
	8	藤堂診療所	藤堂 泰三		内科 皮膚科 外科 理学療法
	9	ナサコ内科	名迫 由美子		内科 漢方治療
	10	ひぶせ耳鼻咽喉科	火伏 宏美		耳鼻咽喉科
	11	みなみ胃腸肛門科・外科	南 浩二	○	胃腸科 肛門科 外科 内科 皮膚科 放射線科
	12	めがね先生の上田こどもクリニック	上田 悟史		小児科
	13	医療法人 緑横会 横田整形外科	横田 英史	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科 放射線科
	14	吉川こどもクリニック	吉川 明男		小児科
70	いわくらクリニック	岩倉 伸次	○	内科 消化器内科 肛門外科	
橋本東部	15	いこまレディースクリニック	生駒 久男		産婦人科 心療内科 内科
	16	稲垣医院	稲垣 侑		皮膚科 泌尿器科 外科
	17	医療法人 博周会 梅本診療所	梅本 博昭	○	内科 消化器内科 外科 整形外科
	18	医療法人 岡田整形外科	岡田 正道		整形外科 リハビリテーション科 放射線科
	19	医療法人 仁清会 岡本クリニック	岡本 一仁	○	麻酔科(ペインクリニック) 内科
	20	医療法人 久和会 奥村マタニティクリニック	奥村 嘉英		産婦人科 内科 小児科
	21	医療法人 久和会 奥村レディースクリニック	向林 学		婦人科
	22	くらぶち眼科	倉淵 信哉		眼科
	23	小西内科医院	小西 紀彦	○	内科
	24	小林医院	小林 克祐		内科 循環器 東洋医学
	25	医療法人 わかば会 田中診療所	田中 耕治	○	内科 糖尿病 漢方
	26	医療法人 谷内クリニック	谷内 まゆみ / 谷内 俊文		内科(総合・消化器・循環器・呼吸器) アレルギー科 小児科 リハビリテーション科
	27	医療法人 涼悠会 トメモリ眼科・形成外科	留守 良太 / 留守 祥子		眼科 形成外科 美容整形
	28	豊澤医院	豊澤 浩	○	内科 小児科
	29	医療法人 佑々会 林耳鼻咽喉科	林 泰弘 / 林 佳世		耳鼻咽喉科 アレルギー科
	30	火伏医院	火伏 總子	○	内科
	31	平林醫院	平林 國男		泌尿器 外科 内科
	32	松園胃腸科・内科	松園 泰彦		消化器内科 内科 胃腸科 放射線科
	33	医療法人 南クリニック胃腸肛門科	南 光昭	○	内科 外科 肛門外科 皮膚科 消化器内科
	34	森本胃腸肛門科	森本 悟一	○	胃腸科 肛門科 外科 内科

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
橋本西部	35	伊藤クリニック	伊藤 洋	○	外科 内科 消化器内科 / 外科 呼吸器内科 整形外科 脳神経外科 泌尿器 循環器内科
	36	植阪クリニック	植阪 和修	○	胃腸内科 外科 内科 肛門外科
	37	医療法人 狩谷産婦人科	狩谷 功		婦人科 内科
	38	医療法人 河原整形外科	河原 史郎		整形外科
	39	栗山クリニック	栗山 司	○	外科 内科 胃腸科 整形外科 脳神経外科 リハビリテーション科
	40	医療法人 青藍会 小林医院	小林 豊和	○	内科 小児科 循環器 放射線科
	41	医療法人 セセラギ会 小林診療所	田中 英治	○	内科 循環器内科
	42	阪上医院	阪上 良行		内科
	43	たきわき皮膚科クリニック	瀧脇 弘嗣		皮膚科
	44	医療法人 辻本クリニック	辻本 俊和	○	循環器内科 消化器内科 内科 小児科 脳神経外科 整形外科 禁煙外来
	45	虎谷内科小児科医院	虎谷 彰久	○	内科 小児科 消化器科 循環器
	46	医療法人 康紀会 なかいクリニック	中井 康人	○	心療内科 精神科 内科 神経科
	47	ハギノ眼科クリニック	萩野 雅洋		眼科
	48	前田内科	前田 泰生	○	内科 呼吸器科 消化器科 循環器科 小児科 アレルギー科 神経内科
	49	松岡医院	松浦 良光	○	整形外科 外科 内科
50	医療法人 森下会 森下クリニック	森下 昌亮	○	内科 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 リハビリテーション科 放射線科	
かつらぎ町	51	上田内科	上田 和夫		内科
	52	上田消化器・内科クリニック	上田 和樹	○	内科 消化器内科
	53	上田神経科クリニック	上田 英樹		老年精神科
	54	木秀クリニック	横手 秀行		内科 整形外科 脳神経外科 神経内科
	55	医療法人 仁人会 北林医院	北林 佳憲		整形外科 外科
	56	黒岩クリニック	黒岩 丈清	○	内科 胃腸科 循環器科 呼吸器科 放射線科 理学療法科 内視鏡科
	57	阪中外科	阪中 孝三	○	内科 外科 整形外科
	58	たかの耳鼻咽喉科	高野 郁晴	○	耳鼻咽喉科
	59	医療法人 永野医院	永野 公一	○	内科 消化器 循環器 呼吸器
	60	馬場眼科	馬場 幸男	○	眼科
	61	医療法人 九曜會 前田医院	前田 至規	○	内科 小児科
	62	医療法人 恒裕会 吉田クリニック	吉田 裕	○	内科 産婦人科
	63	医療法人 幸生会 米田小児科医院	米田 勝紀		小児科 アレルギー科
九度山町	64	医療法人 萩会 萩原内科・小児科	萩原 正史	○	内科 小児科
	65	医療法人 淳雄会 保脇整形外科医院	保脇 淳之	○	整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	66	医療法人 英裕会 横手クリニック	横手 英義 / 横手 裕子	○	脳神経外科 整形外科 外科 リハビリテーション科 循環器内科 胃腸内科 呼吸内科
高野町	67	花谷医院	花谷 誠也	○	内科
	68	富貴診療所	田中 利平	○	内科
	69	高野町立高野山総合診療所	廣内 幸雄		総合診療

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	往診	標榜
五條市	71	足立医院	足立 聡	○	内科 小児科 婦人科
	72	医療法人 岩井内科・皮膚科	岩井 務 / 岩井 佐代子	○	内科 循環器科 リハビリテーション科 皮膚科
	73	右馬医院	右馬 文彦		内科
	74	医療法人 南和会 大川橋診療所	小延 知暉	○	内科 外科 小児科 放射線科 整形外科 消化器内科 肛門科 リハビリテーション科
	75	鎌田医院	鎌田 修		内科
	76	医療法人 鎌田医院 賀名生診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 放射線科
	77	医療法人 鎌田医院 田園診療所	鎌田 勝三郎	○	内科 婦人科
	78	医療法人 社団恵生会 後藤医院	後藤 寛	○	内科 小児科 放射線科 産婦人科
	79	医療法人 阪口眼科	阪口 昌子	○	眼科
	80	寒川医院	寒川 英明	○	内科 外科
	81	医療法人 素心会 杉崎医院	杉崎 俊照	○	内科 外科 消化器科 乳腺科 肛門科 リハビリテーション科
	82	竹本医院	竹本 成一	○	内科
	83	医療法人 桜翔会 田畑医院	田畑 尚一	○	泌尿器科 内科 人工透析科
	84	辻田クリニック	辻田 重信		内科 消化器科 放射線科
	85	医療法人 中垣整形外科	中垣 公男		整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
	86	中谷内科医院	中谷 吉宏	○	内科
	87	中西クリニック	中西 淳	○	泌尿器科 皮膚科 内科 リハビリテーション科
	88	ひらい内科クリニック	平井 妙代子		内科 呼吸器科 アレルギー科
	89	前防医院	前防 則彦	○	内科
	90	檜野医院	檜野 久春 / 檜野 加代子	○	内科 消化器科 眼科
	91	医療法人 水本整形外科	水本 茂		整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科
	92	医療法人 山田医院	山田 宏治	○	内科

橋本市民病院連携登録医(歯科 40医療機関)

地区	No.	医療機関名称	連携登録医	標榜
橋本北部	93	岩上歯科	岩上 正嗣	歯科
	94	おかもと歯科クリニック	岡本 光裕	歯科
	95	加藤歯科医院	加藤 大太郎	歯科
	96	ひまわり歯科医院	花岡 政文	歯科
	97	ひろせ歯科クリニック	広瀬 俊也	歯科
	98	堀切歯科診療所	堀切 卓	歯科
	99	森歯科医院	森 公伸	歯科
	100	森田歯科医院	森田 滋子	歯科
	101	いわかみ歯科医院	岩上 訓男	歯科
	102	おかだ歯科クリニック	岡田 隆秀	歯科
	103	落合デンタルオフィス	落合 茂弘	歯科
	104	海堀歯科医院 (古佐田)	海堀 昭彦	歯科
	105	こじま歯科医院	小嶋 一史	歯科
	106	後藤歯科	後藤 彰基	歯科
	107	隅田歯科医院	隅田 素能子	歯科
高野口町	108	つちだ歯科医院	土田 雅久	歯科
	109	とよざわ歯科クリニック	豊澤 悟	歯科
	110	ほりはた歯科医院	堀畑 幸則	歯科
	111	三木歯科医院	三木 修三	歯科
	112	村上歯科医院	村上 浩孝	歯科
	113	海堀歯科医院 (学文路)	海堀 昭登志	歯科
	114	下田歯科クリニック	下田 隆志	歯科
	115	はたの歯科クリニック	畑野 修一	歯科
高野口町	116	石川歯科医院	石川 哲也	歯科
	117	喜多歯科医院	喜多 義郎	歯科
	118	辻歯科医院	辻 正信	歯科
	119	辻本歯科クリニック	辻本 和弥	歯科
	120	守内歯科医院	守内 一誠	歯科
	121	吉川歯科医院	吉川 武志	歯科
かつらぎ町	122	うちた歯科	内田 憲二	歯科
	123	恩地歯科医院	恩地 良幸	歯科
	124	木村歯科医院	木村 幸弘	歯科
	125	楠井歯科医院	楠井 貴介	歯科
	126	阪中歯科	阪中 孝之	歯科
	127	たえなか歯科クリニック	妙中 泰之	歯科
	128	田村歯科クリニック	田村 修志	歯科
	129	医療法人 歯優会 中島歯科医院	中島 毅	歯科
	130	中平歯科医院	中平 良基	歯科
	131	ゆあさ歯科医院	湯浅 祥司	歯科
高野町	132	わしみね歯科医院	鷲峰 賢昭	歯科

(2019年3月31日現在)